

玉城町中央公民館改修工事

図面リスト														
建築・構造							電気				機械			
A－00	表紙・図面リスト		A－32	断面詳細図 7、8（改修後）	1/60	A－64	建具表 3	1/50	E－01	電気設備工事 特記仕様書 1	N/S	M－01	機械設備特記仕様書 (1)	N/S
A－01	工事特記仕様書 1（改修）	N/S	A－33	1 階平面詳細図（改修前）	1/60	A－65	建具詳細図 1	1/50、1/5	E－02	電気設備工事 特記仕様書 2	N/S	M－02	機械設備特記仕様書 (2)	N/S
A－02	工事特記仕様書 2（改修）	N/S	A－34	2 階平面詳細図（改修前）	1/60	A－66	建具詳細図 2	1/5	E－03	電気設備配置図	1/300	M－03	配置図	1/300
A－03	工事特記仕様書 3（改修）	N/S	A－35	R 階平面詳細図（改修前）	1/60	A－67	1 階EV廻り平面詳細図（改修前後）	1/60	E－04	盤図	1/150	M－04	衛生設備器具表	N/S
A－04	工事特記仕様書 4（改修）	N/S	A－36	1 階平面詳細図（改修後）	1/60	A－68	2 階EV廻り平面詳細図（改修前後）	1/60	E－05	幹線動力設備 2 階平面図（改修前）	1/150	M－05	衛生設備系統図	N/S
A－05	工事特記仕様書 5（改修）	N/S	A－37	2 階平面詳細図（改修後）	1/60	A－69	R 階EV廻り平面詳細図（改修前後）	1/60	E－06	幹線動力設備 R 階平面図（改修前）	1/150	M－06	衛生設備 1 階平面図 (改修)	1/150
A－06	建築概要、外部仕上表	N/S	A－38	R 階平面詳細図（改修後）	1/60	A－70	E V 廻り断面詳細図（改修前後）	1/60	E－07	幹線動力設備 2 階平面図（改修・改修後）	1/150	M－07	衛生設備 2 階平面図 (改修)	1/150
A－07	内部仕上表 1	N/S	A－39	1 階 展開図（改修前後）メインロビー	1/60	A－71	2 階廊下出入口廻り詳細図（改修前後）	1/30、1/20	E－08	幹線動力設備 R 階平面図（改修後）	1/150	M－08	衛生設備平面詳細図 (改修)	1/50
A－08	内部仕上表 2	N/S	A－40	1 階 展開図（改修前後）婦人教養室・広縁	1/60	A－72	建具詳細図 3	1/20	E－09	照明器具姿図 1	N/S	M－09	衛生設備 1 階平面図 (撤去)	1/150
A－09	内部仕上表 3	N/S	A－41	1 階 展開図（改修前後）I T 教室・坪庭	1/60	A－73	建具詳細図 4	1/4	E－10	照明器具姿図 2	N/S	M－10	衛生設備 1 階平面図 (撤去)	1/150
A－10	附近見取図・配置図	1/300	A－42	1 階 展開図（改修前）管理入室・便所（改修後）倉庫 1	1/60	A－74	EV詳細図 1	N/S	E－11	照明設備 1 階平面図（改修前）	1/150	M－11	衛生設備平面詳細図 (撤去)	1/50
A－11	1 階平面図（改修前）	1/150	A－43	1 階 展開図（改修前）男女浴室・脱衣室	1/60	A－75	EV詳細図 2	1/30	E－12	照明設備 2 階平面図（改修前）	1/150	M－12	空調機器表 (改修)	N/S
A－12	2 階平面図（改修前）	1/150	A－44	1 階 展開図（改修後）倉庫 2・多目的便所・湯沸	1/60	A－76	EV詳細図 3	1/30	E－13	電灯設備 1 階平面図（改修後）	1/150	M－13	換気機器表 (改修)	N/S
A－13	R 階平面図（改修前）	1/150	A－45	1 階 展開図（改修前）男女便所・PS	1/60	A－77	EV詳細図 4	1/30	E－14	電灯設備 2 階平面図（改修後）	1/150	M－14	空調設備系統図	N/S
A－14	1 階平面図（改修後）	1/150	A－46	1 階 展開図（改修後）男女便所・PS	1/60	A－78	EV詳細図 5	1/50、1/30	E－15	防災照明設備 1 階平面図（改修後）	1/150	M－15	空調設備 1 階平面図 (改修)	1/150
A－15	2 階平面図（改修後）	1/150	A－47	1 階 展開図（改修前後）事務室	1/60	A－79	EV詳細図 6	1/30	E－16	防災照明設備 2 階平面図（改修後）	1/150	M－16	空調設備 2 階平面図 (改修)	1/150
A－16	R 階平面図（改修後）	1/150	A－48	1 階 展開図（改修前）廊下	1/60	A－80	EV詳細図 7	1/20	E－17	コンセント設備 1 階平面詳細図（改修・改修後）	1/60	M－17	空調設備 R 階平面図 (改修)	1/150
A－17	南北立面図（改修前）	1/150	A－49	1 階 展開図（改修後）廊下	1/60	A－81	外構図（改修後）	1/100、1/30	E－18	コンセント設備 2 階平面詳細図（改修・改修後）	1/60	M－18	空調設備機械置場 平面詳細図 (改修)	1/50
A－18	東西立面図（改修前）	1/150	A－50	2 階 展開図（改修前後）小会議室	1/60	A－82	仮設計画図	1/150	E－19	弱電機器姿図	N/S	M－19	空調制御盤単線結線図	N/S
A－19	南北立面図（改修後）	1/150	A－51	2 階 展開図（改修前後）公民館教室・坪庭	1/60				E－20	弱電設備 1 階平面図（改修・改修後）	1/150	M－20	空調機器表 (撤去)	N/S
A－20	東西立面図（改修後）	1/150	A－52	2 階 展開図（改修前後）教育支援センター 1	1/60	S－01	構造設計標準仕様①	N/S	E－21	弱電設備 2 階平面図（改修・改修後）	1/150	M－21	空調設備 1 階平面図 (撤去)	1/150
A－21	断面図（改修前）	1/150	A－53	2 階 展開図（改修前）器具庫（改修後）教育支援センター 2	1/60	S－02	構造設計標準仕様②	N/S	E－22	自動火災報知設備 凡例・系統図	N/S	M－22	空調設備 2 階平面図 (撤去)	1/150
A－22	断面図（改修後）	1/150	A－54	2 階 展開図（改修前）男女便所・PS	1/60	S－03	配筋基準図①	N/S	E－23	自動火災報知設備 1 階平面図（改修・改修後）	1/150	M－23	空調設備 R 階平面図 (撤去)	1/150
A－23	断面詳細図 1（改修前）	1/60	A－55	2 階 展開図（改修後）男女便所・PS	1/60	S－04	配筋基準図②	N/S	E－24	自動火災報知設備 2 階平面図（改修・改修後）	1/150	M－24	空調設備機械置場 平面詳細図 (撤去)	1/50
A－24	断面詳細図 1（改修後）	1/60	A－56	2 階 展開図（改修前後）廊下	1/60	S－05	鉄骨標準図①	N/S	E－25	ホール照明設備 特記仕様書・仕様書・仕様明細書	N/S	M－25	AH-1 参考	1/30
A－25	断面詳細図 2（改修前）	1/60	A－57	1 階天井伏図（改修前）	1/150	S－06	鉄骨標準図②	N/S	E－26	ホール照明設備 調光装置 照明器具明細表	N/S			
A－26	断面詳細図 2（改修後）	1/60	A－58	2 階天井伏図（改修前）	1/150	S－07	ベースバック柱脚工法 標準図 1	N/S	E－27	ホール照明設備 調光装置 外観図・システム系統図	N/S			
A－27	断面詳細図 3、4（改修前）	1/60	A－59	1 階天井伏図（改修後）	1/150	S－08	Q L デッキ合成スラブ標準図	1/100	E－28	ホール照明設備 照明器具姿図 1	N/S			
A－28	断面詳細図 3、4（改修後）	1/60	A－60	2 階天井伏図（改修後）	1/150	S－09	各階伏図・輪組図	1/40	E－29	ホール照明設備 照明器具姿図 2	N/S			
A－29	断面詳細図 5、6（改修前）	1/60	A－61	1 階床伏図（改修前後）	1/60	S－10	基礎・鉄骨詳細図		E－30	ホール照明設備 照明器具姿図 3	N/S			
A－30	断面詳細図 5、6（改修後）	1/60	A－62	建具指示図、建具表 1	1/150、1/50				E－31	ホール照明設備 1 階平面図	1/150			
A－31	断面詳細図 7、8（改修前）	1/60	A－63	建具表 2	1/50				E－32	ホール照明設備 2 階平面図	1/150			

②

仮設便所

⑧

工事用水

⑨

工事用電力

⑩

交通誘導警備員

③

防水改修工事

構内既存の施設

・ 利用できる ○ 利用できない

構内既存の施設

○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない

構内既存の施設

○ 利用できる (○ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

配置

・ 図示 (図面番号:)

1

アスファルト防水

(3.3.3)～(表3.3.10)

改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()

断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, T1B1, P0D1, M3D1, M4D1)

材質 ・ ()

・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA (スキんあり)

・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号

・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号

厚さ ・ ()

ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)

脱気装置 (M3D, POD, P0D1, M3D1, M4D1)

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())

・ 設けない

・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()

保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()

床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種

保護層 ・ 設ける ・ 設けない

屋上排水溝の適用 ・ 適用する

立上り保護 ・ 乾式保護材 () ・ コンクリート押え

・ れんが (材質 ・ JIS R1250) ・ モルタル押え

改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()

断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)

材質、厚さ ()

図示 ・ ()

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2		

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())

・ 設けない

ルーフィングシート

種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()

厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()

断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1)

材質、厚さ ()

図示 ()

工法	種別	種別	仕上塗料
・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)		
・ S3SI	・ S-F2 (S1-F2)		

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())

・ 設けない

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理 ・ 図示 (図面番号:)

増張り ・ 図示 (図面番号:)

保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-2		

脱気装置

・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:), 材質 ())

・ 設けない

工法	種別	施工箇所
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2	

保護層 ・ 図示 (図面番号:)

2

改質アスファルトシート防水

(3.4.2)

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

(3.5.2)

(3.5.3)

(表3.5.1)～(表3.5.3)

(3.5.3)

(3.5.4)

4

塗膜防水

(3.6.3)

(表3.6.1)

(3.6.3)(1)

(3.6.3)(2)

5

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(3)(4)

(3.2.6)(3)(a)

6

シーリング

(3.7.2)

(表3.7.1)

(3.7.4～7)

(3.7.8)

(7)

とい

(3.8.2)

(表3.8.1)

(表3.8.2)

8

アルミニウム製笠木

(3.9.2)(3)

(表3.9.1)

(3.9.3)(2)

(3.9.2)(4)

(3.9.3)

4

外壁改修工事

1

施工数量調査

2

改修工法の種類

(4.1.4)

(4.1.5)

材料

種類	材種	施工箇所
・ SR-1	シリコン系	
・ MS-2	変成シリコン系	
・ PS-2	ポリサルファイド系	
○ PU-2	ポリウレタン系	

工法

・ シーリング充填工法

○ シーリング再充填工法

・ 拡幅シーリング再充填工法

・ ブリッジ工法

シーリング材の試験

○ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用銅管 (白管)

○ (硬質塩化ビニル雨どい)

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔
軒どい	120角	1.0m以下
竪どい	Φ65	1.2m以下

工法 ・ 図示 (図面番号:)

部材の種類

○ 押出し250形

・ 押出し300形

・ 押出し350形

・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())

固定金具の間隔 (mm)

固定方法 ・ ()

表面処理 ・ ()

工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:)

下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:)

板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:)

笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

1

施工数量調査

2

改修工法の種類

(4.1.4)

(4.1.5)

材料

種類	材種	施工箇所
・ SR-1	シリコン系	
・ MS-2	変成シリコン系	
・ PS-2	ポリサルファイド系	
○ PU-2	ポリウレタン系	

工法

・ シーリング充填工法

○ シーリング再充填工法

・ 拡幅シーリング再充填工法

・ ブリッジ工法

シーリング材の試験

○ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用銅管 (白管)

○ (硬質塩化ビニル雨どい)

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔
軒どい	120角	1.0m以下
竪どい	Φ65	1.2m以下

工法 ・ 図示 (図面番号:)

部材の種類

○ 押出し250形

・ 押出し300形

・ 押出し350形

・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())

固定金具の間隔 (mm)

固定方法 ・ ()

表面処理 ・ ()

工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:)

下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:)

板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:)

笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

3

改修工法等

(4.2.2)(1)

(4.2.4)

(4.4.5)

(4.5.5)

(4.2.2)(2)

(4.3.5)

(4.4.6)

(4.5.6)

(4.2.2)(3)

(4.3.6)

(4.4.7)

(4.2.2)(4)

(4.3.7)

(4.4.8)

(

4塗り仕上げ
(4.2.2)(10)
(表4.2.4(その1)
(その2))

種 類

呼び名

仕上り形状

工法

薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材E

・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ゆず肌状
・ さざ波状
・ 着色骨材砂壁状

吹付け
こて
ローラー

厚付け仕上塗材

・ 外装厚塗材C

・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ひき起し
・ 掻き落とし

吹付け
こて

複層仕上塗材

・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE

・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ひき起し

吹付け
ローラー

可とう形改修用
仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材CE

・ 平たん状
・ さざ波状
・ ゆず肌状

ローラー
吹付け

・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m2)

・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種

複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

外壁用塗膜防水材の仕上りの形状及び工法

種類	仕上りの形状	工法
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状 ・ 凸部処理 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ 吹付け ローラー

既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法 ・ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法 (・ テッキブラシ ・ 高圧ポンプ)	

下地調整

・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

5改修工法
(5.1.3)

2防火戸
(5.1.4)

3見本の製作
(5.1.5)

4防犯建物部品
(5.1.7)

5ブラインドボックス等
(5.1.6)(3)

6アルミニウム製
建具
(5.2.2)
(5.2.4)
(表5.2.1)

(表5.2.2)

1可動式 ・ 固定式
防虫網の材質
・ 合成樹脂製
・ ステンレス(SUS316)製
網目
・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

外部に面する樹脂製建具の性能等級等
・ A種 ・ B種 ・ C種

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
ガラス ・ 複層ガラス ・ ()
建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:)
水切り ・ 図示 (図面番号:)
ぜん板 ・ 図示 (図面番号:)
丁番 ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:)

鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)

・ HJ2400又はHJ950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:)

鋼製軽量建具の性能等級
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(2)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.6.3)(1)
(5.2.3)(1)

表面仕上げ
・ 塗装
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)
・ ()

ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)

材料 ・ SUS304 ・ ()

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()

曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

金物の見え掛かり部等の材質等
・ 改修標準仕様書(表5.7.1)による
・ 図示 (図面番号:)

マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない
引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

・ 図示 (図面番号: A-119・A-213)

・ シーリング ・ ガasket ()

・ 図示 (図面番号:)
・ 建具の製造所の仕様による

ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)
金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)

化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)
工法 ・ 図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

建具材の含水率 ・ A種 ・ B種 ・ C種
フラッシュ戸、戸ぶすまの合板
種類、材面の品質 ・ 図示(図面番号: A-119・A-213)

フラッシュ戸の形状
表面板の厚さ ・ 標準仕様書[表16.7.6] ・ ()
引戸の召合わせ ・ いんろう付き 図示 (図面番号:)
かまち戸 かまち、鏡板の樹種 ・ 図示(図面番号:)
ふすま 種別 ・ I型 ・ II型
上張の種類 ・ 図示(図面番号:)
緑の仕上げ ・ 図示(図面番号:)

7網戸
(5.2.3)(5)

8樹脂製建具
(5.3.2)～(5.3.5)
(表5.3.1)～
(表5.3.3)

9鋼製建具
(5.4.2)

(5.4.4)

10鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(2)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.6.3)(1)
(5.2.3)(1)

11ステンレス製
建具
(5.6.2)
(5.4.2)

(5.6.3)

(5.6.4)

(5.6.5)

12建具用金物
(5.7.2)

(5.7.4)

13～17省略

18板ガラス
(5.13.2)(1)
(5.13.4)

19ガラス留め材
(5.13.2)(2)

20ガラス溝の寸
法、形状等
(5.13.3)

21ガラスブロッ
ク積み
(5.13.5)

22木製建具
(16.7.2)
(16.7.3)
(表16.7.1)
(表16.7.6)
(表16.7.7)

(表16.7.3)
(16.7.4)

6内
装
改
修
工
事

1一般事項
(6.1.3)(2)

(6.1.3)(3)

(6.1.3)(5)

2既存床撤去、下
地補修
(6.2.2)(1)(7)

(6.2.2)(1)(4)

(6.2.2)(3)

3既存壁撤去、下
地補修
(6.3.2)

4木下地等
(6.5.1)(3)
(表6.5.1)
(表6.5.2)
(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.3)

(6.5.2)(2)(7)

(6.5.2)(2)(4)
(6.5.2)(2)(7)
(表6.5.4)

(6.5.2)(3)(7)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改 修 範 囲
・ 天井	・ 図示 (図面番号: A-107・207)
・ 壁	・ 図示 (図面番号: A-111・112・115・116・209・210)
・ 床	・ 図示 (図面番号: A-106・205)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・ 図示 (図面番号: A-107・111・112・115・116・207・209・210) ・ ()

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・ 図示 (図面番号: A-107・111・112・115・116・207・209・210) ・ ()

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・ 行う ・ 行わない

合成樹脂塗り床材の除去等
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
・ 図示 (図面番号:)
・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・ ()

表面仕上げ
機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種
手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種

木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)

部材名称	種 別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

製材
「製材の日本森林規格」による製材(三重県産材を使用する)

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
構造用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: A-121、A-215)	・ ()	・ (18%以下)	・ ()	・ (特一、化粧)
下地用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ (15%以下)	・ ()	・ (特一)
造作用 針葉樹製材	・ 図示 (図面番号: A-101、A-201)	・ ()	・ (15%以下)	・ ()	・ (上小、選平上小)

「製材の日本森林規格」以外の製材
樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:)
造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()<

<div><div>(6.5.2)(3)(4)</div><div>「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質・図示（図面番号： 含水率・15%以下・（）</div></div>	<div><div>(6.5.2)(4)(7)</div><div>造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 部位品名・寸法表面の品質防虫処理 造作用単板積層材・図示（図面番号：）・（）・（）</div></div>	<div><div>(6.5.2)(4)(4)</div><div>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理・図示（図面番号： 含水率・14%以下・（）</div></div>	<div><div>(6.5.2)(5)</div><div>「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法・図示（図面番号：）</div></div>	<div><div>(6.5.2)(6)</div><div>合板等 品名（品目）樹種名接着の程度等級板面の品質防虫処理等厚さ 耐水合板ラワン耐水合板12</div></div>	<div><div>(6.5.3)(1)</div><div>接合具等 造作材化粧面の釘打ち・隠し釘打ち・（）</div></div>	<div><div>(6.5.3)(2)</div><div>諸金物 形状、寸法及び材質・図示（図面番号：）</div></div>	<div><div>(6.5.5)(1)</div><div>防腐、防蟻処理 適用部位図示（図面番号：） 保存処理性能区分（） 薬剤の塗布等の処理方法（） 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤・適用する（・薬剤の種類（）・適用材（）） ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（）</div></div>	<div><div>(6.5.5)(2)</div><div>防虫処理 ・図示（図面番号：）</div></div>	<div><div>5</div><div>軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)</div><div>野縁等の種類 ・屋内・19形・（） ・屋外・25形・（）</div><div>形式及び寸法 ・屋外・図示（図面番号：） ・耐震天井・図示（図面番号：） ・ふところ≧1.5m・改修標準仕様書(6.6.4)(8)・図示（図面番号：）</div></div>	<div><div>(6.6.4)</div><div>既存埋込みインサート ・使用する・使用しない（※使用する場合は、確認試験を行う） 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・行う（図示（図面番号：）） ・確認試験の箇所数（箇所） 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・図示（図面番号：）</div></div>	<div><div>6</div><div>軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</div><div>スタッド、ランナー等の種類 ・図示（図面番号：）</div></div>	<div><div>7</div><div>ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(1) (6.8.2)(2)</div><div>材料 ・ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】 種類の記号色柄厚さ備考 F S無地2.0mm</div><div>○ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】 種類の記号色柄寸法厚さ備考 K T2.0mm</div></div>	<div><div>(6.8.2)(3)(7)(4)</div><div>・帯電防止床シート又は床タイル 種類性能寸法厚さ備考</div></div>	<div><div>(6.8.2)(3)(9)</div><div>・視覚障害者用床タイル 種類形状備考 ビニル床タイル300×300×7.0mm</div></div>	<div><div>(6.8.2)(3)(1)</div><div>・耐動荷重性床シート 種類厚さ備考</div></div>	<div><div>(6.8.2)(3)(9)</div><div>・防滑性床シート又は床タイル 種類寸法厚さ備考</div></div>	<div><div>(6.8.2)(5)</div><div>・ゴム床タイル 種類色柄寸法厚さ備考</div></div>	<div><div>(6.8.3)(1)</div><div>工法 下地・モルタル塗り・セルフレベリング材塗り・木下地・その他（）</div></div>	<div><div>(6.8.3)(2)(9)</div><div>ビニル床シート張り 熱溶接工法・適用する・適用しない ・織じゅうたん 種類糸の種類パイルの形状帯電性品質の程度色柄 ・A種・羊毛・カットパイル・人体帯電圧 ・B種・紡糸・ループパイル・3KV以下・（） ・C種・（紡糸）・カット、ループ併用・（） 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様） ・タフテッドカーペット パイル長(mm)帯電性工法品質の程度 ・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用・（） ・ニードルパンチカーペット 厚さ(mm)帯電性備考 ・人体帯電圧 3KV以下・（） ・タイルカーペット 種類パイルの形状寸法(mm)総厚さ(mm)品質の程度 ・カットパイル・500×500・6.5 ・ループパイル・（）・（） ・（） 下敷き材・第2種第2号、厚さ8mm・（） 見切り、押え金物・適用する（材質、種類及び形状・図示（図面番号：）） 織じゅうたんの接合法 ・ヒートボンド工法・（） タイルカーペットの敷き方 平場市松敷き・模様流し・（） 階段部分市松敷き・模様流し・（） 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・平滑仕上げ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・薄膜流しのべ仕上げ（・平滑・防滑） ・厚膜流しのべ仕上げ（・平滑・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（・平滑・防滑） ・薄膜型塗床仕上げ（・平滑） ・釘留め工法 材料種類樹種 ・フローリングボード（根張用） ・複合フローリング（根張用） ・A種・B種・C種 防湿処理・図示（図面番号：） ・接着工法 材種樹種厚さ大きさ ・フローリングボード（直張用） ・フローリングブロック（直張用） ・複合フローリング（直張用） ・A種・B種・C種 緩衝材・合成樹脂発泡シート・図示（図面番号：） 塗装 ・ウレタン樹脂ワニス塗り（1液形、B種） ・オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・生地そのままワックス塗り ・（） 種類・A種・B種・C種・D種 ・D種の畳床K T（・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・K・N）</div></div>	<div><div>(6.11.6)(3)</div><div>11畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)</div><div>12せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)</div><div>13壁紙張り (6.14.2)</div><div>14モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)</div></div>	<div><div>(6.16.3)(2)</div><div>15タイル張り (6.16.2) (6.16.3)</div><div>(6.16.3)(2)</div><div>16セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)</div><div>17断熱材 (9.5.2)</div><div>(9.5.3)</div><div>19軸組金物</div></div>	<div><div>伸縮調整目地 位置・図示（図面番号：）</div><div>タイルの種類 施工箇所形状寸法耐滑り性標準・特注色の別耐凍害性の有無 ・段鼻垂れ付き100角ノンスリップ標準色有り</div><div>試験張り・行う○行わない 見本焼き・行う○行わない 既調査モルタル○使用できる・使用できない ・せっこう系・セメント系 塗厚（）mm</div><div>断熱材打込み工法 種類種別厚さ（mm）施工箇所 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム ○押出法ポリスチレンフォーム3種bA25mm ・A種硬質ウレタンフォーム ・フェノールフォーム</div><div>断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム） 種類厚さ[mm]施工箇所 ・A種1 ・A種1H・（） ・（） 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（） ○グラスウール厚100（24-38）</div><div>○軸組に使用する金物はZマーク表示金物とする</div></div>	<div><div>7</div><div>塗装改修工事</div><div>1材料 (7.1.3)</div><div>2下地調整 (7.2.1～7.2.7) (表7.2.1)～ (表7.2.7)</div><div>3錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1)～ (表7.3.4)</div><div>4合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3～7.4.5) (表7.4.1)～ (表7.4.3)</div><div>5クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)</div><div>6アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)</div><div>7耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)～ (7.8.4) (表7.8.1)～ (表7.8.3)</div><div>8つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G) (7.9.2)～(7.9.5) (表7.9.1)～ (表7.9.4)</div></div>	<div><div>・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：）</div><div>既存塗膜の除去範囲（塗り替えてR B種の場合） ・図示（図面番号：）</div><div>種別 下地種別ひび割れ部の補修 ○木部○RA種・RB種・RC種 ・鉄鋼面・RA種・RB種・RC種 ・亜鉛めっき鋼面・RA種・RB種・RC種 ・モルタル、プラスター面・RA種・RB種・RC種・行う ・コンクリート、ALCパネル面・RA種・RB種・RC種・行う ○コンクリート、押出成形セメント版面・RA種○RB種・RC種○行う ○せっこうボード、その他ボード面○RA種○RB種・RC種</div><div>錆止め塗料種別 鉄鋼面・A種・B種 亜鉛めっき鋼面・A種・B種・C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面・A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面・A種・B種・C種</div><div>塗料種別・1種・（） 種別 下地種別 ○木部・A種○B種・C種 ・鉄鋼面・A種・B種・C種 ・亜鉛めっき鋼面・A種・B種・C種</div><div>種別 木部・A種○B種</div><div>種別 A種・B種</div><div>上塗り等級 ・1級（フッ素系）○2級（シリコン系）・3級（ポリウレタン系） 下地種別 鉄鋼面・A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面・A種・B種・C種 コンクリート面及び 押出成形セメント版面○B-1種・B-2種 ・C-1種・C-2種</div><div>種別 下地種別 コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面 木部（屋内） 鉄鋼面（屋内） 亜鉛めっき鋼面（屋内） ・A種・B種・C種 ・A種・B種・C種 ・A種・B種・C種</div></div>	<div><div>工事名称：玉城町中央公民館改修工事</div><div>図面名称：工事特記仕様書4（改修）SCALE N/S</div></div>	<div><div>A-04</div></div>
--	--	---	--	---	---	--	---	--	--	---	--	--	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	---	---	--	----------------------------

[illegible]

建 築 概 要

工 事 名 称： 玉 城 町 中 央 公 民 館 改 修 工 事				建 築 主		住 所：三重県度会郡玉城町田丸114-2				着 工		令和 年 月 日						
						氏名：玉城町長 辻村 修一				竣 工		令和 年 月 日						
建 築 地： 三 重 県 度 会 郡 玉 城 町 下 田 辺 地 内				工 事 種 別 増 改 修 工 事		用 途 公 民 館		用途地域 都市計画区域内(区域区分未設定) 用途地域：指定ナシ		防火指定 指定ナシ		その他の区域、地域、地区						
												法22条地域内						
敷 地 面 積				6325.00 m ² ／1913.31 坪		道 路：***				敷地状況：平坦地								
規 模			申 請 建 物		m ²		既 設 建 物		m ²		合 計		建 ペイ 率 %		容 積 率 %		申請以外の部分	
地下		一 階	建 築 面 積		17.08 m ² ／ 5.17 坪		2117.24 m ² ／ 658.62 坪		2134.32 m ²		645.63 坪		33.75 %／60 %				－	
地上		2 階	延 面 積		24.08 m ² ／ 7.28 坪		2388.38 m ² ／ 722.48 坪		2412.46 m ²		729.77 坪				37.77 %／200 %		－	
塔屋		一 階	施工床面積		--- m ² ／ --- 坪		--- m ² ／ --- 坪		*** m ²		*** 坪		※ 既設 最高の高さ 12.30m					

面 積 表

床 面 積	階 別	申 請	既 設	階 高	天 井 高	横 架 材 間 の 垂 直 距 離		そ の 他
	1 階	12.04	879.07		2600			
	2 階	12.04	272.90		2600			
	合 計	24.08	1151.97					
最高の高さ	設計GL＋8330 mm 設計GL＋10000 mm（既設）		軒 高	設計GL＋7930 mm 設計GL＋9500 mm（既設）		床 高	設計GL＋150 mm 設計GL＋500 mm（既設）	
構 造	鉄骨造		基礎形式	R C 造／独立基礎		地 盤	現況地盤	
特 記 事 項	＊ 本工事は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修建築工事標準仕様書」二準ズル							
	＊ 既設建物の現況（下地含む）及び寸法等を確認の上、施工すること							

電 気 設 備	電 灯 コンセント（配管・配線）
	ＴＶ（配管・配線）
換 気 設 備	換気 ＊居室に0.5回/h以上の全般換気ができること
消 防 設 備	住宅用火災警報器（煙式、光電式、NSマーク付）
空 調 設 備	空調機器
給排水衛生設備	給排水通気 衛生陶器
	＊給水量水圧、給湯温度の減少を起こさぬこと
	＊排水放流先は、施工前に再度放流先の確認すること
ガス設備・灯油設備	－ － －
浄 化 槽 設 備	既設 公共下水

共 通 事 項

建 築 材 料	・製造名、製品名、施工業者名が特記されたもの以外を使用する場合は、 監督員の承諾を受け同等以上のものを使用することができる。
発 生 材 の 処 理	・発生材の処理は、関係法令等に従い適切に処理をする。 上記の処理後、処理状況を監督員に報告する。（搬出調書等提出）
設 備 工 事 と の 取 り 合 い	・図示した床、天井、及び壁の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 施工前に既設配管等を確認し、監督員の承認を受ける事。
別 契 約 の 関 連 工 事	・当該工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。

特 記 事 項

※天井裏等(天井裏、小屋裏、床裏、壁、物置その他これらに類する建築物の部分)はF☆☆☆
以上が規制対象外の建材のものを使用する（施行令第6条の6第1項1号イ(3)等による）
※ビニールクロス、接着剤共F☆☆☆☆を使用、その他の内装仕上材（扉・造付家具等）は全て 全てF☆☆☆以上が規制対象外の建材のものを使用する
※各居室の給排気の通路となる場合間仕切り扉は、10mm程度のアンダーカットをもうけるか、 ガラリ付扉にするなど換気のための通路を確保する
※仕上げ仕様は色見本、サンプルを監督員に提出後確認の上決定とする
※壁、天井下地の石膏ブラスターボードは突き付け目地処理とする
※天井のケイ酸カルシウム板貼はステンレスビスを使用とする
※廊下出隅部壁は、塩ビコーナー材を使用する

外 部 仕 上 表

箇 所	改 修 前	改 修 後
屋 根 (A棟、メインロビー)	塩ビシート防水（A棟ホール屋根） 既設のママ 非加硫合成ゴムシート防水（メインロビー屋根）シルバー仕上げ 撤去、処分 A L C 版 t-100下地 既設のママ	塩ビシート防水（A棟ホール屋根 機械固定工法）新設 ウレタン塗膜防水 X1、X2（軽歩行仕上）シルバー仕上げ 新設 A L C 版 t-100下地 既設のママ
屋 根 (B棟、身障者便所、多目的ホール階段室)	非加硫合成ゴムシート防水（非歩行用）シルバー仕上げ 撤去、処分 モルタル下地 既設のママ	ウレタン塗膜防水 X1、X2（軽歩行仕上）シルバー仕上げ 新設 モルタル下地 既設のママ
外 壁 外 壁（外部階段）	二丁掛タイル張り（フランス張り）既設のママ モルタル下地 合成樹脂系吹付タイル 既設のママ	二丁掛タイル張り（フランス張り） 高圧水洗いの上 クラック、剥離部、浮き分改修（改修方法は立面図に依る） モルタル下地 合成樹脂系吹付タイル 高圧水洗いの上防水形複層塗材E（改修方法は立面図に依る）新設
吹抜部分	モルタル下地 合成樹脂系吹付タイル 既設のママ	モルタル下地 合成樹脂系吹付タイル 高圧水洗いの上防水形複層塗材E（改修方法は立面図に依る）新設
柱 型	モルタル下地 合成樹脂系吹付タイル 既設のママ	モルタル下地 合成樹脂系吹付タイル 高圧水洗いの上防水形複層塗材E（改修方法は立面図に依る）新設
軒 裏	合板型枠打放し補修の上 合成樹脂系吹付タイル 既設のママ	合板型枠打放し 合成樹脂系吹付タイル 高圧水洗いの上防水形複層塗材E（改修方法は立面図に依る）新設
樋	軒樋 150×120 堅樋 塩ビ75φVP デンデン リットル=1,000内外 撤去、処分	SUS樋 交換、新設
庇		アルフィンハシW2050xD600（㈱共和）
根 回 り	モルタル金コテ押エ 撤去、処分	モルタル金コテ押エ
テラス・ウッドデッキ	磁器質タイル貼 300×300 無釉 既設のママ	サンルーム、南東側ウッドデッキ、クリアフェンス：ラステラ（三協立山㈱）、天井収納物干し：電動お姫さま(Panasonic)、散水栓（既設）：蛇口交換、移設 北側ウッドデッキ：ファインデッキ（四国化成工業㈱）、北側目隠しフェンス：ニューアイシャインG H1800（三協立山㈱）
ベ ラ ン ダ	AR防水ND工法 トップコート仕上 既設のママ	床：ウレタン塗膜防水 X1、X2（軽歩行仕上）新設 上裏：ケイ酸カルシウム板 t-5 EP仕上 手摺壁：ケイ酸カルシウム板 t-5の上、エリカストーン（SK(株)）吹付、手摺フェンス：メイクファード ルーバー格子タイプ※南R部分はホリカホネットタイプ（三協立山㈱）
ポ ー チ	クリンカータイル貼 200×100 既設のママ	既設のママ、門扉（庭側）：撤去新設
植 込	サツキ、ツツジ、サンゴジュ 一部撤去、処分	手直し
建 具	アルミサッシュ 一部撤去処分（建具表等による）	アルミサッシ（建具表等による）
他		

			設計年月日	承認	検 図	P & D	工 事 名 称：玉 城 町 中 央 公 民 館 改 修 工 事	A-06
			2021.03.18					
			訂正年月日					
			2021.03.26				図 面 名 称：建築概要、外部仕上表 SCALE N/S	

	室 名		床	T	巾 木	H	T	腰	H	T	壁	T	天 井	H	T	室名札	カーテンBOX	備 考（設備その他）
1 階	風 除 玄 関	改 修 前	伊那フローアー（210） 上り框,テラゾーブロック		テラゾーブロック	150		▷			吹付タイル,カット仕上（多色） 清掃		ミネラートン（ﾌｫﾙﾏ）張り 撤去、処分	2,400				沓拭きマット（ステンレス枠、エンピマット、 水抜きφ40目皿付1,500x600）下駄箱 以上全て既設のママ
		改 修 後	※ 既設のママ		※ 既設のママ						モルタル下地 複層塗材E 新設		ブラスターボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12、15 新設					
	メインロビー ラウンジ	改 修 前	アロンタフレート2.8m/m 撤去、処分 及 ループカーベット 撤去、処分 モルタル下地 既設のママ		テラゾーブロック	150 180					吹付タイル,カット仕上（多色） 清掃 一部 国代タイルデザイン張り		ミネラートン（ｽﾄﾗｲﾌﾞ）張り 撤去、処分	6,450				框、腰壁既設のママ
		改 修 後	モルタル下地 既設のママ 長尺ビニル床シート t-2.3 新設 及 タイルカーベット6.5m/m貼り 新設		※ 既設のママ						モルタル下地 テーバーボード下地 既設のママ 複層塗材E 新設 一部 国代タイルデザイン張り 既設のママ		ブラスターボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12、15 新設					
	多目的ホール ステージ	改 修 前	天龍プレバーク スーパーフローリング27m/m		桧、OP	150		準不燃ビニールクロス貼り 一部吹付タイル仕上 テーバーボード12m/m 一部ヘーベルデザインパネル			準不燃ビニールクロス貼り		ミネラートン（照明器具廻り）撤去、処分 （平均）	6,817		○		折畳椅子収納台車（NSトラック2m）6台 床下改メロ（アルミ枠）
		改 修 後	※ 既設のママ		※ 既設のママ			※ 既設のママ			モルタル下地 ※ 既設のママ		ブラスターボード9m/m（照明器具廻り）撤去、処分 岩綿吸音板 t-12、15（照明器具廻り）新設 （平均）	6,817				
	ステージ 控室	改 修 前	スタイロ畳		畳寄せ（桧）			▷			準不燃ビニールクロス貼り		ブラスターボード9.5m/m下地 新設 準不燃ビニールクロス貼り	2,400		○		
		改 修 後									モルタル及びテーバーボード12m/m下地		ブラスターボード9m/m下地					
	ステージ 便所	改 修 前	磁器質モザイクタイル張（25x25）					▷			半磁器質100角タイル張り		準不燃ビニールクロス貼り	2,400		○		兼用便器、換気扇、手洗器、化粧台 （手洗場、壁、天井は便所に準ずる）
		改 修 後											ブラスターボード9m/m下地					
	身障者便所	改 修 前	ポリコンモザイクタイル張 撤去、処分 モルタル下地 撤去、処分					▷			半磁器質100角タイル張り 撤去、処分 モルタル下地 撤去、処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分 ブラスターボード9m/m下地 撤去、処分	2,500		○		身障者用便器、洗面器、化粧棚 ガラリ付トップライト（600 x 600） ステンレス手摺（市販品）以上全て既設のママ
	倉庫	改 修 後	長尺ビニル床シート t-2.3 新設 モルタル下地 新設					▷			AEP仕上げ 新設 モルタル下地 新設		化粧ブラスターボード9.5m/m 新設					
	婦人教養室	改 修 前	スタイロ畳敷き（縁付）撤去、処分		畳寄せ（桧）既設のママ			▷			ジラクサテン吹付 既設のママ		杉柵 撤去、処分	2,650		○		床、脇床、押入、框 以上全て既設のママ
		改 修 後	スタイロ畳敷き（縁付）新設					▷			モルタル及びテーバーボード12m/m下地 珪藻土塗り 新設		ブラスタープリントボード9m/m 撤去、処分 杉柵 新設					
	婦人教養室 広 縁	改 修 前	WPC縁甲板張り15m/m 撤去、処分		桧 既設のママ	40		▷			ジラクサテン吹付 既設のママ		ブラスタープリントボード9.5m/m 新設 杉柵 撤去、処分	2,500		○		棚 既設のママ
		改 修 後	WPC縁甲板張り15m/m 新設					▷			モルタル及びテーバーボード12m/m下地 珪藻土塗り 新設		ブラスタープリントボード9m/m 撤去、新設 杉柵 新設					
	I T 教室	改 修 前	タイルカーベット6.5m/m貼り 撤去、処分 踏込み ロンリウムSM2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去処分	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ブラスタープリントボード9.5m/m 新設 ミネラートン張り 撤去、処分	3,000		○	○	排水ビッドW150ステンレス製排水蓋 トップライト（1,300x1,300）2ヶ所、戸棚、地袋 引分黒板（4,500x1,200）以上全て既設のママ
		改 修 後	タイルカーベット6.5m/m貼り 新設 踏込み 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			モルタル下地 既設のママ 準不燃ビニールクロス貼り 新設		ブラスターボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12 新設					
	管理人室 居間	改 修 前	スタイロ畳敷き 撤去、処分		畳寄せ（米桐）撤去、処分			▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ブラスターボード9.5m/m下地 新設 杉柵 撤去、処分	2,400		○		地袋 撤去処分
	倉庫 1	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設 モルタル下地 新設					▷			木組、テーバーボード12m/m下地 撤去、処分 準不燃ビニールクロス貼り 新設		ブラスタープリントボード9m/m下地 撤去、処分 化粧ブラスターボード9.5m/m 新設	2,600				
		改 修 前	アロンフロア2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			壁撤去部 モルタル下地 新設		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分 （流し前100角タイル張り）撤去、処分	2,400		○		流し台、コンロ台、水切棚、吊戸棚 撤去、処分
	倉庫 1	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設 モルタル下地 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			木組、テーバーボード12m/m下地 撤去、処分 準不燃ビニールクロス貼り		ブラスターボード9m/m下地 撤去、処分 化粧ブラスターボード9.5m/m 新設	2,600				

* 本工事は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「木造建築工事標準仕様書」二準ズル

※P、B t=12.5・・・NM8619
※ジブトーン貼 t=9.5mm・・・NM8613
※ジブトーン貼 t=9.5mm・・・QM9824
※V P・・・NM8585
※E P・・・NM8585
※P、B t=9.5・・・QM9828
※化粧P、B t=12.5・・・NM8614

特記事項

- * 仕上げ仕様は色見本、サンプルを施主に提出後確認の上決定とする（変更は同等品の範囲とする）
- * 天井下地：野縁：40*45 @455、野縁受：45*45 @910、吊木：30*36 @910
- * シナ合板・コンパネ：F☆☆☆以上とする
- * 壁、天井下地は壁掛け、天井吊の備品取付部分及びカーテン・ブラインド・AC取付部分はコンパネ下地とする
- * 壁、天井下地のコンパネ下地箇所は施主確認の上、決定する。（上記以外は追加工事とする）
- * ビニールクロス、接着剤共F☆☆☆☆を使用、その他の内装仕上材（扉・造付家具等）は全てF☆☆☆☆以上か規制対象外の建材のものを使用する
- * 天井裏等（天井裏、小屋裏、床裏、壁、物置その他これらに類する建築物の部分）についてはF☆☆☆☆以上か規制対象外の建材のものを使用する
- * 各居室の給排気の通路となる間仕切り扉は10mm程度のアンダーカットをもうけるか、ガラリ付扉にするなど換気のための通路を確保する

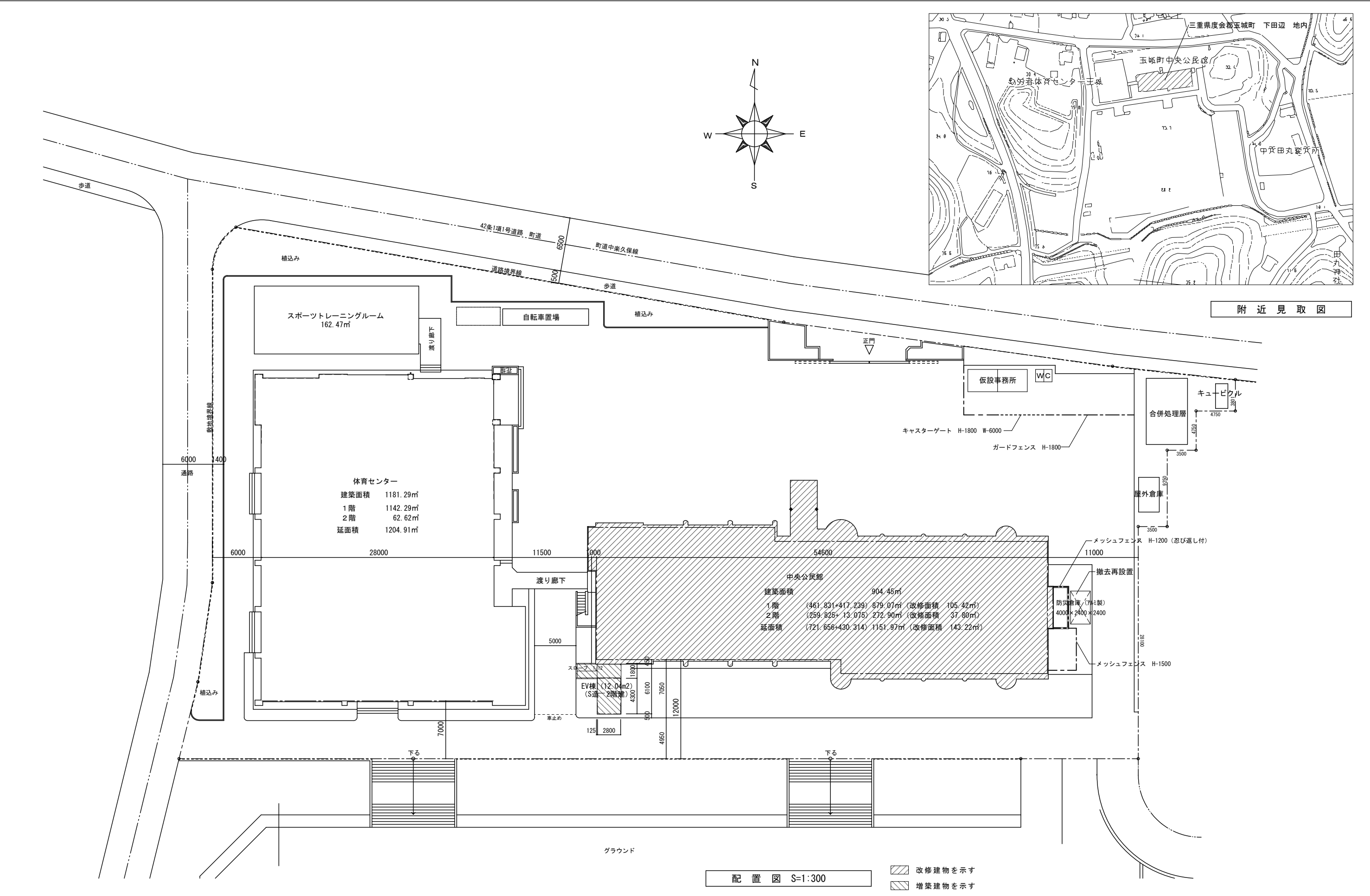
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-07
			訂正年月日				図面名称：内部仕上表 1	
							SCALE N/S	

	室 名		床	T	巾 木	H	T	腰	H	T	壁	T	天 井	H	T	室名札	カーテンBOX	備 考 （ 設 備 そ の 他 ）
1 階	管理 人 室 寝 室	改 修 前	スタイロ畳敷き 撤去、処分		畳寄せ（米褥）撤去、処分			▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		杉 桟 撤去、処分	2,400				押入 撤去、処分
											木組、デーパーボード12m/m下地 撤去、処分		プラスタープリントボード9m/m 撤去、処分					
	倉 庫 1	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 新設		化粧プラスターボード9.5m/m 新設	2,600				
			モルタル下地 新設								壁撤去部 モルタル下地 新設							
	管理 人 室 脱 衣 室	改 修 前	ロンリ्यूム2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			吹付タイル、カット仕上（多色）撤去、処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,400				洗面台 撤去、処分
											モルタル下地 既設のママ		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
	倉 庫 1	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 新設		化粧プラスターボード9.5m/m 新設	2,600				
			モルタル下地 新設								壁撤去部 モルタル下地 新設							
	管理 人 室 浴 室	改 修 前	ポリコンモザイクタイル張 撤去、処分					▷			半磁器質100角タイル張り 撤去、処分		バスリブ 撤去、処分	2,400				ポリバス、シャワーセット、カラーアルミパネル 以上全て撤去、処分
			モルタル（一部 コンクリート）下地 撤去、処分								モルタル下地 撤去、処分							
	倉 庫 1	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 新設		化粧プラスターボード9.5m/m 新設	2,600				
			モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								壁撤去部 モルタル下地 新設							
	管理 人 室 便 所	改 修 前	磁器質モザイクタイル張(25x25) 撤去、処分					▷			半磁器質100角タイル張り 撤去、処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,400				兼用便器、手洗器、換気扇 以上全て撤去、処分
			モルタル（一部 コンクリート）下地 撤去、処分								モルタル下地 撤去、処分		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
	倉 庫 1	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設			▷			準不燃ビニールクロス貼り 新設		化粧プラスターボード9.5m/m 新設	2,600				
			モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								壁撤去部 モルタル下地 新設							
	一 般 脱 衣 室 (男, 女)	改 修 前	ロンリ्यूム2.0m/m（ブレン）貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			吹付タイル、カット仕上（多色）撤去、処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,300	○			洗面カウンター、換気扇 以上全て撤去、処分
			モルタル（一部 コンクリート）下地 撤去、処分								モルタル下地 撤去、処分		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
	多目的便所	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		長尺ビニル床シート 巻上	150		▷			抗菌マシ不燃化粧板 t=3貼り 新設 （耐水プラスターボード12.5m/mGL工法 新設）		化粧プラスターボード9.5m/m 新設					
			モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								LGS下地 耐水プラスターボード12.5m/m下地 新設							
	湯 沸	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100					抗菌マシ不燃化粧板 t=3貼り 新設 （耐水プラスターボード12.5m/mGL工法 新設）		化粧プラスターボード9.5m/m 新設					
			モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								LGS下地 耐水プラスターボード12.5m/m下地 新設							
	一 般 浴 室 (男, 女)	改 修 前	ポリコンモザイクタイル張 撤去、処分					▷			200角デザインタイル張り 撤去、処分		バスリブ 撤去、処分	2,400				浴槽（ステンレス製）、シャワーセット2組 以上全て撤去、処分
			モルタル（一部 コンクリート）下地 撤去、処分								モルタル下地 撤去、処分							
	倉 庫 2	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			AEP仕上げ 新設 （ケイ酸カルシウム板8m/mGL工法 新設）		化粧プラスターボード9.5m/m 新設					
			モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								LGS下地 ケイ酸カルシウム板8m/m下地 新設							
	一 般 手 洗 (男, 女)	改 修 前	ロンリウムSM2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			吹付タイル、カット仕上（多色）撤去、処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,400	○			洗面カウンター 撤去、処分
			モルタル（一部 コンクリート）下地 撤去、処分								モルタル下地 撤去、処分		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
		改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		長尺ビニル床シート 巻上	150		▷			抗菌マシ不燃化粧板 t=3貼り 新設 （耐水プラスターボード12.5m/mGL工法 新設）		化粧プラスターボード9.5m/m 新設					
			モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								耐水プラスターボード12.5m/m下地 新設							
	一 般 便 所 (男, 女)	改 修 前	ポリコンモザイクタイル張(ポリマール) 撤去、処分					▷			200角デザインタイル張り 撤去、処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,500				大便器、小便器、掃除流し、スクリーン 以上全て撤去、処分
			モルタル（一部 コンクリート）下地 撤去、処分								モルタル下地 撤去、処分		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
		改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		長尺ビニル床シート 巻上	150		▷			抗菌マシ不燃化粧板 t=3貼り 新設 （耐水プラスターボード12.5m/mGL工法 新設）		化粧プラスターボード9.5m/m 新設					
			モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								LGS下地 耐水プラスターボード12.5m/m下地 新設							
	事 務 室	改 修 前	ロンリウムSM2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ミネラートン張り 撤去、処分	2,600	○	○		受付カウンター 既設のママ
			モルタル下地 既設のママ								モルタル下地 既設のママ		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
		改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 新設		岩綿吸音板 t=12 新設					
													プラスターボード9.5m/m下地 新設					
	湯 沸 室	改 修 前	ロンリウムSM2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		AEP 撤去、処分	2,300	○			流し台、水切棚、吊戸棚、コンロ台、換気扇 以上全て撤去、処分
			モルタル下地 既設のママ								モルタル下地 既設のママ		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
	事 務 室	改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 新設		岩綿吸音板 t=12 新設					
													プラスターボード9.5m/m下地 新設					
	廊 下	改 修 前	アロンタフシート2.8m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分 セラソーフロック撤去、処分 セラソーフロック既設のママ	100 200 150		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ミネラートン（ｽﾄﾗｲﾌﾞ）張り 撤去、処分	2,600				框、通用口下駄箱（1300x300）掲示板 以上全て既設のママ
			モルタル下地 既設のママ								モルタル下地 既設のママ		プラスターボード9m/m下地 撤去、処分					
		改 修 後	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設 一部御影石 新設	100 200		▷			準不燃ビニールクロス貼り 新設		岩綿吸音板 t=12、15 新設					
											LGS下地 プラスターボード12.5m/m下地 新設		プラスターボード9.5m/m下地 新設					
	E V ホール	新 築	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			AEP仕上げ 新設		化粧プラスターボード9.5m/m 新設	2,700				
			モルタル下地 新設								LGS下地 耐水プラスターボード12.5m/m下地 新設							

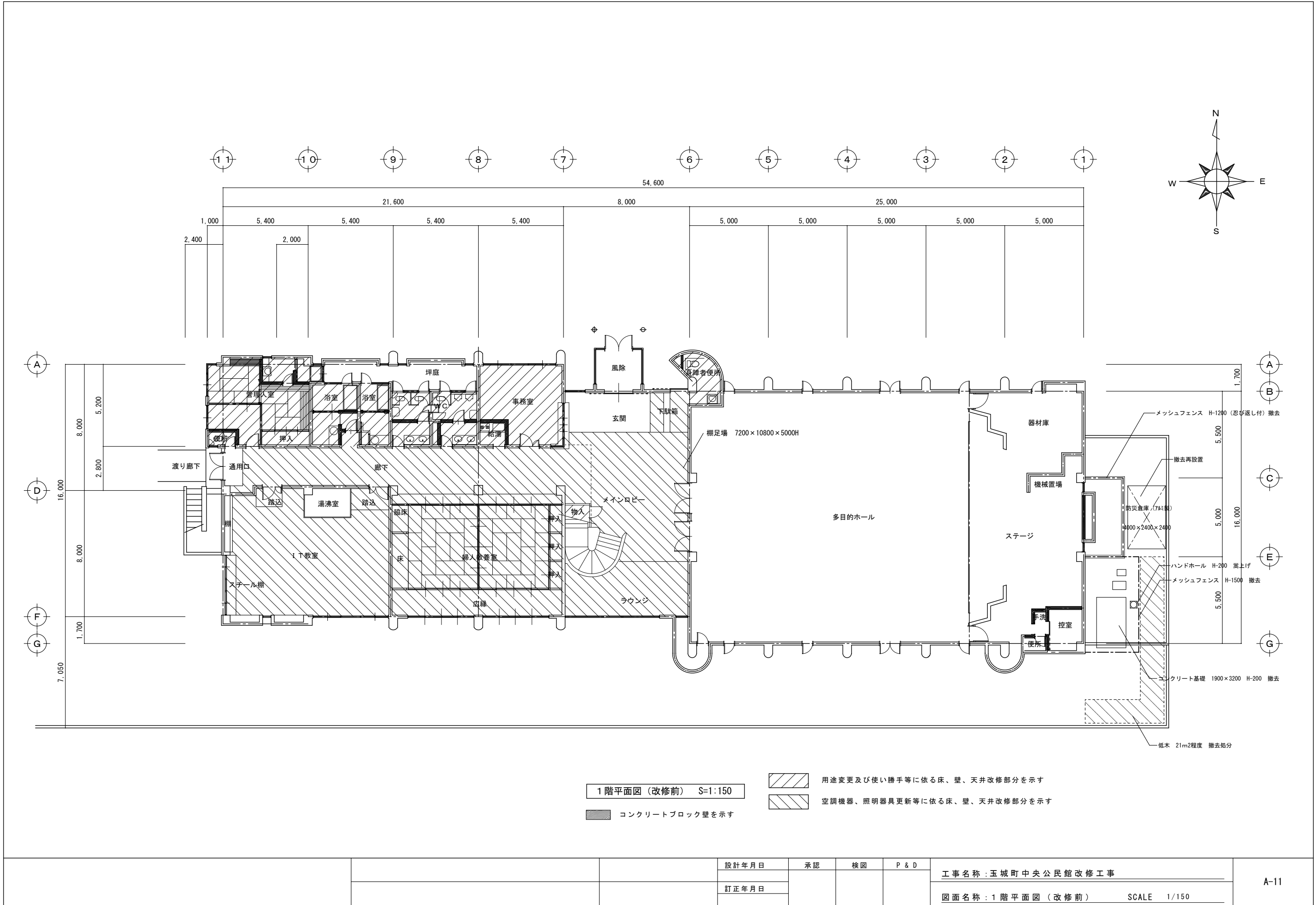
					設計年月日	承認	検 図	P & D	工 事 名 称 : 玉 城 町 中 央 公 民 館 改 修 工 事	A-08
					訂正年月日					
									図 面 名 称 : 内 部 仕 上 表 2	SCALE N/S

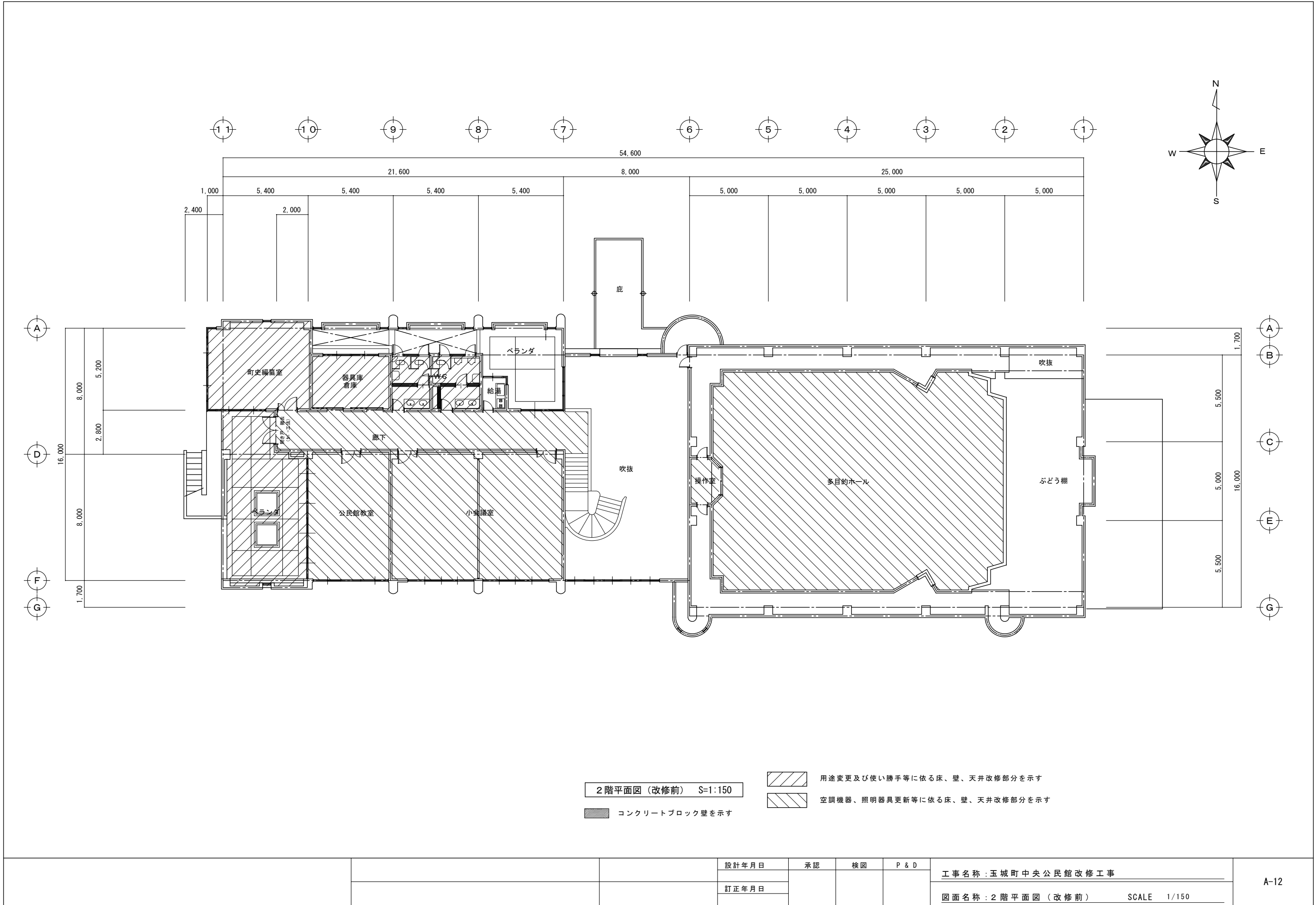
	室 名		床	T	巾 木	H	T	腰	H	T	壁	T	天 井	H	T	室名札	カーテンBOX	備 考 （ 設 備 そ の 他 ）
2 階	多目的ホール 操作室	改修前	ロンリウム2.0m/m貼り 通路部分共		ソフト巾木	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り		ミネラートン張り 撤去、処分	2,400		○		
		改修後	※ 既設のママ		※ 既設のママ			▷			モルタル及びデーパーボード12m/m下地 ※ 既設のママ		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12 新設					
	小会議室	改修前	アロンタフシート2.8m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ミネラートン（ｽﾄﾗｲﾌﾞ）撤去、処分 及び 一部、準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,900 周囲2,600		○	○	引分け黒板（4500x1200）2ヶ所 間仕切スライディングウォール 以上全て既設のママ
		改修後	モルタル下地 既設のママ 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木	100		▷			モルタル下地 既設のママ 準不燃ビニールクロス貼り 新設		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12、15 新設 一部、準不燃ビニールクロス貼り 新設 プasterボード9.5m/m下地 新設					
	公民館教室	改修前	アロンタフシート2.8m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ミネラートン（ｷｬｰﾌﾞ）張り 撤去、処分	2,600		○	○	カウンター、書架（W1800xD300xH1600）3ヶ所 以上全て既設のママ
		改修後	モルタル下地 既設のママ 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木	100		▷			モルタル下地 既設のママ 準不燃ビニールクロス貼り 新設		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12、15 新設					
	教育支援センター （１）	改修前	アロンタフシート2.8m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ミネラートン（ﾌｫﾙﾑ）張り 撤去、処分	2,600		○	○	黒板（3600x900）既設のママ
		改修後	モルタル下地 既設のママ 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木	100		▷			モルタル下地 既設のママ 準不燃ビニールクロス貼り 新設		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12、15 新設					
	器具庫	改修前	ロンリウム2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			モルタルコデ磨き AEP 清掃		AEP 撤去、処分	2,400		○		
		改修後	モルタル下地 既設のママ 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木	100		▷			AEP塗り 新設		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 化粧プasterボード9.5m/m 新設					
	教育支援センター （２）	改修前	ロンリウムSM2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			一部、LGS下地のうえ PB t-12.5 新設							
		改修後	モルタル（一部 コンクリート）下地 既設のママ 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		長尺ビニル床シート 巻上	150		▷			吹付タイル、カット仕上（多色）撤去、処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,400		○		洗面カウンター 以上全て撤去、処分
	手洗 （男、女）	改修前	ロンリウムSM2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	100		▷			モルタル下地 撤去処分 抗菌ﾏﾐﾝ不燃化粧板 t-3貼り 新設 （耐水プasterボード12.5m/mGL工法 新設） 耐水プasterボード12.5m/m下地 新設		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 化粧プasterボード9.5m/m 新設					
		改修後	モルタル（一部 コンクリート）下地 既設のママ 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		長尺ビニル床シート 巻上	150		▷			200角デザインタイル張り 撤去処分		準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分	2,500				大便器、小便器、掃除流し、スクリーン、換気扇 以上全て撤去、処分
	便所 （男、女）	改修前	モルタル（一部 コンクリート）下地 撤去、処分 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		長尺ビニル床シート 巻上	150		▷			モルタル下地 撤去処分 抗菌ﾏﾐﾝ不燃化粧板 t-3貼り 新設 （耐水プasterボード12.5m/mGL工法 新設） 耐水プasterボード12.5m/m下地 新設		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 化粧プasterボード9.5m/m 新設					
		改修後	モルタル（一部 コンクリート）下地 新設								耐水プasterボード12.5m/m下地 新設							
	湯沸室	改修前	ロンリウムSM2.0m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木	75		▷			吹付タイル仕上		AEP	2,300		○		流し台、水切棚、吊戸棚、コンロ台、換気扇
		改修後	モルタル下地 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設								モルタル下地		プasterボード9m/m下地					
	廊下	改修前	アロンタフシート2.8m/m貼り 撤去、処分		ソフト巾木 撤去、処分	75		▷			準不燃ビニールクロス貼り 撤去、処分		ミネラートン（ｽﾄﾗｲﾌﾞ）張り 撤去、処分	2,600				
		改修後	モルタル下地 既設のママ 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			モルタル下地 既設のママ 準不燃ビニールクロス貼り 新設		プasterボード9m/m下地 撤去、処分 岩綿吸音板 t-12、15 新設					
	メイン階段	改修前	アロンタフシート2.8m/m貼り 撤去、処分		吹付タイル仕上 既設のママ			▷			吹付タイル仕上 既設のママ		プasterボード9.5m/m下地 新設 メインロビーにおなじ					ノンスリップ（ステンレスゴム入） 手摺、ステンレス48.6Φ手摺子36Φ@1000内外 以上全て既設のママ
		改修後	モルタル下地（目地わかれ） 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		複層塗材 E 新設			▷			モルタル下地 既設のママ 複層塗材 E 新設		岩綿吸音板 t-12、15 新設					
	多目的ホール 階段	改修前	アロンタフシート2.8m/m貼り 撤去、処分		吹付タイル仕上 既設のママ			▷			吹付タイル仕上 既設のママ		プasterボード9.5m/m下地 新設					
		改修後	モルタル下地（目地わかれ） 長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		複層塗材 E 新設			▷			モルタル下地 既設のママ 複層塗材 E 新設		岩綿吸音板 t-12、15 新設					
	E V ホール	改修前	ロンリウム2.0m/m（プレーン）貼り		モルタル塗り（目地わかれ） AEP			▷			AEP		AEP					ノンスリップ（硬質エポキシ製）
		改修後	モルタル下地 新設								モルタル下地		プasterボード9m/m下地					
	E V ホール	改修前	長尺ビニル床シート2.3m/m貼り 新設		ソフト巾木 新設	100		▷			AEP仕上げ 新設		化粧プasterボード9.5m/m 新設	2,700				
		改修後	モルタル下地 新設								LGS下地 耐水プasterボード12.5m/m下地 新設							

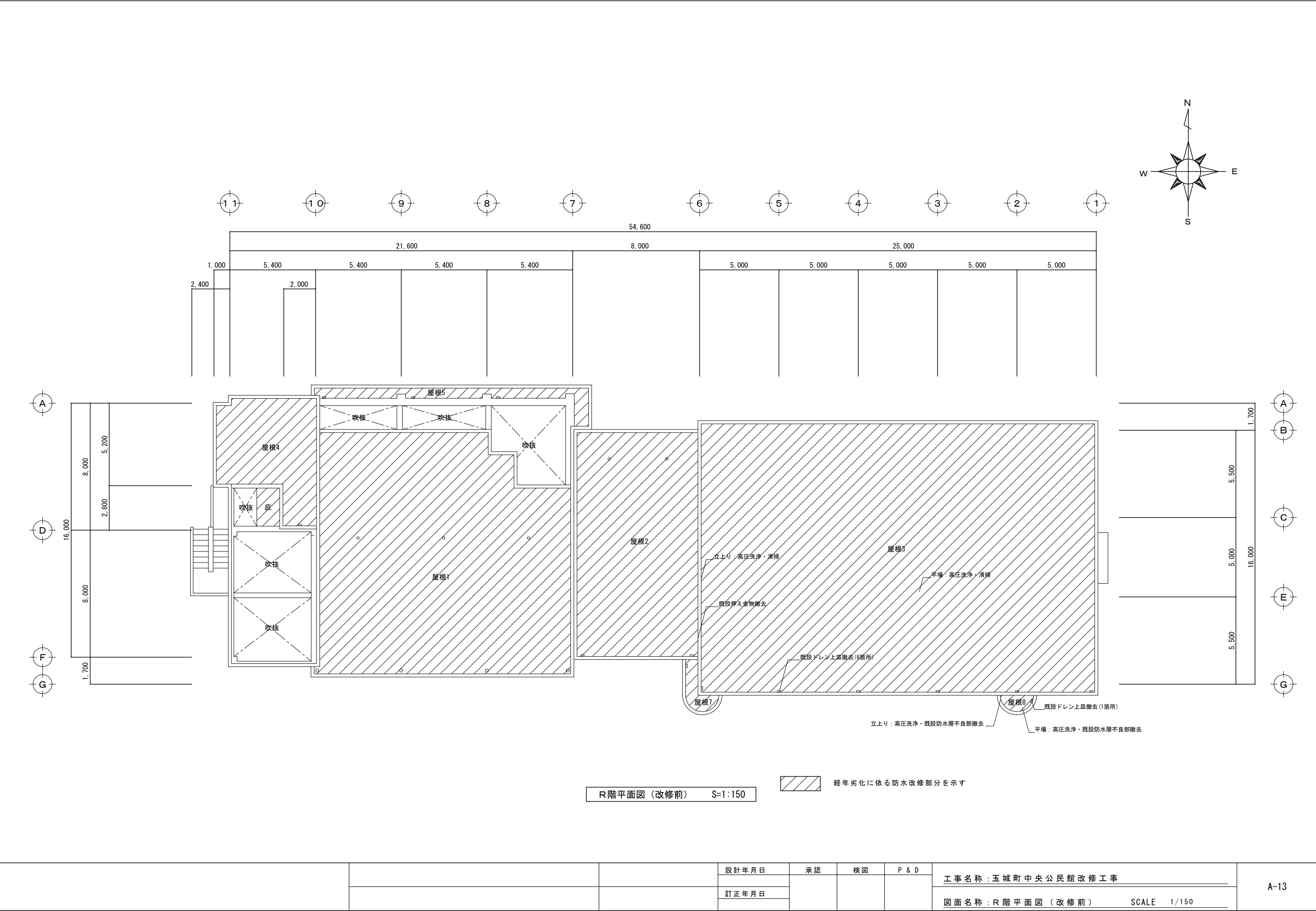
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-09
			訂正年月日					
							図面名称：内部仕上表 3	SCALE N/S

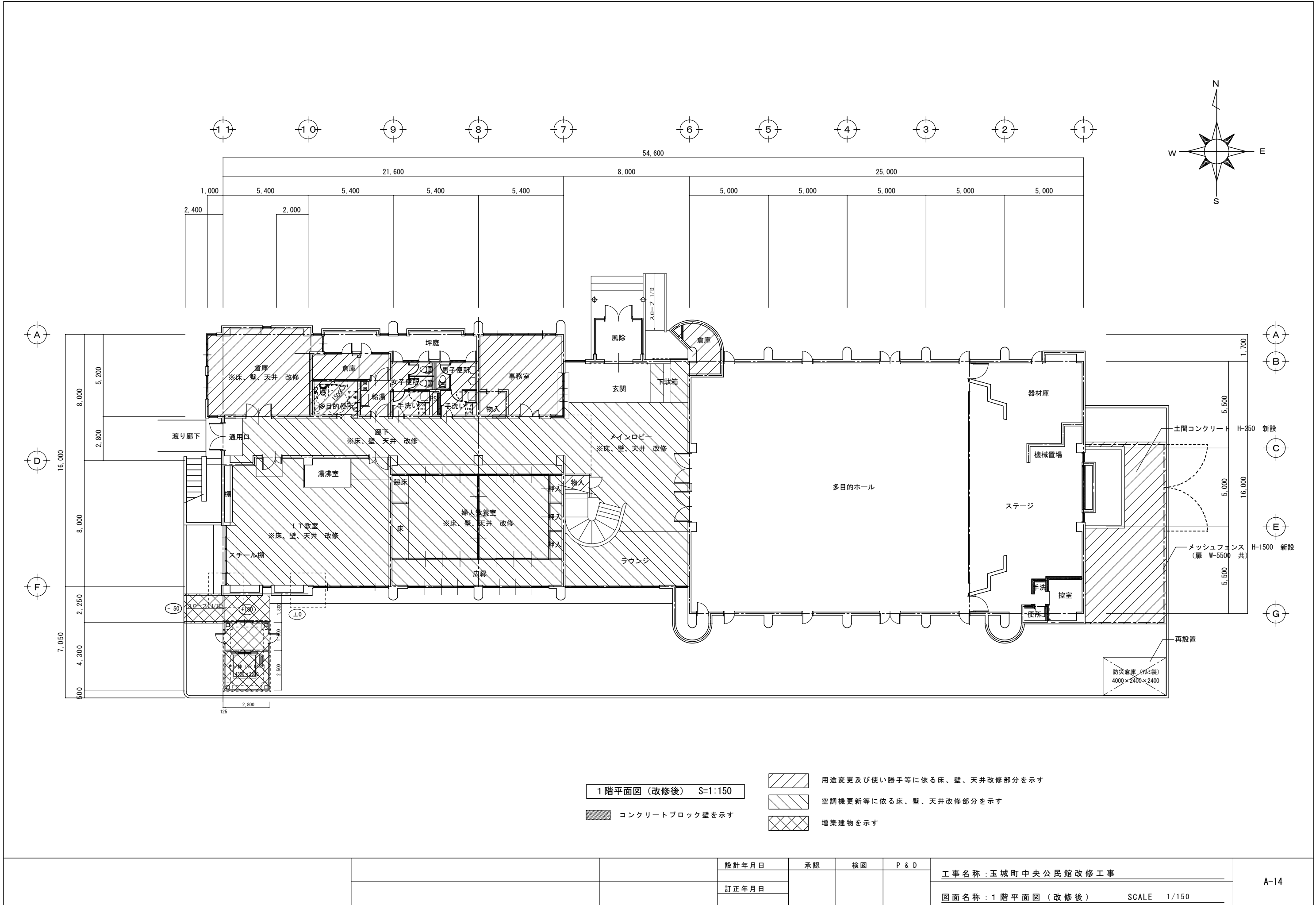


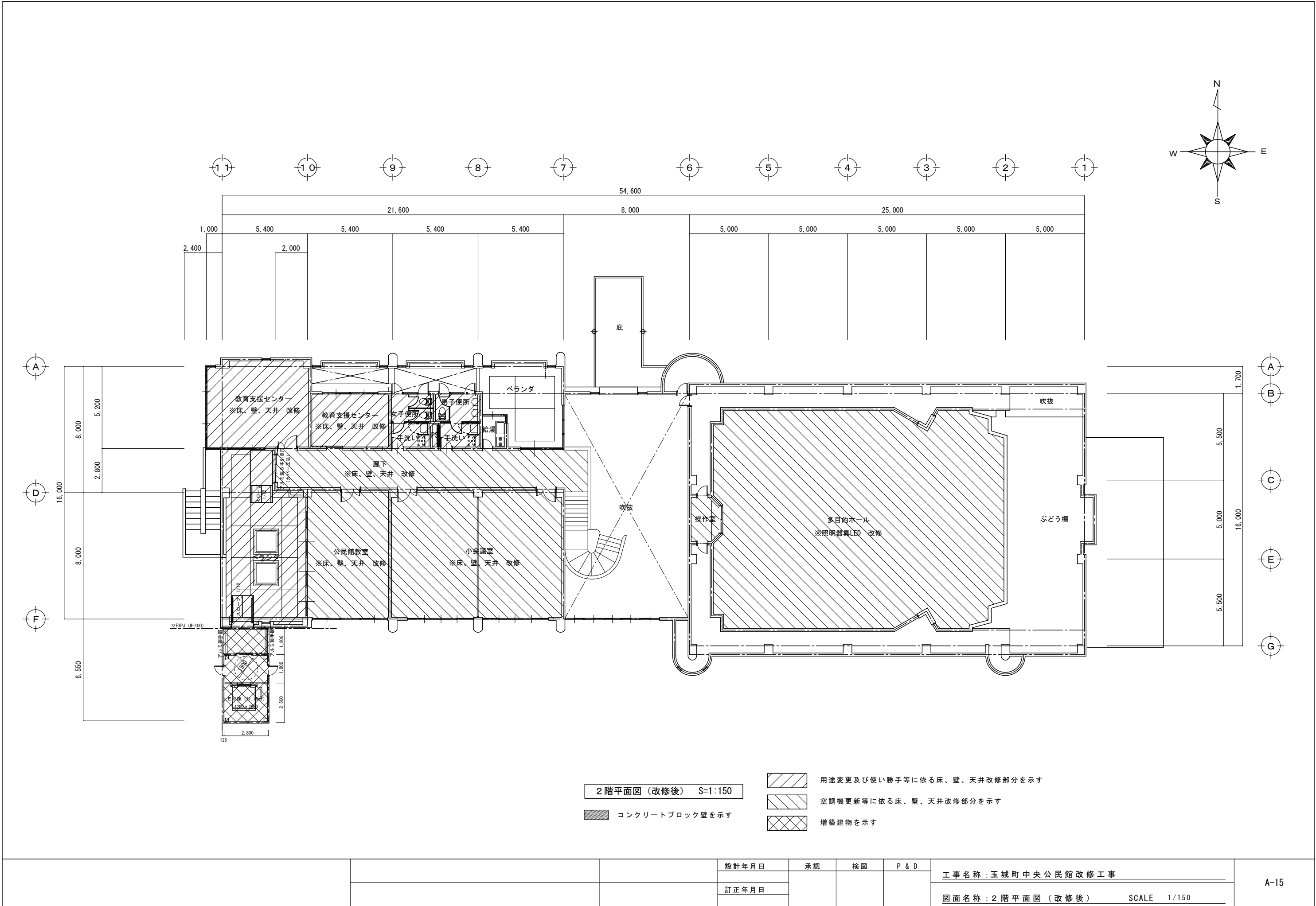
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-10
			訂正年月日				図面名称 : 附近見取図・配置図	
							SCALE 1/300	

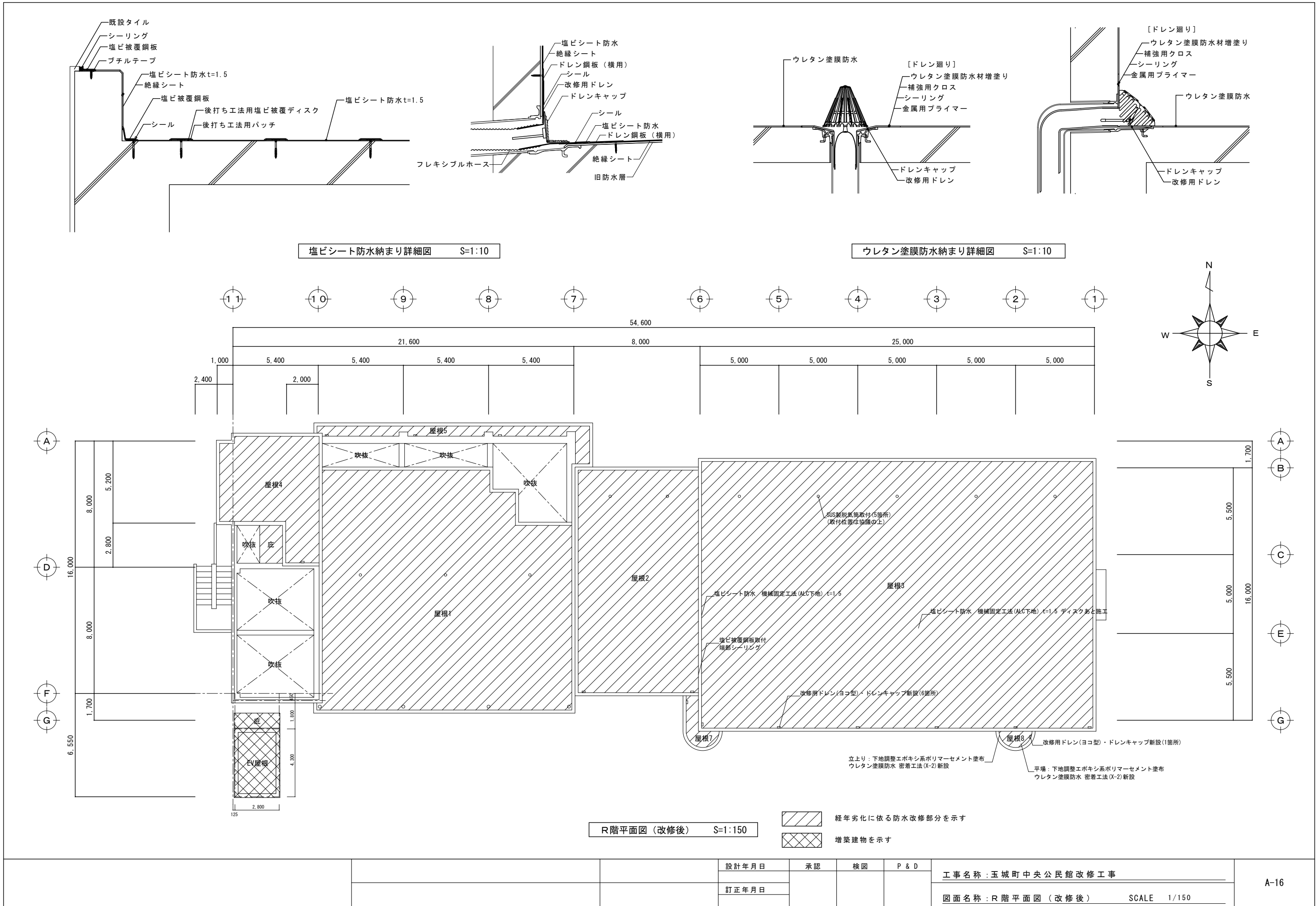






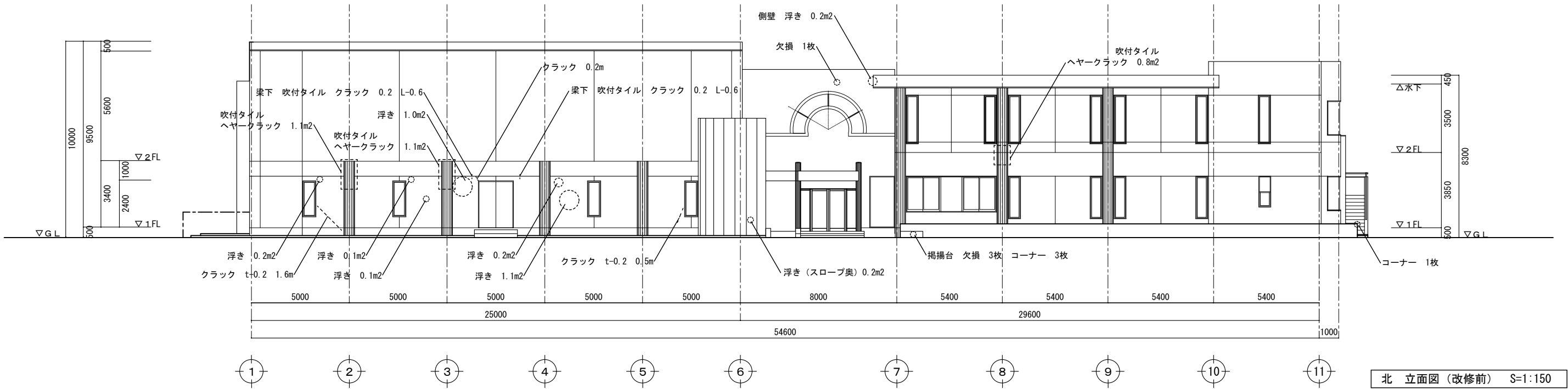
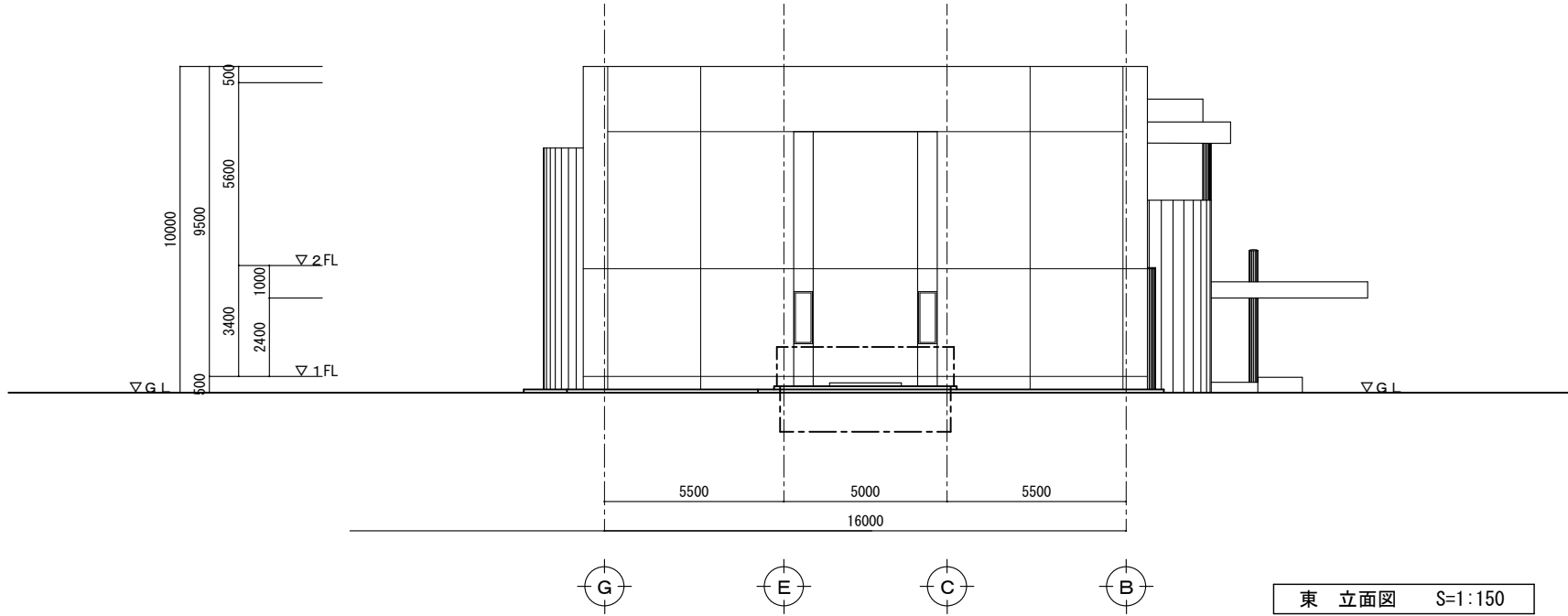






外壁改修工法 凡 例 注意事項：第三社機関による補修数量及び補修計画を提出し、監督員の承諾を得ること。

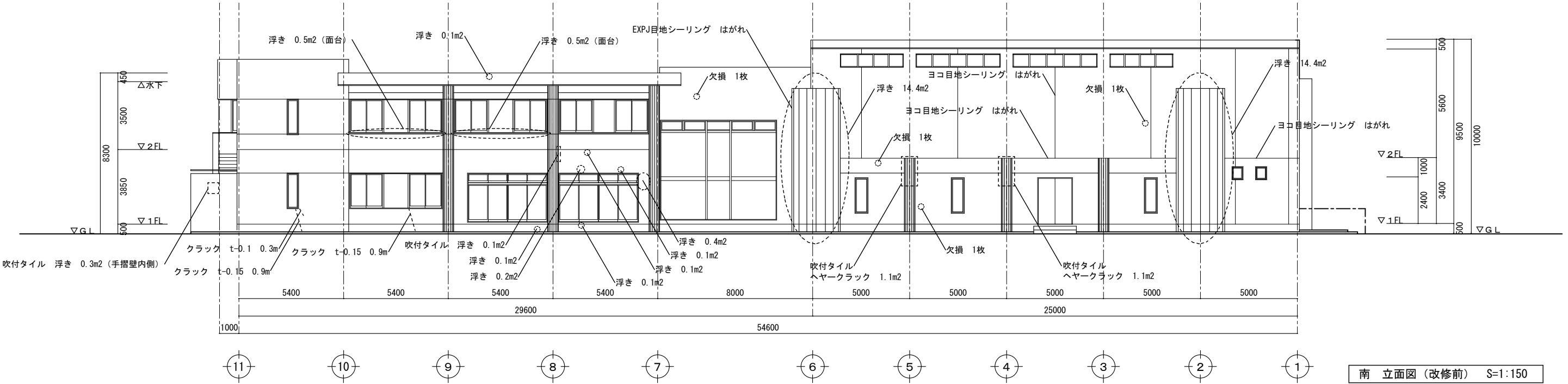
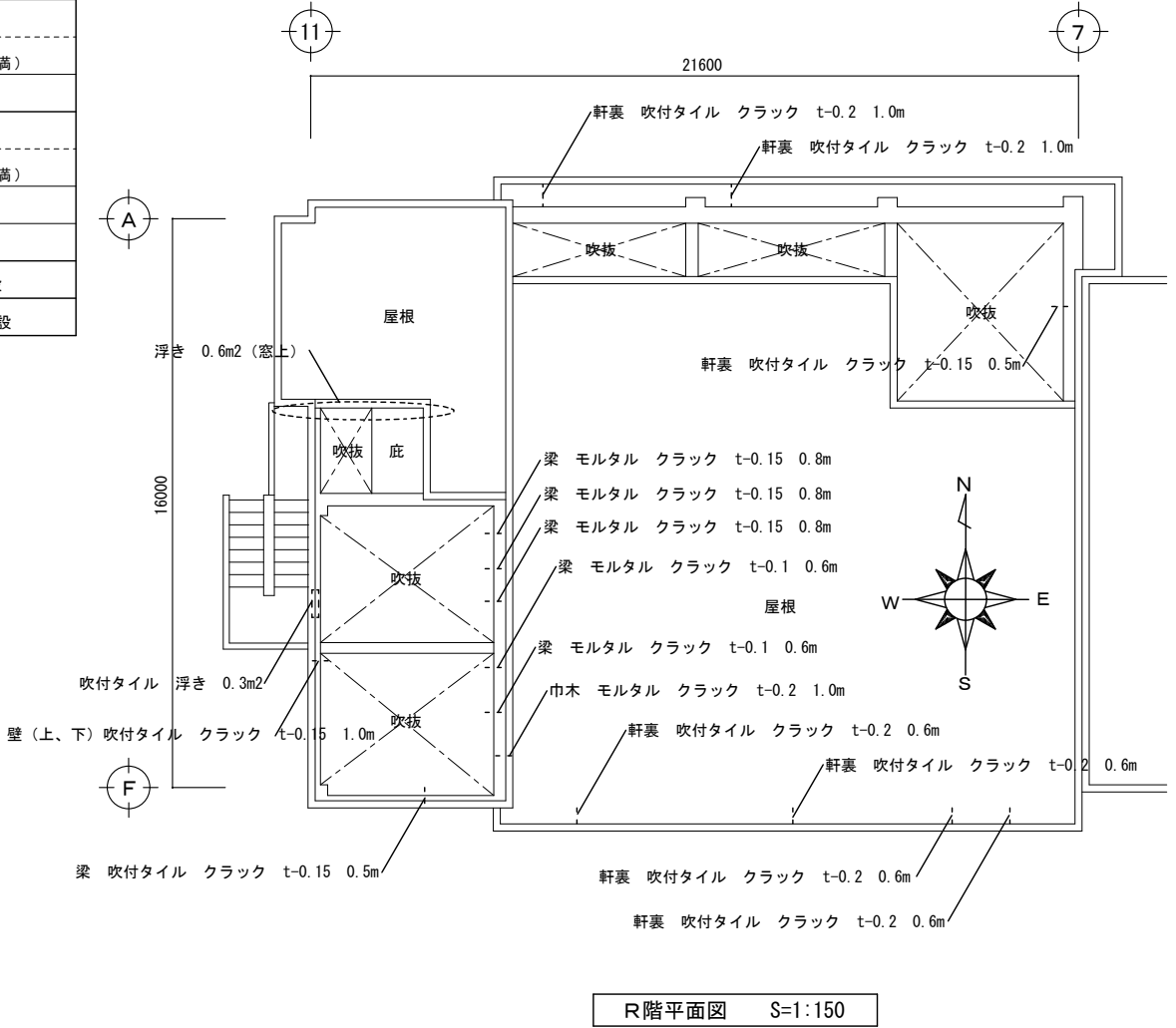
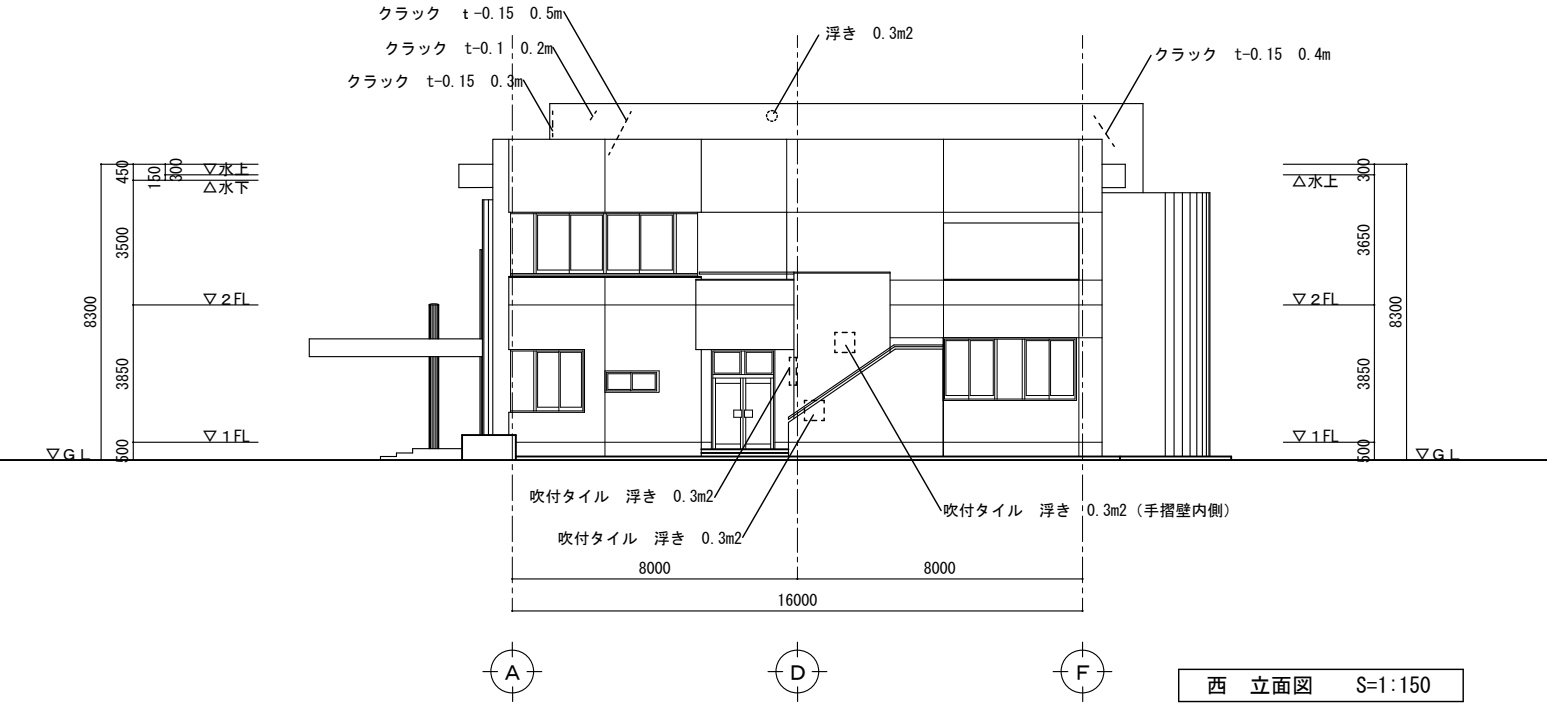
		単位	東	西	南	北	計	外壁等補修要領
クラック改修 (モルタル面)	巾＜0.2mm	m	吹抜 4.1	吹抜 1.0	梁 0.5	0.0	5.6	クラック部：シール工法（0.2mm未満）
	0.2≦巾＜1.0mm	m	吹抜 1.0	0.0	吹抜 2.4	庇、梁下 3.2	6.6	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（0.2以上～1.0未満）
はがれ改修 (吹付タイル面)	ヘヤークラック	m ²	0.0	1.2	2.6	3.0	6.8	浮き部：ポリマーセメント系無機質複合塗材（0.2mm未満）
クラック改修 (タイル面)	巾＜0.2mm	m	0.0	1.4	2.1	0.2	3.7	クラック部：シール工法（0.2mm未満）
	0.2≦巾＜1.0mm	m	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（0.2以上～1.0未満）
浮き改修 (タイル面)		m ²	0.0	0.3	30.4	3.5	34.2	浮き部：アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法とする
欠損改修 (タイル面)		枚			4	8	12	欠損部：二丁掛タイル 新設
シーリング改修 (PS2)	タイル目地	m	131.1	35.6	89.8	89.9	346.4	目地部：既設シーリング 撤去、処分の上シーリング（PS2）新設
シーリング改修 (MS2)	アルミ製サッシ廻り	m	8.6	40.8	166.8	183.4	399.6	サッシ廻り：既設シーリング 撤去、処分の上シーリング（PS2）新設



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-17
			訂正年月日				図面名称：南北立面図（改修前）	
							SCALE 1/150	

外壁改修工法 凡 例 注意事項：第三社機関による補修数量及び補修計画を提出し、監督員の承諾を得ること。

		単位	東	西	南	北	計	外壁等補修要領
クラック改修 (モルタル面)	巾<0.2mm	m	吹抜 4.1	吹抜 1.0	梁 0.5	0.0	5.6	クラック部：シール工法（0.2mm未満）
	0.2≦巾<1.0mm	m	吹抜 1.0	0.0	吹抜 2.4	庇、梁下 3.2	6.6	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（0.2以上～1.0未満）
はがれ改修 (吹付タイル面)	ヘヤークラック	m ²	0.0	1.2	2.6	3.0	6.8	浮き部：ポリマーセメント系無機質複合塗材（0.2mm未満）
クラック改修 (タイル面)	巾<0.2mm	m	0.0	1.4	2.1	0.2	3.7	クラック部：シール工法（0.2mm未満）
	0.2≦巾<1.0mm	m	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（0.2以上～1.0未満）
浮き改修 (タイル面)		m ²	0.0	0.3	30.4	3.5	34.2	浮き部：アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法とする
欠損改修 (タイル面)		枚			4	8	12	欠損部：二丁掛タイル 新設
シーリング改修 (PS2)	タイル目地	m	131.1	35.6	89.8	89.9	346.4	目地部：既設シーリング 撤去、処分の上シーリング（PS2）新設
シーリング改修 (MS2)	アルミ製サッシ廻り	m	8.6	40.8	166.8	183.4	399.6	サッシ廻り：既設シーリング 撤去、処分の上シーリング（PS2）新設

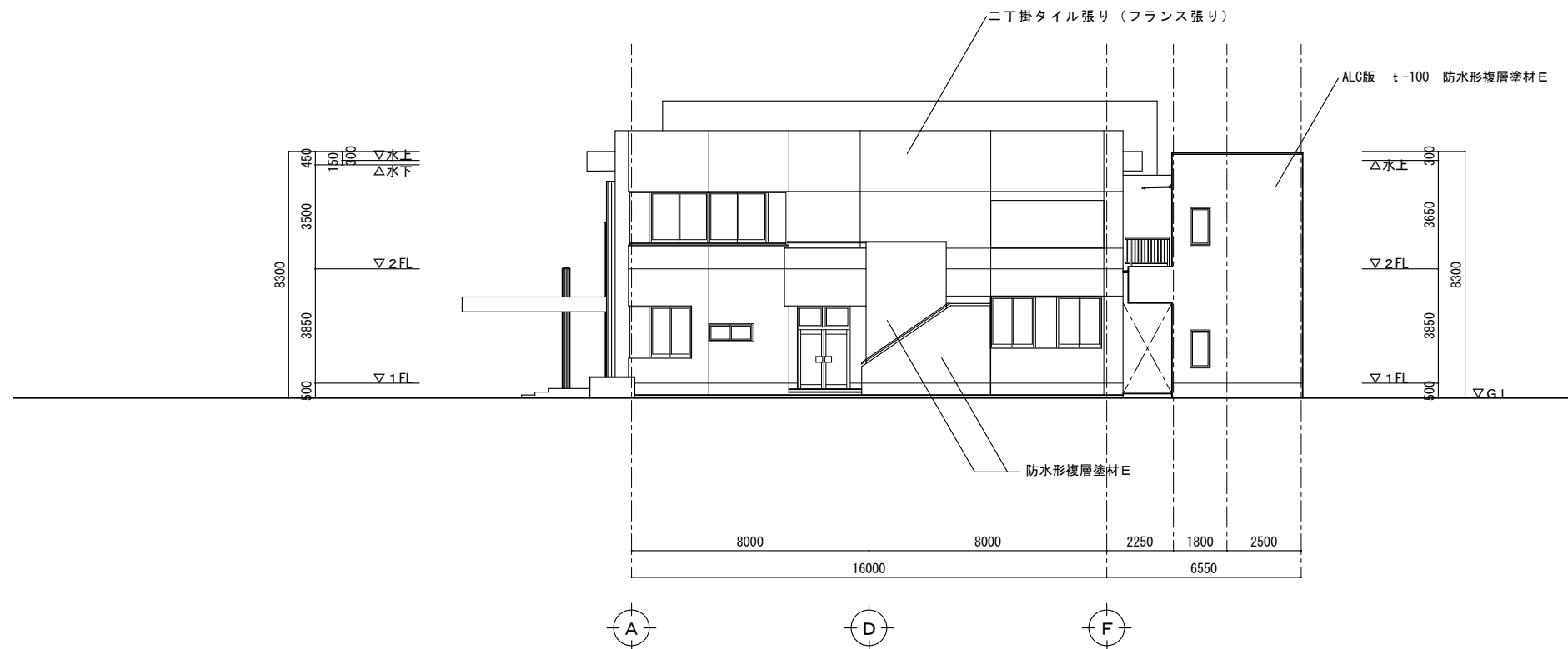


			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-18
			訂正年月日				図面名称：東西立面図（改修前）	
							SCALE 1/150	

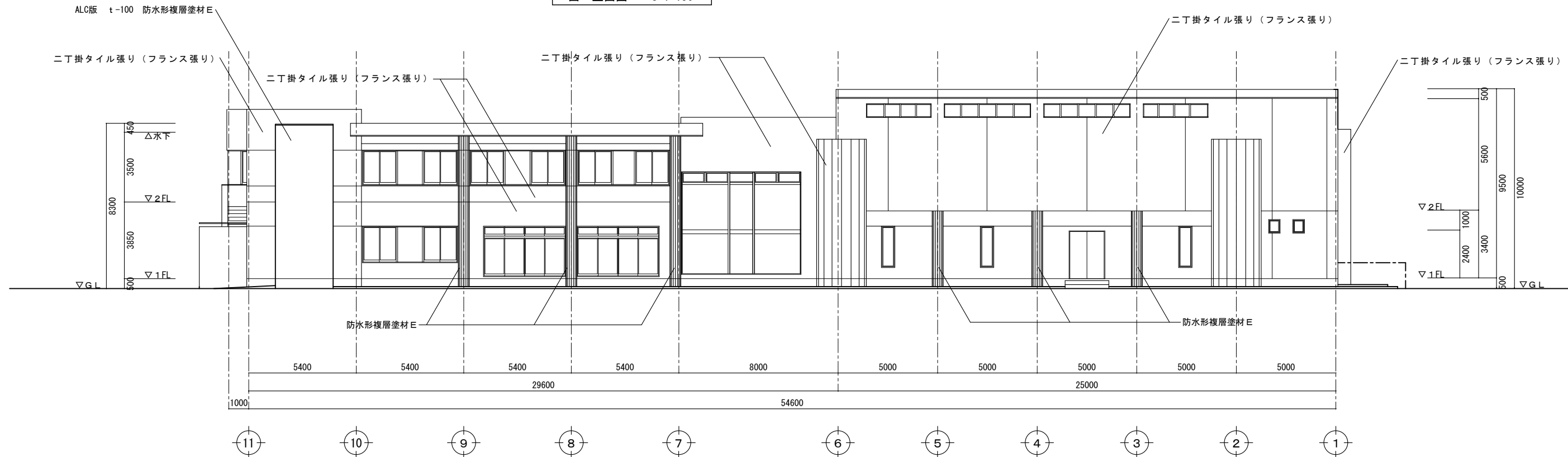


7

A2→A3縮小 71%

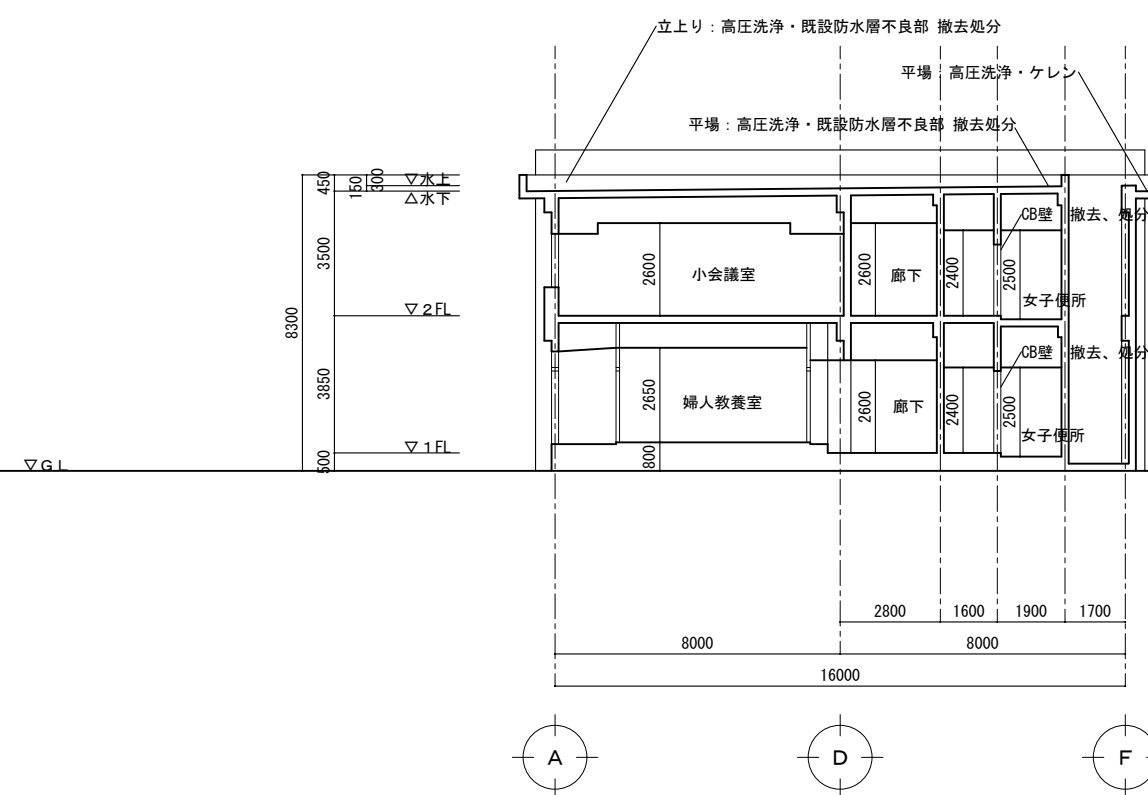


西 立面图 S=1:150



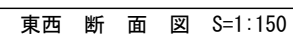
南 立面图 (改修前) S=1:150

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-20
			訂正年月日				図面名称 : 東西立面图 (改修後) SCALE 1/150	

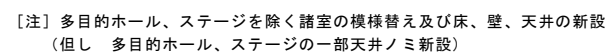
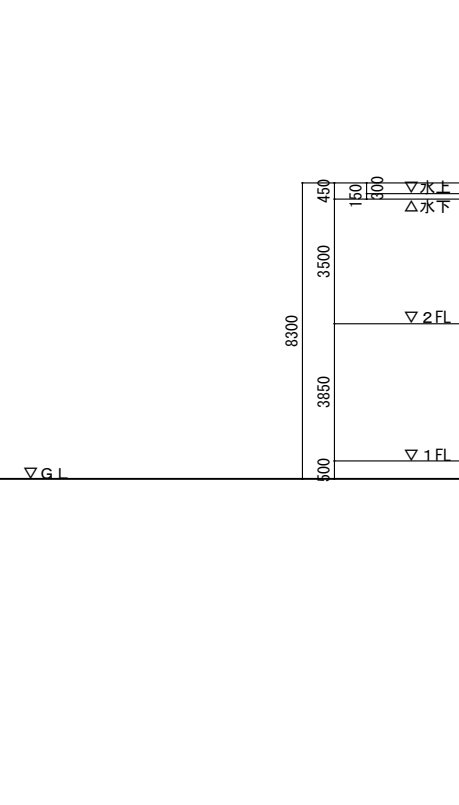


南北 管理棟 断面 図 S=1:150

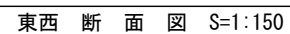
立上り：高圧洗浄・清掃
高圧洗浄・清掃
既設押え金物 撤去処分
既設アルミ笠木撤去処分
平場：高圧洗浄・既設防水層不良部 撤去処分
立上り：高圧洗浄・既設防水層不良部 撤去処分
平場：高圧洗浄・既設防水層不良部 撤去処分
立上り：高圧洗浄・既設防水層不良部 撤去処分
庇：高圧洗浄・ケレン



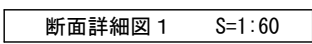
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-21
			訂正年月日					
							図面名称 : 断面図 (改修前) SCALE 1/150	



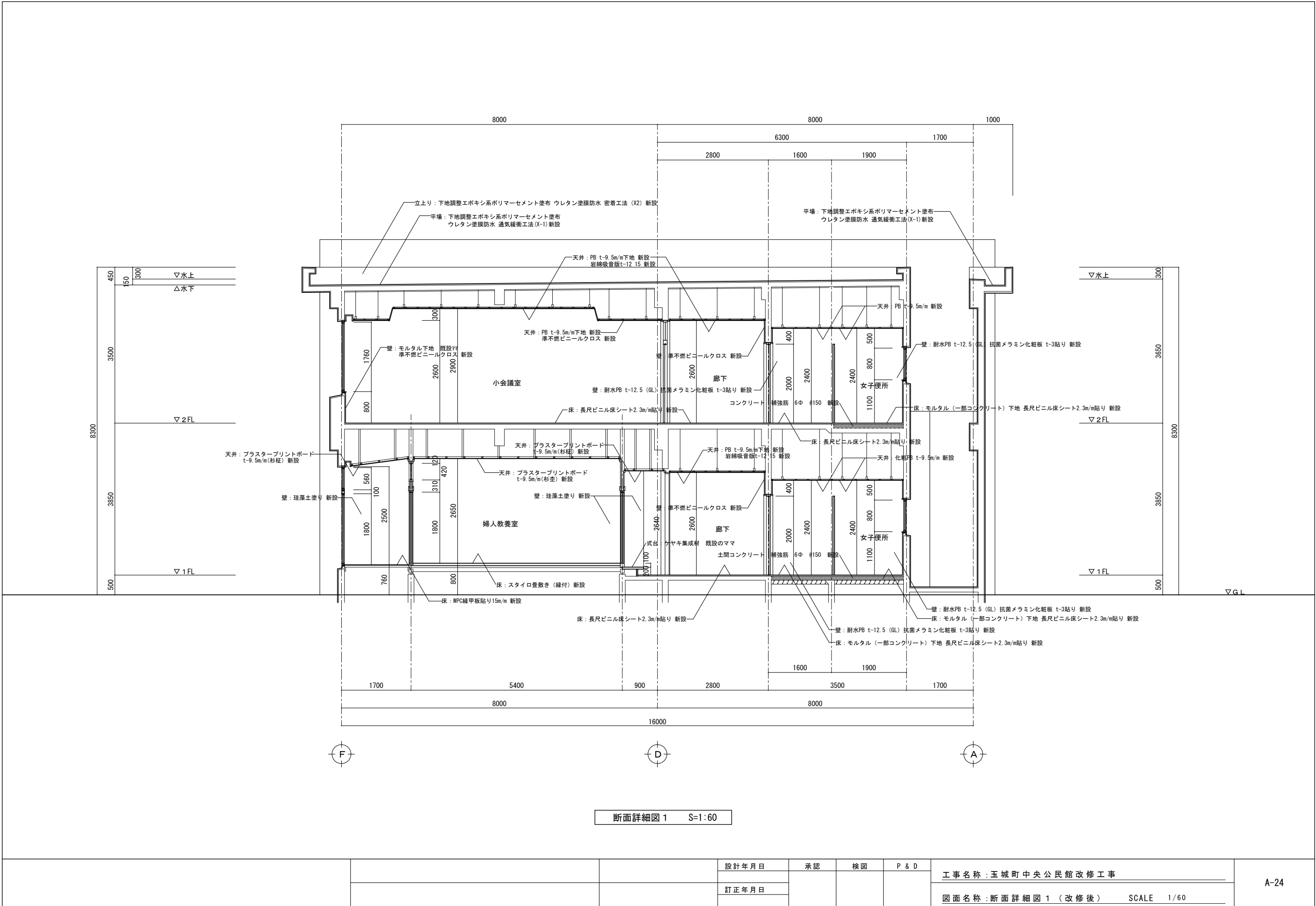
南北 管理棟 断面図 S=1:150



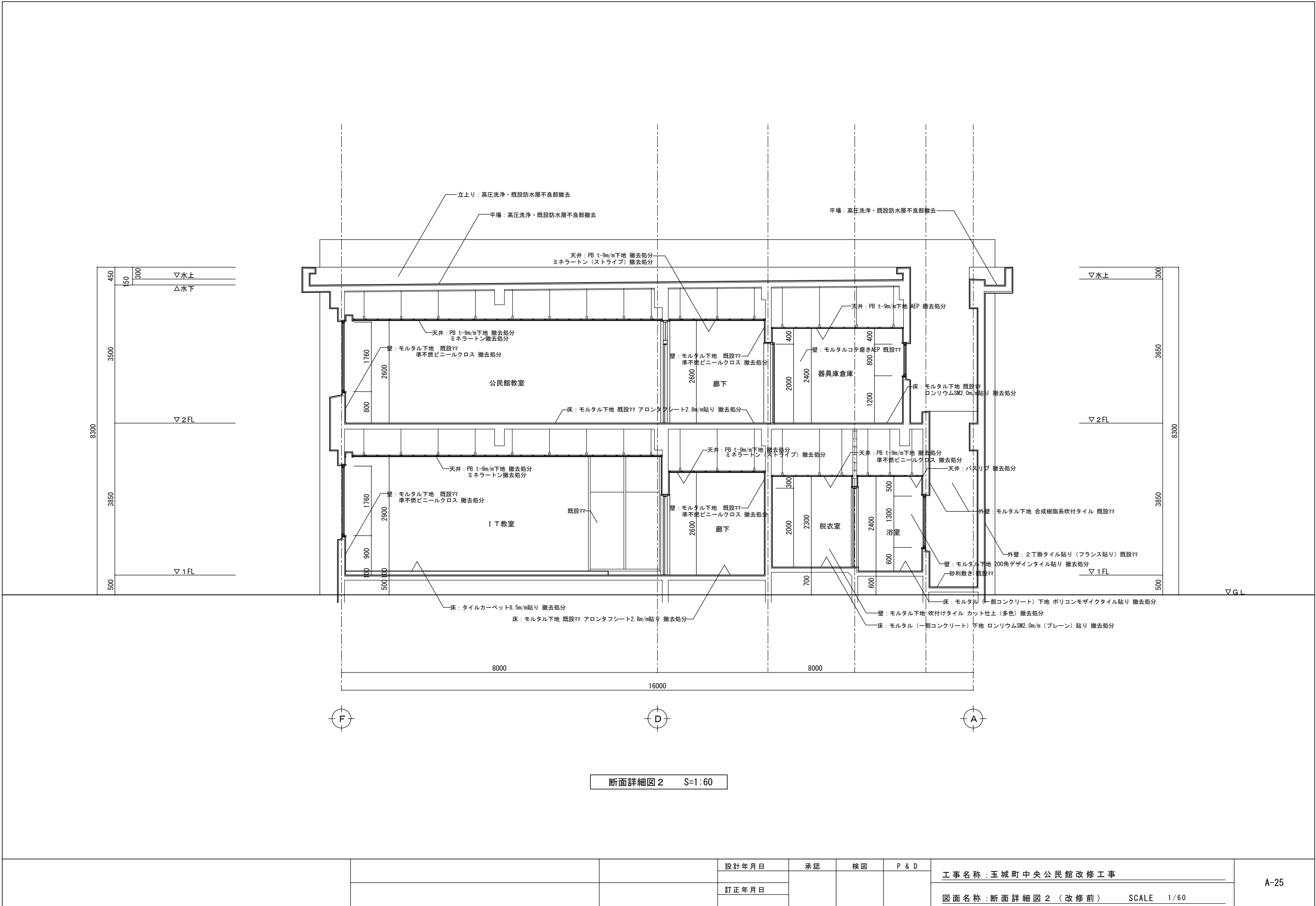
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-22
			訂正年月日				図面名称 : 断面図 (改修後) SCALE 1/150	

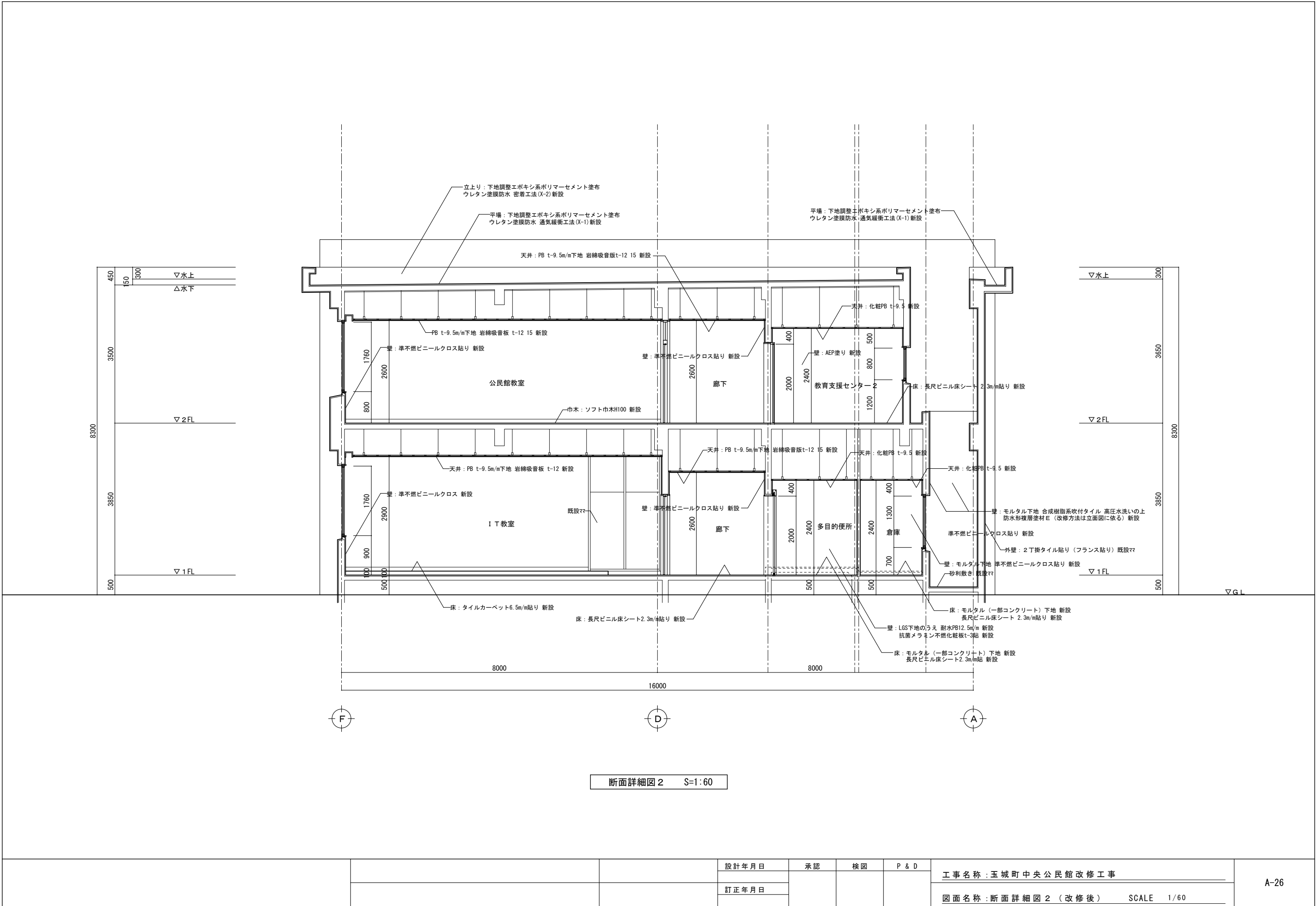


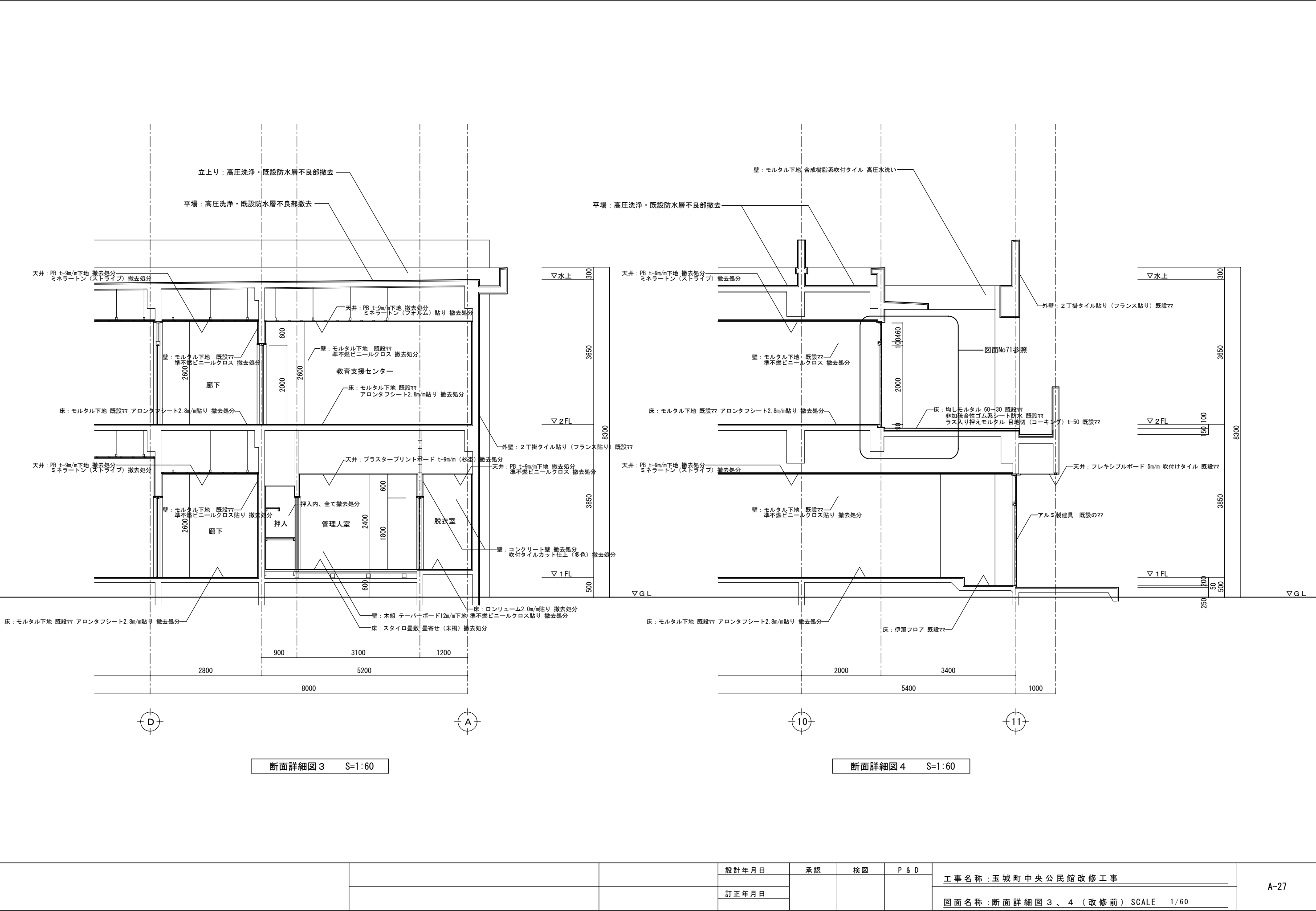
A2→A3縮小 71%



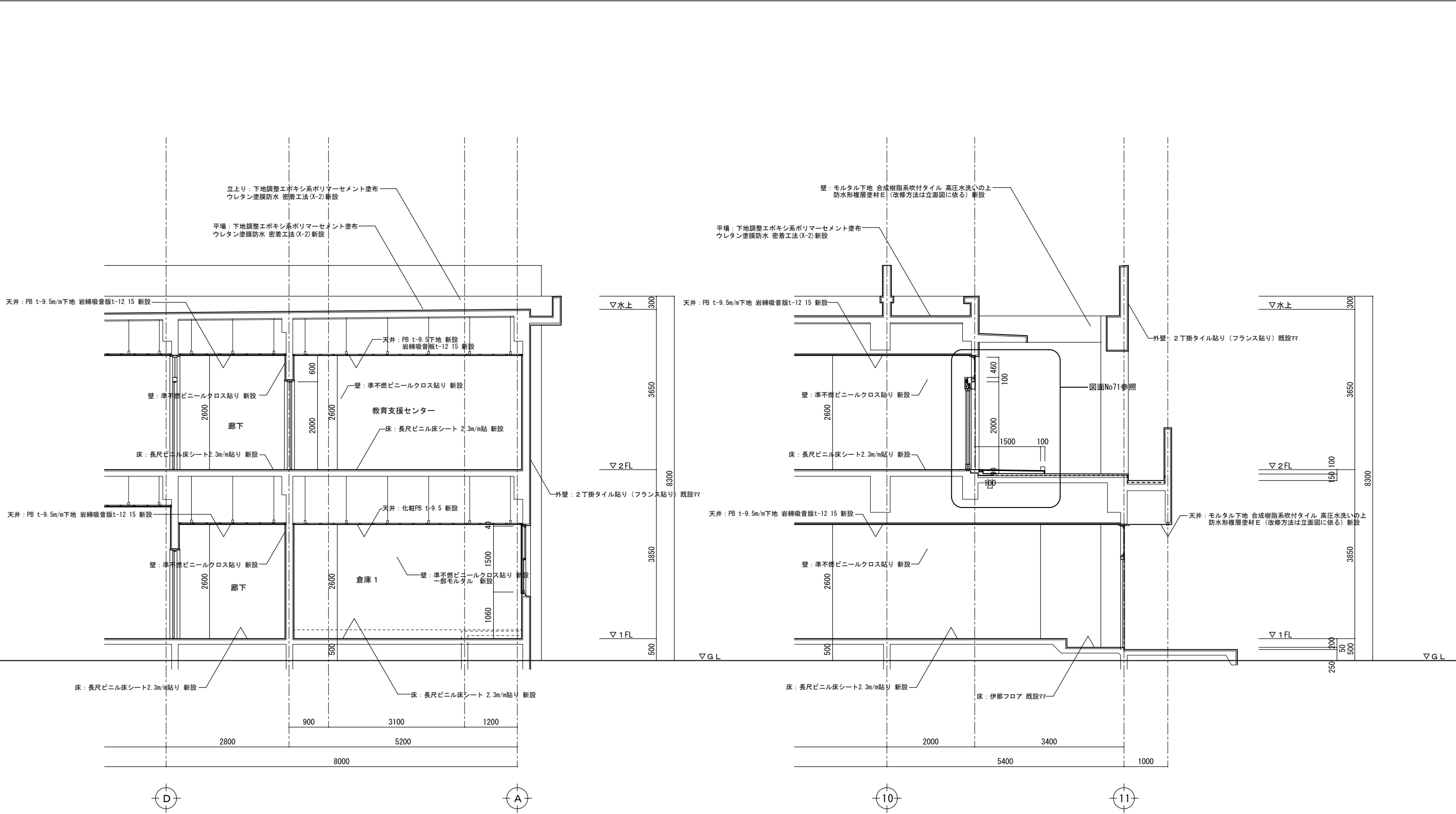
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	A-24
			訂正年月日				図面名称: 断面詳細図 1 (改修後) SCALE 1/60	







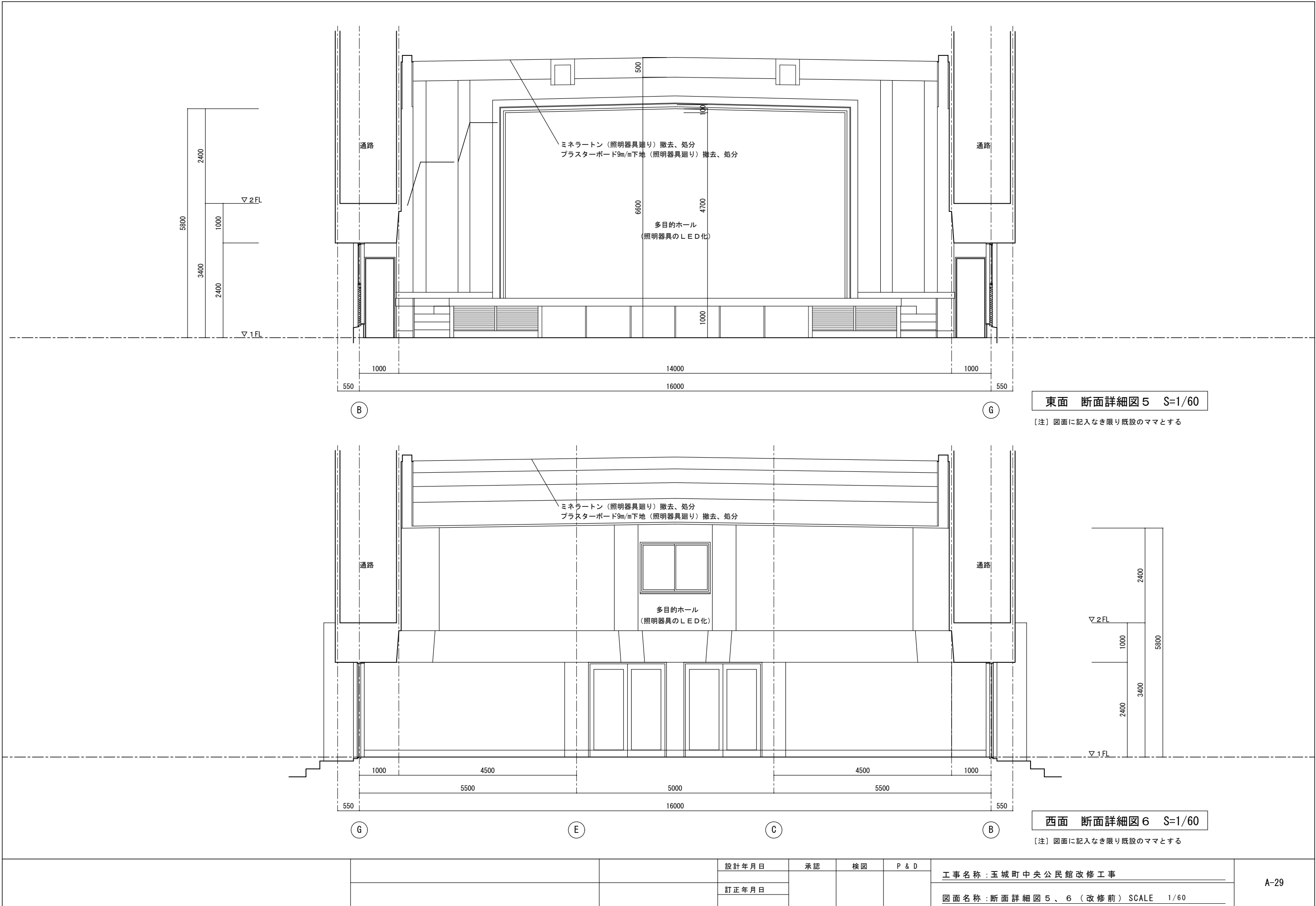
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-27
			訂正年月日				図面名称 : 断面詳細図 3、4 (改修前) SCALE 1/60	



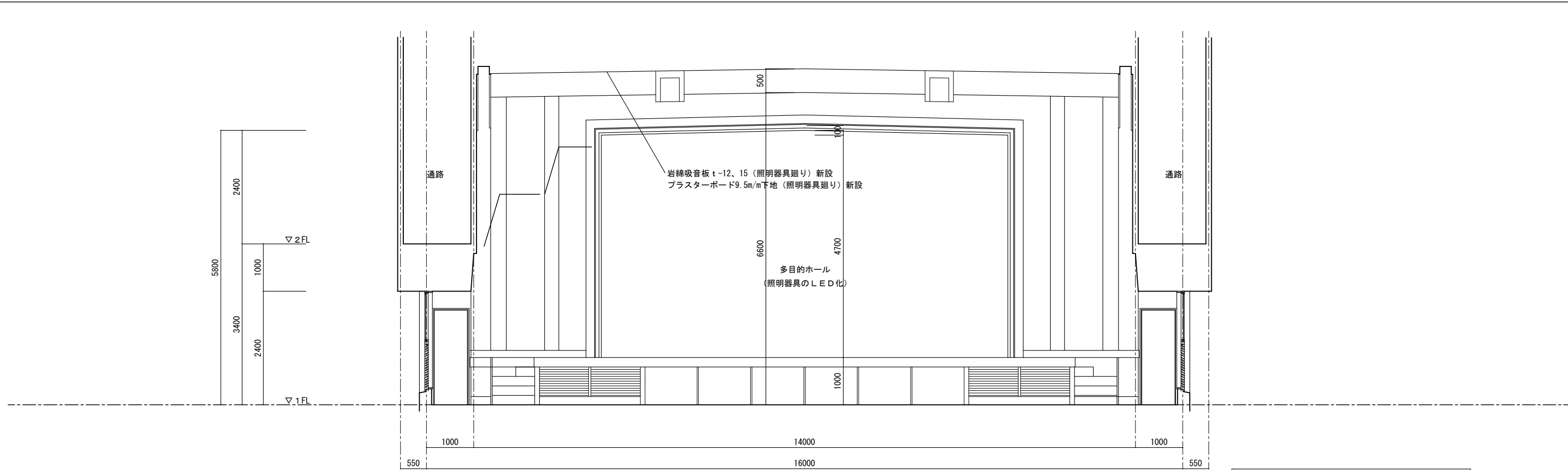
断面詳細図 3 S=1:60

断面詳細図 4 S=1:60

		設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	A-28
		訂正年月日				図面名称: 断面詳細図 3、4 (改修後) SCALE 1/60	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-29
			訂正年月日				図面名称 : 断面詳細図 5、6 (改修前) SCALE 1/60	

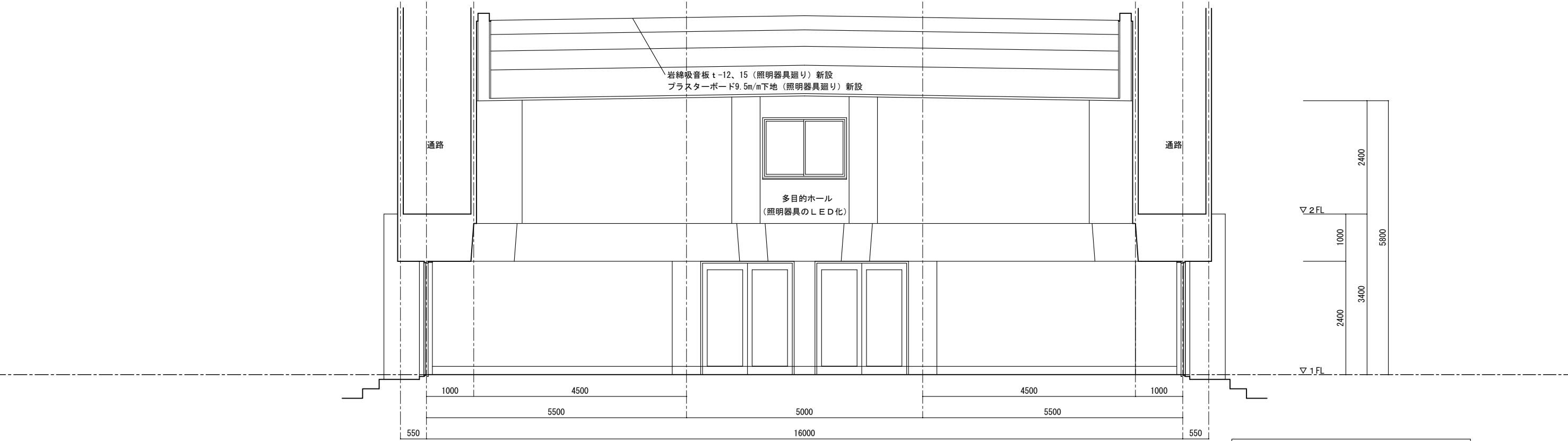


B

G

東面 断面詳細図 5、6 S=1/60

[注] 図面に記入なき限り既設のママとする



G

E

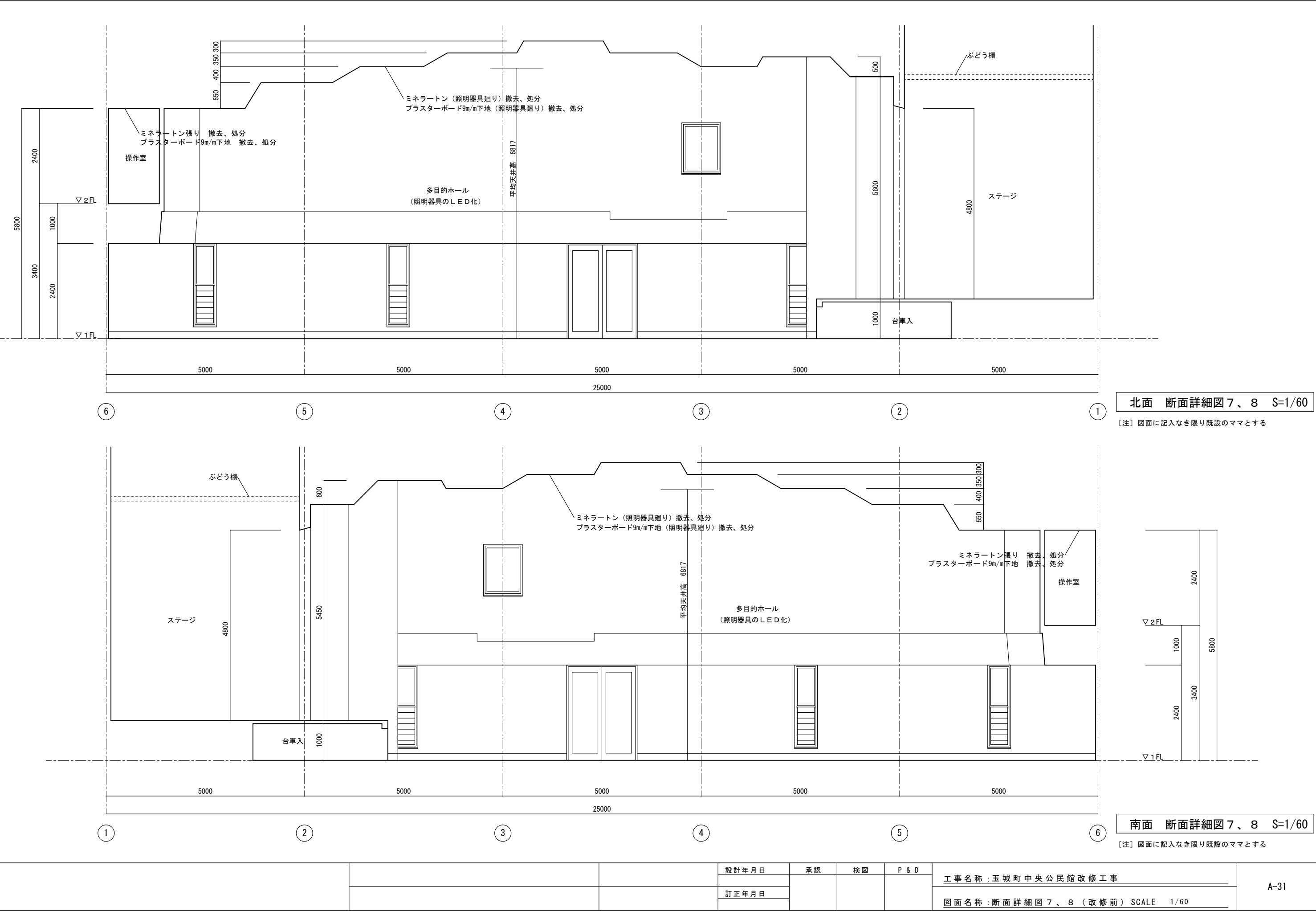
C

B

西面 断面詳細図 5、6 S=1/60

[注] 図面に記入なき限り既設のママとする

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-30
			訂正年月日				図面名称 : 断面詳細図 5、6 (改修後) SCALE 1/60	



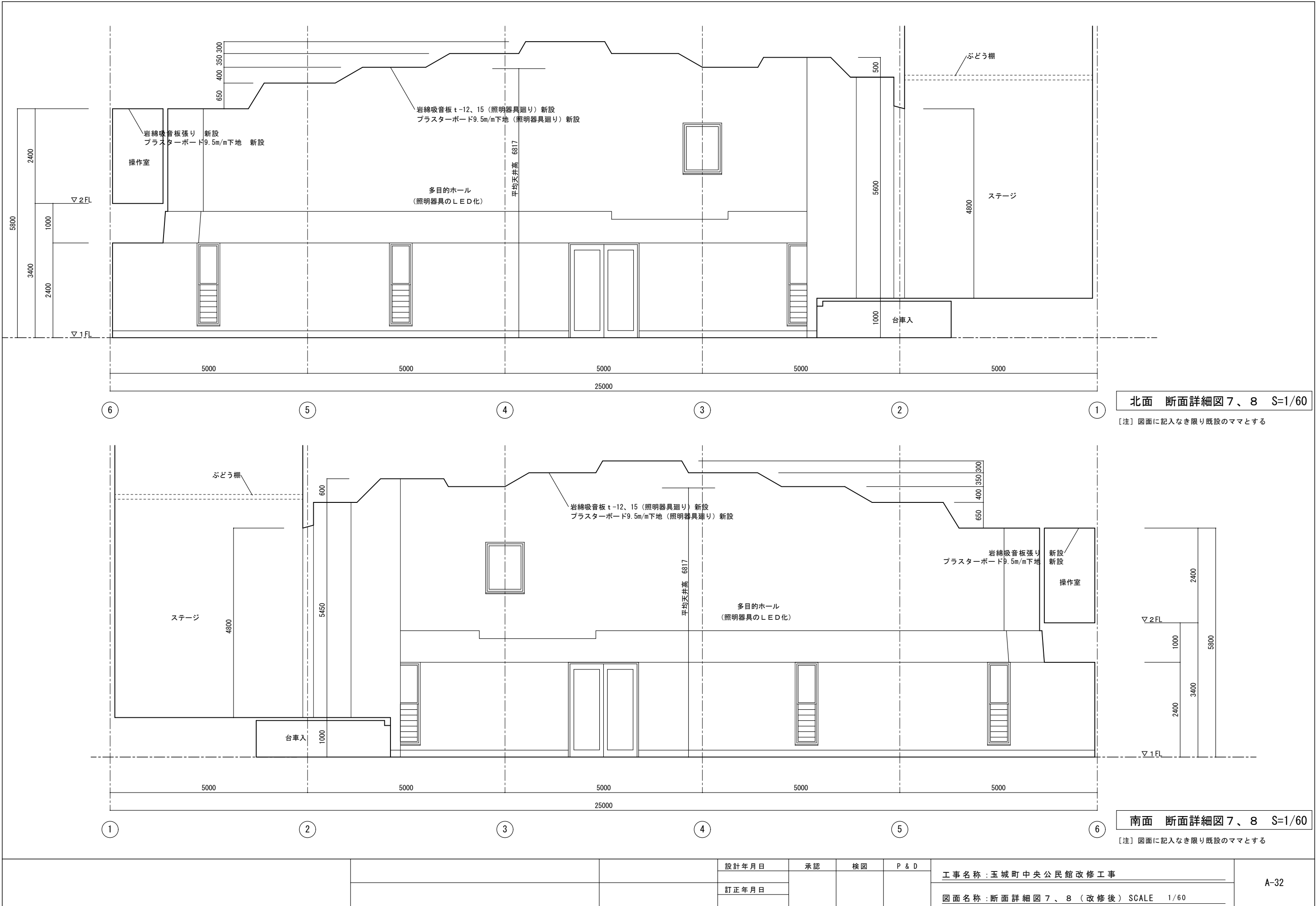
北面 断面詳細図 7、8 S=1/60

〔注〕図面に記入なき限り既設のママとする

南面 断面詳細図 7、8 S=1/60

〔注〕図面に記入なき限り既設のママとする

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-31
			訂正年月日				図面名称 : 断面詳細図 7、8 (改修前) SCALE 1/60	



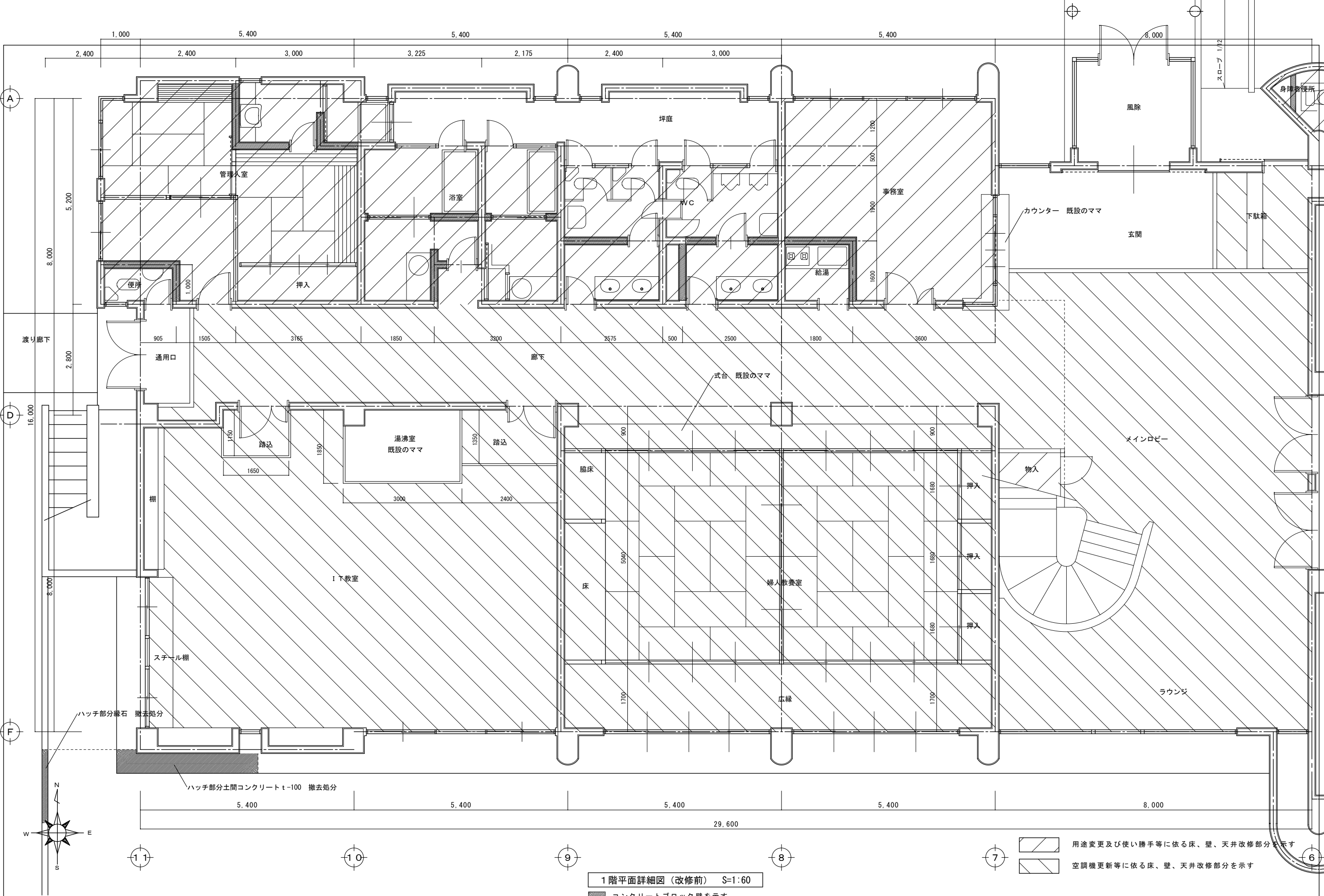
北面 断面詳細図 7、8 S=1/60

[注] 図面に記入なき限り既設のママとする

南面 断面詳細図 7、8 S=1/60

[注] 図面に記入なき限り既設のママとする

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-32
			訂正年月日				図面名称 : 断面詳細図 7、8 (改修後) SCALE 1/60	

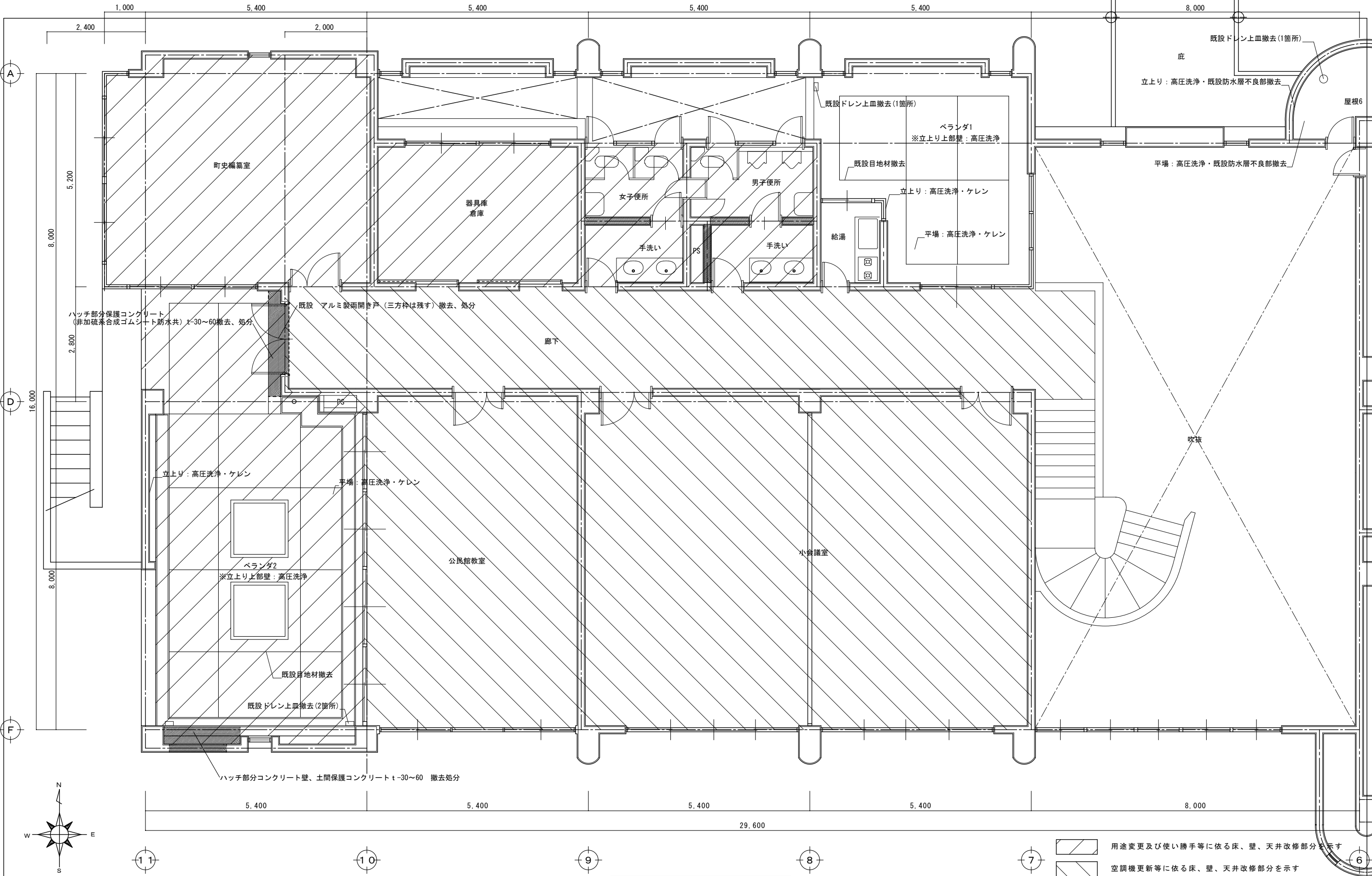


1階平面詳細図（改修前） S=1:60

コンクリートブロック壁を示す

- 用途変更及び使い勝手等に依る床、壁、天井改修部分を示す
- 空調機更新等に依る床、壁、天井改修部分を示す

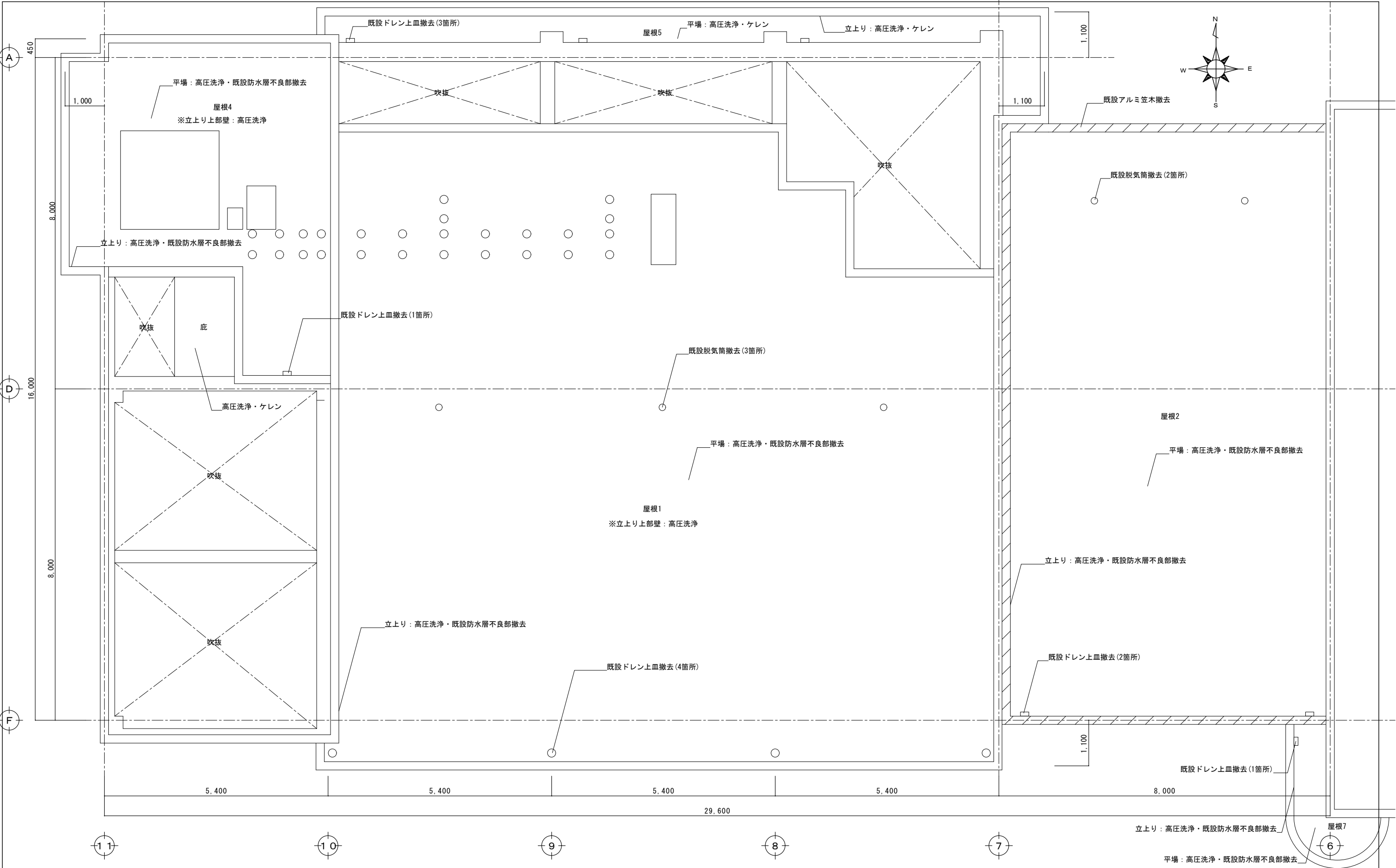
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-33
			訂正年月日				図面名称：1階平面詳細図（改修前） SCALE 1/60	



2階平面詳細図（改修前） S=1:60

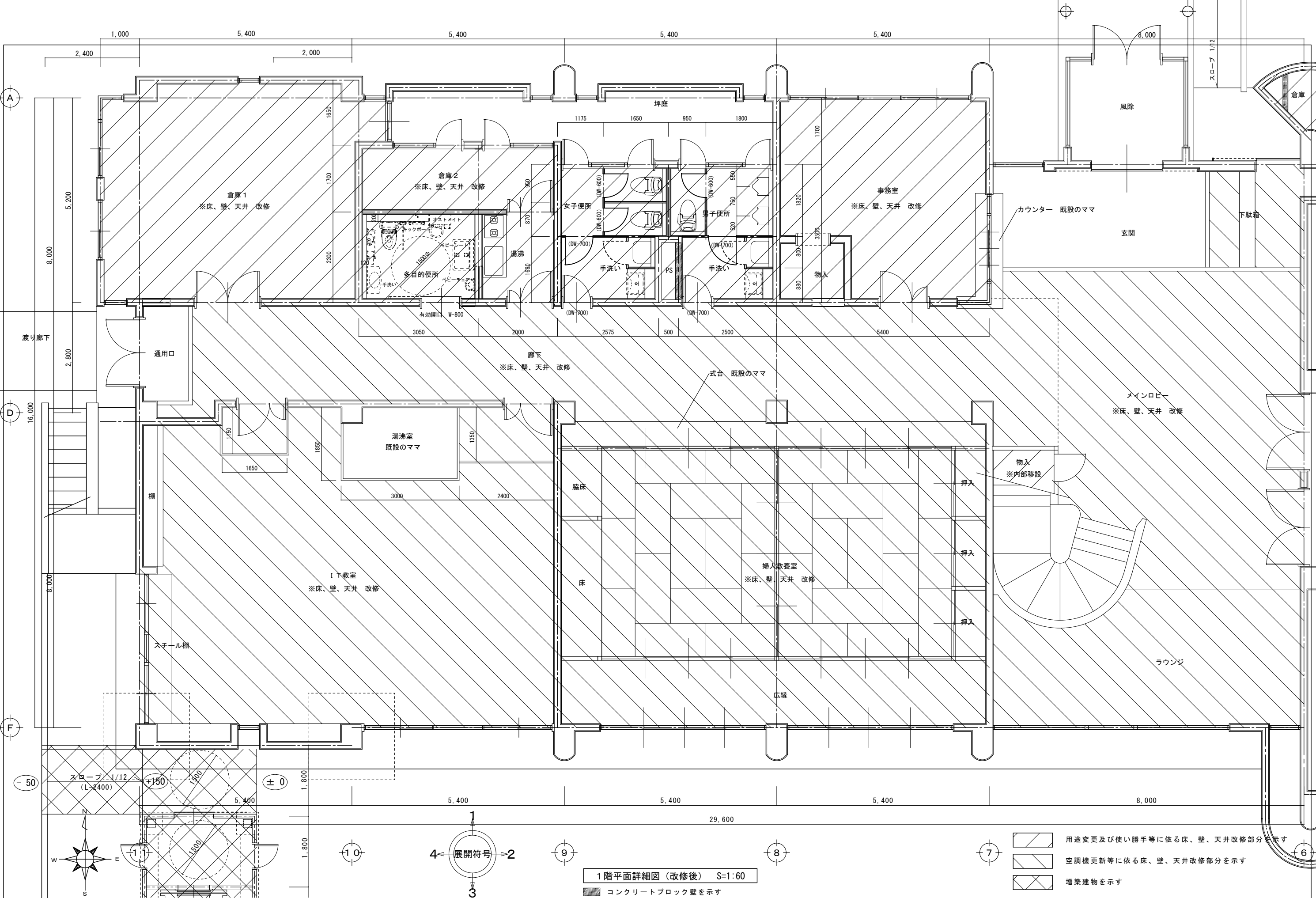
コンクリートブロック壁を示す

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-34
			訂正年月日				図面名称：2階平面詳細図（改修前） SCALE 1/60	

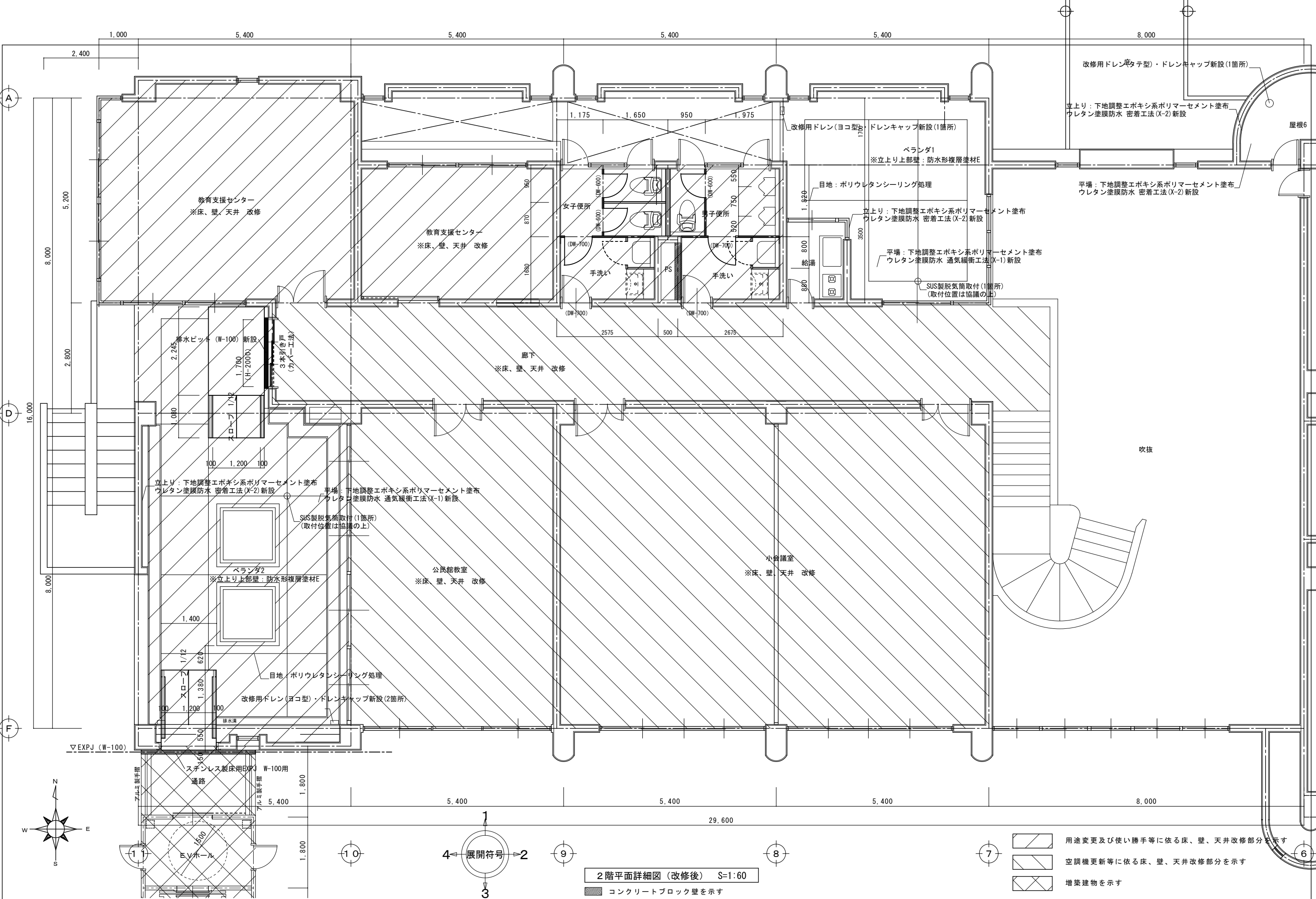


R階平面詳細図（改修前） S=1:60

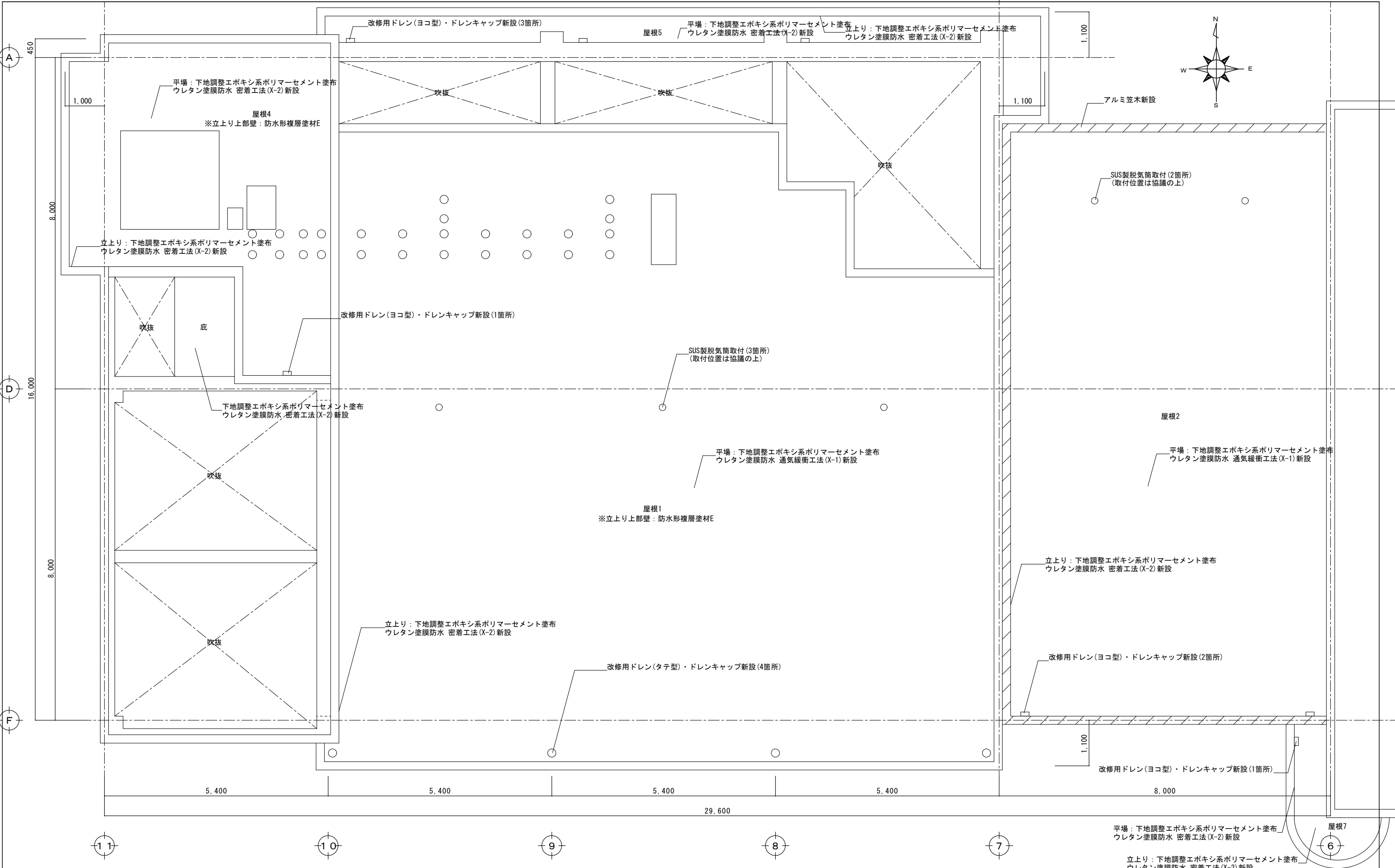
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-35
			訂正年月日				図面名称：R階平面詳細図（改修前） SCALE 1/60	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-36
			訂正年月日				図面名称 : 1 階平面詳細図 (改修後) SCALE 1/60	

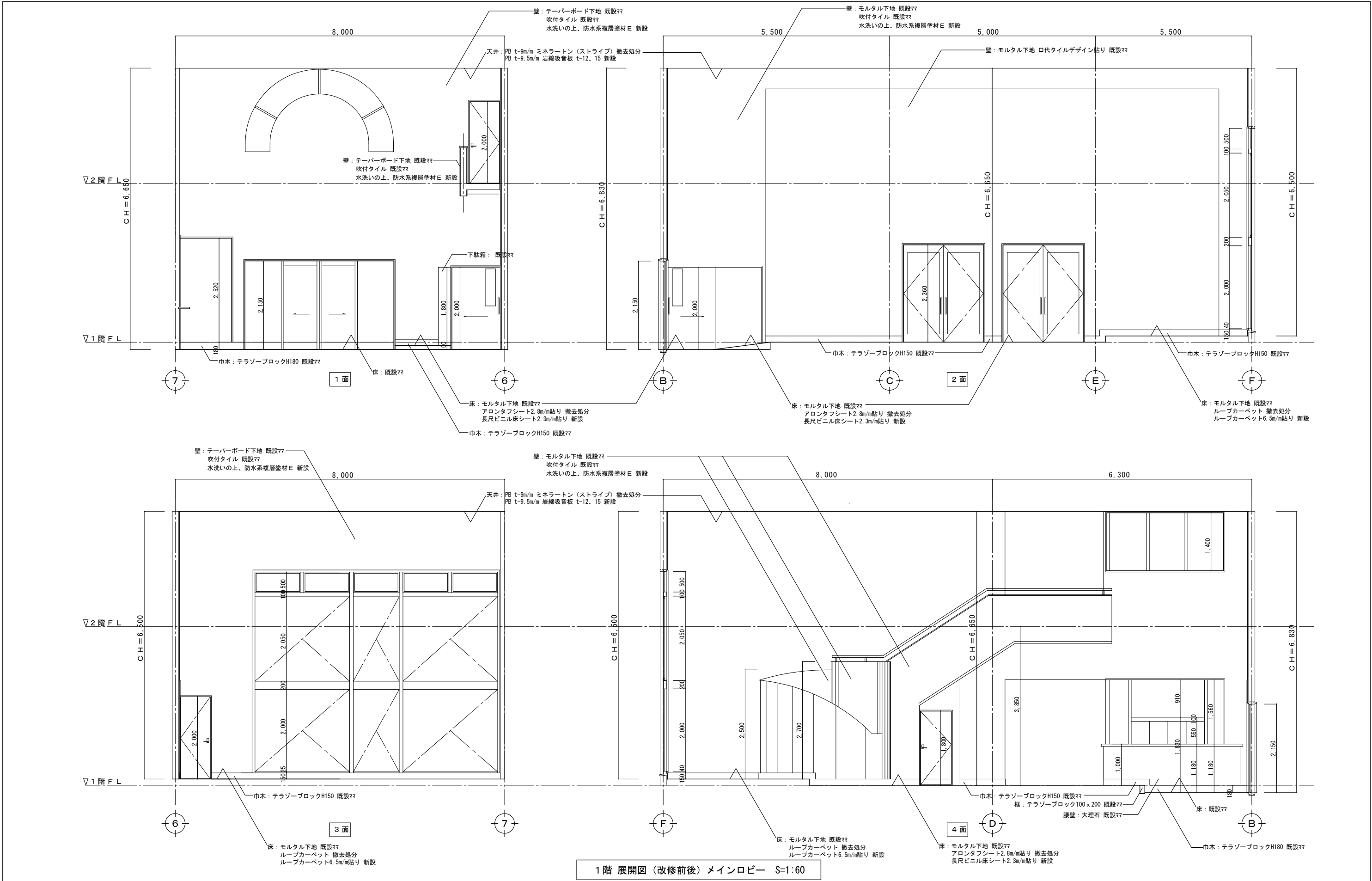


			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-37
			訂正年月日				図面名称：2階平面詳細図（改修後） SCALE 1/60	



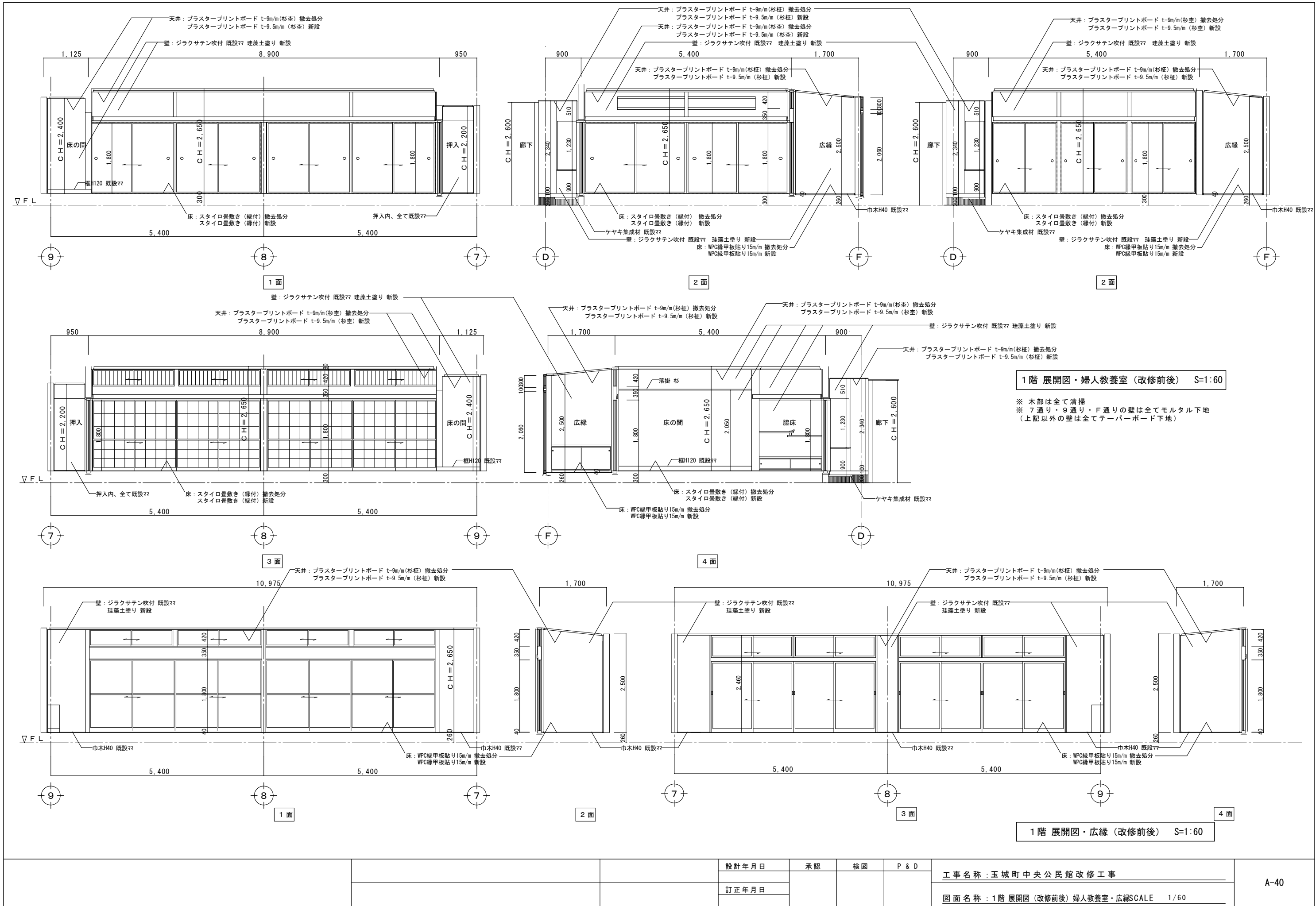
R階平面詳細図 (改修後) S=1:60

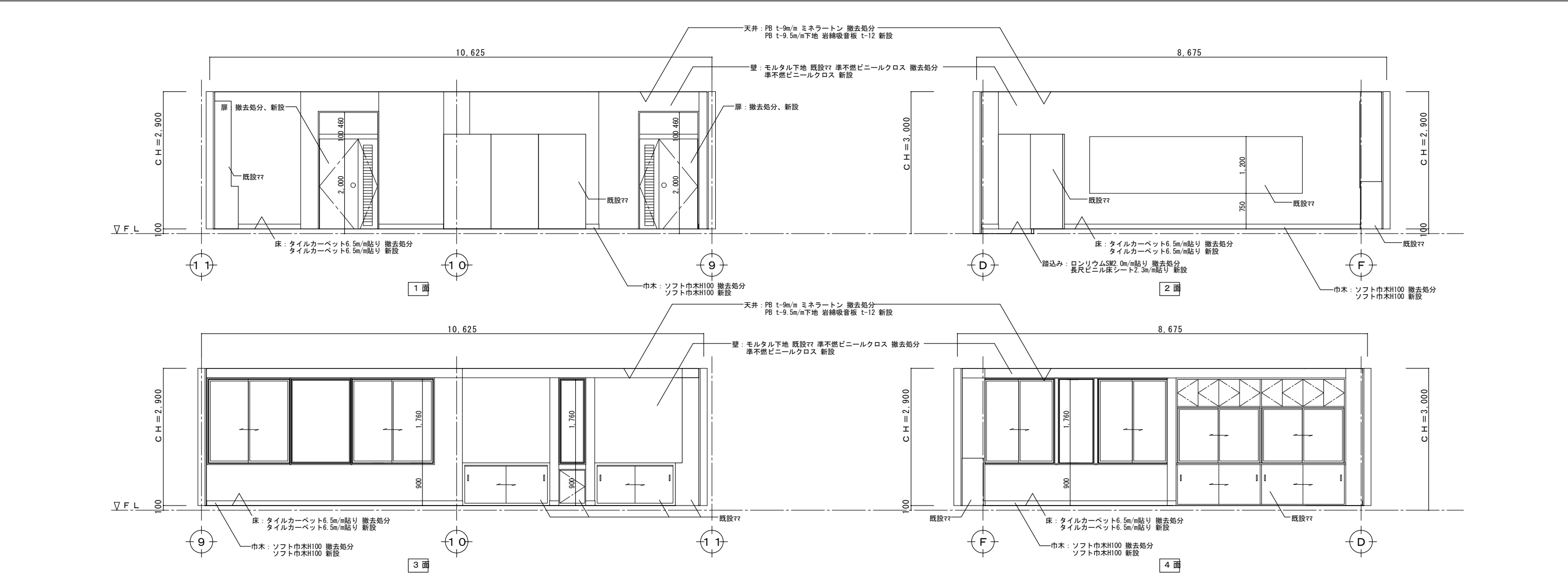
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-38
			訂正年月日				図面名称：R階平面詳細図 (改修後) SCALE 1/60	



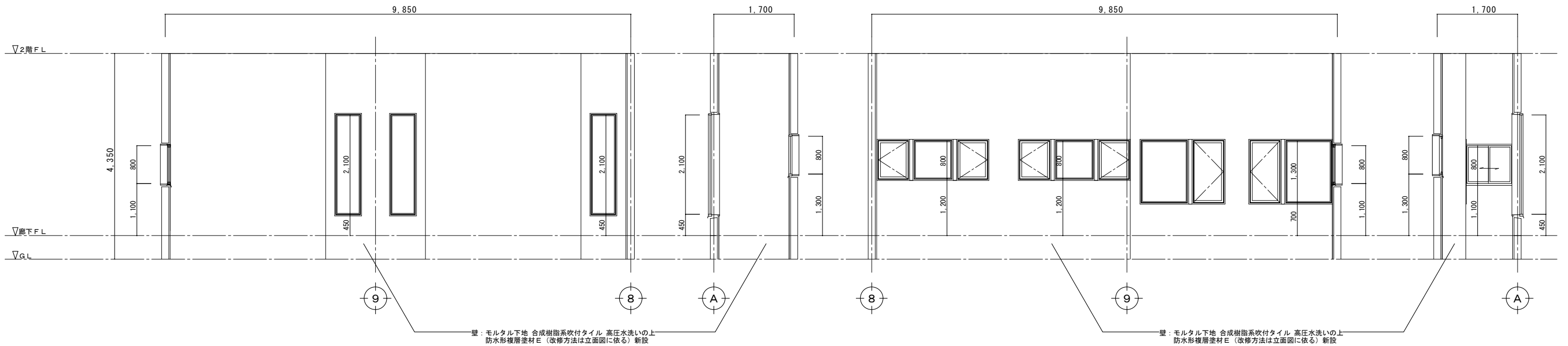
1階 展開図 (改修前後) メインロビー S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	A-39
			訂正年月日				図面名称: 1階 展開図 (改修前後) メインロビーSCALE 1/60	



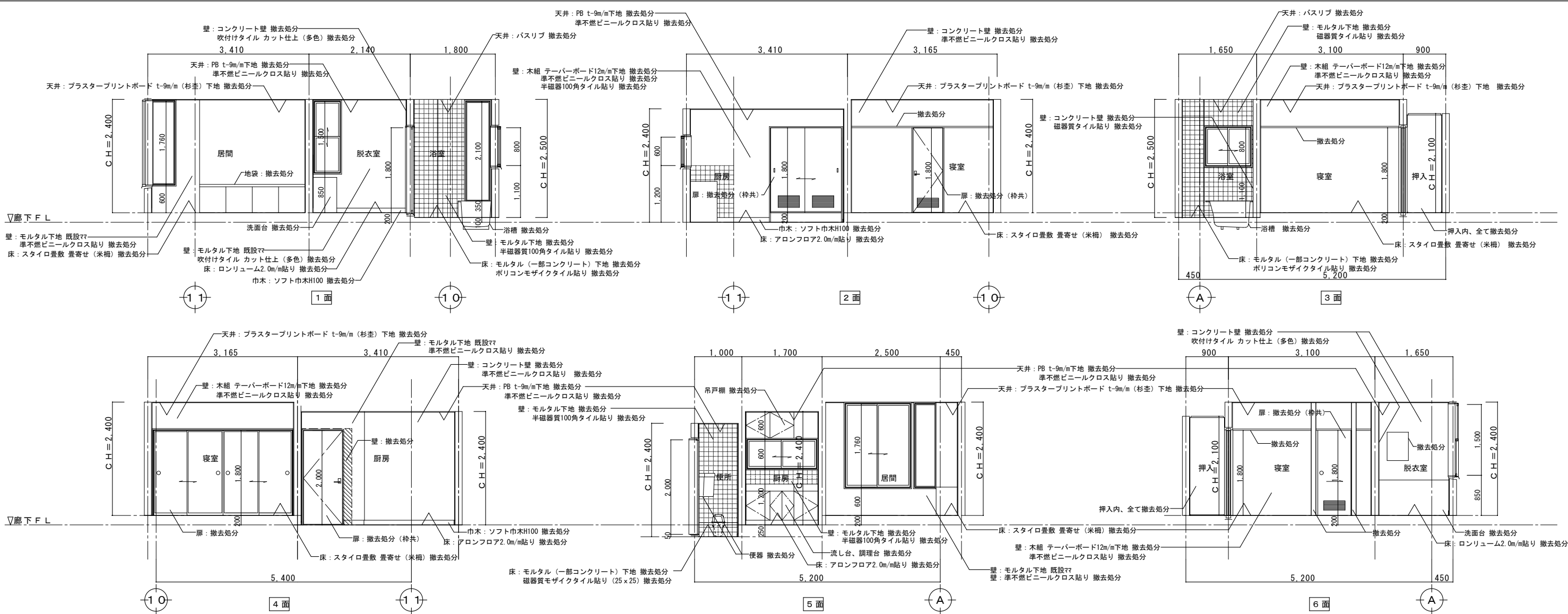


1階 展開図・IT教室（改修前後） S=1:60

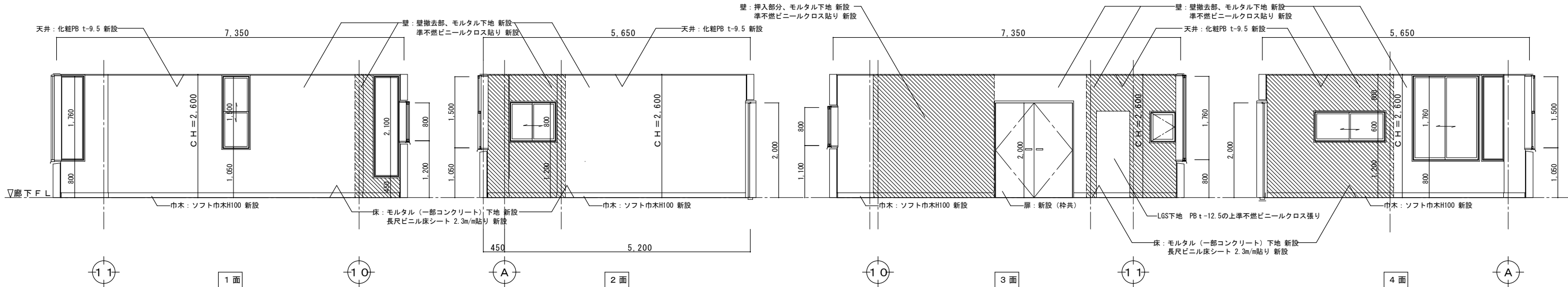


1階 展開図・坪庭（改修前後） S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-41
			訂正年月日				図面名称：1階 展開図（改修前後）IT教室・坪庭 SCALE 1/60	

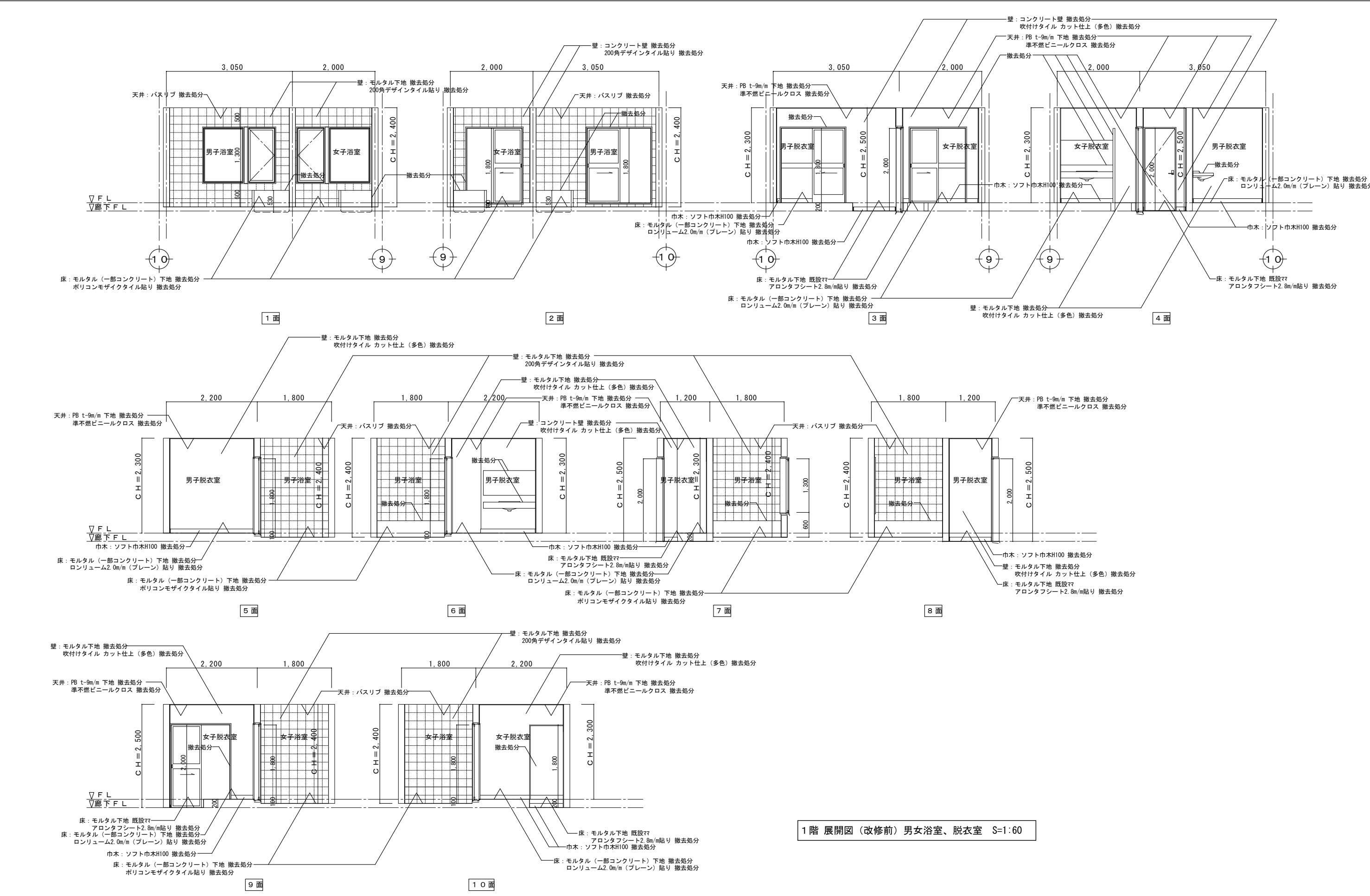


1階 展開図・管理人室、便所（改修前） S=1:60



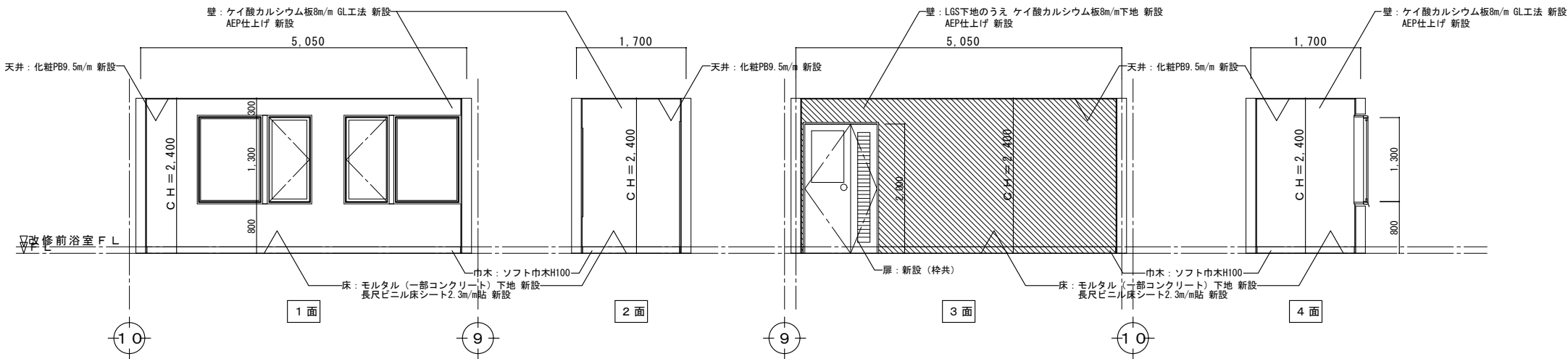
1階 展開図・倉庫1（改修後） S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-42
			訂正年月日				図面名称：1階 展開図（改修前）管理人室、便所（改修後）倉庫1 SCALE 1/60	

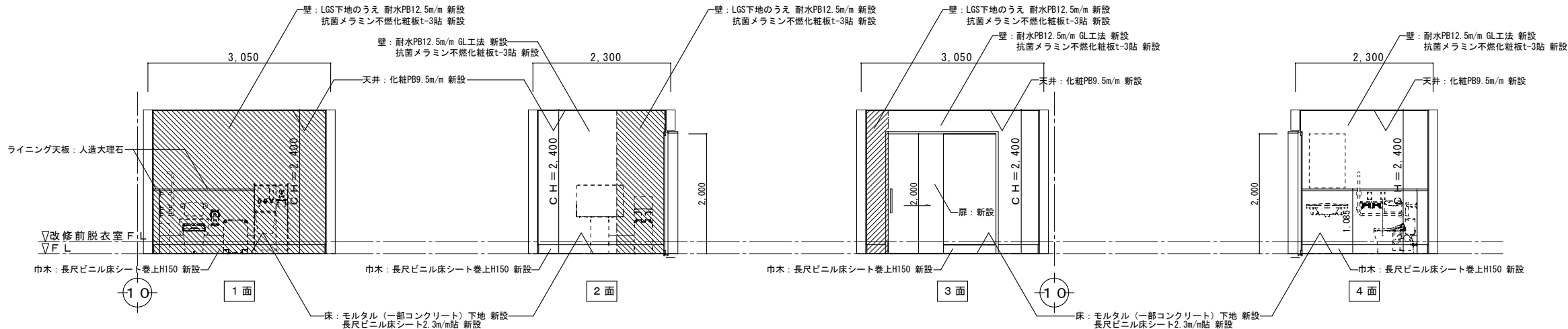


1階 展開図 (改修前) 男女浴室、脱衣室 S=1:60

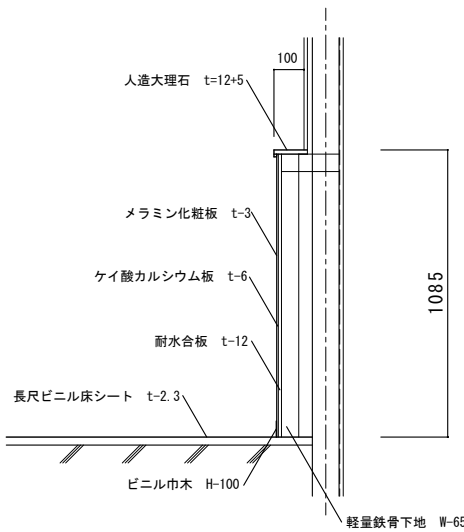
		設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-43
		訂正年月日				図面名称 : 1階 展開図 (改修前) 男女浴室・脱衣室 SCALE 1/60	



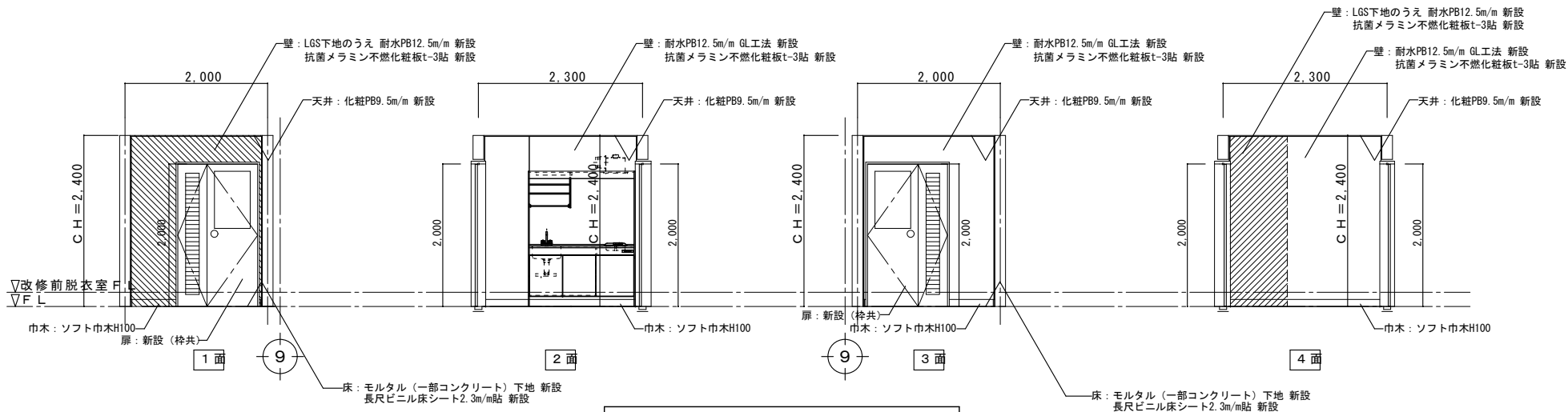
1階 展開図・倉庫2（改修後） S=1:60



1階 展開図・多目的便所（改修後） S=1:60



ライニングバック詳細図 S=1:20



1階 展開図・湯沸（改修後） S=1:60

■ミニキッチン仕様

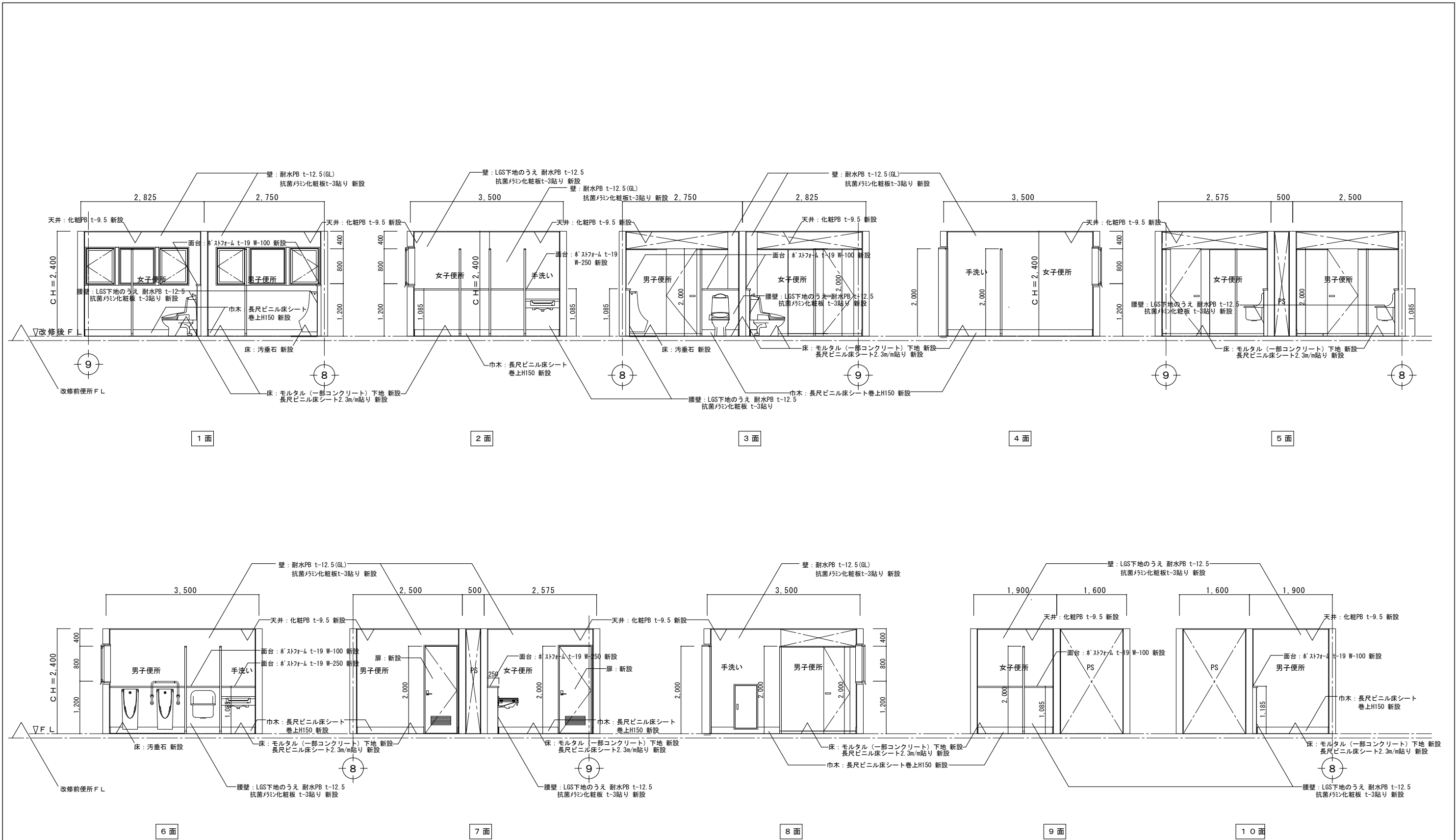
品名	仕 様	品名	仕 様
下台	トップ: ステンレス シンク: ステンレス キャビネット: (側板) 特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト (背板) 特殊樹脂コート化粧MDF アンティックホワイト (底板) 特殊樹脂コート化粧合板 アンティックホワイト (幕板) 低圧メラミン化粧パーティクルボード アンティックホワイト 扉: 低圧メラミン化粧パーティクルボード 四方木口貼 アンティックホワイト 取手: 樹脂製 ホワイト 付属品: 排水トラップ 包丁差し、排水円板	上台	キャビネット: (側板シンク側) 特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト (側板コンロ側) 内側: t3不燃化粧板 外側: 特殊樹脂コート化粧合板+ラワン合板 アンティックホワイト (背板) t3不燃化粧板+ラワン合板+パーティクルボード (天板) t3不燃化粧板+パーティクルボード (幕板) 内側: t3不燃化粧板 外側: 低圧メラミン化粧パーティクルボード アンティックホワイト (中間棚) 特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト (水切棚) 樹脂織材 ポリエチレンコーティング ホワイト (棚板) 特殊樹脂コート化粧パーティクルボード アンティックホワイト
	照明器具: SENLED-350UC-L: LED照明 5.0W×1 水 栓: 2穴シングルレバー混合水栓 SF132 (145) RUJG 加熱機器: 1口 (プロパンガス) DMK1SLEW 10 ガスコンロ		取付穴: □225 DV F14MRK8 (ダクト径: φ100) 取付穴: 275×280 VD-18Z13-SW (ダクト径: φ150) VD-18Z13Y13-SW (ダクト径: φ100) 側板木口カバー: 塩ビ成型品 (コ型形状) L=1900 サイドカバー: 塩ビ成型品 (T型形状) L=499

※ 一次側電気工事 (E)、換気扇ダクト接続 (M)

			設計年月日	承認	検 図	P & D	工 事 名 称 : 玉 城 町 中 央 公 民 館 改 修 工 事	A-44
			訂正年月日				図 面 名 称 : 1階 展開図 (改修後) 倉庫2・多目的便所・湯沸 SCALE 1/60	

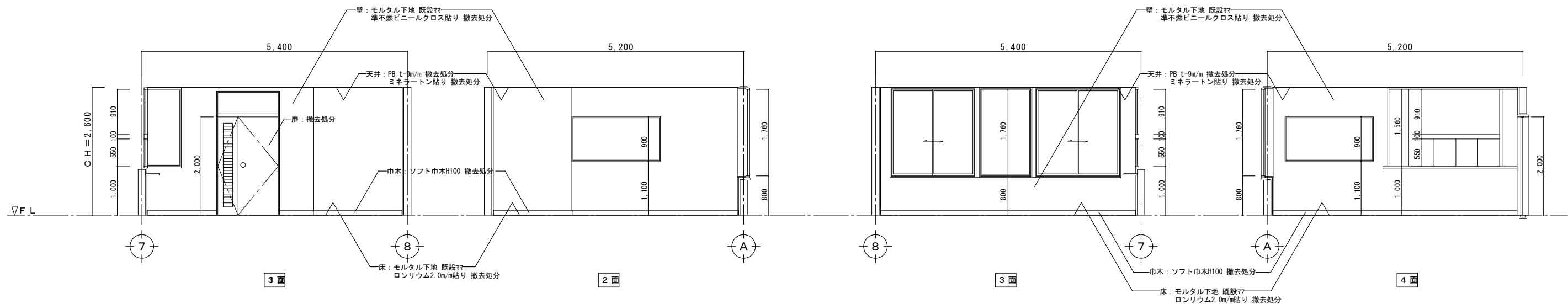


			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-45
			訂正年月日					
図面名称 : 1階 展開図 (改修前) 男女便所・PS SCALE 1/60								

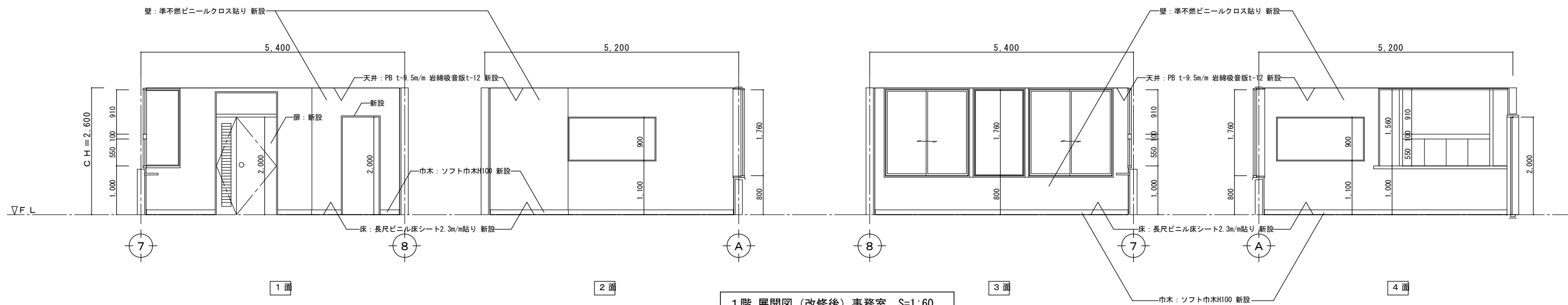


1階 展開図（改修後）男女便所、PS S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-46
			訂正年月日				図面名称：1階 展開図（改修後）男女便所・PS SCALE 1/60	

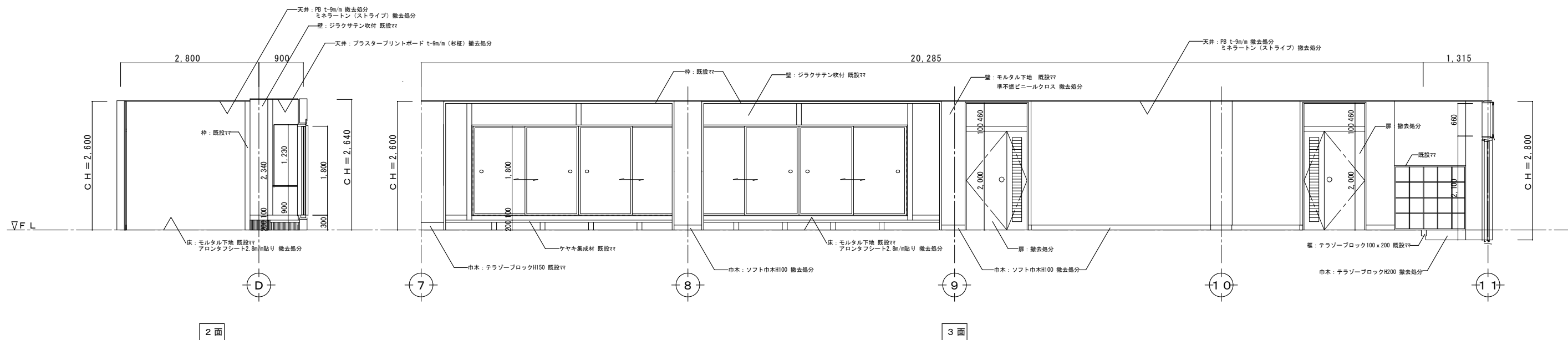
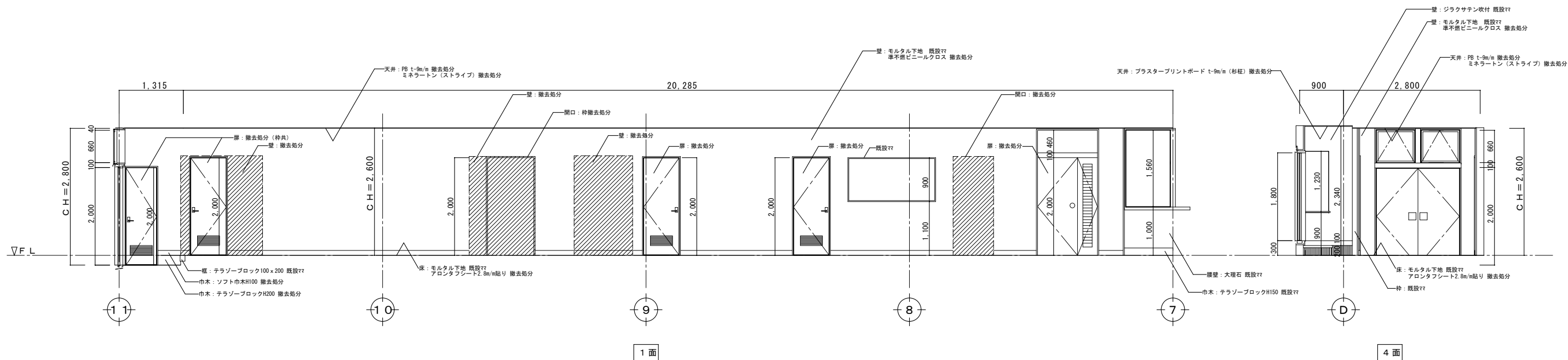


1階 展開図（改修前）事務室 S=1:60



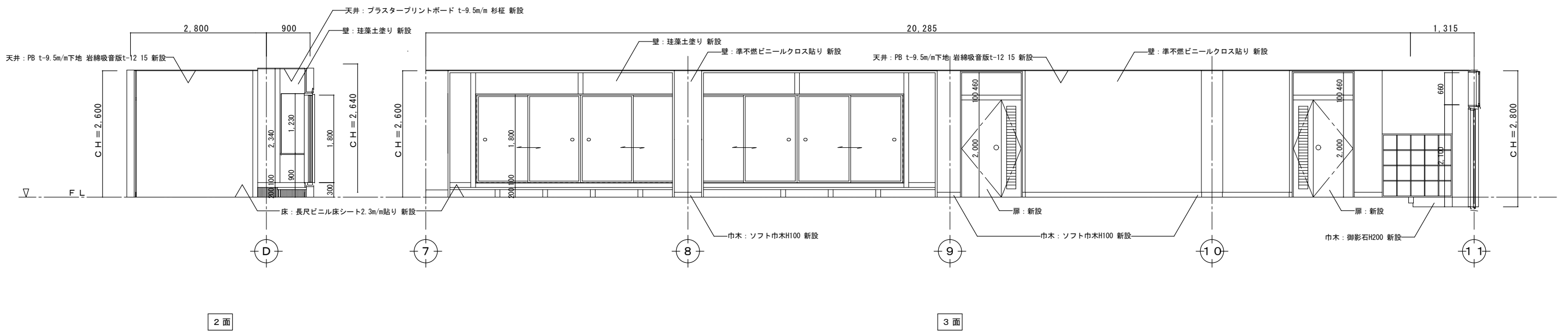
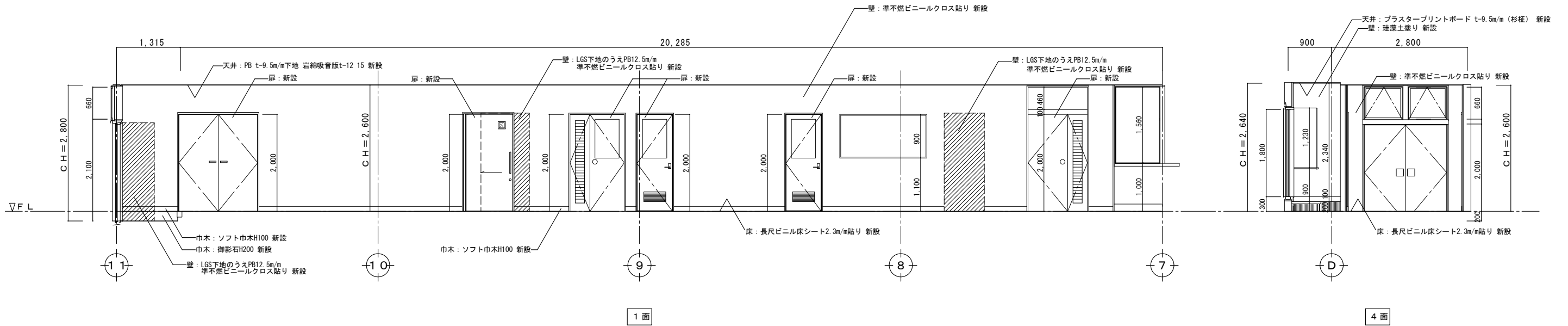
1階 展開図（改修後）事務室 S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	A-47
			訂正年月日				図面名称: 1階 展開図（改修前後）事務室 SCALE 1/60	



1階 展開図 (改修前) 廊下 S=1:60

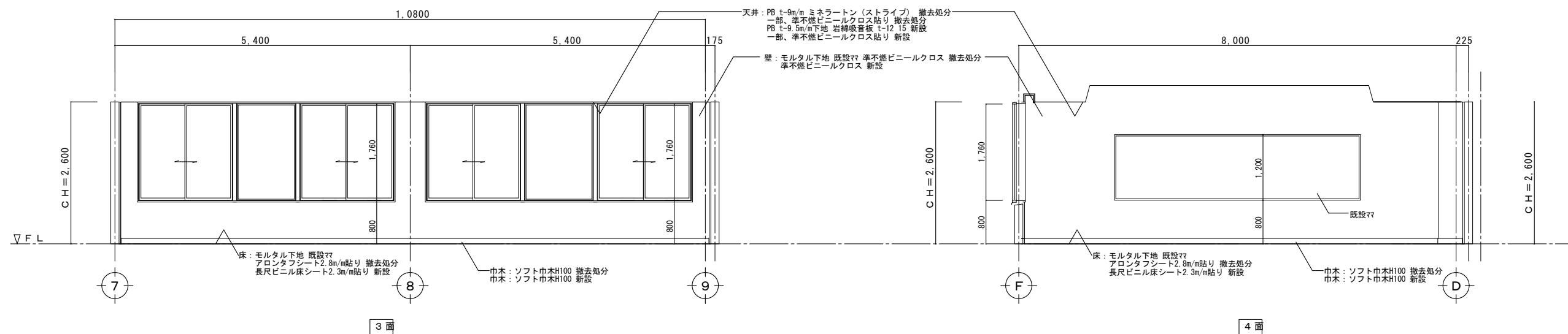
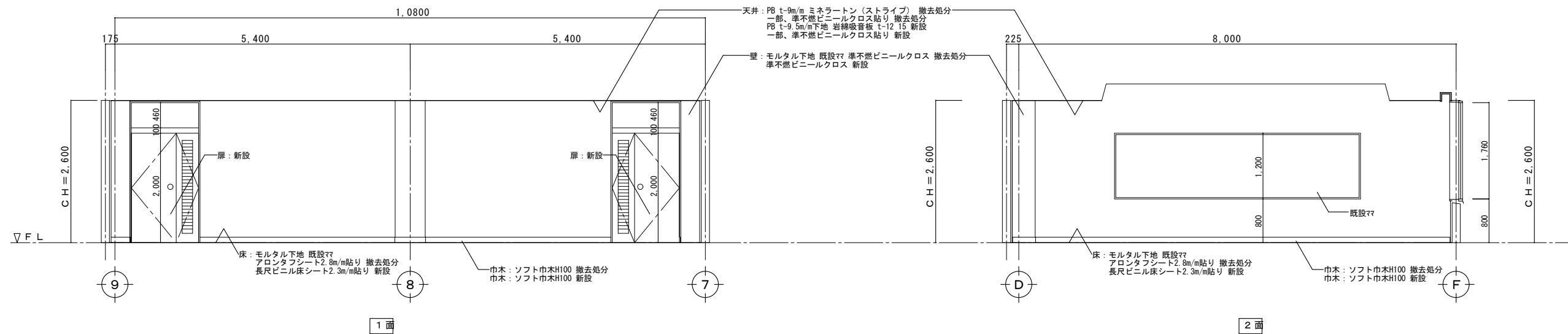
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-48
			訂正年月日					
図面名称 : 1階 展開図 (改修前) 廊下 SCALE 1/60								



1階 展開図（改修後）廊下 S=1:60

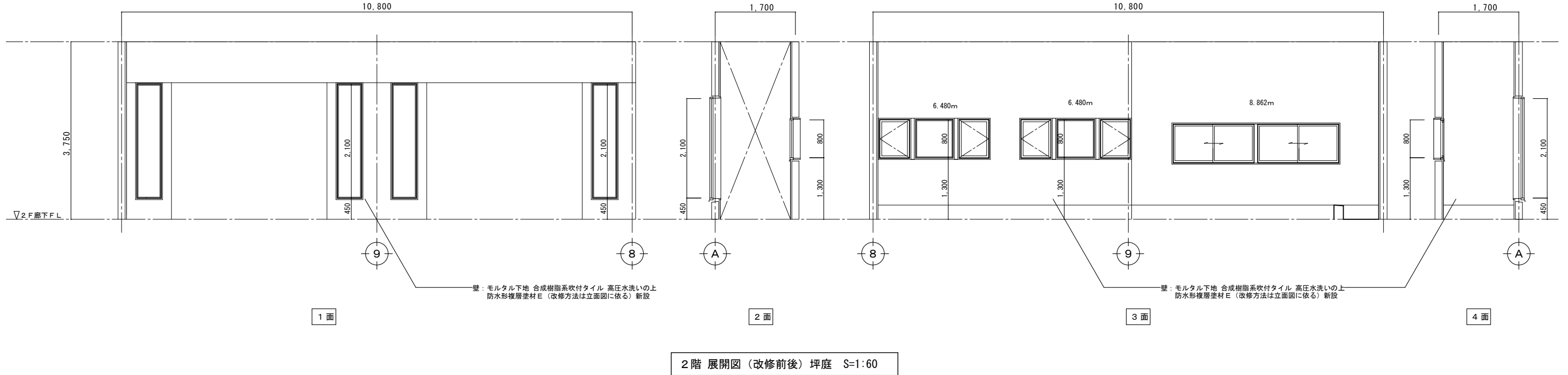
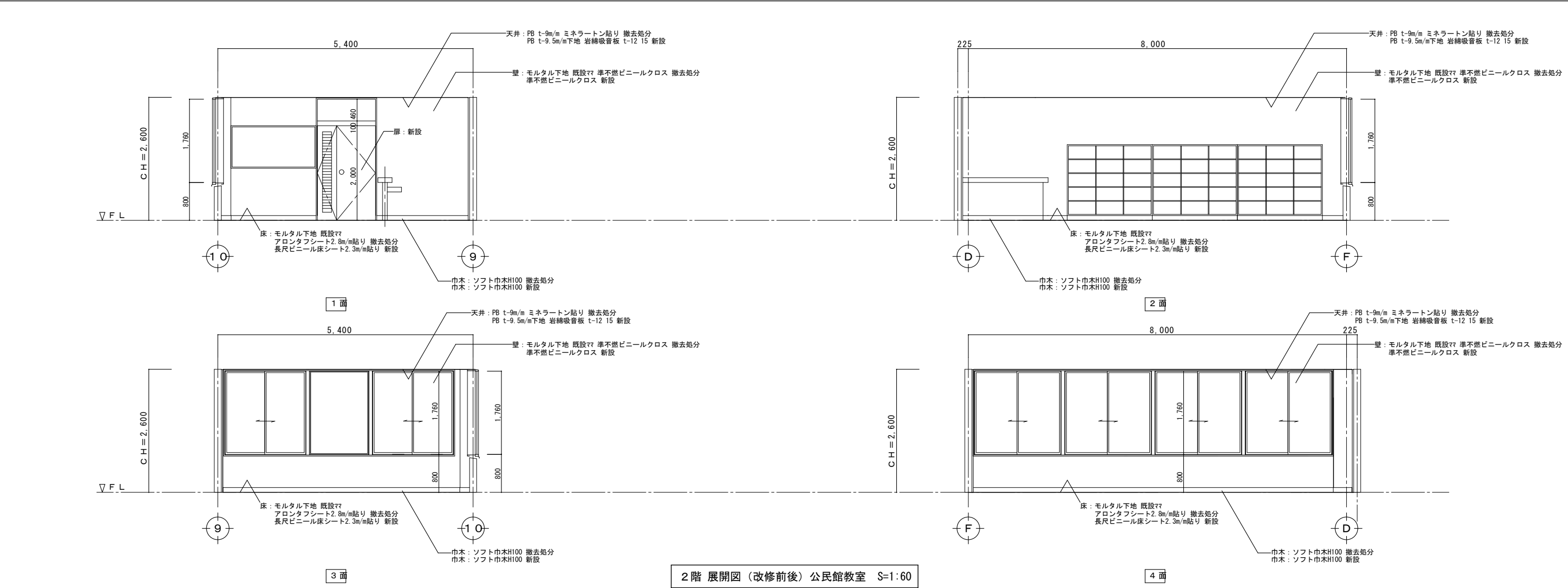
※婦人教養室前の木部は全て清掃

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-49
			訂正年月日					
図面名称 : 1階 展開図 (改修後) 廊下 SCALE 1/60								

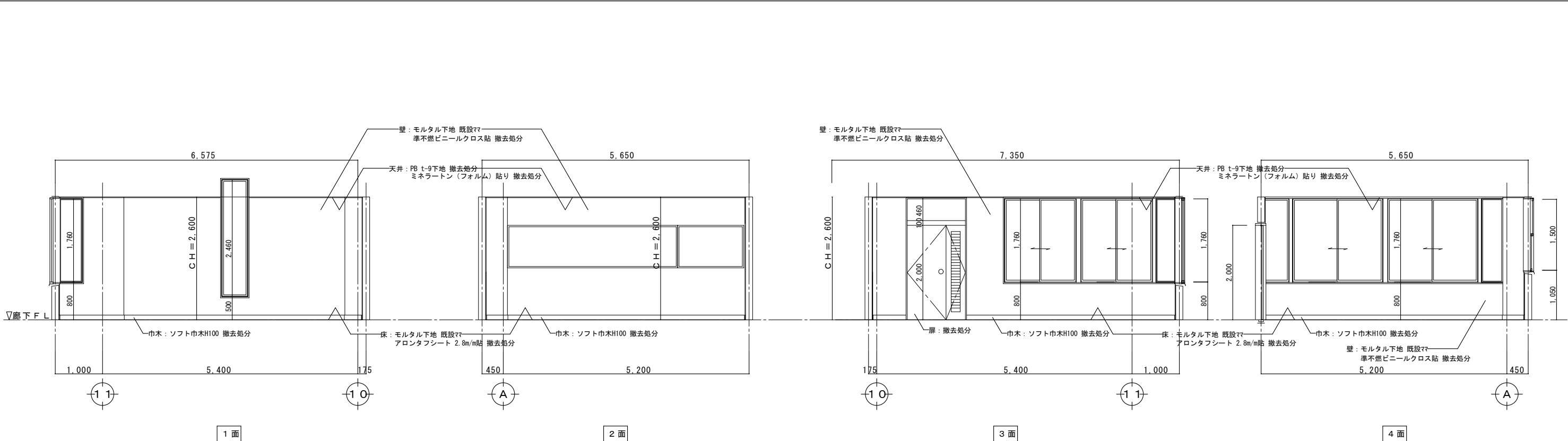


2階 展開図 (改修前後) 小会議室 S=1:60

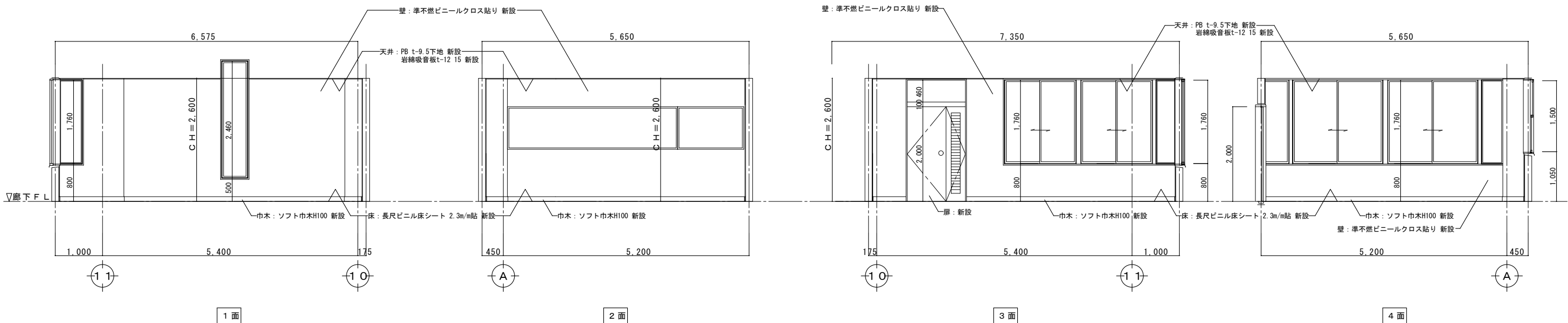
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	A-50
			訂正年月日				図面名称: 2階 展開図 (改修前後) 小会議室 SCALE 1/60	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-51
			訂正年月日				図面名称：2階 展開図 (改修前後) 公民館教室・坪庭SCALE 1/60	

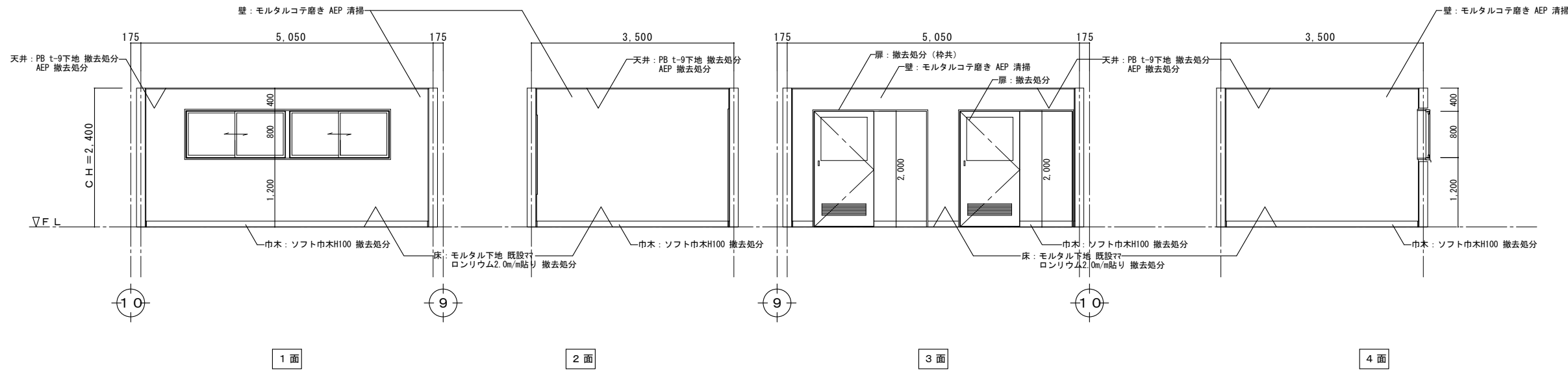


2階 展開図 (改修前) 教育支援センター 1 S=1:60

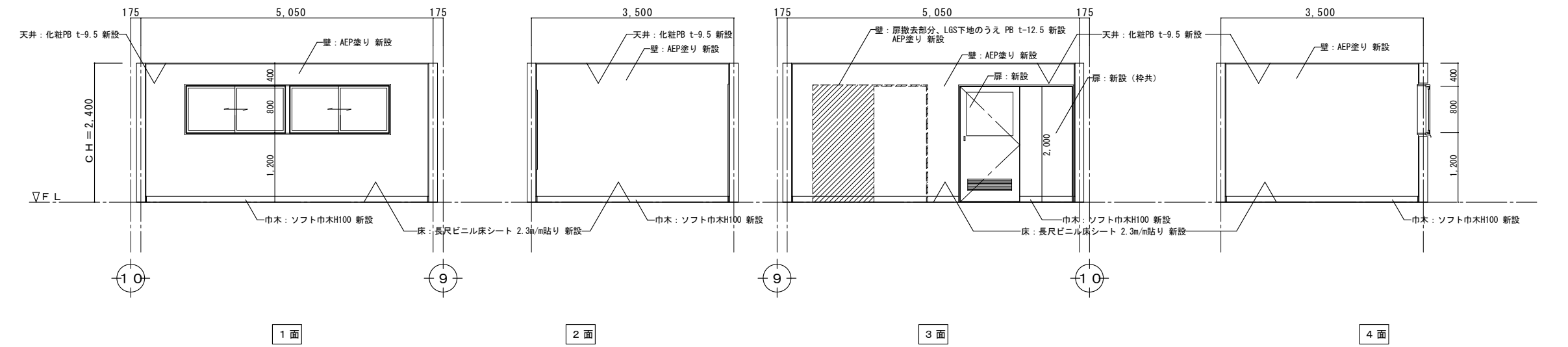


2階 展開図 (改修後) 教育支援センター 1 S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	A-52
			訂正年月日				図面名称: 2階 展開図 (改修前後) 教育支援センター 1 SCALE 1/60	

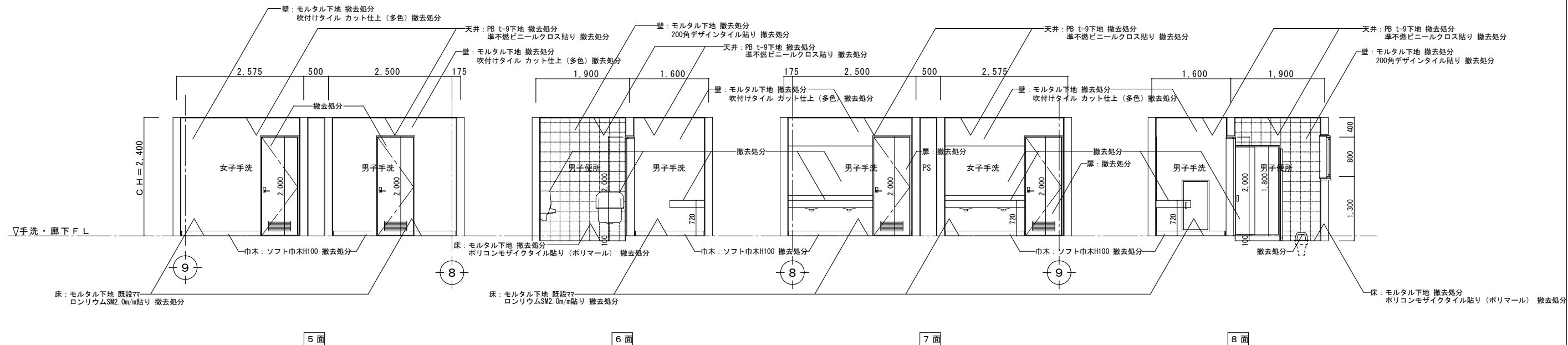


2階 展開図（改修前）器具庫倉庫 S=1:60

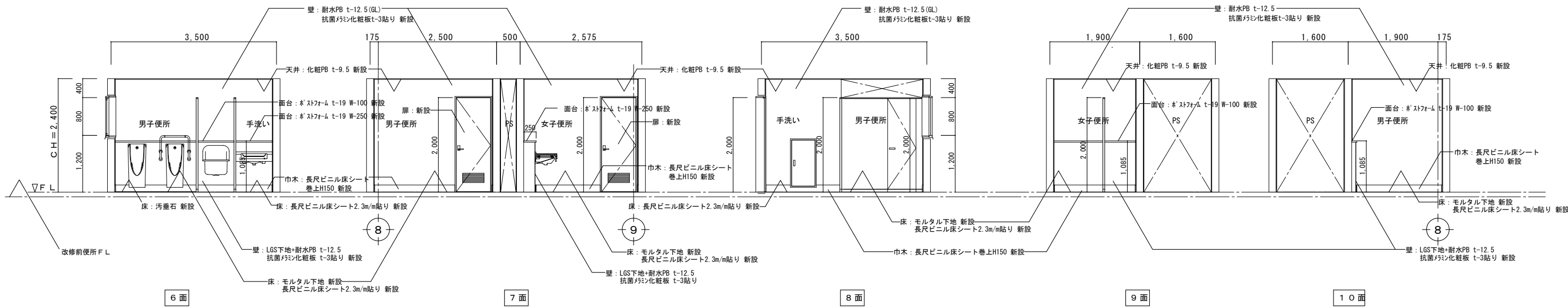
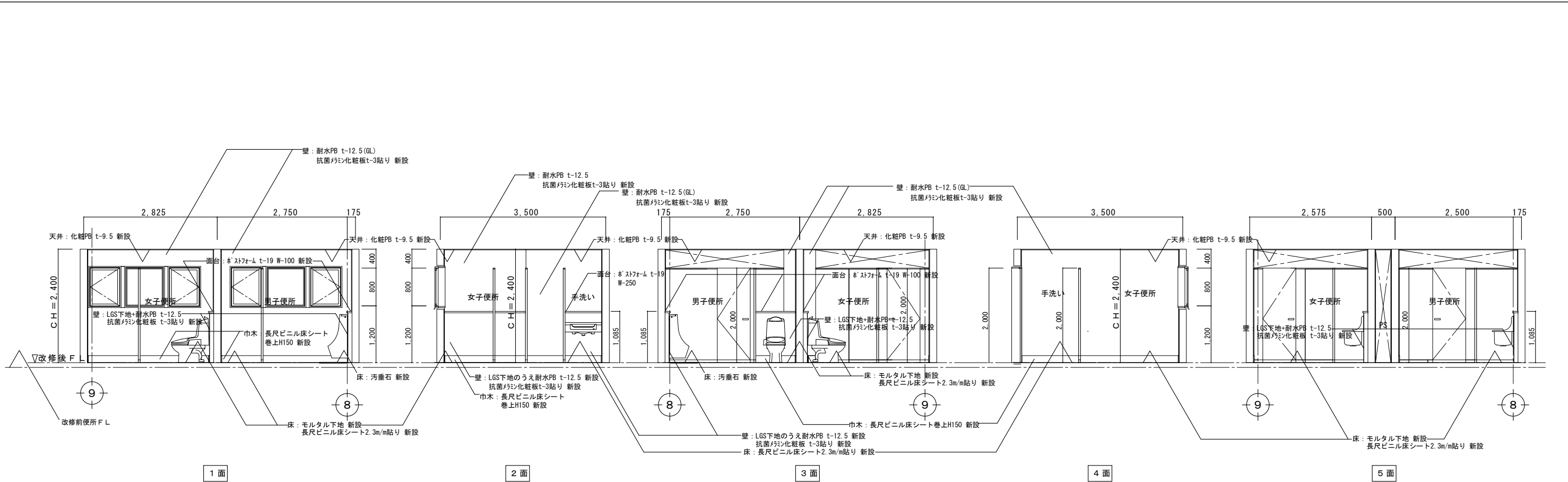


2階 展開図（改修後）教育支援センター2 S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-53
			訂正年月日				図面名称：2階 展開図（改修前）器具庫（改修後）教育支援センター2 SCALE 1/60	

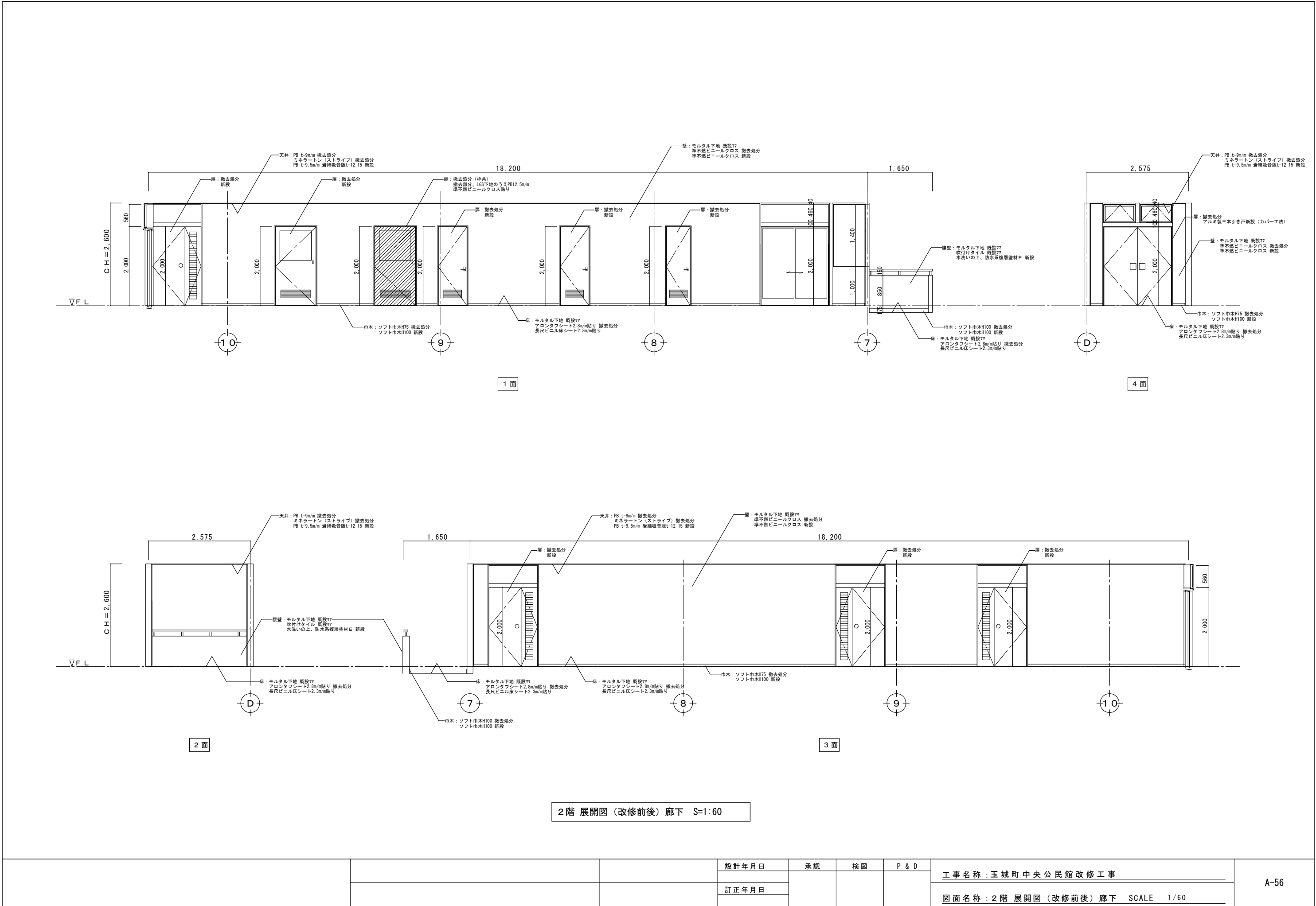


			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-54
			訂正年月日					
							図面名称 : 2階 展開図 (改修前) 男女便所・PSSCALE 1/60	

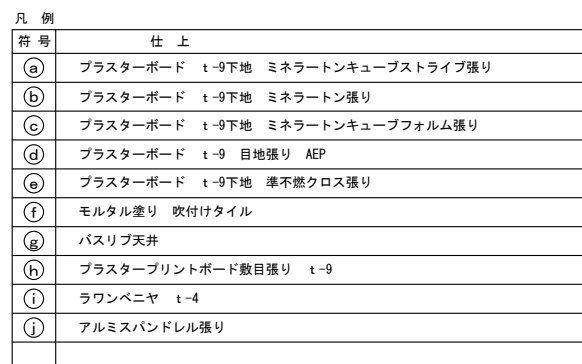


2階 展開図 (改修後) 男女便所、PS S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-55
			訂正年月日				図面名称 : 2階 展開図 (改修後) 男女便所・PS SCALE 1/60	



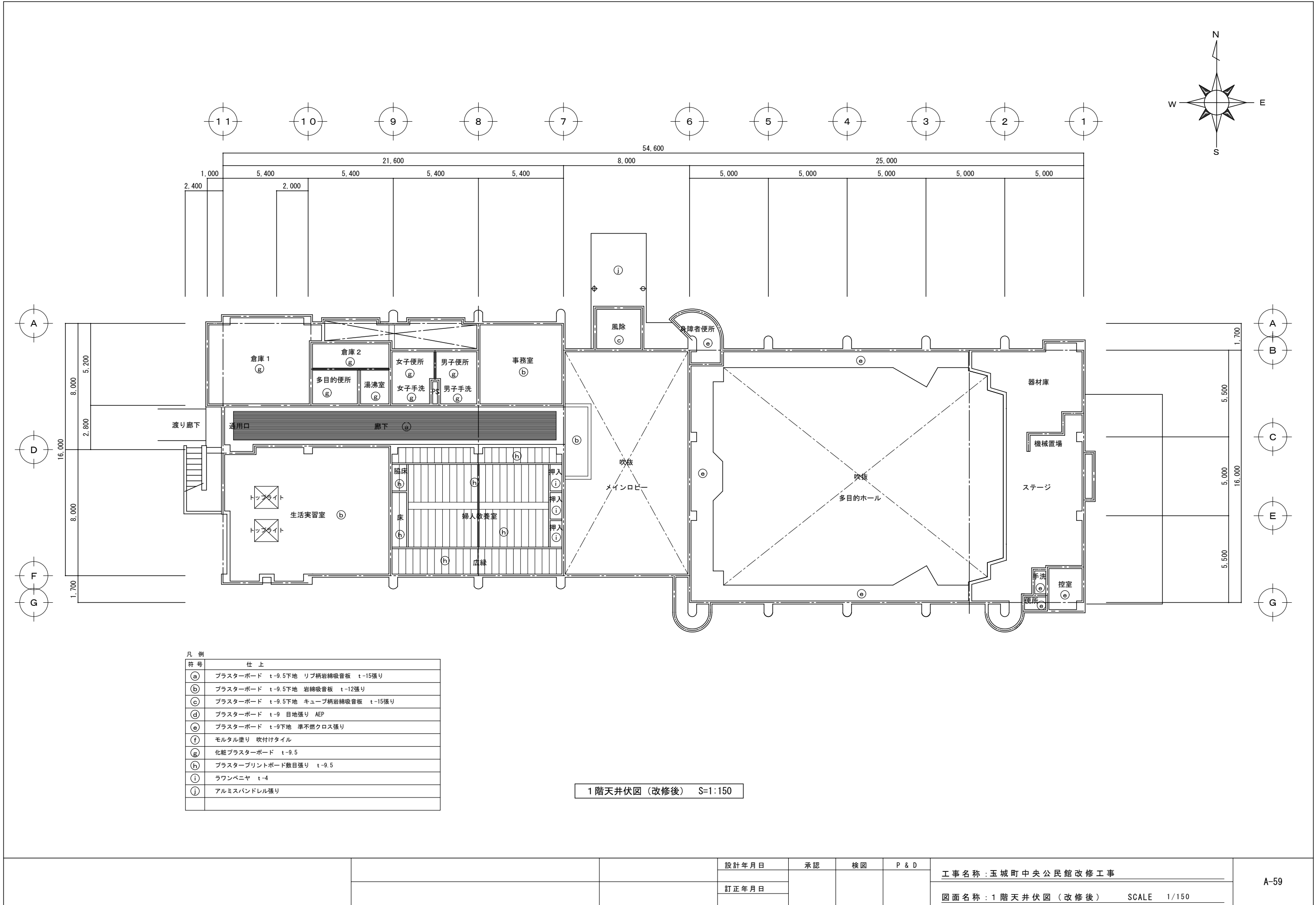
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-56
			訂正年月日				図面名称 : 2階 展開図 (改修前後) 廊下 SCALE 1/60	

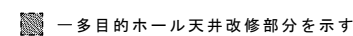


設計年月日	承認	検図	P & D
訂正年月日			

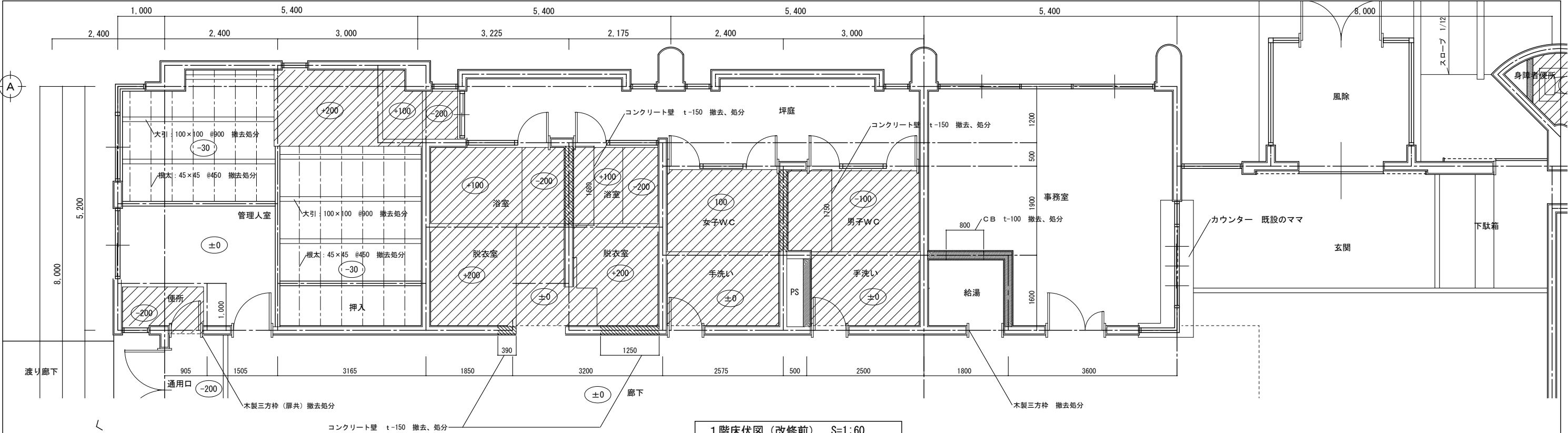
圖面名稱：2階天井伏図（改修前） SCALE 1/150

A2→A3縮小 71%



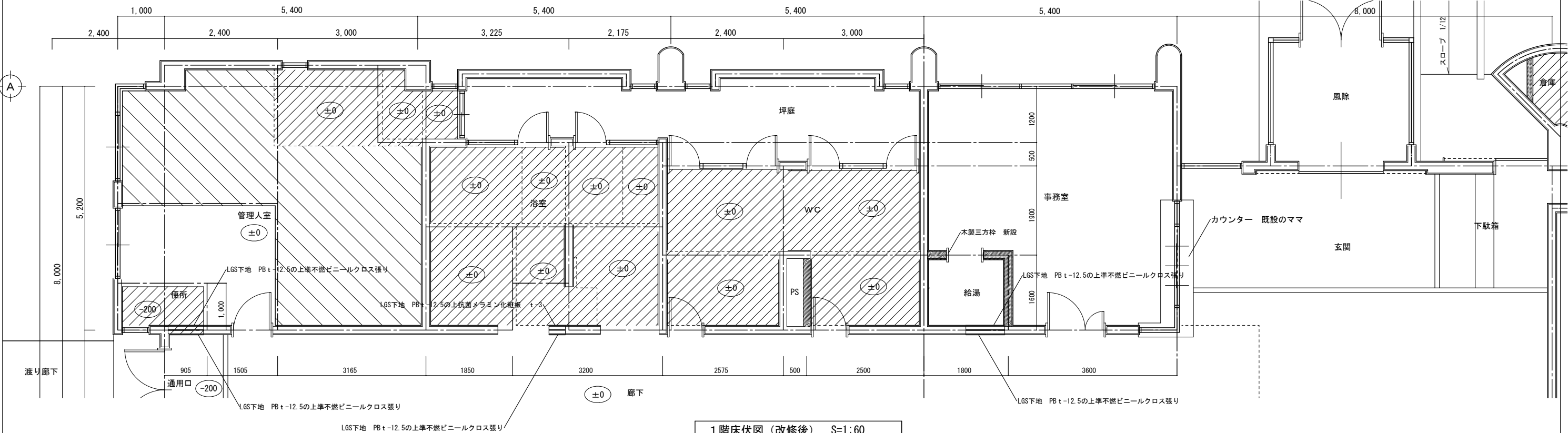


A2→A3縮小 71%



1階床伏図 (改修前) S=1:60

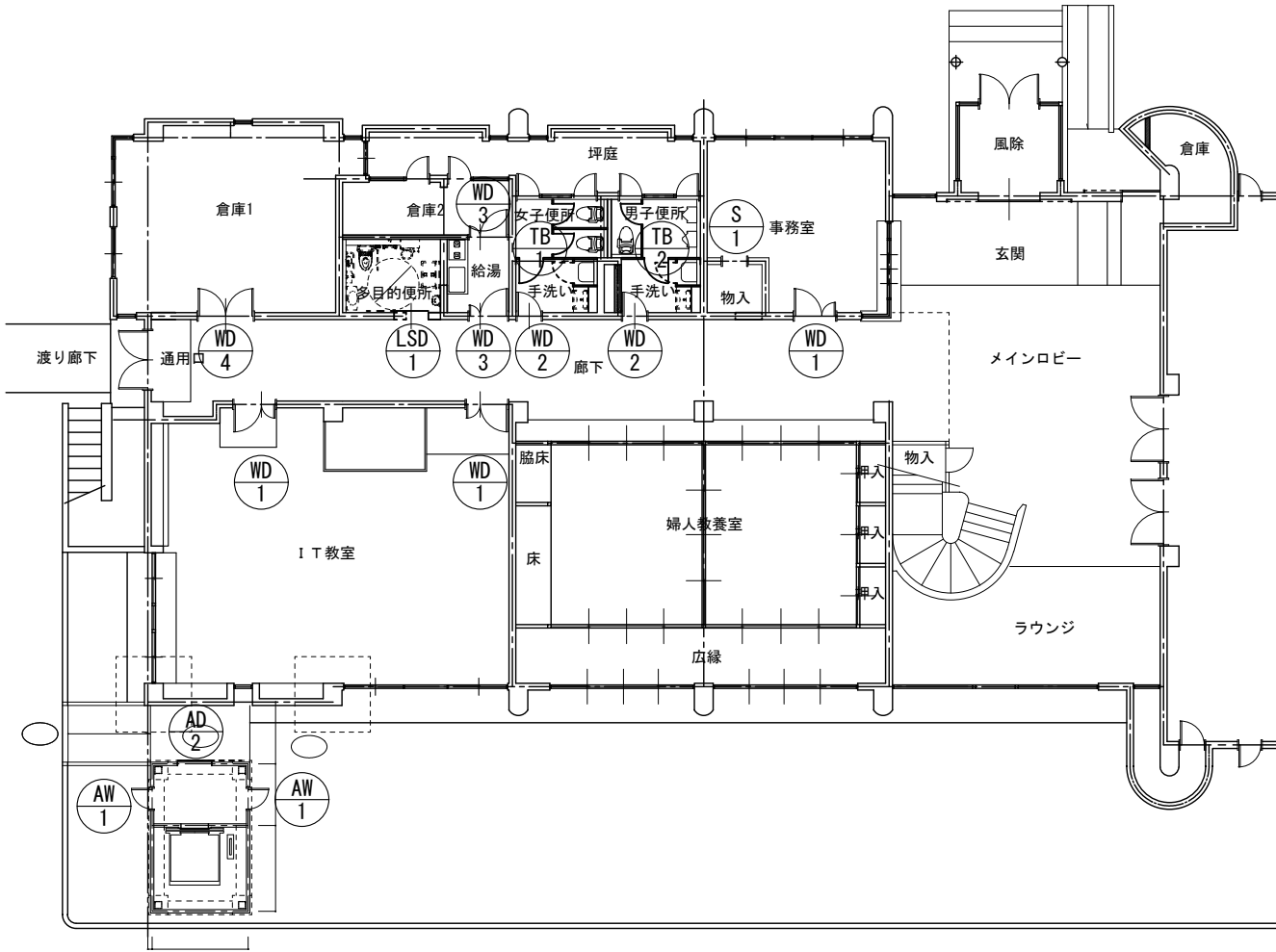
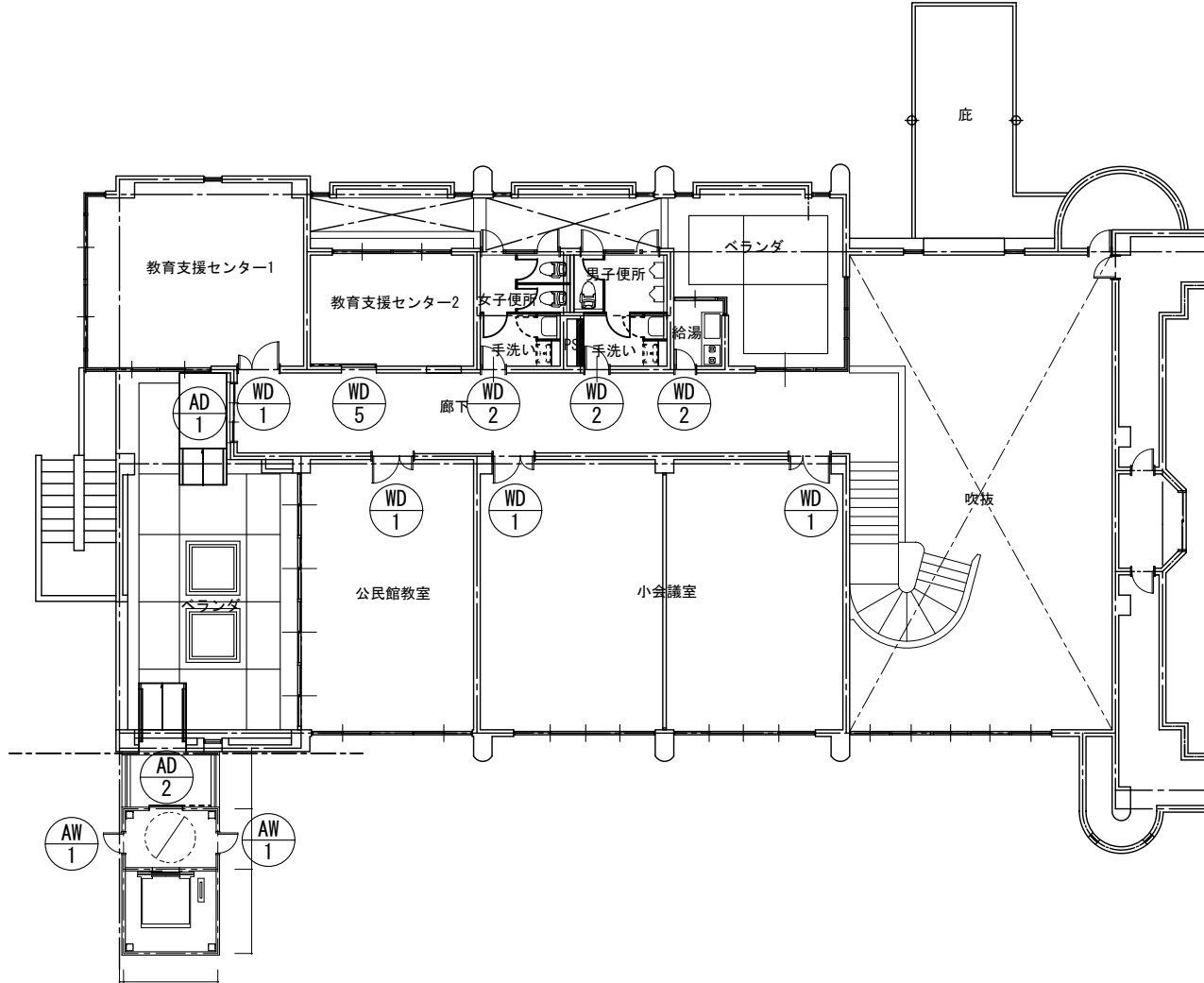




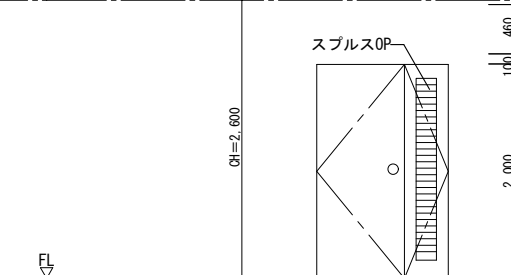
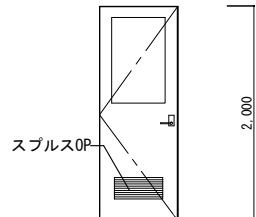
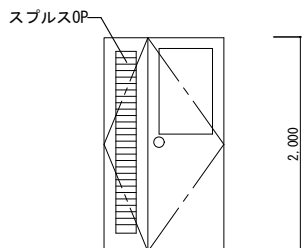
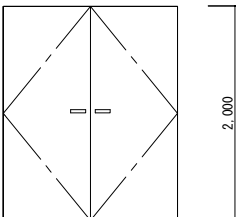
- ±0 床仕上りレベルを示す
- コンクリートブロック壁を示す
- 土間コンクリート撤去、処分を示す
※壁際鉄筋は極力残す事



1階床伏図 (改修後) S=1:60

- ±0 床仕上りレベルを示す
- コンクリートブロック壁を示す
- 土間コンクリート t-100 (補強筋 6Φ @150) モルタル下地共 新設
- モルタル下地 新設

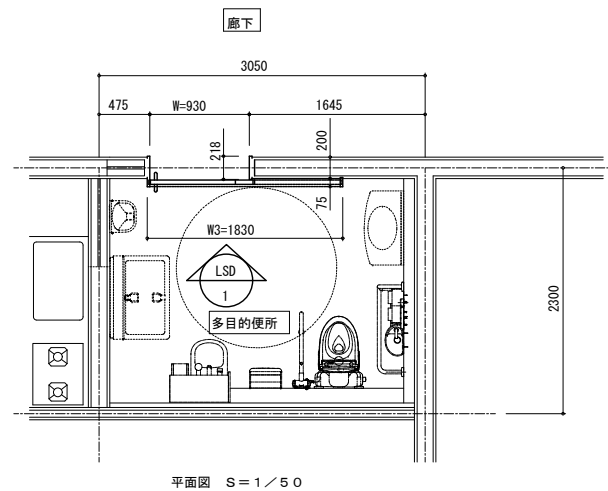
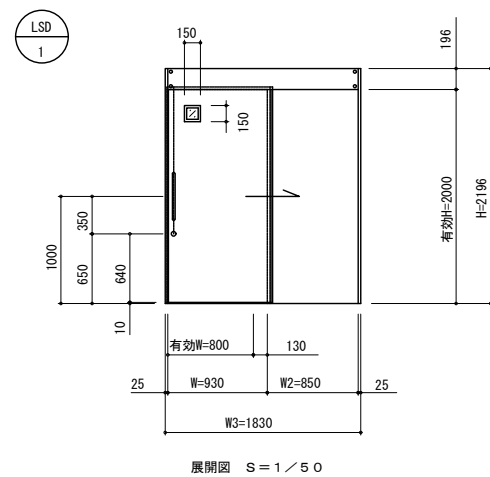
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-61
			訂正年月日				図面名称 : 1階床伏図 (改修前後) SCALE 1/60	

								
記 号	 7ヶ所	 5ヶ所	 2ヶ所	 1ヶ所				
姿 図								
部 屋 名	1階：事務室、IT教室 2階：教育支援センター1、公民館教室、小会議室		1階：男女手洗い 2階：男女手洗い、給湯					
型 式	ガラリ付き親子片開き戸		ガラリ付き片開き戸					
材 質	メラミン化粧板		メラミン化粧板					
見 込	扉厚40mm		扉厚40mm					
ガ ラ ス	-		型板ガラス t = 4mm					
金 物	シリンダー錠、ドアチェック、フランス落し、丁番		空錠、丁番、アームストッパー					
備 考	枠は既設を使用		枠は既設を使用					
			設計年月日	承認	検 図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-62
			訂正年月日				図面名称：建具指示図、建具表 1	
							SCALE 1/50, 1/150	

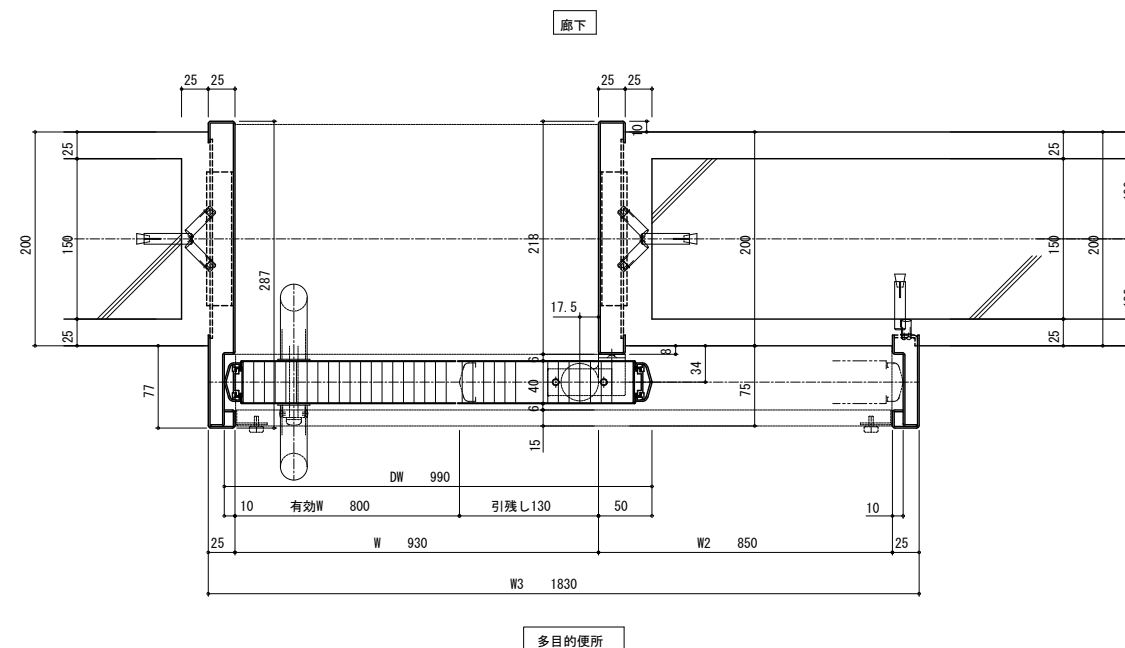
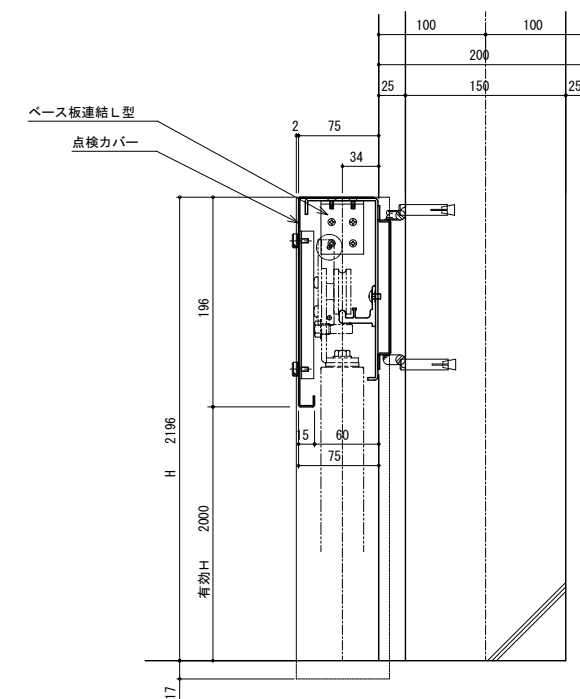
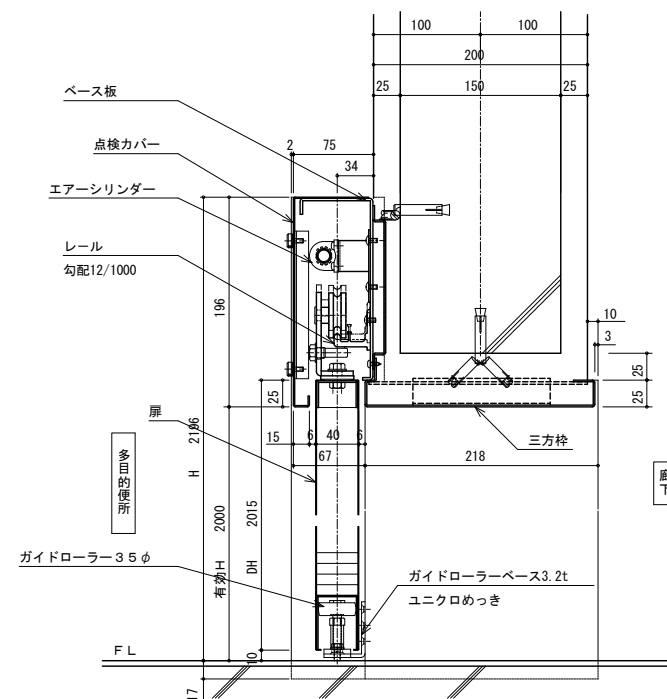
姿 図	<div>WD 5</div>		<div>LSD 1</div>	<div>S 1</div>	1ヶ所	1ヶ所					
					部 屋 名	2階：教育支援センター2	1階：多目的便所	1階：事務室			
					型 式	片引き込み戸	ハンガードア 外付けタイプ（片引き）	三方枠			
					材 質	メラミン化粧板	スチール製	スチール製（枠：垂鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上げ）			
					見 込	扉厚40mm	扉厚40mm				
ガ ラ ス	型板ガラス t=4mm	型板ガラス t=4mm									
金 物	引手、戸車、レール、シリンダー錠、	引き戸用表示錠付き本錠錠、ステンレス製ハンドル、ステンレス製沓摺									
備 考	ドア枠共に新設	アルミ製切窓									
記 号	<div>TB 1</div>	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所					
姿 図	<div>天井面</div>										
							部 屋 名	1階：女子便所	1階：女子便所	1階：女子便所	1階：女子便所
							型 式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
							材 質	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
							見 込	扉厚40mm	扉厚40mm	扉厚40mm	扉厚40mm
ガ ラ ス	-	-	-	-							
金 物	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り	笠木・目板	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り							
備 考	ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	巾木・床レール	ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	巾木・床レール							
記 号	<div>TB 2</div>	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所					
姿 図											
							部 屋 名	1階：男子便所	1階：男子便所	1階：男子便所	1階：男子便所
							型 式	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース
							材 質	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)	高圧メラミン樹脂化粧板(下地：MDF)
							見 込	扉厚40mm	扉厚40mm	扉厚40mm	扉厚40mm
ガ ラ ス	-	-	-	-							
金 物	笠木・目板	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り	笠木・中心吊ヒンジ・目板・戸当り							
備 考	巾木・床レール	ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	ロック・戸当り帽子掛け・巾木・床レール	巾木・床レール							
				設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-63		
				訂正年月日				図面名称：建具表 2			
								SCALE 1/50			

記 号		AD 1	1ヶ所	AW 1	2ヶ所					AW 1	4ヶ所
姿 図											
				有効開口800							
部 屋 名	2階：教育支援センター2		E Vホール						E Vホール		
型 式	自閉式片引きハンガー戸		自閉式片引きハンガー戸						アルミ滑り出し窓		
材 質	着色陽極酸化塗膜複合被膜		着色陽極酸化塗膜複合被膜						着色陽極酸化塗膜複合被膜		
見 込	100mm		100mm						70		
ガ ラ ス	強化ガラスFL5		強化ガラスFL5						F4		
金 物	ステンレス引棒、引戸用シリンダー錠、自動閉鎖装置三方枠、ステンレス沓摺、付属金物一式		ステンレス引棒、引戸用シリンダー錠、自動閉鎖装置三方枠、ステンレス沓摺、付属金物一式						水切、開き網戸、カムラッチハンドル、丁番、アングル、付属金物一式		
備 考	カバー工法								木製額縁 (25×100)		
記 号											
姿 図											
部 屋 名											
型 式											
材 質											
見 込											
ガ ラ ス											
金 物											
備 考											
記 号											
姿 図											
部 屋 名											
型 式											
材 質											
見 込											
ガ ラ ス											
金 物											
備 考											

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-64
			訂正年月日					
			図面名称：建具表 3					



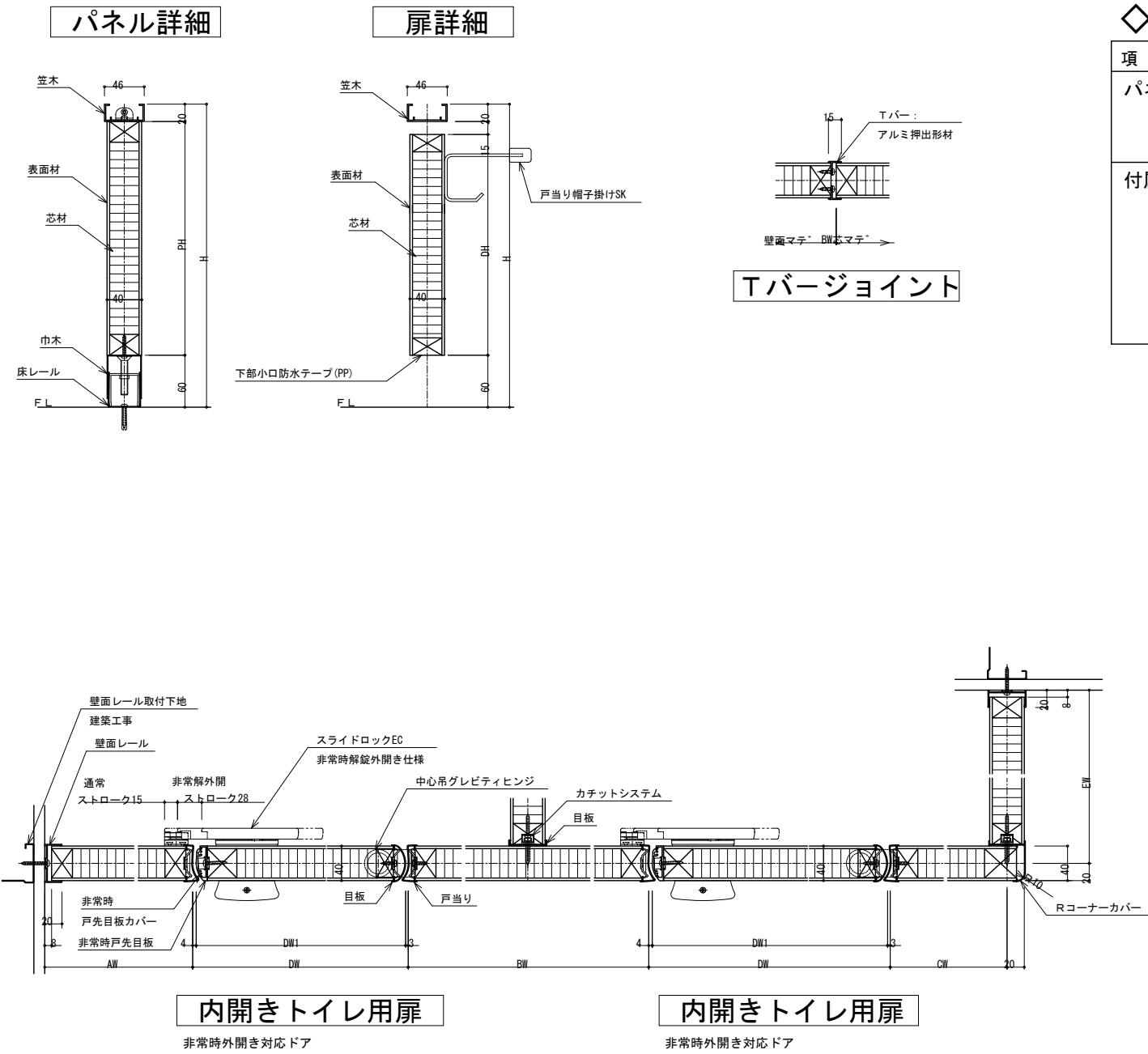
◇仕様表		
項 目	部 材	材 料 (板厚mm)
駆動装置	駆動方式	傾斜レール 制御装置エアダンパ
	ベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
	レール	アルミ押出材材 <アルマイト処理仕上>
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめつき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯 材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
金物	ロック	表示錠
	取 手	ステンレス鏡面ハンドルφ25 L=450
切窓ガラリ	切窓	アルミ押出材材 <焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3～6mm<グレー色>



建具詳細図 1 S=1:50, 1/5

		設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-65
		訂正年月日					
						図面名称 : 建具詳細図 1	SCALE 1/50, 1/5

断面図 S=1/5



内開きトイレ用扉

内開きトイレ用扉

非常時外開き対応ドア

便所～手洗い室出入口用片開き扉

便所～手洗い室出入口用片開き扉

非常時外開き対応ドア

SK・物入れ用片開き扉

SK・物入れ用片開き扉

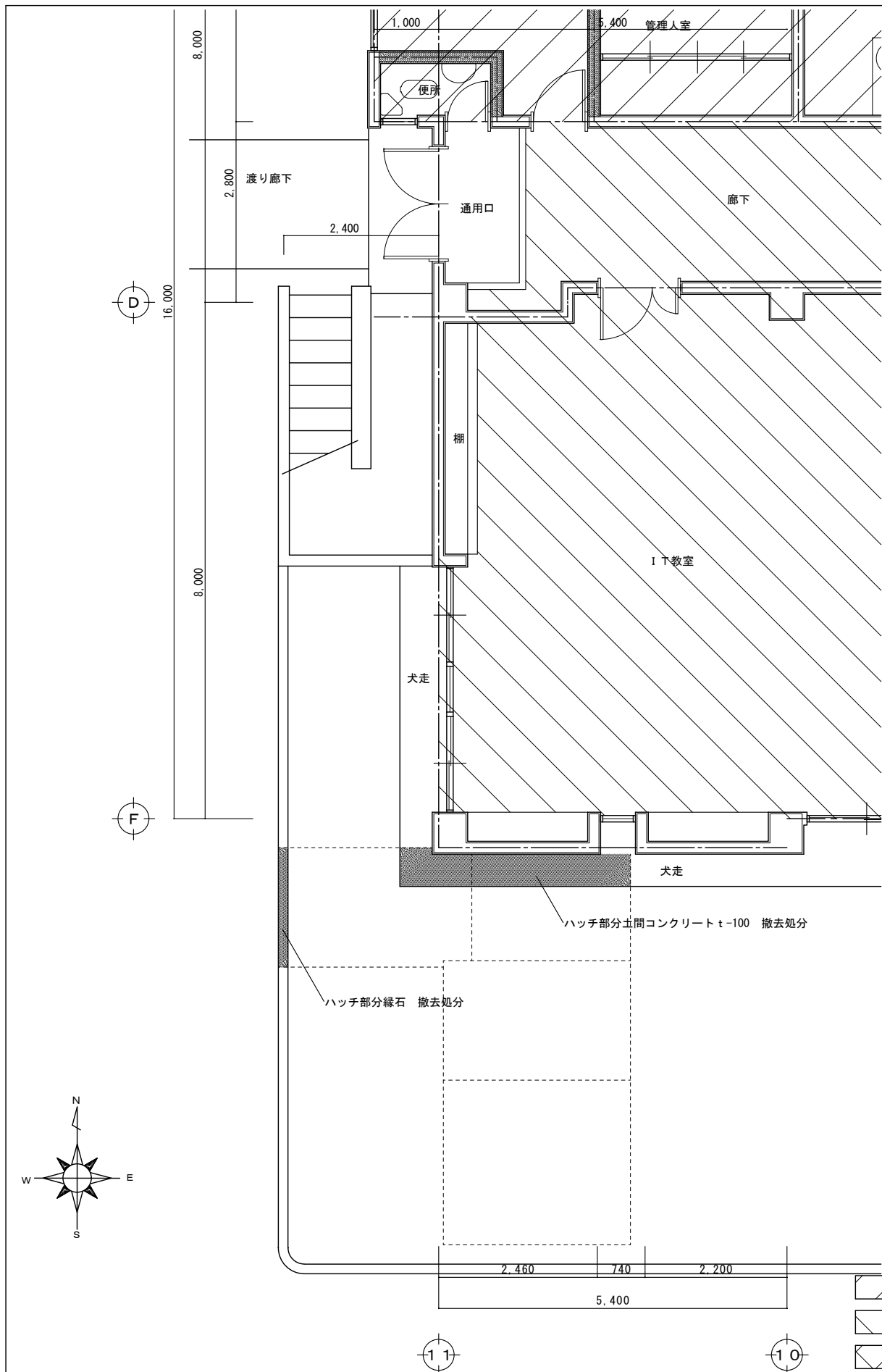
非常時外開き対応ドア

◇仕様表

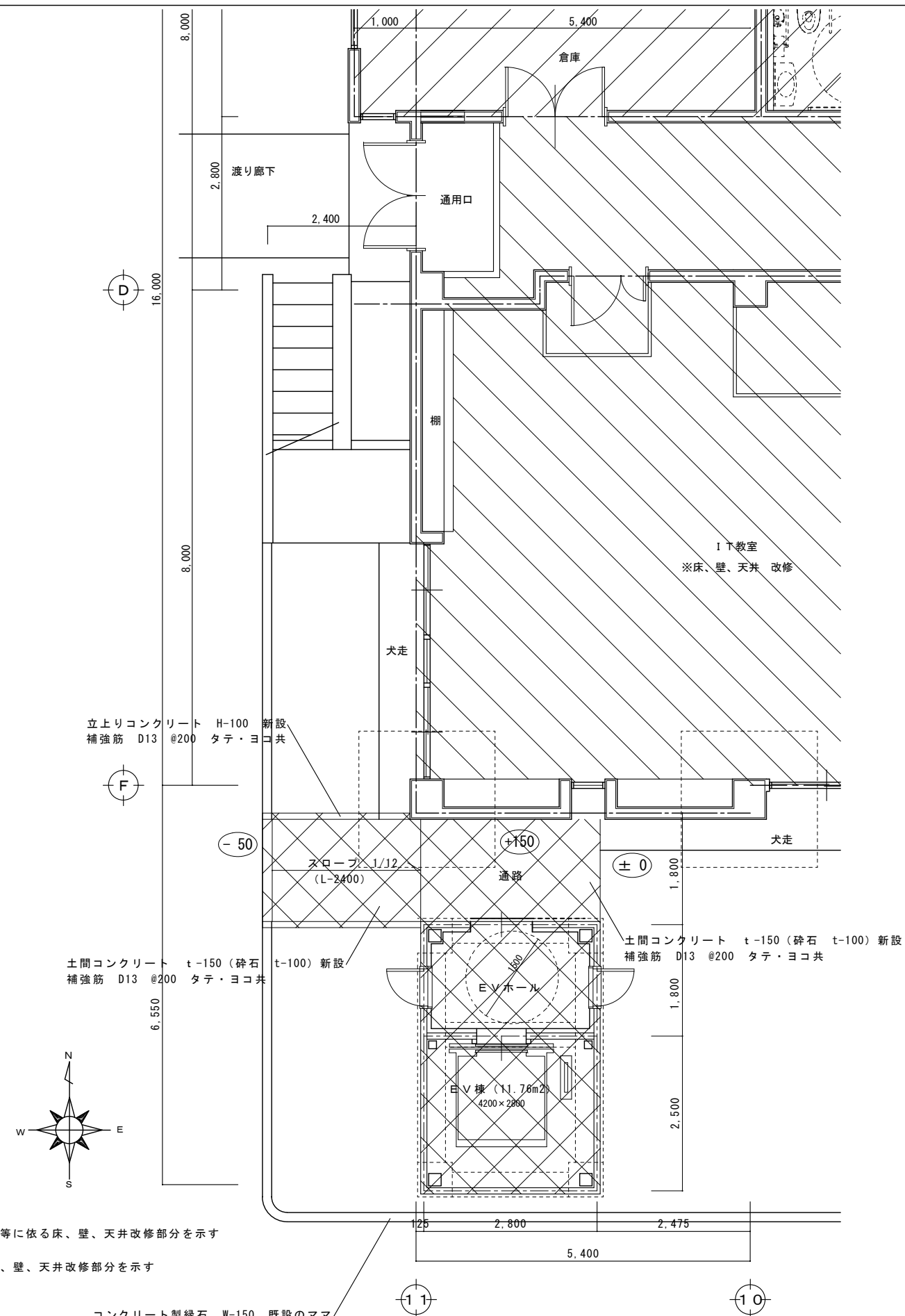
項 目	部 材	材 料（板厚mm）
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF）
	芯 材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
付属品	巾木／床レール	ステンレス 0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	笠木	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	壁面レール／コーナーカバー	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	ヒンジ／SKヒンジ	中心吊グレビティヒンジ／中心吊ヒンジ
	ロック	スライドロックEC（非常時解錠外開き仕様）
	その他金物	戸当り帽子掛けSK／引手HM

建具詳細図 2 S=1:5

			設計年月日	承認	検 図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-66
			訂正年月日				図面名称：建具詳細図 2	
							SCALE 1/5	

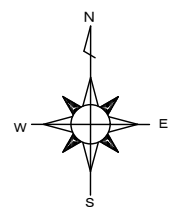


1階EV廻り平面詳細図（改修前） S=1:60

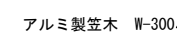


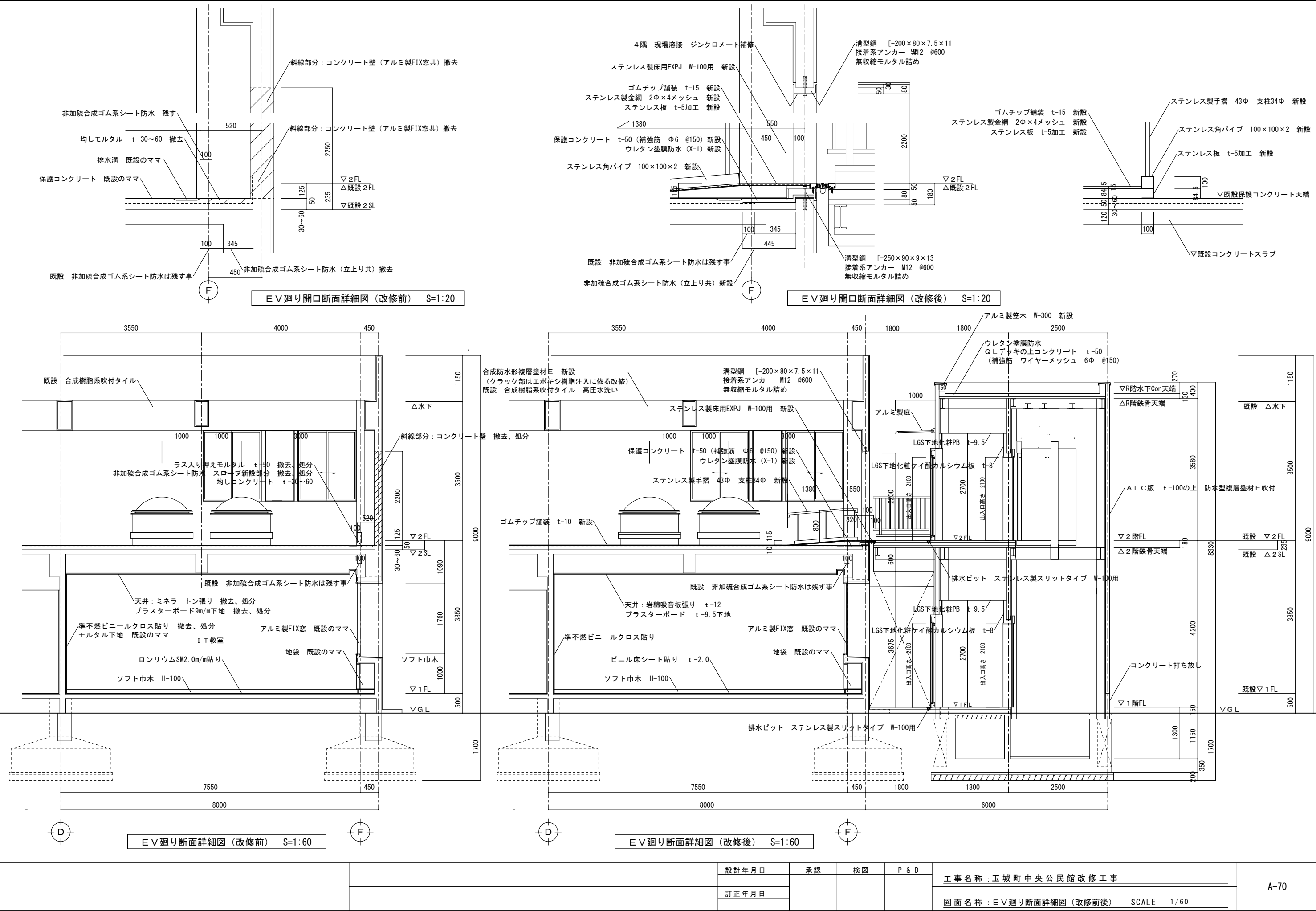
1階EV廻り平面詳細図（改修後） S=1:60

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-67
			訂正年月日				図面名称：1階EV廻り平面詳細図（改修前後） SCALE 1/60	



-

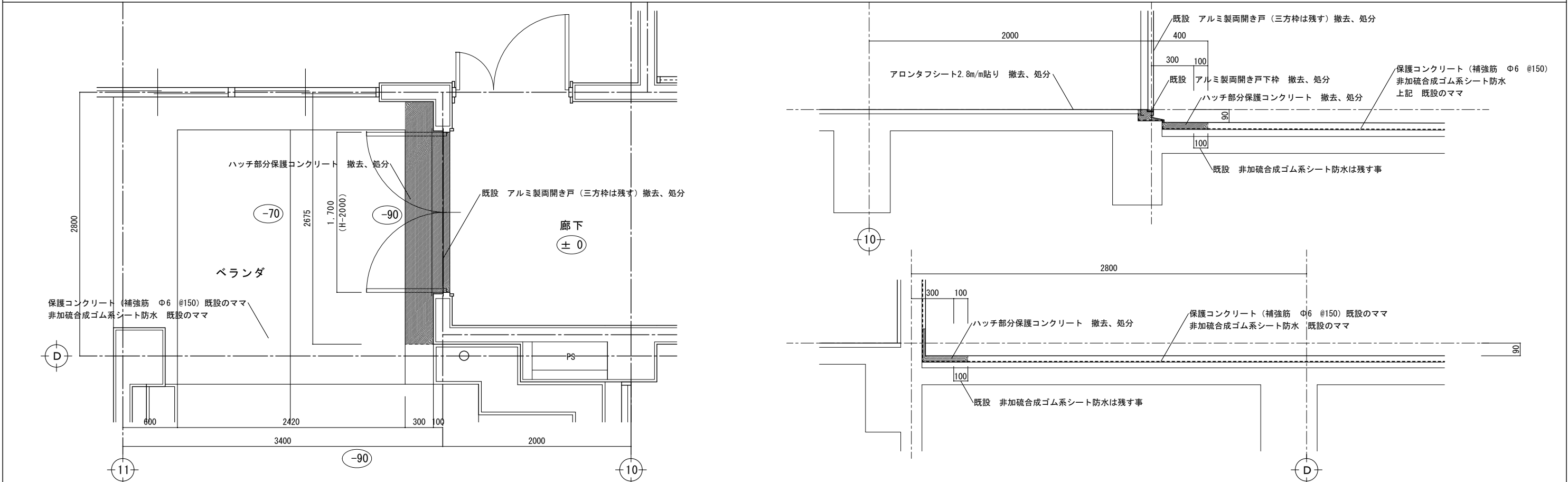
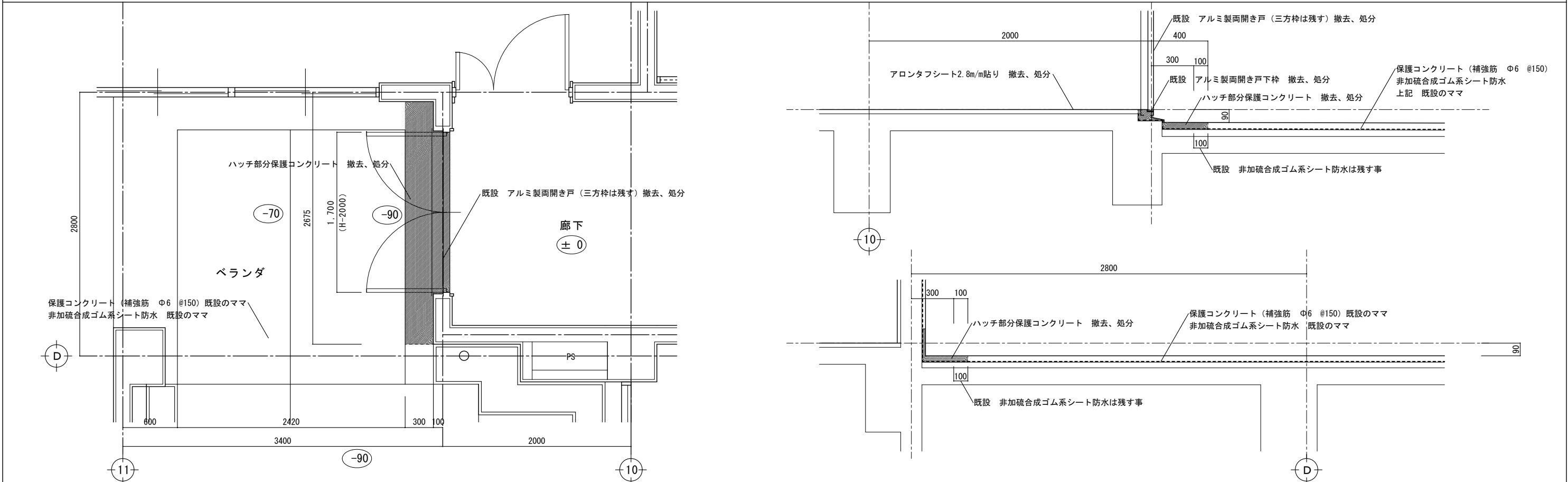
A-69



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-70
			訂正年月日				図面名称：E-V廻り断面詳細図（改修前後）	
							SCALE 1/60	

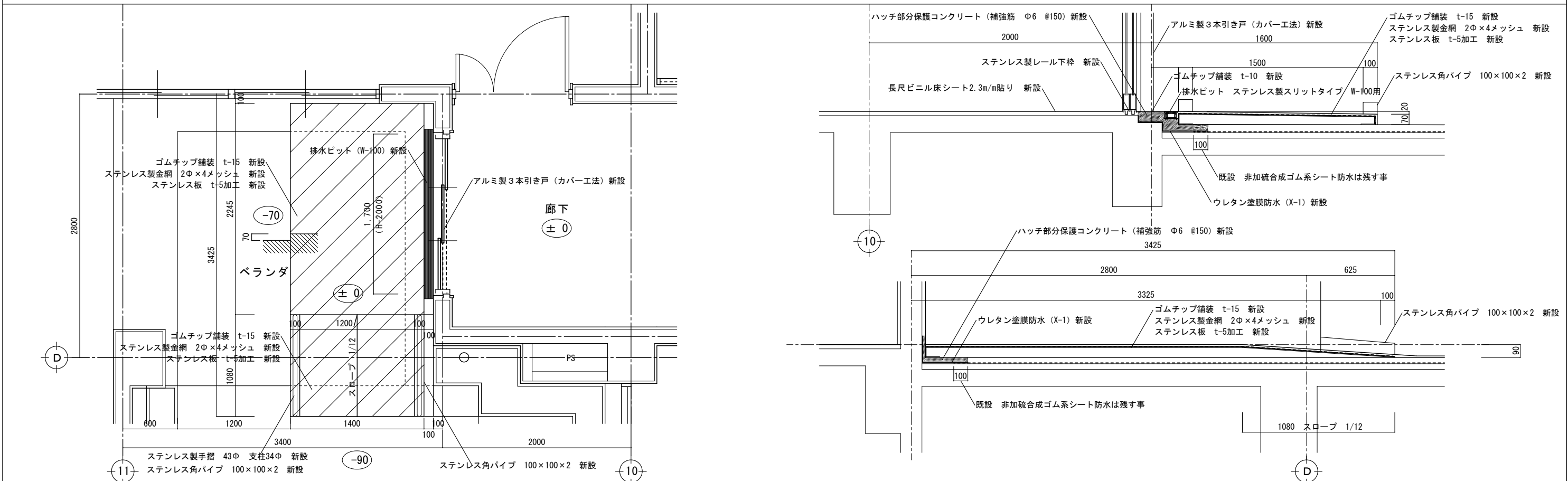
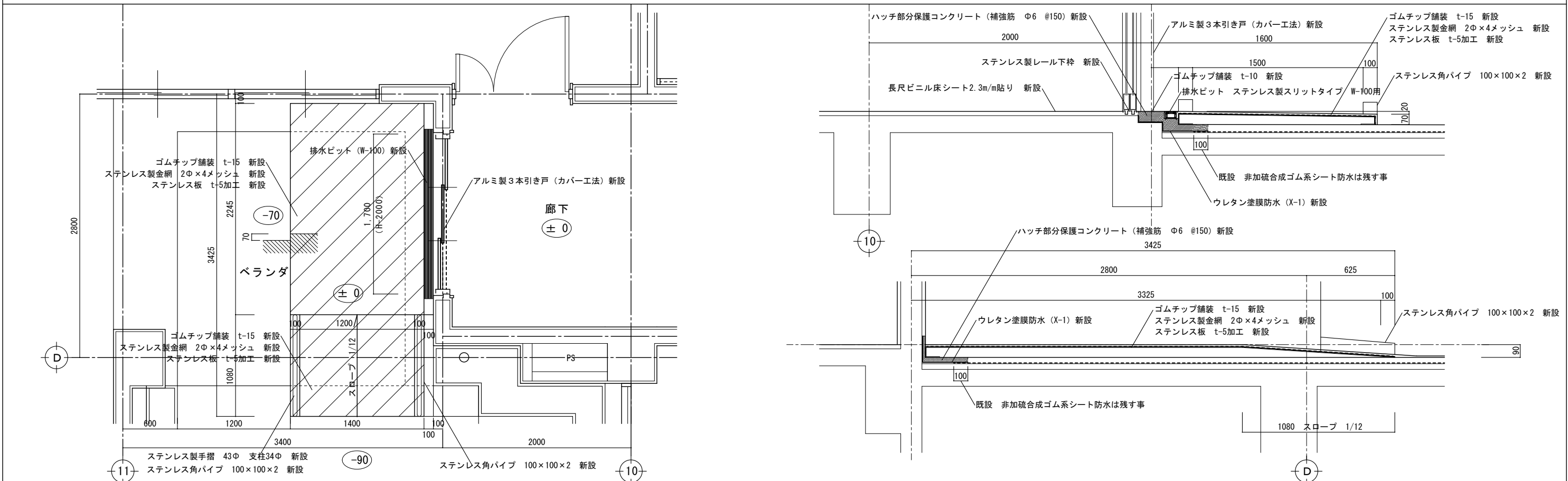
2 階廊下出入口廻り詳細図（改修前） 1 : 30 1 : 20

2 階廊下出入口廻り詳細図（改修前） 1 : 30 1 : 20

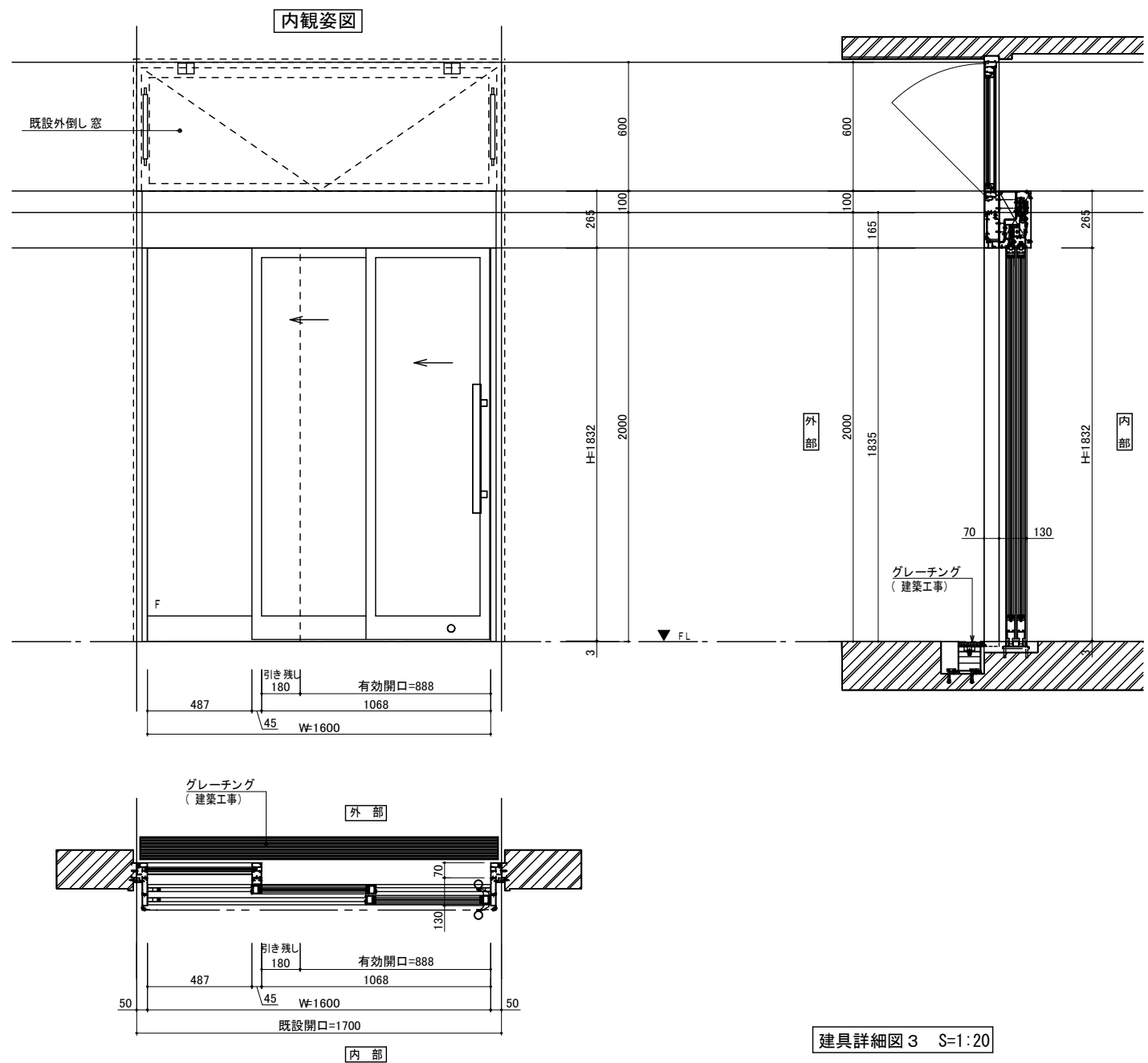


2 階廊下出入口廻り詳細図（改修後）	1 : 30	1 : 20
--------------------	--------	--------

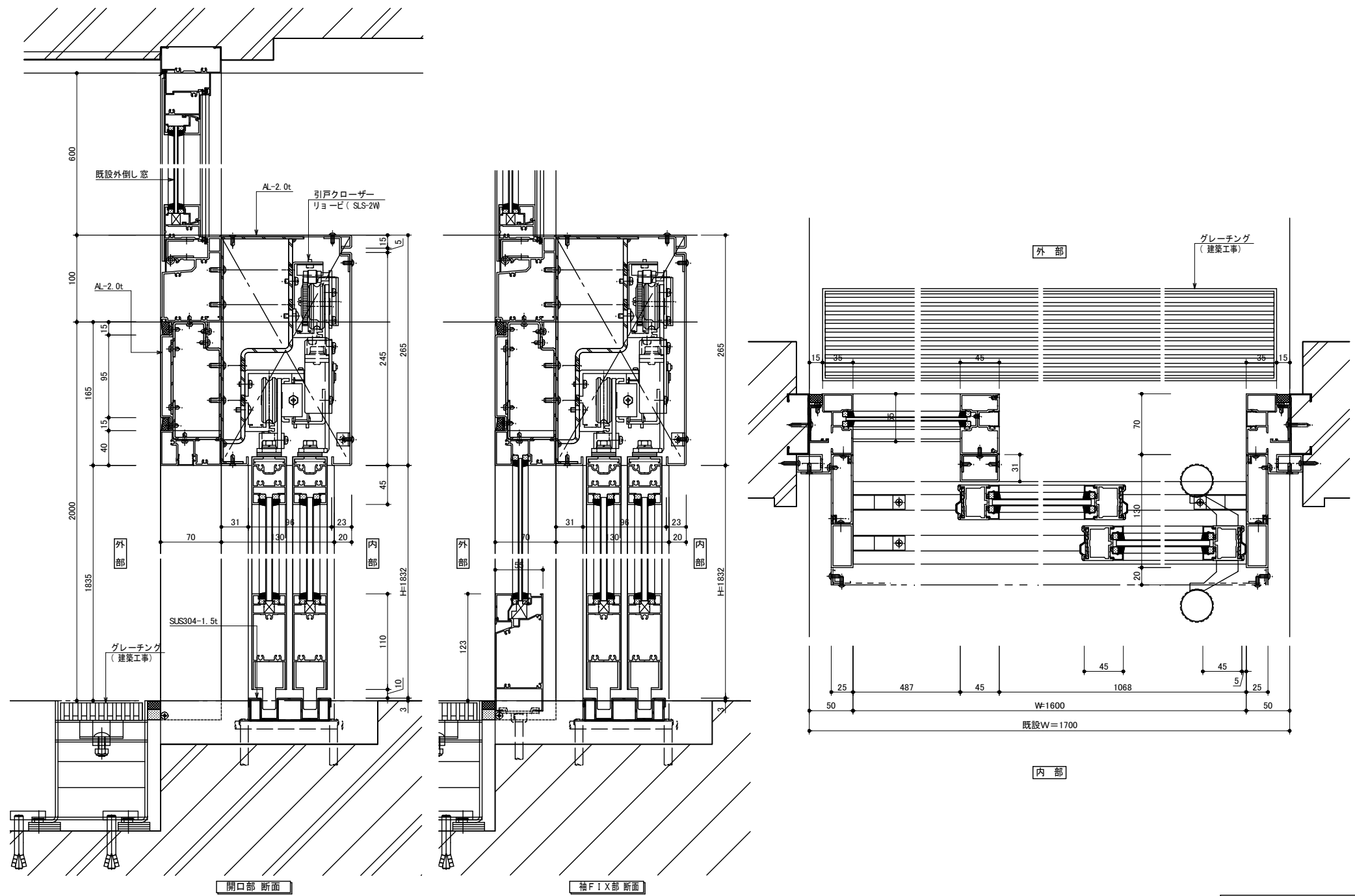
2 階廊下出入口廻り詳細図（改修後）	1 : 30	1 : 20
--------------------	--------	--------



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-71
			訂正年月日					
							図面名称 : 2階廊下出入口廻り詳細図 (改修前後) SCALE 1/30, 1/20	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-72
			訂正年月日				図面名称 : 建具詳細図 3	
							SCALE 1/20	



建具詳細図4 S=1:4

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-73
			訂正年月日				図面名称 : 建具詳細図4	
							SCALE 1/4	

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	P11-CO
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法開口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	2停止（1-2階）
	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz
	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。 管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。 （建築基準法施行令第129条の10第3項第三号） もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。 1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、 鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。 例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉館する。

エレベーター仕様要項

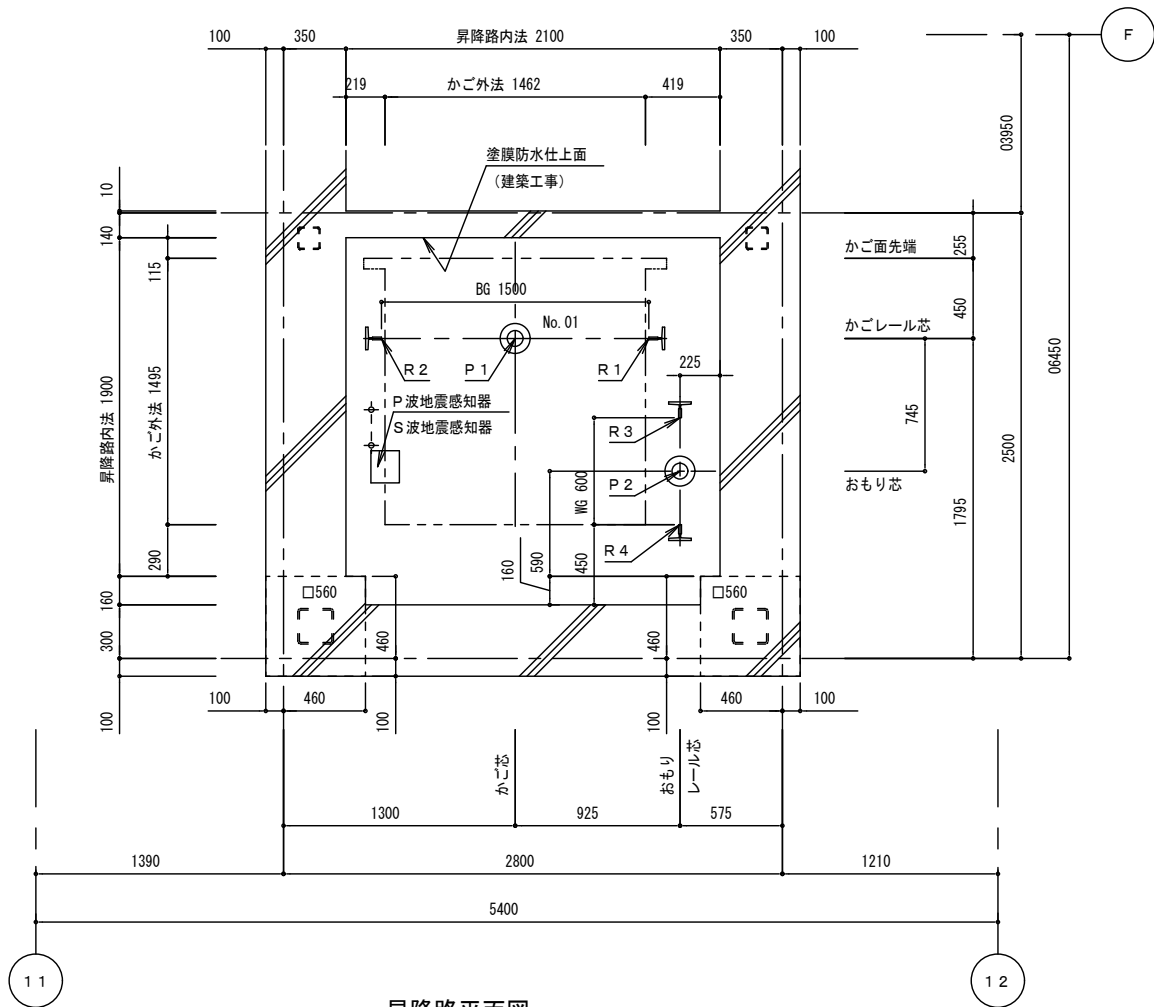
分類	仕様項目	01号機
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和04年版
	敷居間隔	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 130mm～350mm 鋼板塗装（メーカー標準色）（1-2階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1-2階）
	乗場敷居	アルミ製（1-2階）
	乗場インジケーター	一体セグメントLED（橙色） 樹脂フレーム付ステンレス（1-2階）
	乗場インジケーターボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-2階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン連結取付 樹脂フレーム付ステンレス（1-2階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-2階）
乗場仕様	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
	天井	スタンダード：フラット（白色） 天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（10.1インチ）
かご室仕様	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットLED（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	かご室換気	脱臭機能付きウイルス抑制装置付きファン
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサー付き）
	点字名板取付方法	接着
	おもり非常止め	なし
	冠水時管制運転	あり
	インターホン型式	6V1局
その他仕様	乗場インターホンボックスタイプ	鋼板塗装（埋め込み形）
	かご内アナウンス	かご内4カ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	高調波対策種類	DCリアクトル（Ki＝1.8）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2階）
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】
	仮設動力電源	1式 (NANW02723)

No. 01号機

除外工事事項	注意事項
建築工事関係	1. 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケーター、押ボタン等の穴あけ工事 （昇降路壁は5cm 辺り360Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること） 2. 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事 3. 鉄骨構造階の三方枠、インジケーター、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事 4. 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に對して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること） 5. 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事 6. 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事 7. 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事 8. 昇降路頂部にエレベーター機器機重用のフラット天板ビームの設置工事（KNT）※別紙による 9. 通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から125mm以下） 10. ビット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む） 11. ビット床下部使用の場合の建築対策工事 12. ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合はつり工事 13. 段違いビット時のビット内保護構工事（必要の場合） 14. 昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事 ※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行うてください （対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする ※（200mm以上推奨） （対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする （対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付ける 15. その他建築に関する工事
設備工事関係	1. 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（繋ぎ込み工事含む） 2. インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）／台 3. 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事 4. 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事 5. エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで） 6. 建設設備運動に必要な接点供給工事 7. ビット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと） 8. 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと） 平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある 9. かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで） ・5C-2V同軸ケーブル 10. かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事 （非常放送がある場合3線式とすること） 11. 昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示1413号第1第3号ニより昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります） 発熱量 エレベーター駆動部（ 875W/ 台） +エアコン（ - W/ 1台） 12. 据付工事用の仮設電源を無償支給願います。（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います。） 13. 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

- 昇降路開口・奥行き法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要である
（1）昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により水結・結露しないこと
（2）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、強い光が当たらないよう対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な過温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います。
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110, 2130、JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021, 1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です。
- 施工作業時間条件：月曜日～土曜日 8：00～17：00
尚、施工作業期間内「4週6休」就労をさせていただきます。

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-74
			訂正年月日				図面名称 : EV詳細図 1	
							SCALE N/S	



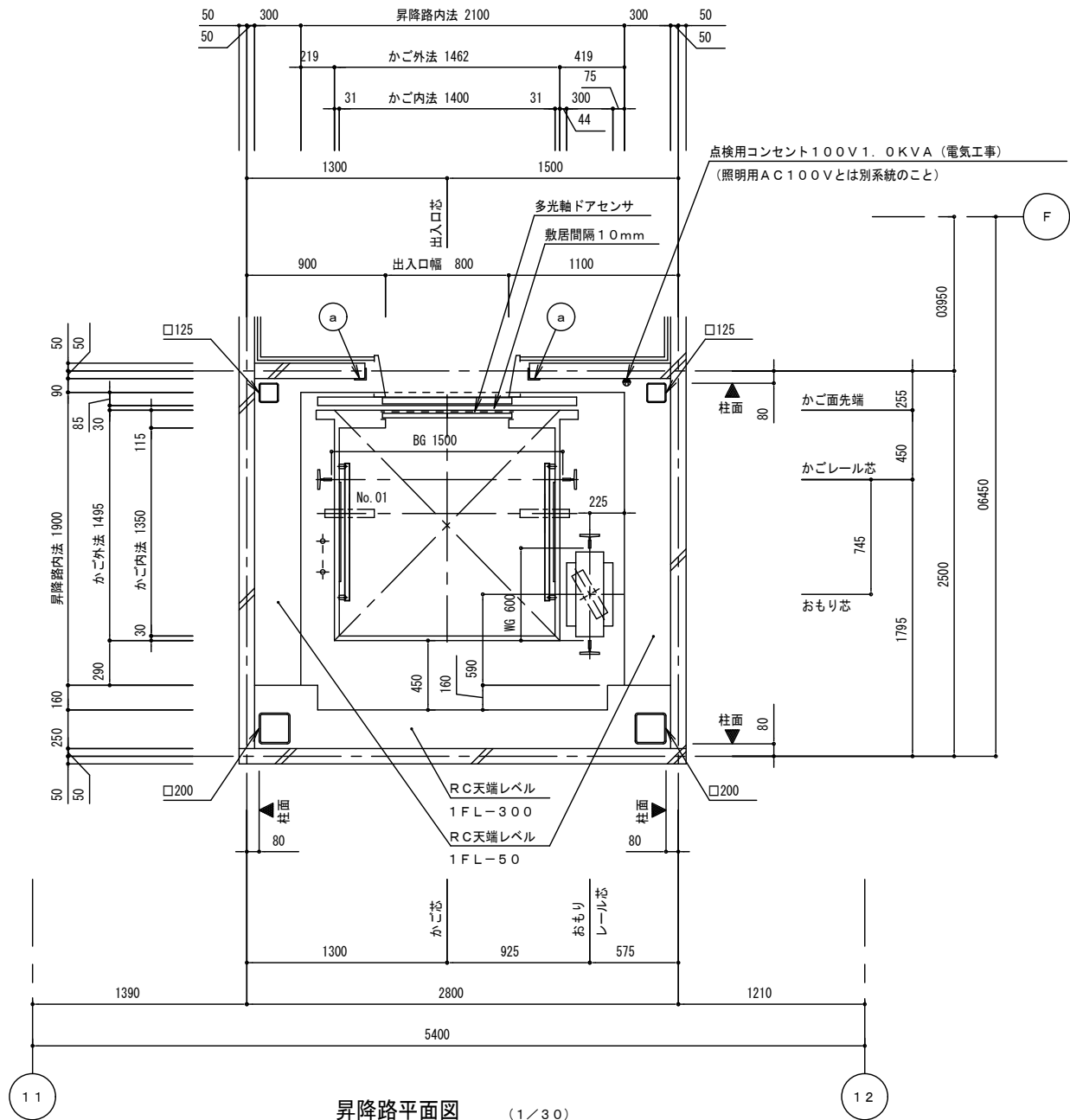
昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

レール下端部荷重 (長期荷重)			
R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
3. 6	2 3. 4	4 3. 4	1 9. 8

ピット荷重 (短期荷重)	
P 1 (kN)	P 2 (kN)
7 5. 2	6 3. 5

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下層F L面まで立ち上
げて下さい (建築工事)

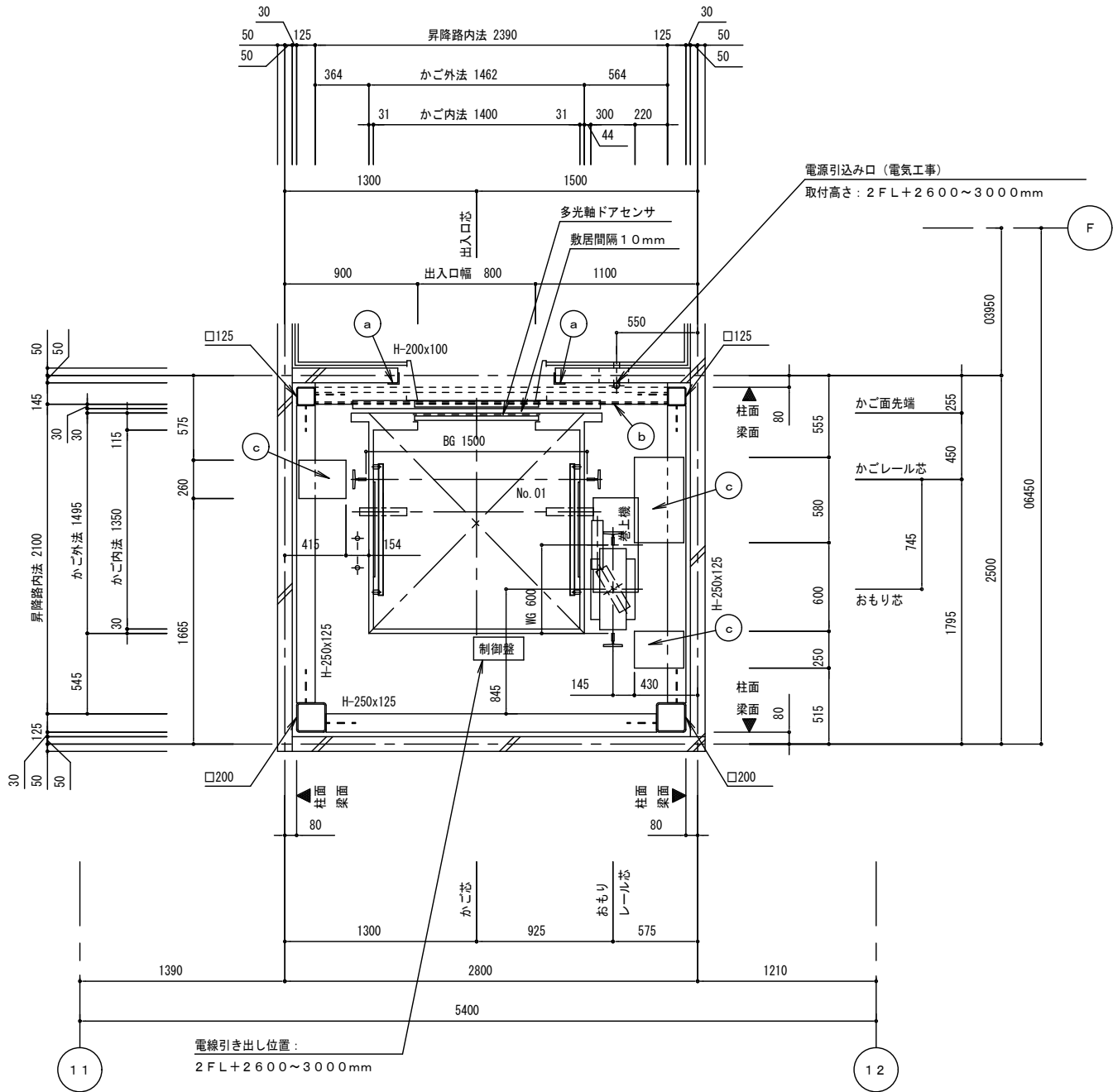
図面は塗膜防水仕上後の
有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は
仕上厚を考慮して下さい。



昇降路平面図 (1/30)
(1階)

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×9	建築工事

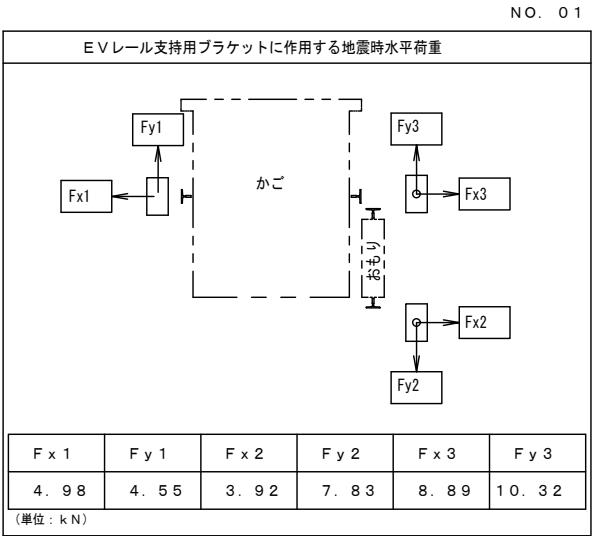
			設計年月日	承認	検 図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-75
			訂正年月日				図面名称 : EV詳細図 2	
							SCALE 1/30	



昇降路平面図 (1/30)

(2階)

部材記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×9	建築工事
b	敷居取付材	L-80×80×6	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事



注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

動力電源設備（C V T電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側N F容量	感度電流値 ^(*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210 V 60 Hz	3.8 kW	4 kVA	40 A T	100 mA以上 0.2 秒以上	82 m まで 8 mm ² 142 m まで 14 mm ² 216 m まで 22 mm ²	3.5 mm ²

照明用電源AC1φ100V 60Hz（設備容量1kVA／台 電源側NF容量20AT／台）

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

高調波対策（高調波流出電流計算値）

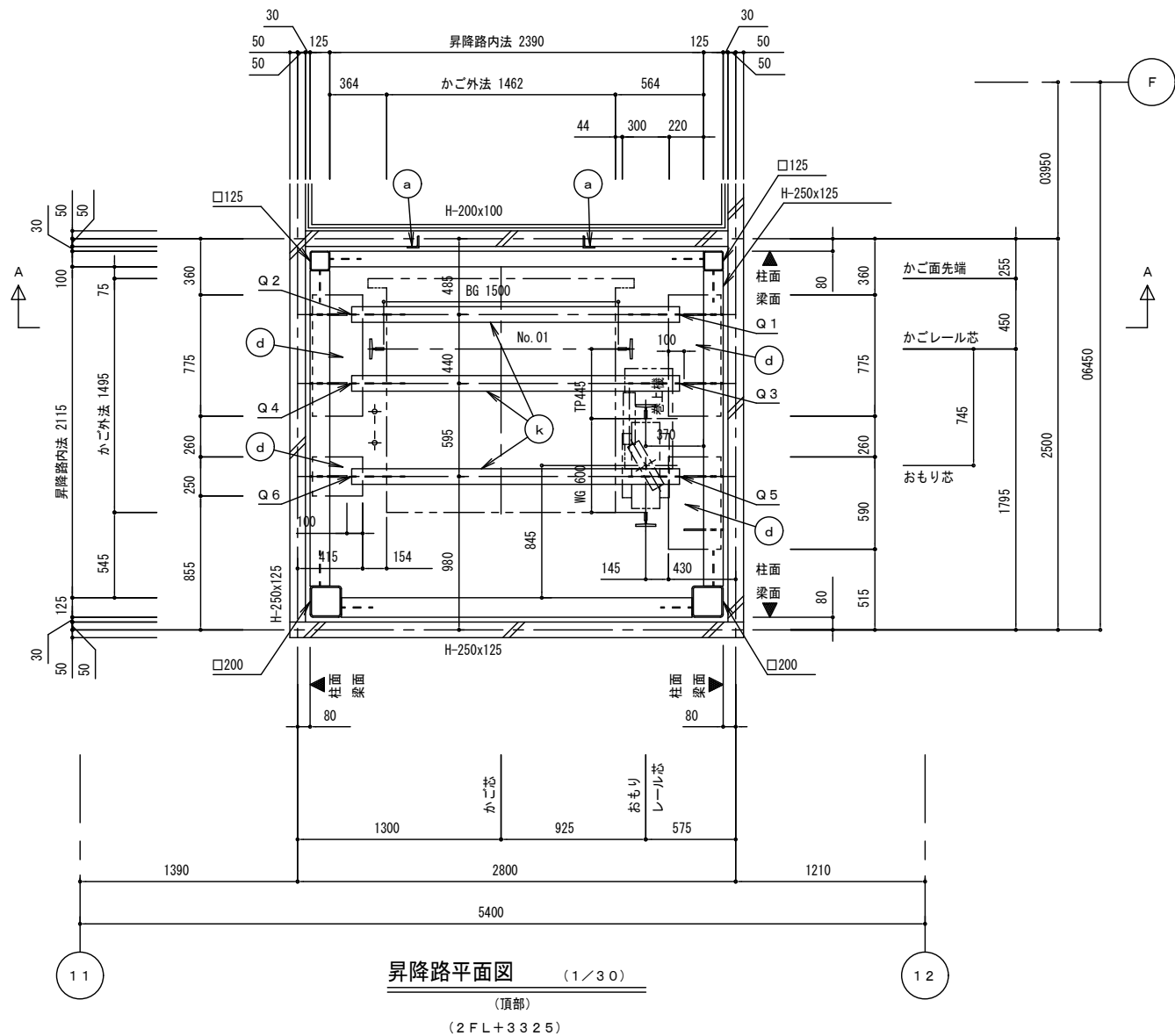
高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K i)	6パルス等価 容量 [K i×P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率I n (%)							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ (標準)	01号機 (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	DCリアクトル追加 (K i=1.8相当)					33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量 (mA) = $\frac{\text{合計容量 } P i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$

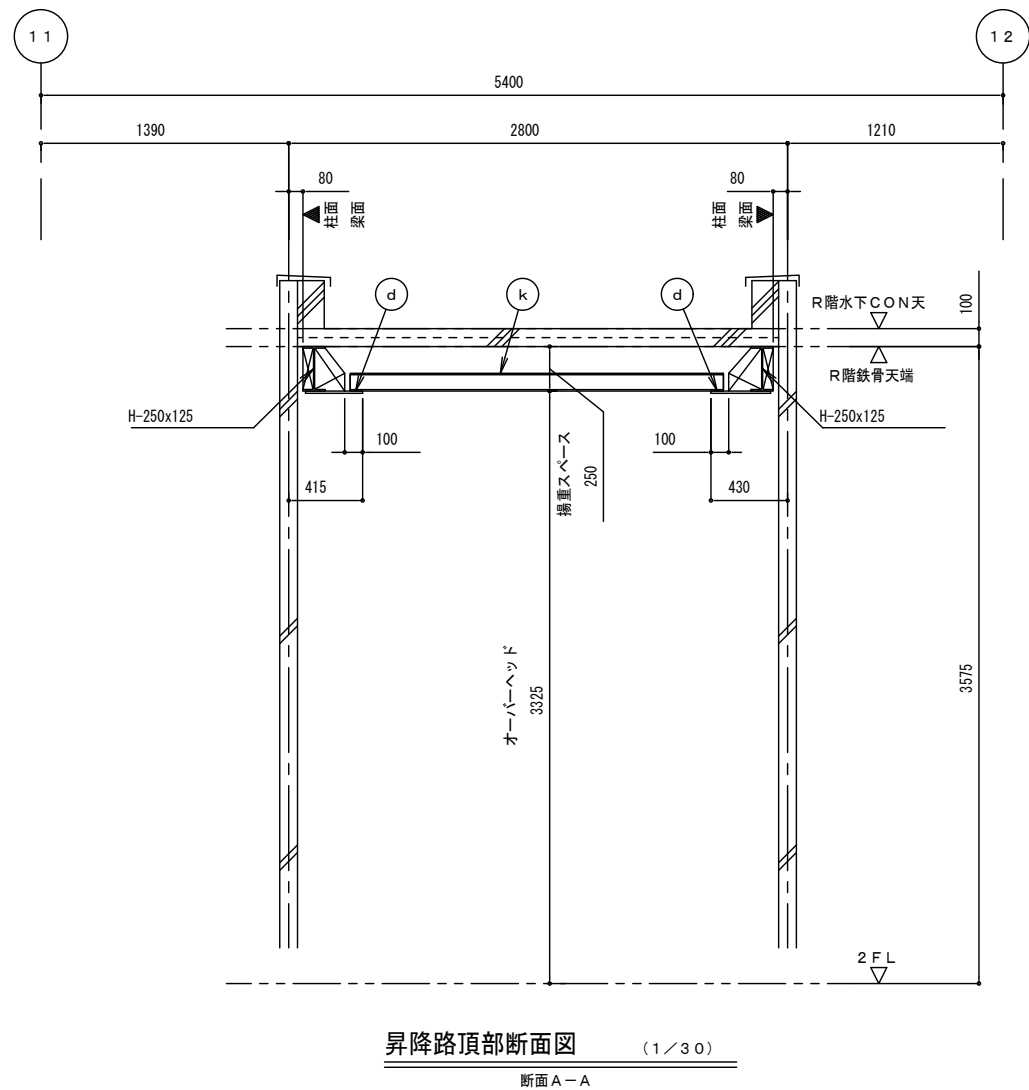
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-76
			訂正年月日				図面名称 : EV詳細図 3	



揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

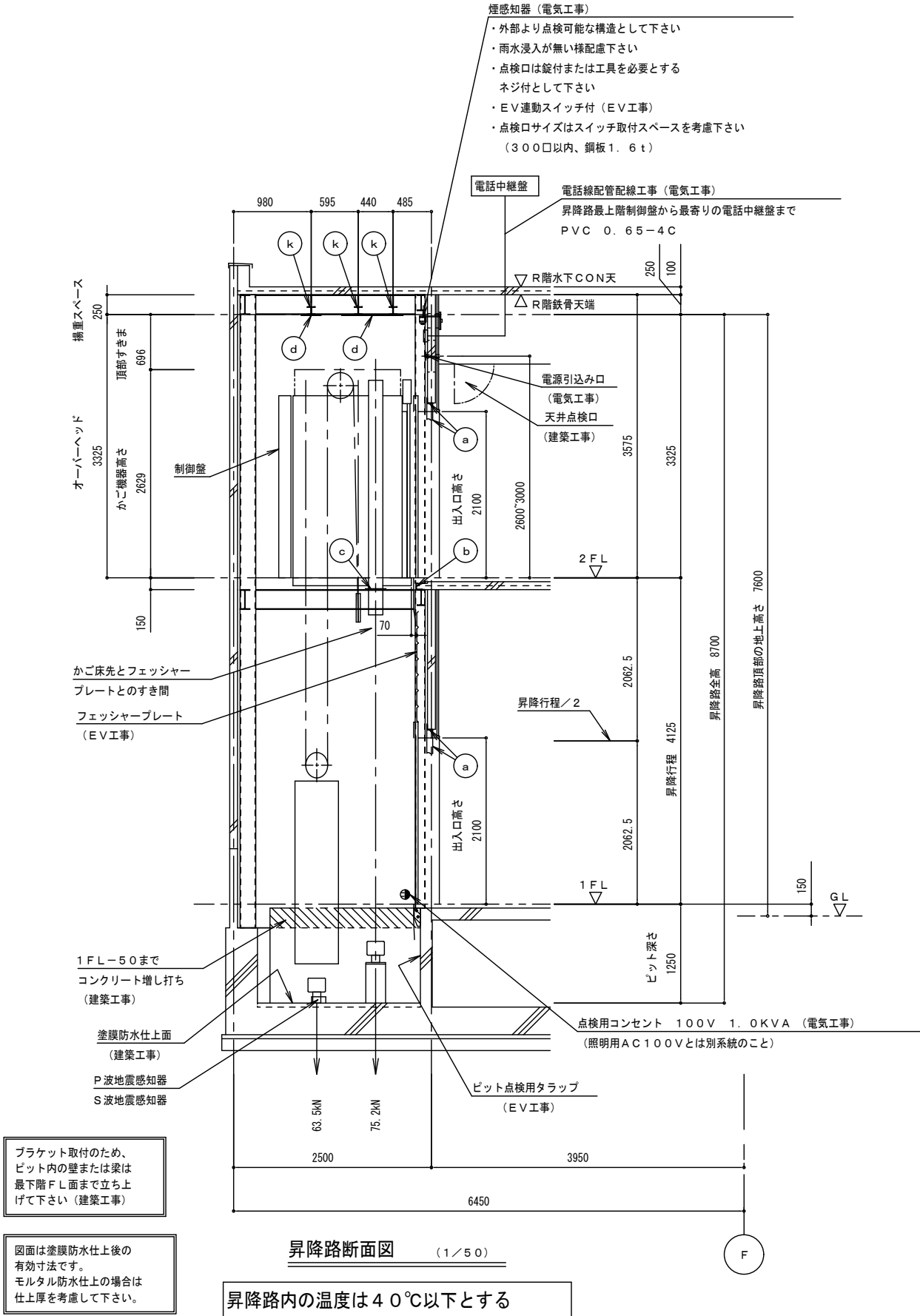
Q 1 (kN)	Q 2 (kN)	Q 3 (kN)	Q 4 (kN)	Q 5 (kN)	Q 6 (kN)
6.0	2.0	8.0	10.0	16.0	11.0

Q 1～Q 6はEV据付時に作用する

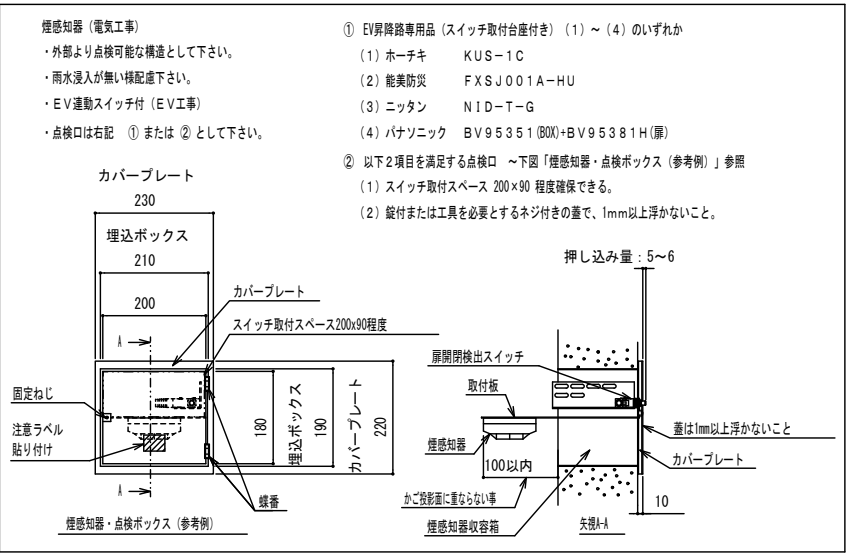


部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×9	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム (ビーム残し)	H-100×100×6×8	建築工事

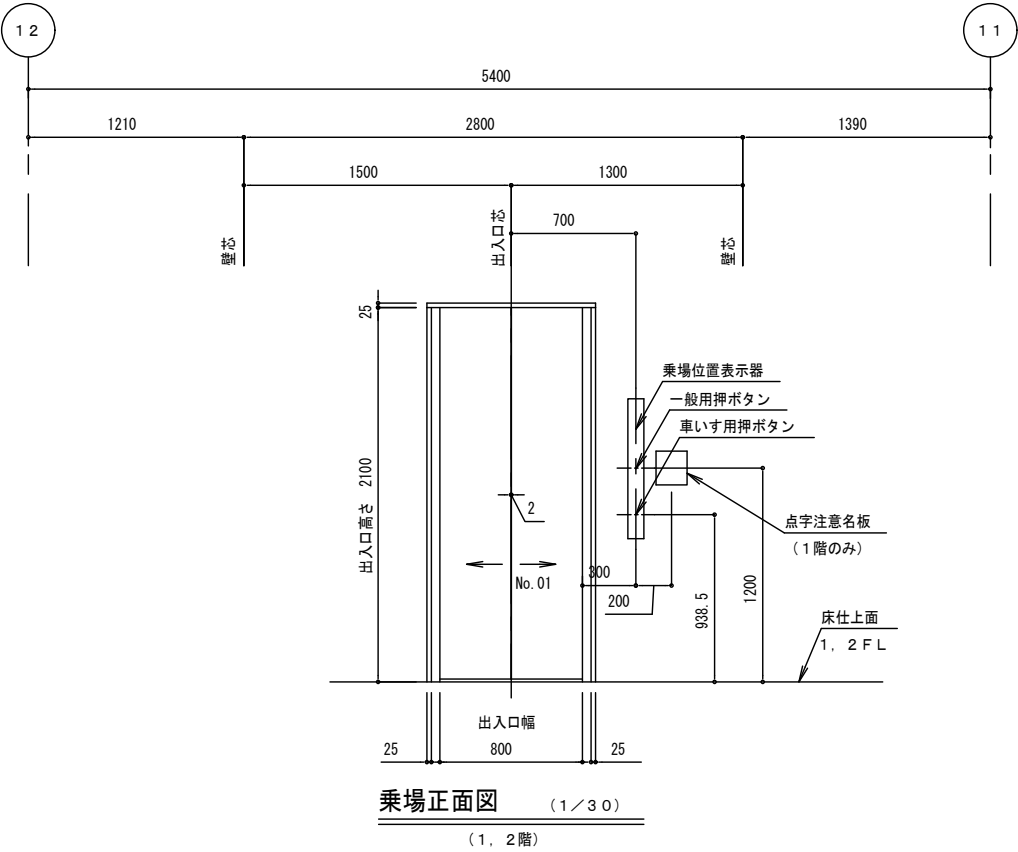
			設計年月日	承認	検 図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-77
			訂正年月日				図面名称 : EV詳細図 4	
							SCALE 1/30	



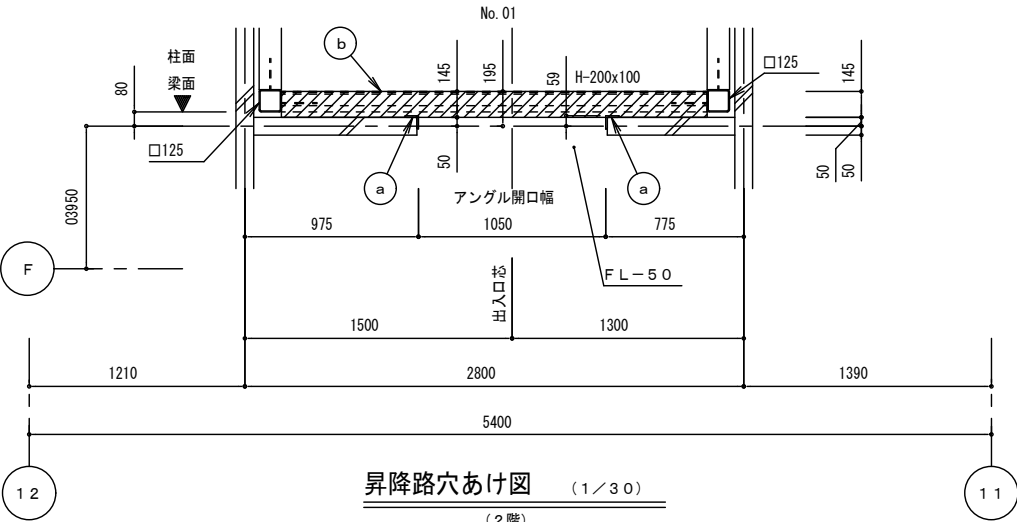
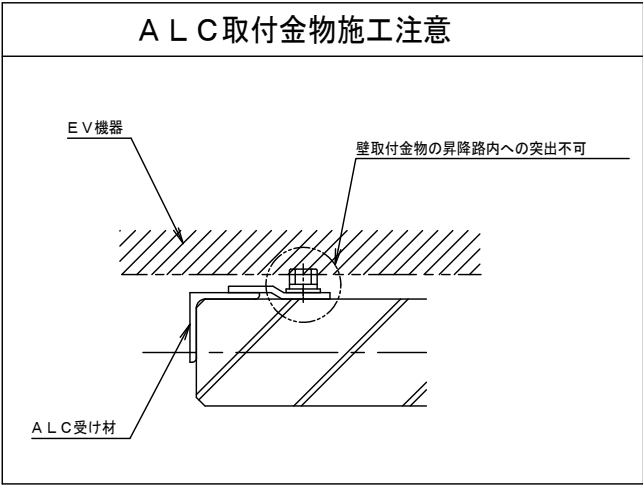
煙感知器施工例



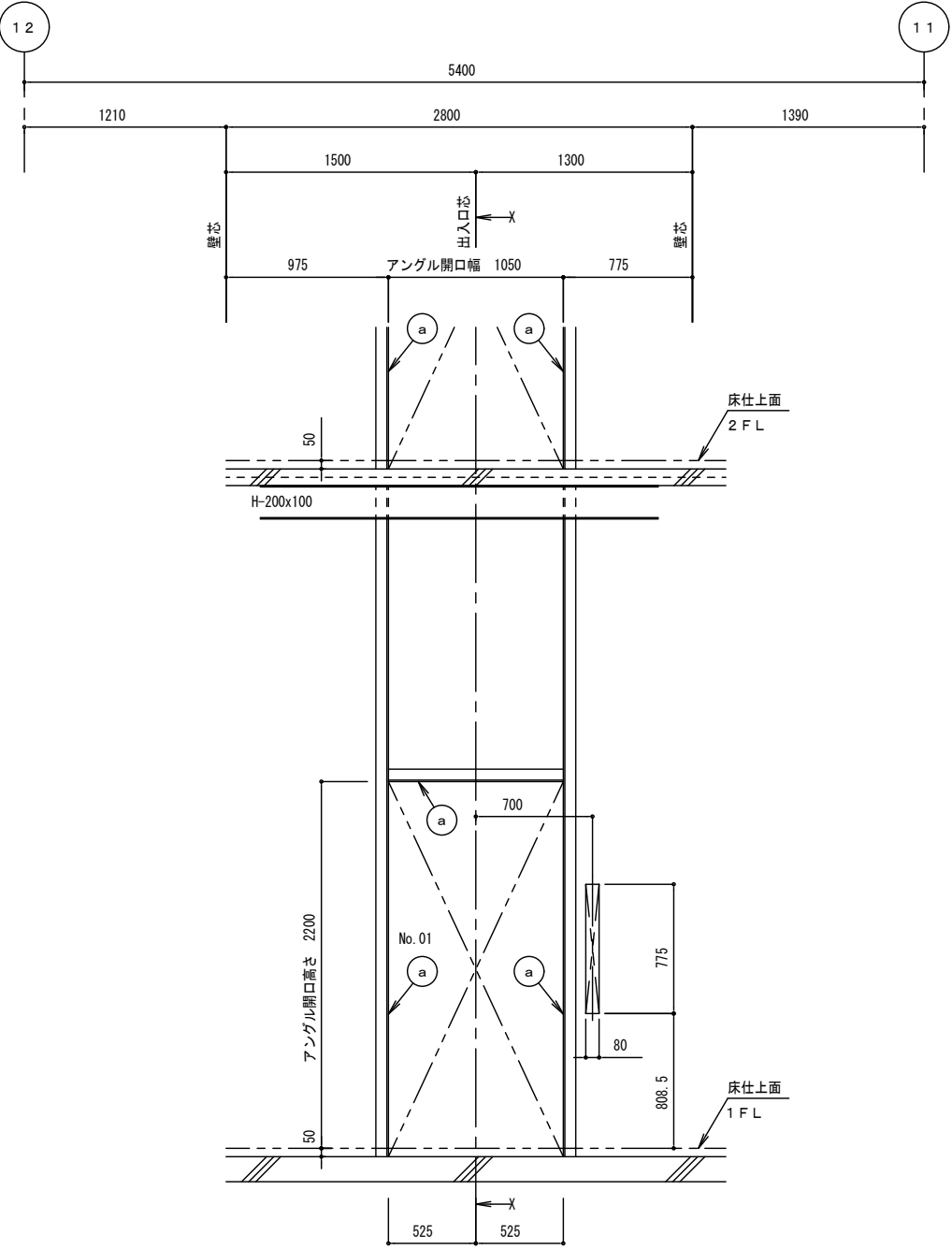
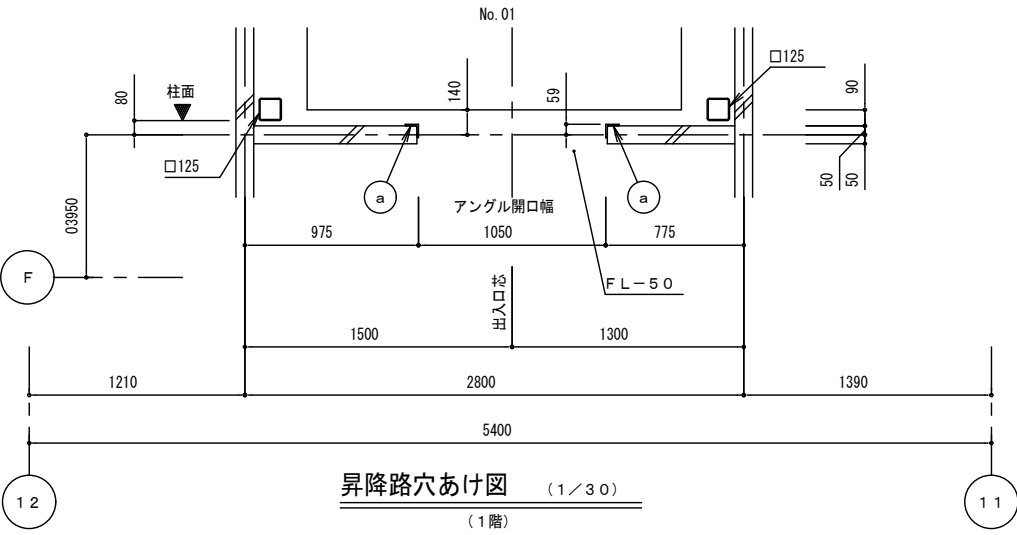
部材記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	L-75×75×9	建築工事
b	敷居取付材	L-80×80×6	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム（ビーム残し）	H-100×100×6×8	建築工事



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	A-78
			訂正年月日				図面名称：EV詳細図 5	
							SCALE 1/50, 1/30	

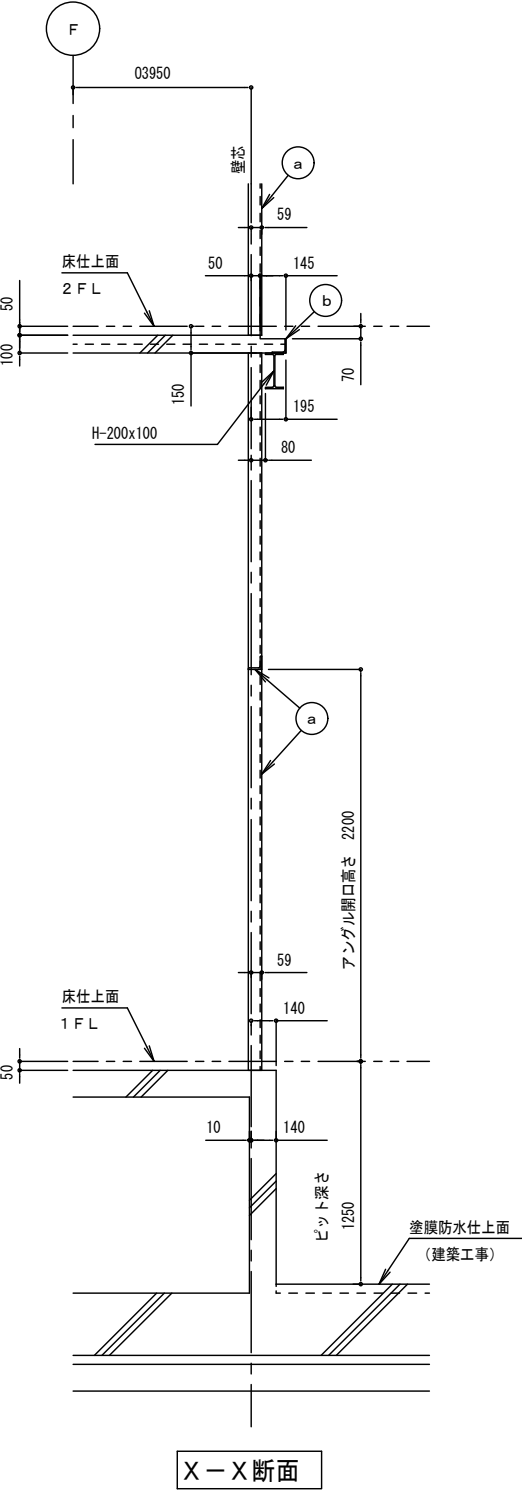


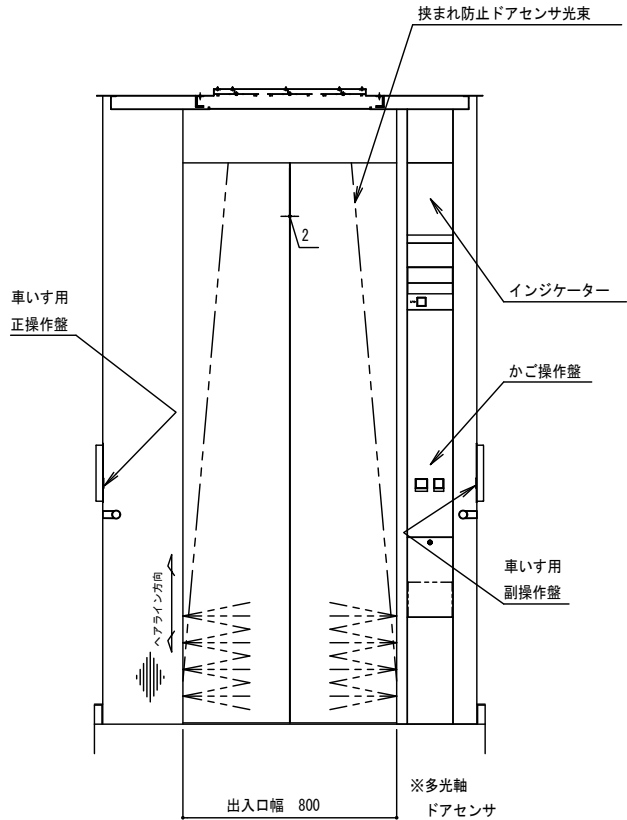
FL-70 (建築工事)



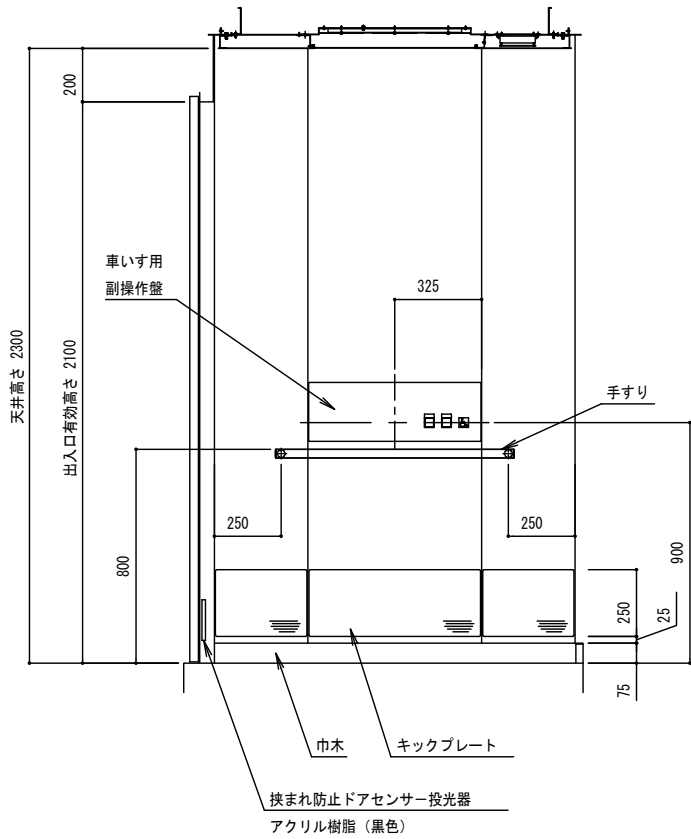
乗場穴あけ図 (1/30)
(1, 2階)

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×9	建築工事
b	敷居取付材	L-80×80×6	建築工事

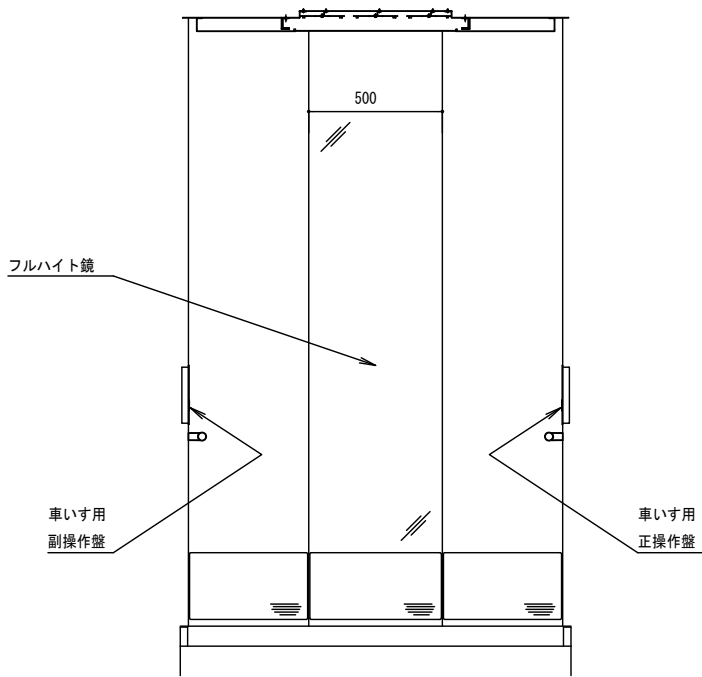




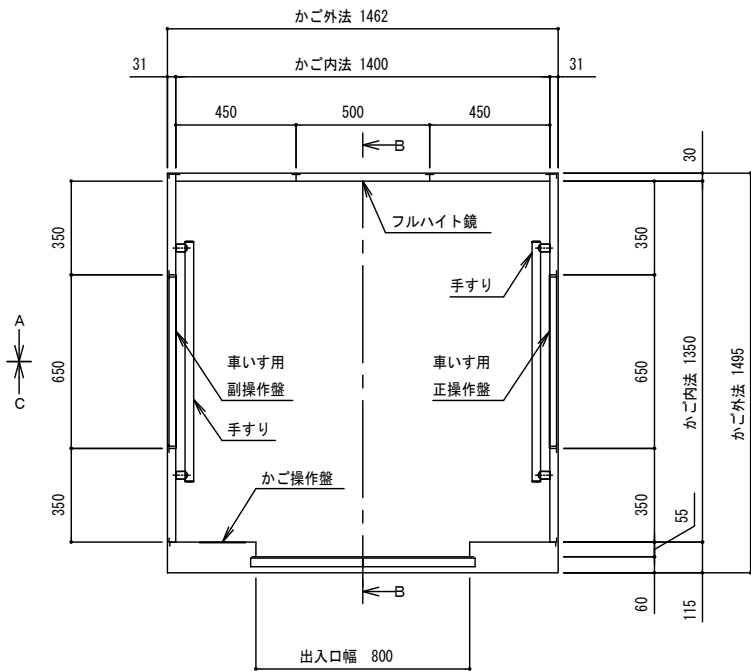
Uかご室正面図 (矢視A-A)



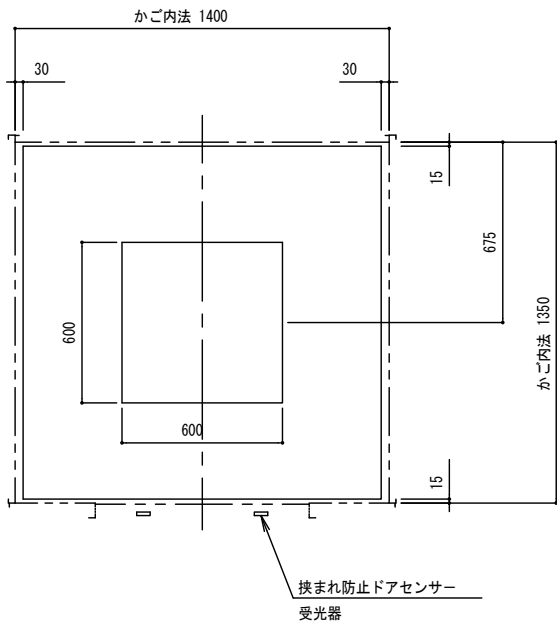
Uかご室側面図 (矢視B-B)



Uかご室背面図 (矢視C-C)



Uかご室平面図

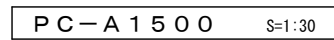
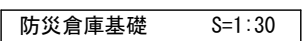
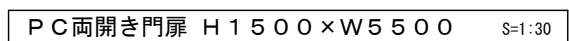
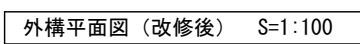


U天井伏図

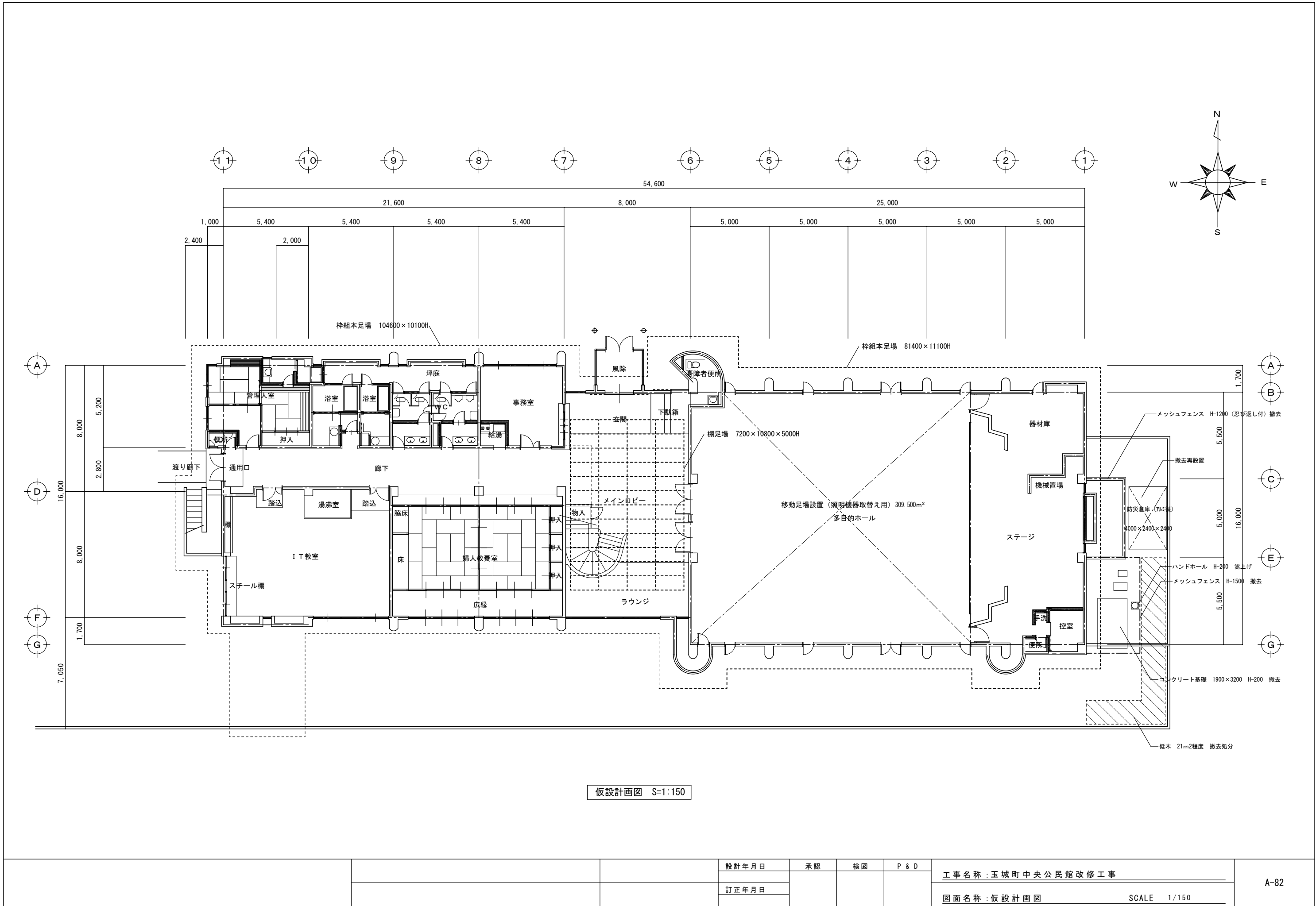
意匠仕様	
天井	銅板塗装仕上
換気装置	脱臭機能付きウイルス抑制装置付きファン
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル t 2
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t 1.5
手すり	ステンレスヘアライン仕上 (C32) キャップ: 樹脂 (パールメッキ) ブラケット: アルミ ブラケットカバー: 樹脂 (パールメッキ)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上: ビス無
保護幕	磁石式 (保護幕高さ標準: 床面より上端まで1895mm)

かご室意匠図 (1/20)

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	A-80
			訂正年月日				図面名称: EV詳細図 7	
							SCALE 1/20	

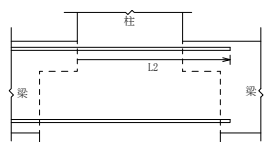
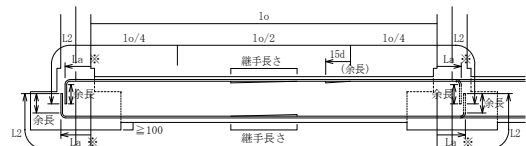
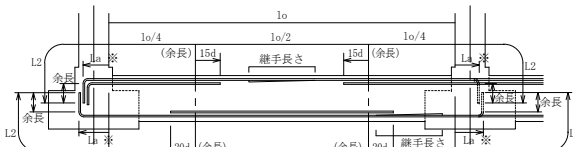
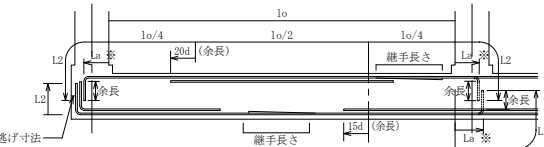
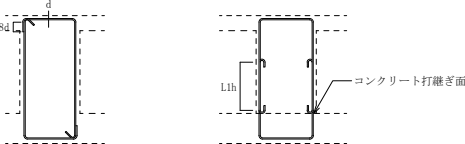
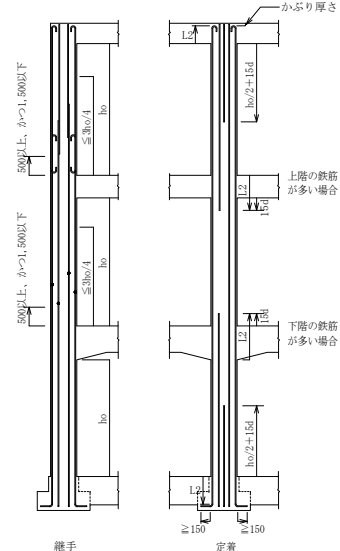
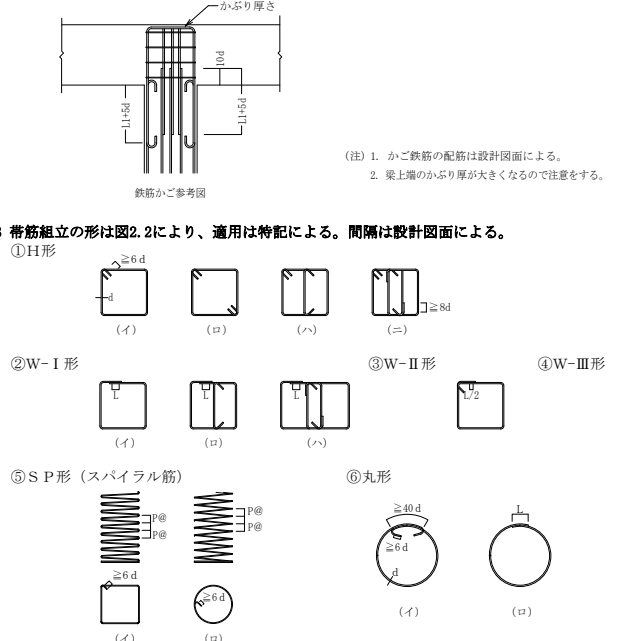
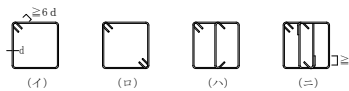
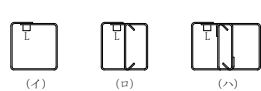
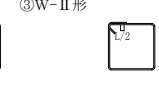

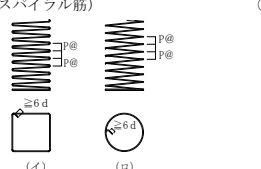
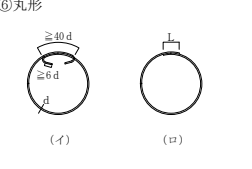
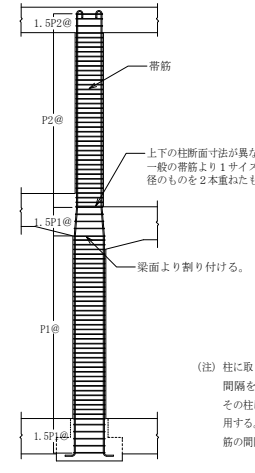
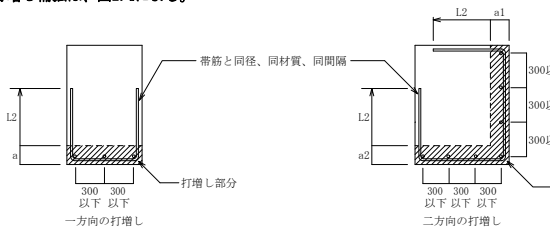

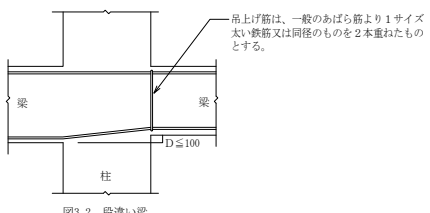
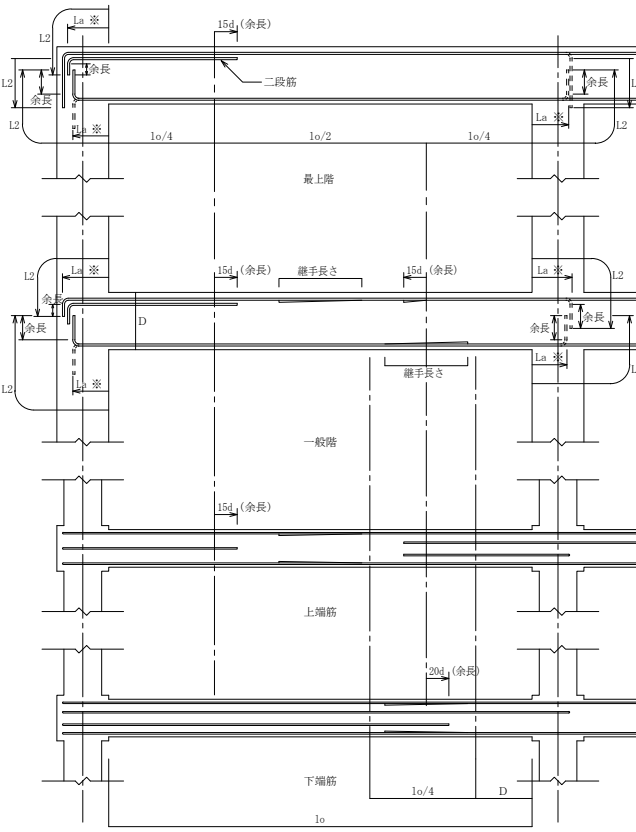
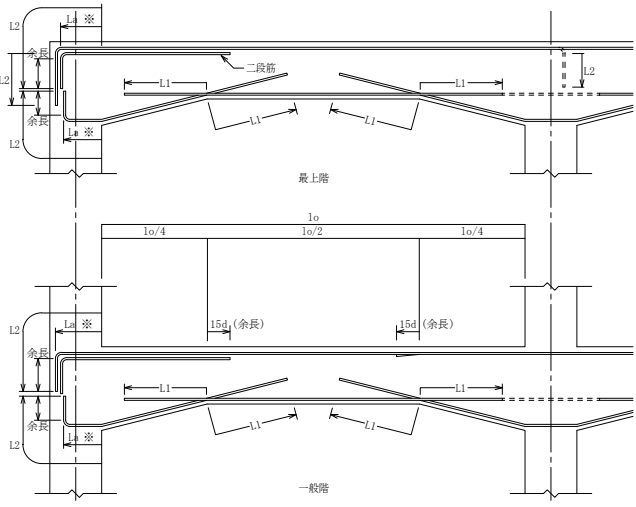


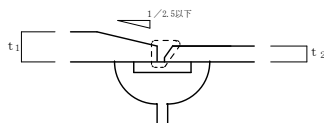
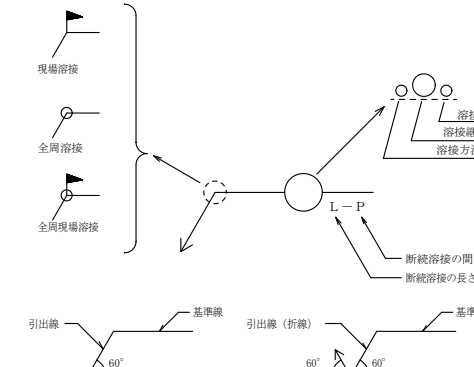
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-81
			訂正年月日				図面名称 : 外構図 (改修後) SCALE 1/100 1/30	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	A-82
			訂正年月日				図面名称 : 仮設計画図	
							SCALE 1/150	

構造設計標準仕様										適用は☐印を記入する。																																																															
1. 建築物の構造内容																																																																									
(1) 工事名称 玉城町中央公民館改修工事 建築場所 三重県会郡玉城町 下田辺 地内																																																																									
(2) 工事種別 ☐新築 ☐増築 ☐増改築 ☐改築																																																																									
(3) 構造種別 ☐木造(W) ☐補強コンクリートブロック造(CB) ☑鉄骨造(S) ☐鉄筋コンクリート造(RC) ☐壁式鉄筋コンクリート造(WRC) ☐鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) ☐壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC) ☐プレキャストコンクリート造(PRC) ☐																																																																									
(4) 階数 地下 0 階 地上 2 階 塔屋 0 階																																																																									
(5) 主要用途 管理事務所（プール、海水浴場総合管理棟）																																																																									
(6) 屋上付属物 ☐広告塔 ☐高架水槽 kN ☐ ☐煙突 ☐キュービクル kN ☐																																																																									
(7) 特別な荷重 ☐エレベーター 人乗（ロープ式 油圧式） ☐リフト kN ☐ホイス ト kN ☐倉庫積載床用 N・ ☐受水槽 kN																																																																									
(8) 付帯工事 ☐門塙 ☐擁壁 ☐ ☐ ☐																																																																									
(9) 増築計画 ☐有（ ） ☑無																																																																									
(10) 構造計算ルート X方向ルート 1 Y方向ルート 1																																																																									
2. 使用構造材料																																																																									
(1) コンクリート																																																																									
<table><tr><th>適用箇所</th><th>種類</th><th>設計基準強度 Fc=N/mm²</th><th>品質管理強度 Fq=N/mm²</th><th>スランプ cm</th><th>比重</th></tr><tr><td>捨コンクリート</td><td>☑普通</td><td>18</td><td></td><td>15</td><td>2.3</td></tr><tr><td>土間コンクリート</td><td>☑普通</td><td>18</td><td>S値補正</td><td>18</td><td>2.3</td></tr><tr><td>基礎・基礎梁・躯体</td><td>☑普通</td><td>21</td><td>S値補正</td><td>18</td><td>2.3</td></tr><tr><td>立上り～R階床</td><td>☑普通 ☐軽量</td><td>21</td><td>S値補正</td><td>18</td><td>2.3</td></tr><tr><td>ハココン増打ち</td><td>☐普通 ☐軽量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>押えコンクリート</td><td>☐普通 ☐軽量</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>水セメント比</td><td colspan="5">5.5%以下（土間コン、捨てコン、押えコンを除く）</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table>																				適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm ²	品質管理強度 Fq=N/mm ²	スランプ cm	比重	捨コンクリート	☑普通	18		15	2.3	土間コンクリート	☑普通	18	S値補正	18	2.3	基礎・基礎梁・躯体	☑普通	21	S値補正	18	2.3	立上り～R階床	☑普通 ☐軽量	21	S値補正	18	2.3	ハココン増打ち	☐普通 ☐軽量					押えコンクリート	☐普通 ☐軽量					水セメント比	5.5%以下（土間コン、捨てコン、押えコンを除く）										
適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N/mm ²	品質管理強度 Fq=N/mm ²	スランプ cm	比重																																																																				
捨コンクリート	☑普通	18		15	2.3																																																																				
土間コンクリート	☑普通	18	S値補正	18	2.3																																																																				
基礎・基礎梁・躯体	☑普通	21	S値補正	18	2.3																																																																				
立上り～R階床	☑普通 ☐軽量	21	S値補正	18	2.3																																																																				
ハココン増打ち	☐普通 ☐軽量																																																																								
押えコンクリート	☐普通 ☐軽量																																																																								
水セメント比	5.5%以下（土間コン、捨てコン、押えコンを除く）																																																																								
(2) コンクリートブロック (CB) ☐A種 ☐B種 ☐C種 厚 ☐100 ☐120 ☐150 ☐190																																																																									
(3) 鉄筋																																																																									
<table><tr><th>種類</th><th>径</th><th>使用箇所</th><th>継手工法</th></tr><tr><td rowspan="3">異形鉄筋</td><td>☑SD295A</td><td>D10～D16</td><td>基礎・柱・梁（地中梁含む） 壁・スラブ</td><td rowspan="2">☑重ね継手</td></tr><tr><td>☐SD295B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>☑SD345</td><td>D19～D25</td><td>基礎・柱・梁</td><td>☑ガス圧接継手 D19以上</td></tr><tr><td></td><td>☐</td><td></td><td></td><td rowspan="3">☐特殊継手 ()</td></tr><tr><td>高強度せん断補強筋</td><td>☐</td><td></td><td></td></tr><tr><td>丸鋼</td><td>☐SR235</td><td></td><td></td></tr><tr><td>溶接金網 (JIS G 3551)</td><td>☐φ6</td><td colspan="2">150×150</td><td></td></tr></table>																				種類	径	使用箇所	継手工法	異形鉄筋	☑SD295A	D10～D16	基礎・柱・梁（地中梁含む） 壁・スラブ	☑重ね継手	☐SD295B			☑SD345	D19～D25	基礎・柱・梁	☑ガス圧接継手 D19以上		☐			☐特殊継手 ()	高強度せん断補強筋	☐			丸鋼	☐SR235			溶接金網 (JIS G 3551)	☐φ6	150×150																						
種類	径	使用箇所	継手工法																																																																						
異形鉄筋	☑SD295A	D10～D16	基礎・柱・梁（地中梁含む） 壁・スラブ	☑重ね継手																																																																					
	☐SD295B																																																																								
	☑SD345	D19～D25	基礎・柱・梁	☑ガス圧接継手 D19以上																																																																					
	☐			☐特殊継手 ()																																																																					
高強度せん断補強筋	☐																																																																								
丸鋼	☐SR235																																																																								
溶接金網 (JIS G 3551)	☐φ6	150×150																																																																							
(4) 鉄骨																																																																									
<table><tr><th>種類</th><th>使用箇所</th><th>現場溶接</th><th>備考</th></tr><tr><td>☑SS400 ☐SM400 ☐SN490B.C</td><td>梁、側桁、他</td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☑STKR400 ☐STK400 ☐SN400C</td><td></td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☑BCR295 ☐BCP235 ☐</td><td>柱</td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☐SM490A ☐SM490B.C ☐</td><td></td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☑SSC400 ☐SWH400L ☐</td><td>母屋、胴縁</td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr><tr><td>☐SWH400 ☐ ☐</td><td></td><td>☐有 ☐無</td><td></td></tr></table>																				種類	使用箇所	現場溶接	備考	☑SS400 ☐SM400 ☐SN490B.C	梁、側桁、他	☐有 ☐無		☑STKR400 ☐STK400 ☐SN400C		☐有 ☐無		☑BCR295 ☐BCP235 ☐	柱	☐有 ☐無		☐SM490A ☐SM490B.C ☐		☐有 ☐無		☑SSC400 ☐SWH400L ☐	母屋、胴縁	☐有 ☐無		☐SWH400 ☐ ☐		☐有 ☐無																											
種類	使用箇所	現場溶接	備考																																																																						
☑SS400 ☐SM400 ☐SN490B.C	梁、側桁、他	☐有 ☐無																																																																							
☑STKR400 ☐STK400 ☐SN400C		☐有 ☐無																																																																							
☑BCR295 ☐BCP235 ☐	柱	☐有 ☐無																																																																							
☐SM490A ☐SM490B.C ☐		☐有 ☐無																																																																							
☑SSC400 ☐SWH400L ☐	母屋、胴縁	☐有 ☐無																																																																							
☐SWH400 ☐ ☐		☐有 ☐無																																																																							
(5) ボルト ○使用箇所の詳細については別途図示とする。 ☑高力ボルト ☑普通:S10T ☐普通:F8T 認定品 (☐M12、☐M16、☑M20、☐M22 ☐M24) ☐中ボルト M=12 M= 高力ボルトすべり係数試験 ☐要 ☐否 高力ボルト導入張力確認試験 ☐要 ☐否 ☑アンカーボルト間柱用 ☑SS400 M=16 ○=450 L=600 L=700mm ナット(ダブル) ☑ベースパッキン ○使用箇所等の詳細については別途図示とする。 ☐頭付きスタッド φ= L= mm 使用箇所 (☐柱、☐大梁 ☐小梁) φ= L= mm 使用箇所 (☐柱、☐大梁 ☐小梁)																																																																									
(6) 屋根、床、壁 ☐アスロック ☐屋根：折版葺き ☐QLデッキプレート 型式 厚 t=1.2 ☐キーストンプレート 型式 厚 ☐特殊デッキプレート																																																																									
3. 地盤																																																																									
(1) 地盤調査資料 ☑有 (☑敷地内 ☐近隣) ☑ボーリング調査 ☐液状化判定 ☐現状透水試験 ☐土質試験 ☐無（調査予定 ☐有 ☐無）																																																																									
(2) 地盤調査計画 ☐ボーリング調査 ☐静的貫入試験 ☐標準貫入試験 ☐水平地盤反力係数の測定 ☐土質試験 ☐物理探査 ☐平板載荷試験 ☐試験堀（支持層の確認）																																																																									
(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある																																																																									
(4) ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎、杭の位置を明記すること）																																																																									
<div>別紙参照</div>																																																																									
4. 地業工事																																																																									
(1) 直接基礎 ☐ベタ基礎 ☐布基礎 ☑独立基礎 試験掘 ☐有 ☐無 載荷試験 ☐有 ☐無																																																																									
(2) 地業基礎																																																																									
<table><tr><th>杭種</th><th>材料</th><th>施工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>☐RC ☐CPRC ☐PHC ☐H鋼 ☐鋼管 ☐摩擦杭 ☐柱状改良</td><td>CPRC (☐1種 ☐2種 ☐3種) PHC (☐A種 ☐B種 ☐C種) 鋼材 ☐STK490 ☐SKK400</td><td>☐打ち込み ☐埋込み(セメントミルク工法) ☐回転圧入工法 ☐ﾌﾟﾚｰﾘﾝｸﾞ 拡大根固工法</td><td></td></tr><tr><td>☐場所打ち コンクリート杭</td><td>コンクリート Fc= N/mm² スランプ cm セメント量 kN/mm² 鉄筋主筋 SD H00P SD</td><td>☐オールケーシング ☐拡底杭 ☐リバースサーキュレーション ☐アースドリル ☐BH ☐深礎 <div>ミニアース 手掘り 機械堀</div></td><td>拡底杭 日本建築センター 認定 第 号 年 月 日</td></tr></table>																				杭種	材料	施工法	備考	☐RC ☐CPRC ☐PHC ☐H鋼 ☐鋼管 ☐摩擦杭 ☐柱状改良	CPRC (☐1種 ☐2種 ☐3種) PHC (☐A種 ☐B種 ☐C種) 鋼材 ☐STK490 ☐SKK400	☐打ち込み ☐埋込み(セメントミルク工法) ☐回転圧入工法 ☐ﾌﾟﾚｰﾘﾝｸﾞ 拡大根固工法		☐場所打ち コンクリート杭	コンクリート Fc= N/mm ² スランプ cm セメント量 kN/mm ² 鉄筋主筋 SD H00P SD	☐オールケーシング ☐拡底杭 ☐リバースサーキュレーション ☐アースドリル ☐BH ☐深礎 <div>ミニアース 手掘り 機械堀</div>	拡底杭 日本建築センター 認定 第 号 年 月 日																																										
杭種	材料	施工法	備考																																																																						
☐RC ☐CPRC ☐PHC ☐H鋼 ☐鋼管 ☐摩擦杭 ☐柱状改良	CPRC (☐1種 ☐2種 ☐3種) PHC (☐A種 ☐B種 ☐C種) 鋼材 ☐STK490 ☐SKK400	☐打ち込み ☐埋込み(セメントミルク工法) ☐回転圧入工法 ☐ﾌﾟﾚｰﾘﾝｸﾞ 拡大根固工法																																																																							
☐場所打ち コンクリート杭	コンクリート Fc= N/mm ² スランプ cm セメント量 kN/mm ² 鉄筋主筋 SD H00P SD	☐オールケーシング ☐拡底杭 ☐リバースサーキュレーション ☐アースドリル ☐BH ☐深礎 <div>ミニアース 手掘り 機械堀</div>	拡底杭 日本建築センター 認定 第 号 年 月 日																																																																						
改良仕様 ☐施工計画書承認 ☐改良施工結果報告書 ☐柱状改良特記仕様書に依る 改良試験 ☐柱状改良特記仕様書に依る																																																																									
<table><tr><th>改良径 (mm)</th><th>設計支持力 (kN/㎡)</th><th>改良長さ (m)</th><th>本数</th><th>特記事項</th></tr><tr><td>800φ</td><td>250/本</td><td>2.80</td><td>93</td><td>F1・F2・F3・F4</td></tr><tr><td>800φ</td><td>100/本</td><td>2.80</td><td>7</td><td>F5・F6</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																				改良径 (mm)	設計支持力 (kN/㎡)	改良長さ (m)	本数	特記事項	800φ	250/本	2.80	93	F1・F2・F3・F4	800φ	100/本	2.80	7	F5・F6																																							
改良径 (mm)	設計支持力 (kN/㎡)	改良長さ (m)	本数	特記事項																																																																					
800φ	250/本	2.80	93	F1・F2・F3・F4																																																																					
800φ	100/本	2.80	7	F5・F6																																																																					
5. 鉄筋コンクリート工事																																																																									
(1) コンクリート ☑コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5-2018による。 ☑耐久設計基準強度Fd ☐一般 ☑標準 ☐長期 ☑セメントは、JIS R5210の普通ボルトランドセメントを標準とする。 ☑調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。 ☑寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査 打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。 ☑フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技 術センターの技術評価を受けた測定器具を用いて行い、試験結果の記録及び測定器 の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試 験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。 ☑構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603)は、現場 水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。 また、打込み量が150m3をこえる場合は150m3ごとまたは、その端数ごとに一回を 標準とする。一回に採取する供試体は、適切な間隔をおいた3台の運搬車からその必要 本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、一回当たり6本以上とし、 そのうち4週用に3本用いる。 ☑ポンプコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自 由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリ ート圧送技師または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中にお ける打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は120分、25℃以上の場合 は90分以内とする。																																																																									

<div>6．基礎梁</div> <div>A 一般事項</div> <div>(1) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図1.4による。</div> <div>(2) 梁主筋を柱内に定着する場合は、8.A(2)による。</div> <div>また、梁主筋の逃げ寸法は柱面より100～150mm程度とする。</div> <div></div> <div>図1.4 梁筋の基礎梁内への定着</div> <div>B 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.5による。</div> <div></div> <div>図1.5 主筋の継手、定着及び余長 (その1)</div> <div>(注) 1. 図示のない事項は、8.Aから8.Cによる。</div> <div>2. 印は、継手及び余長位置を示す。</div> <div>3. 破線は、柱内定着の場合を示す。</div> <div>※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。</div> <div>C 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.6による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、D による。</div> <div></div> <div>図1.6 主筋の継手、定着及び余長 (その2)</div> <div>(注) 1. 図示のない事項は、8.Aから8.Cによる。</div> <div>2. 印は、継手及び余長位置を示す。</div> <div>3. 破線は、柱内定着の場合を示す。</div> <div>※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。</div> <div>D 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図1.7による。</div> <div></div> <div>図1.7 主筋の継手、定着及び余長 (その3)</div> <div>(注) 1. 図示のない事項は、8.Aから8.Cによる。</div> <div>2. 印は、継手及び余長位置を示す。</div> <div>3. 破線は、柱内定着の場合を示す。</div> <div>※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。</div> <div>E あばら筋等</div> <div>(1) あばら筋の径及び間隔は、設計図面による。</div> <div>(2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、8.Eによる。ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図1.8によることができる。</div> <div></div> <div>図1.8 あばら筋組立の形及びフックの位置</div> <div>(3) 腹筋及び幅止め筋は、「8.梁」を参考に設計図面による。</div> <div>(4) あばら筋の割付けは、「8.梁」を参考に設計図面による。</div> <div>F 基礎梁の補強</div> <div>(1) 打増し補強筋は、「8.梁」を参考に設計図面による。</div> <div>(2) 土間スラブ等の打継ぎ補強筋は、「10.スラブ」を参考に設計図面による。</div>	<div>7．柱</div> <div>A 柱主筋の継手、定着及び余長は、図2.1による。</div> <div>継手中心位置は、3ho/4(hoは柱の内法高さ)以下とする。施工性を考慮して梁上端から500mm以上かつ1,500mm以下とする。</div> <div></div> <div>図2.1 柱主筋の継手、定着及び余長</div> <div>(注) 1. 柱の凹隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックをつける。</div> <div>2. 隣り合う継手の位置は、表5.3.3「隣り合う継手の位置」による。</div> <div>3. 柱主筋の逃げ寸法の基準値は、フックのある場合は70～100mm程度、フックのない場合は30～50mmとする。</div> <div>* 柱頭定着長さL2が確保できない場合は、次の対策例を参考に設計図面による。</div> <div>①梁せいを大きくしたり、梁端部にハンチを設ける。</div> <div>②柱頭の柱主筋全数にフックを設け、必要定着長さを確保する。</div> <div>③鉄筋かごを梁筋の上から柱頭にかぶせ、鉄筋かごと柱主筋を重ね継手により一体とする。</div> <div>④柱を屋根スラブより突き出させ、定着長さを確保できるようにする。</div> <div>⑤柱頭部をステッキ型の鉄筋で増筋し、梁主筋が降伏する以前に柱頭部の鉄筋が滑脱しないような配筋とする。</div> <div></div> <div>図2.2 帯筋組立の形</div> <div>(注) 1. フック及び継手の位置は、交互とする。</div> <div>2. 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、溶接は鉄筋の組立前に行う。</div> <div>3. SP形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。</div> <div>図2.2 帯筋組立の形</div> <div>B 帯筋組立の形は図2.2により、適用は特記による。間隔は設計図面による。</div> <div>①H形</div> <div></div> <div>(イ) (ロ) (ハ) (ニ)</div> <div>②W-I形</div> <div></div> <div>(イ) (ロ) (ハ)</div> <div>③W-II形</div> <div></div> <div>(イ) (ロ)</div> <div>④W-III形</div> <div></div> <div>(イ) (ロ)</div> <div>⑤SP形（スパイラル筋）</div> <div></div> <div>(イ) (ロ)</div> <div>⑥丸形</div> <div></div> <div>(イ) (ロ)</div> <div>(注) 1. 上下の柱断面寸法が異なる場合、帯筋は一般の帯筋より1サイズ太い鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。</div> <div>図2.3 帯筋の割付け</div> <div>(注) 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P1φ又は1.5P2φとする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、P1φ、P2φは特記された帯筋の間隔を示す。</div> <div>図2.4 柱の打増し補強配筋</div> <div>(注) 1. 柱の打増し幅 (a,a1,a2) が70mm以上の場合の補強を示す。</div> <div>2. 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。</div> <div>3. 軸方向の補強筋の間隔は300mm以下とし、径、材質、本数は設計図面による。</div> <div>図2.4 柱の打増し補強配筋</div>	<div>C 帯筋の割付けは、設計図面による。特記がなければ図2.3による。</div> <div></div> <div>図2.3 帯筋の割付け</div> <div>(注) 上下の柱断面寸法が異なる場合、帯筋は一般の帯筋より1サイズ太い鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。</div> <div>D 柱の打増し補強は、図2.4による。</div> <div></div> <div>図2.4 柱の打増し補強配筋</div> <div>(注) 1. 柱の打増し幅 (a,a1,a2) が70mm以上の場合の補強を示す。</div> <div>2. 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。</div> <div>3. 軸方向の補強筋の間隔は300mm以下とし、径、材質、本数は設計図面による。</div> <div>図2.4 柱の打増し補強配筋</div>	<div>8．梁</div> <div>A 大梁主筋の継手及び定着の一般事項</div> <div>(1) 梁主筋は、原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(2)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図3.1による。</div> <div></div> <div>図3.1 梁主筋の梁内定着</div> <div>(2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は、次による。なお、定着の方法は、3.B(3)による。</div> <div>上端筋：曲げ降ろす。</div> <div>下端筋：原則として曲げ上げる。</div> <div>(3) 梁にハンチを付ける場合、その傾斜は、設計図面による。</div> <div>(4) 段違い梁は、図3.2による。</div> <div></div> <div>図3.2 段違い梁</div> <div>吊上げ筋は、一般のあばら筋より1サイズ太い鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。</div> <div>B ハンチのない場合の大梁主筋の重ね継手、定着及び余長は、図3.3による。</div> <div></div> <div>図3.3 大梁の重ね継手、定着及び余長</div> <div>(注) 1. 継手中心位置は次による。</div> <div>上端筋：中央lo/2以内</div> <div>下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、lo/4を加えた範囲以内</div> <div>「2.鉄筋の末端部及び中間部の加工」B で定めた鉄筋には、フックをつける。</div> <div>2. 印は、継手及び余長を示す。</div> <div>3. 破線は、柱内定着の場合を示す。</div> <div>※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。</div> <div>C ハンチのある場合の大梁主筋の重ね継手、定着及び余長は、図3.4による。</div> <div></div> <div>図3.4 ハンチのある大梁の継手、定着及び余長</div> <div>(注) 1. 「2.鉄筋の末端部及び中間部の加工」B で定めた鉄筋には、フックをつける。</div> <div>2. 印は、継手及び余長を示す。</div> <div>3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、- - - - のように引き通すことができる。</div> <div>4. 破線は、柱内定着の場合を示す。</div> <div>※ Laの数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。</div> <div>D あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項</div> <div>(1) あばら筋の種類、径及び間隔は、設計図面による。</div> <div>(2) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、設計図面による。</div>															
		<table><tr><td>設計年月日</td><td>承認</td><td>検図</td><td>P & D</td></tr><tr><td>2020/08</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>訂正年月日</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	設計年月日	承認	検図	P & D	2020/08				訂正年月日				<table><tr><td>工事名称：玉城町中央公民館改修工事</td><td rowspan="2">S-04</td></tr><tr><td>図面名称：配筋基準図②</td></tr></table>	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	S-04	図面名称：配筋基準図②
設計年月日	承認	検図	P & D															
2020/08																		
訂正年月日																		
工事名称：玉城町中央公民館改修工事	S-04																	
図面名称：配筋基準図②																		

1 共通事項		4 溶接継手の種類別開先標準		c) かど継手 (L) の開先標準は下図による。		5 溶接施工		(5) 溶接部分の段差																														
1 適用範囲		(1) 完全溶込み溶接		(単位：mm)		(1) エンドタブ		完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差は1 0 mmを超える場合は下図による。																														
設計図書に特記がない場合には、原則として、この鉄骨基準図を適用する。 本基準図に記載されていない事項は次による。		a) 突合せ継手 (B) の開先標準は下図による。		(単位：mm)		エンドタブの材質は、母材と同等以上、形状は、母材と同厚・同開先のものとし、長さは、下図及び下表による。ただし、あらかじめ溶接端部に欠陥が生じないことが確認された材質及び形状のものをを用いる場合については、この限りではない。																																
(1) 日本建築学会編集 「鉄骨工事技術指針」 工場製作編 2007年版、 工事現場施工編 2007年版								溶接部分の段差																														
2 溶 接 接 合																																						
1 溶接方法																																						
溶接方法の種類は、アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接、サブマージアーク自動溶接、エレクトロスラグ溶接及びアークスタッド溶接等とする。																																						
2 溶接継手																																						
溶接継手の種類は、完全溶込み溶接、部分溶込み溶接、隅肉溶接及びフレア溶接とし、完全溶込み溶接の継手形状の種類は、突合せ継手、T形継手及びかど継手とする。																																						
3 溶接記号																																						
(1) 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号																																						
溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号、並びに溶接の補助記号は下表による。																																						
溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号																																						
<table><tr><th>分 類</th><th>記 号</th></tr><tr><td>溶接方法</td><td>アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接</td><td>H</td></tr><tr><td></td><td>サブマージアーク自動溶接</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td>エレクトロスラグ溶接</td><td>E</td></tr><tr><td>溶接継手</td><td>完全溶込み溶接</td><td>B</td></tr><tr><td></td><td>隅肉溶接</td><td>F</td></tr><tr><td></td><td>部分溶込み溶接</td><td>P</td></tr><tr><td></td><td>フレア溶接</td><td>F L</td></tr><tr><td>溶 接 面</td><td>片面溶接</td><td>1</td></tr><tr><td></td><td>両面溶接</td><td>2</td></tr></table>		分 類	記 号	溶接方法	アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接	H		サブマージアーク自動溶接	A		エレクトロスラグ溶接	E	溶接継手	完全溶込み溶接	B		隅肉溶接	F		部分溶込み溶接	P		フレア溶接	F L	溶 接 面	片面溶接	1		両面溶接	2								
分 類	記 号																																					
溶接方法	アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接	H																																				
	サブマージアーク自動溶接	A																																				
	エレクトロスラグ溶接	E																																				
溶接継手	完全溶込み溶接	B																																				
	隅肉溶接	F																																				
	部分溶込み溶接	P																																				
	フレア溶接	F L																																				
溶 接 面	片面溶接	1																																				
	両面溶接	2																																				
溶接の補助記号																																						
<table><tr><th>区 分</th><th>補助区分</th></tr><tr><td>現 場 溶 接</td><td>○</td></tr><tr><td>全 周 溶 接</td><td>●</td></tr><tr><td>全 周 現 場 溶 接</td><td>⦿</td></tr><tr><td>断続溶接の長さ及び間隔</td><td>L－P</td></tr></table>		区 分	補助区分	現 場 溶 接	○	全 周 溶 接	●	全 周 現 場 溶 接	⦿	断続溶接の長さ及び間隔	L－P																											
区 分	補助区分																																					
現 場 溶 接	○																																					
全 周 溶 接	●																																					
全 周 現 場 溶 接	⦿																																					
断続溶接の長さ及び間隔	L－P																																					
(2) 溶接記号の記載方法																																						
溶接記号の記載方法は下図による。ただし、溶接方法又は溶接面の指定を行わない場合は、溶接継手記号のみを記入する。 完全溶込み溶接及び部分溶込み溶接の場合は、引出線を折線とし、開先をとる部材面に先端を向けるものとする。																																						
																																						
溶接記号の記載方法																																						

3 高力ボルト接合等		5 鉄骨標準詳細図		6 鉄骨と鉄筋コンクリート部分の取合い																																																																																													
<div>1 ボルトの種類</div> <div>(1) 高力ボルト</div> <div>高力ボルトの種類は、JIS B1186「摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット」（2種F10T）の規格に適合するもの、建築基準法に基づき認定されたトルシア形高力ボルト（2種S10T）及び溶融亜鉛めっき高力ボルト（1種F8T相当）とする。</div> <div>(2) 普通ボルト</div> <div>普通ボルトのボルト及びナットは下表により、ねじは、JIS B0205「一般用メートルねじ」による。座金は、JIS B1256「平座金」による並型とする。</div> <table><tr><th colspan="2">普通ボルトのボルト及びナット</th></tr><tr><th>ボルト</th><th>ナット</th></tr><tr><td>規格番号 規格名称</td><td>JIS B1180（六角ボルト） JIS B1181（六角ナット）</td></tr><tr><td>種 類</td><td>並角六角ボルト 並形六角ナット</td></tr><tr><td>材料区分</td><td>鋼 製 鋼 製</td></tr><tr><td>強度区分</td><td>4.6 4T</td></tr><tr><td>ねじの等級の規格</td><td>JIS B0209-1（一般用メートルねじ 交差第一部：原則及び基礎データ）による6g JIS B0209-1（一般用メートルねじ 交差第一部：原則及び基礎データ）による6H</td></tr><tr><td>仕上の程度</td><td>中 中</td></tr></table> <div>2 ボルトの表示記号</div> <div>ボルトの表示記号は下表による。</div> <table><tr><th colspan="2">ボルトの表示記号</th></tr><tr><td>ボルトの種類</td><td>ねじの呼び M12 M16 M20 M22 M24</td></tr><tr><td>高力ボルト（F10T、S10T）</td><td>● ● ● ● ●</td></tr><tr><td>溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）</td><td>○ ○ ○ ○ ○</td></tr><tr><td>普通ボルト</td><td>○ ○ ○ ○ ○</td></tr></table> <div>3 ボルト孔の径</div> <div>ボルト孔の径は下表による。</div> <table><tr><th colspan="2">ボルト孔の径</th></tr><tr><td>ボルトの種類</td><td>ねじの呼び M12 M16 M20 M22 M24</td></tr><tr><td>高力ボルト（F10T、S10T）</td><td>14 18 22 24 26</td></tr><tr><td>溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）※1</td><td>17.5 22.0 24.0 26.0</td></tr><tr><td>普通ボルト</td><td>※2 12.5 16.5 20.5 22.5 24.5</td></tr></table> <div>※1 建設大臣認定条件による。 ※2 母座、鋼線索の取付用ボルトの場合は、ボルトの径+1.0mmとすることができる。</div> <div>4 高力ボルトの長さ</div> <div>高力ボルトの長さは、補付け長さに下表の値を加えたものを標準長とする。</div> <table><tr><th colspan="2">高力ボルトの補付け長さに加える長さ</th></tr><tr><td>ねじの呼び</td><td>M12 M16 M20 M22 M24</td></tr><tr><td>JIS形</td><td>25 30 35 40 45</td></tr><tr><td>トルシア形 ※1</td><td>25 30 35 40</td></tr></table> <div>※1 建設大臣認定条件による。</div> <div>5 縁端距離及びボルト間隔等</div> <div>(1) 縁端距離及びボルト間隔</div> <div>縁端距離及びボルト間隔は、原則として下表による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、ボルト軸径の2.5倍以上とする。</div> <table><tr><th colspan="2">縁端距離及びボルト間隔</th></tr><tr><td>ねじの呼び</td><td>M12 M16 M20 M22 M24</td></tr><tr><td>縁端距離 e</td><td>40 45 50 55 60</td></tr><tr><td>ボルト間隔 p</td><td>60 65 70</td></tr></table> <div>(2) 千鳥打ちのゲージ及び間隔</div> <div>千鳥打ちのゲージ及び間隔は、原則として下表による。</div> <table><tr><th colspan="2">千鳥打ちのゲージ及び間隔</th></tr><tr><td>ゲージ</td><td>千鳥打ちの間隔（P×t）</td></tr><tr><td>※</td><td>M12、M16、M20、M22 M24</td></tr><tr><td>35</td><td>50 45 40 35 25 —</td></tr><tr><td>40</td><td>65 60 55 50 45 40</td></tr></table>		普通ボルトのボルト及びナット		ボルト	ナット	規格番号 規格名称	JIS B1180（六角ボルト） JIS B1181（六角ナット）	種 類	並角六角ボルト 並形六角ナット	材料区分	鋼 製 鋼 製	強度区分	4.6 4T	ねじの等級の規格	JIS B0209-1（一般用メートルねじ 交差第一部：原則及び基礎データ）による6g JIS B0209-1（一般用メートルねじ 交差第一部：原則及び基礎データ）による6H	仕上の程度	中 中	ボルトの表示記号		ボルトの種類	ねじの呼び M12 M16 M20 M22 M24	高力ボルト（F10T、S10T）	● ● ● ● ●	溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	○ ○ ○ ○ ○	普通ボルト	○ ○ ○ ○ ○	ボルト孔の径		ボルトの種類	ねじの呼び M12 M16 M20 M22 M24	高力ボルト（F10T、S10T）	14 18 22 24 26	溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）※1	17.5 22.0 24.0 26.0	普通ボルト	※2 12.5 16.5 20.5 22.5 24.5	高力ボルトの補付け長さに加える長さ		ねじの呼び	M12 M16 M20 M22 M24	JIS形	25 30 35 40 45	トルシア形 ※1	25 30 35 40	縁端距離及びボルト間隔		ねじの呼び	M12 M16 M20 M22 M24	縁端距離 e	40 45 50 55 60	ボルト間隔 p	60 65 70	千鳥打ちのゲージ及び間隔		ゲージ	千鳥打ちの間隔（P×t）	※	M12、M16、M20、M22 M24	35	50 45 40 35 25 —	40	65 60 55 50 45 40	<div>(3) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径</div> <div>形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、原則として下表による。</div> <table><tr><th colspan="2">形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径</th></tr><tr><td>形鋼のゲージ</td><td>ボルトの最大軸径</td></tr><tr><td>45</td><td>25</td></tr><tr><td>50</td><td>28</td></tr><tr><td>60</td><td>35</td></tr><tr><td>65</td><td>35</td></tr><tr><td>70</td><td>40</td></tr><tr><td>75</td><td>40</td></tr><tr><td>80</td><td>45</td></tr><tr><td>90</td><td>50</td></tr><tr><td>100</td><td>55</td></tr><tr><td>125</td><td>70</td></tr><tr><td>130</td><td>70</td></tr><tr><td>150</td><td>80</td></tr><tr><td>175</td><td>90</td></tr><tr><td>200</td><td>100</td></tr></table> <div>※1 千鳥打ちとした場合</div> <div>4 柱 脚</div> <div>1 柱脚の形式</div> <div>柱脚の形式は、原則として鉄骨造においては露出型柱脚又は埋込型柱脚、鉄骨鉄筋コンクリート造においては埋込型柱脚とする。</div> <div>2 アンカーボルト等の設置</div> <div>(1) アンカーボルト</div> <div>a) アンカーボルトは二重ナット及び座金を用い、その先端は、ねじがナットの外に3山以上出るようにする。ただし、コンクリートに埋め込まれる場合は、二重ナットとしないことができる。</div> <div>b) アンカーボルトにせん断力を負担させる場合は、座金厚さの検討を行い、座金とベースプレートを全周溶接することとし、下図による。</div> <div>(2) アンカーボルトの保持及び埋込み</div> <div>アンカーボルトの保持及び埋込みは、下図による。</div> <div>(3) 柱底均しモルタル</div> <div>柱底均しモルタルは、下図による。（A種を原則とする。）</div>	形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径		形鋼のゲージ	ボルトの最大軸径	45	25	50	28	60	35	65	35	70	40	75	40	80	45	90	50	100	55	125	70	130	70	150	80	175	90	200	100	<div>1 仕口部詳細</div> <div>(1) 仕口パネル</div> <div>仕口パネルの範囲は下図による。材質は、取り付く梁及び柱のウェブ材のうち、強度及び溶接性の最も優れたものと同等のものとし、板厚は、パネルゾーンの検討を行い決定する。ただし、板厚は取り付く梁及び柱のウェブ材のいずれか厚いもの以上かつ9mm以上とする。</div> <div>(2) 水平スチフナ及びダイアフラム</div> <div>a) 十字形柱及びH形柱の仕口部に設ける水平スチフナの形状及び大きさは下図による。材質は、梁フランジ材と同等のものとし、板厚は、梁フランジ厚以上かつ9mm以上とする。</div> <div>なお、梁幅が300mm以上の場合は、スニップカットの代わりにスカラップとすることができる。</div> <div>b) 鋼管柱の仕口部に設けるダイアフラムの形状及び大きさは、下図による。</div> <div>通しダイアフラムの場合の材質は、取り付く梁フランジ材及び柱材のうち、強度及び溶接性の最も優れたものと同等以上のものとし、板厚は、同レベルに集まる梁フランジのうち最も厚いもの以上かつ9mm以上とする。</div> <div>内ダイアフラムの場合の材質は、梁フランジ材と同等以上のものとし、板厚は、同レベルに集まる梁フランジのうち最も厚いもの以上かつ9mm以上とする。</div> <div>ダイアフラム中心部には、最上部を除いて空気穴（直径30mm程度）を設ける。ただし、スニップカットの代わりにスカラップを設ける場合は、空気穴を省略することができる。</div> <div>(3) 縦スチフナ</div> <div>a) 十字形柱及びH形柱の仕口部に設ける縦スチフナは下図による。</div> <div>縦スチフナの幅は、取り付く柱フランジと同一とし、材質は、上下柱フランジ材のうち、強度及び溶接性の最も優れたものと同等のものとし、板厚は、いずれか最も厚いもの以上とする。</div> <div>(2) 梁の段差</div> <div>柱に取り付く梁に段差を設ける場合は下図による。ただし、溶接上支障がない場合については、この限りではない。</div> <div>(2) 鉄 筋</div> <div>(1) 鉄筋位置の確保</div> <div>柱の配筋において、主筋は下図により、組立筋を用いて位置を確保し、柱幅が700mm以上の場合は、柱の中間に組立筋を入れることとする。ただし、柱、梁仕口部を除くものとする。</div> <div>(2) 鉄筋貫通孔の径</div> <div>鉄筋の定着又は引通しのため鉄骨にあげる鉄筋貫通孔の径は下表による。ただし、主筋の鉄筋貫通孔は、最大孔径に統一する。</div> <div>鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。</div> <div>(3) 鉄筋貫通孔の位置</div> <div>a) 鉄筋貫通孔の位置は下図による。</div> <div>b) 小梁下端主筋は、直交する梁ウェブを貫通させるものとし、下図による。ただし、構造上支障がない場合は、梁ウェブを貫通しないことができるものとし下図による。</div> <div>c) 柱脚部のしぼりの限度及び位置は下図による。</div>
普通ボルトのボルト及びナット																																																																																																	
ボルト	ナット																																																																																																
規格番号 規格名称	JIS B1180（六角ボルト） JIS B1181（六角ナット）																																																																																																
種 類	並角六角ボルト 並形六角ナット																																																																																																
材料区分	鋼 製 鋼 製																																																																																																
強度区分	4.6 4T																																																																																																
ねじの等級の規格	JIS B0209-1（一般用メートルねじ 交差第一部：原則及び基礎データ）による6g JIS B0209-1（一般用メートルねじ 交差第一部：原則及び基礎データ）による6H																																																																																																
仕上の程度	中 中																																																																																																
ボルトの表示記号																																																																																																	
ボルトの種類	ねじの呼び M12 M16 M20 M22 M24																																																																																																
高力ボルト（F10T、S10T）	● ● ● ● ●																																																																																																
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	○ ○ ○ ○ ○																																																																																																
普通ボルト	○ ○ ○ ○ ○																																																																																																
ボルト孔の径																																																																																																	
ボルトの種類	ねじの呼び M12 M16 M20 M22 M24																																																																																																
高力ボルト（F10T、S10T）	14 18 22 24 26																																																																																																
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）※1	17.5 22.0 24.0 26.0																																																																																																
普通ボルト	※2 12.5 16.5 20.5 22.5 24.5																																																																																																
高力ボルトの補付け長さに加える長さ																																																																																																	
ねじの呼び	M12 M16 M20 M22 M24																																																																																																
JIS形	25 30 35 40 45																																																																																																
トルシア形 ※1	25 30 35 40																																																																																																
縁端距離及びボルト間隔																																																																																																	
ねじの呼び	M12 M16 M20 M22 M24																																																																																																
縁端距離 e	40 45 50 55 60																																																																																																
ボルト間隔 p	60 65 70																																																																																																
千鳥打ちのゲージ及び間隔																																																																																																	
ゲージ	千鳥打ちの間隔（P×t）																																																																																																
※	M12、M16、M20、M22 M24																																																																																																
35	50 45 40 35 25 —																																																																																																
40	65 60 55 50 45 40																																																																																																
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径																																																																																																	
形鋼のゲージ	ボルトの最大軸径																																																																																																
45	25																																																																																																
50	28																																																																																																
60	35																																																																																																
65	35																																																																																																
70	40																																																																																																
75	40																																																																																																
80	45																																																																																																
90	50																																																																																																
100	55																																																																																																
125	70																																																																																																
130	70																																																																																																
150	80																																																																																																
175	90																																																																																																
200	100																																																																																																
		設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	S-06																																																																																										
		訂正年月日				図面名称：鉄骨標準図②																																																																																											
						SCALE N/S																																																																																											

1. 工法概要

1.1 構成部材

①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④ベースバックグラウト(グラウト材)
⑤定着座金
⑥ベースプレート

⑦フレームポスト
⑧フレームベース
⑨ステコンアンカー(コンクリートアンカー)
⑩ベースプレート

(注)上記①～⑩の構成部材はベースバック構成部品として供給される。
(注)上記①～⑩は現場状況により仕様異なる場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要

2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235 STKR400	
295	BCR295 TSC295	■

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質
SN490B [JIS G 3136]

形状(イ) 形状(ハ)

3.2 アンカーボルト(Mアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i) アンカーフレーム Aタイプの場合 ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	単位 mm	基準強度(N/mm ²)
M27	D29	650	45	128	490	
M30	D32	695	45	133	490	
M33	D35	690,735	45	95,140	490	
M36	D38	770	60	130	490	
M39	D41	770,810	60	98,135	490	

注1)据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

3.3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)	単位 mm
M27	22	41	47	
M30	24	46	53	
M33	26	50	58	
M36	29	55	64	
M39	31	60	69	

3.4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合 ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

通用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	SS400
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	通用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d	単位 mm
PM27	M27	32	42	101	18	28	
PM30	M30	32	42	101	18	31	
PM33	M33	35	45	110	18	34	
PM36	M36	35	45	110	18	37	
PM39	M39	38	48	118	18	40	

3.6 フレームベース

i) Aタイプ ii) Cタイプ iii) 特Cタイプ

3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースバックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

< Aタイプ > < Cタイプ > < 特Cタイプ >

※枕頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースバック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋
SD295 (D13, D16)
SD345 (D19, D22)

4.2 配筋

※立上り筋の頂部にはフックを設けなくともよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

図 標準許容差

-2≤e1≤2
基準高さより誤差は -3≤e≤10

6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルモルタルはベースバックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。

6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースバックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち 6. 2 アンカーボルト据付け及び 6. 6 ベースバックグラウトの注入は、ベースバック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースバック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

採用	ベースバック 記号	柱		ベースプレート						アンカーボルト		アンカー フレーム タイプ	コンクリート柱型				フレームベース		フレームポスト間		最低h寸法 (mm)	J寸法 (mm)			
		外径 (mm)	板厚 (mm)	材質	形状	寸法(mm)							寸法D(mm)				寸法W(mm)		寸法X(mm)						
						a	t	l1	l2	l3	d	本数	呼び	基準強度 (N/mm ²)	標準フレーム	特C	立上り筋	フープ筋	設計基準強度 (N/mm ²)	標準フレーム	特C	標準フレーム	特C		
	15-12V	□-150×150	t≤12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	490	A	500	-	12-D16	D13φ100	21以上	250	-	150	-	550	135
	17-12V	□-175×175	t≤12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	490	A	530	-	12-D19	D13φ100	21以上	280	-	180	-	600	135
	20-09V	□-200×200	t≤9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	490	A	560	-	12-D16	D13φ100	21以上	310	-	210	-	600	135
■	20-12V	□-200×200	t≤12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	490	A	560	-	12-D19	D13φ100	21以上	310	-	210	-	600	135
	25-09V	□-250×250	t≤9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	490	A	610	-	12-D19	D13φ100	21以上	360	-	260	-	650	150
	25-12V	□-250×250	t≤12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	490	A	630	-	12-D19	D13φ100	21以上	370	-	270	-	650	150
	25-16V	□-250×250	t≤16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	490	C	620	640	12-D19	D13φ100	21以上	240	440	140	300	650	135
	30-09V	□-300×300	t≤9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	490	A	680	-	12-D22	D13φ100	21以上	420	-	320	-	650	150
	30-12V	□-300×300	t≤12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	490	C	700	710	12-D22	D13φ100	21以上	310	510	210	370	650	135
	30-16V	□-300×300	t≤16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	490	C	710	710	12-D22	D13φ100	21以上	310	510	210	370	700	150
	30-19V	□-300×300	t≤19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	490	C	740	740	12-D22	D13φ100	21以上	340	540	240	400	700	150

設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事
訂正年月日				図面名称：ベースバック柱脚工法 標準図 1 SCALE N/S

S-07

A2→A3縮小 71%

Q L デッキ合成スラブ設計・施工標準

耐火仕様①

JFE 建材 株式会社

合成スラブ工業会仕様

[耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用]

Q L デッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説」JASS6鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、Q L デッキ設計マニュアル、同施工マニュアルによる。

設

計

材料/デッキプレート			[ISO 9001認証取得]
デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理	
■QL99-50 □QL99-75	端部加工 □ミゾあり ■無し	□表面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P) ^{*1} ■亜鉛めっき [■Z12 □Z27] □JFEエポキシ(高耐食溶融めっき鋼板) [□Y18 □Y27] □その他 () □無し	
		材 質 JIS G 3352に定めるSDP1T, SDP2, SDP2G	

材料/コンクリート		
種 類	■普通コンクリート □軽量コンクリート [□1種 □2種]	
設計基準強度	□18 □21 □24 □ () N/mm ²	
厚さ(QLデッキ山上)	□60 □70 ■80 □85 □90 □95 □100 □ () mm	

材料/溶接金網・異形鉄筋		
■溶接金網	JIS G 3351 □φ6-75×75 ■φ6-150×150 □φ6-100×100 □ () ^{*2}	
□異形鉄筋	JIS G 3112, 3117 □10-150×150 □10-200×200 □ ()	
耐火補強筋	JIS G 3112, 3117 D13-@300	

接 合			*2 線形6mm以上を用いるもの
梁 と の 接 合	□頭付キスタッド	JIS B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22	
	■焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による	
	□打込み板	接合面所は特記による	
	□その他		

*3 最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする

耐 火					
デッキプレート	耐火区分	支持条件	コングリ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50 QL99-75	床1時間	単純	普通/軽量	要	□FP060FL-9101
		連続		不要	■FP060FL-9095
	床2時間	単純		要	□FP120FL-9113
		連続		不要	□FP120FL-9107

注) 床2時間は床1時間耐火を含む

その他	□指定なし	□ () □ ()
-----	-------	-------------

特 記	
支保工有無	その他:
■無 □有	

上欄内の採用項目に□を記して下さい。

焼抜き栓溶接	
デッキプレート幅方向	
QL99-50	
QL99-75	

デッキプレートスパン方向	
「QLデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。	
$A_w = \frac{1.5Q_a}{G_0} \times 1000\text{mm}$ かつ600mm 以下	
Q _a : 焼抜き栓溶接1個当たりの長期許せん断力 (N)	
Q ₀ : 設計最大せん断力 (N/m)	
A _w : 焼抜き栓溶接ピッチ	
A _w = () mm	
(注) 接合に頭付キスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要	

アクセサリ	
フラッシング (QLデッキ割付の調整に用いる)	ハンガー金具 (QLデッキ下溝を利用する天井インサート用金具)
クローサー (QLデッキの小口みぎに用いる)	

施工時許容スパン表 (デッキプレートの検討)	
QL99-50	(単位: m)
	コンクリート厚(mm)
	板厚(mm)
	支持条件

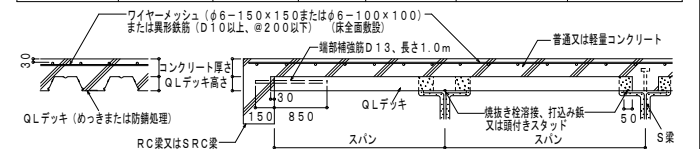
注1: 普通コンクリート (単位体積重量24.0kN/m³)、表面処理が亜鉛めっきの場合

注2: () 数値は表面処理がめっきまたは建築品の許容スパンを示す。

注3: 表を超える場合は、別途支保工が必要。

耐 火 仕 様

【連続支持合成スラブ】						
耐 火 時 間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	D10-@200	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	D10-@200	算出式 注5) B 参照

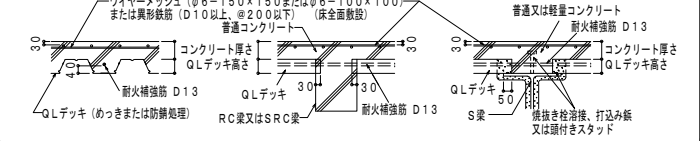


【単純支持合成スラブ】

【単純支持合成スラブ】						
耐 火 時 間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照

支持梁: 鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合 コンクリート: 設計基準強度18N/mm²以上の普通コンクリート

耐 火 時 間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
	軽量コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
		QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照



注1) スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支える梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2) スパンが3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付キスタッド(軸径16mm以上、ピッチ300mm以下)で結合する。
注3) 鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み板、または頭付キスタッドを用いる。
注4) 梁の耐火被覆 梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じた耐火被覆を施す。
注5) 許容積載荷重 W 算出式

[A] QL99-50	[B] QL99-75
$W = 5,400 \times \left(\frac{2.7}{L} \right)^2$ かつ9,800 N/m ² 以下	$W = 5,400 \times \left(\frac{3.4}{L} \right)^2$ かつ9,800 N/m ² 以下

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上り荷重を含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示す。

付帯条件
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上にわたって連続的に小はり等によって、ほぼ等間隔(スパン比3:2を超えない程度)で支持されるものとする。
※合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」参照

施工順序		敷 込 み	
施 工	墨 出 し	鉄骨梁の場合	1) 頭付キスタッド 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。
	敷込み止め溶接		2) 打込み板 施工は打込み板製造業者の施工要領による。 施工の仕様等については別添製造業者へご確認ください。 日本日立(株)
	QLデッキと梁との接合		3) 焼抜き栓溶接 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。
	溶接金網敷込み		4) 溶接金網敷込み 施工は、JASS6「鉄骨工事」による。 デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。
工	検 査	RC梁またはSRC梁の場合	1) ティープレートは梁型枠に打ち止める。 2) ティープレートの梁型枠へののり込み代 板幅方向: 10mm以上、長手方向: 30mmであることを確認する。
	コンクリート打設		

QL99-75		(単位: m)	
QL99-75	コンクリート厚(mm)	板厚(mm)	支持条件

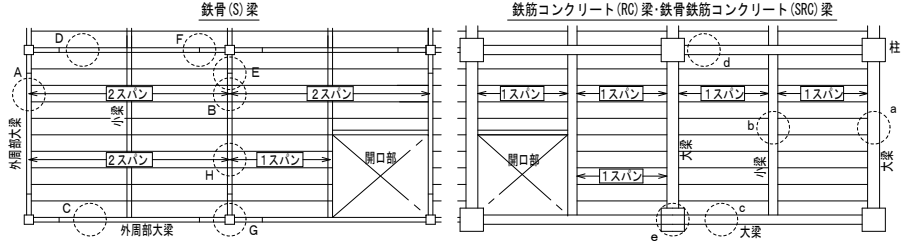
注1: 普通コンクリート (単位体積重量24.0kN/m³)、表面処理が亜鉛めっきの場合

注2: () 数値は表面処理がめっきまたは建築品の許容スパンを示す。

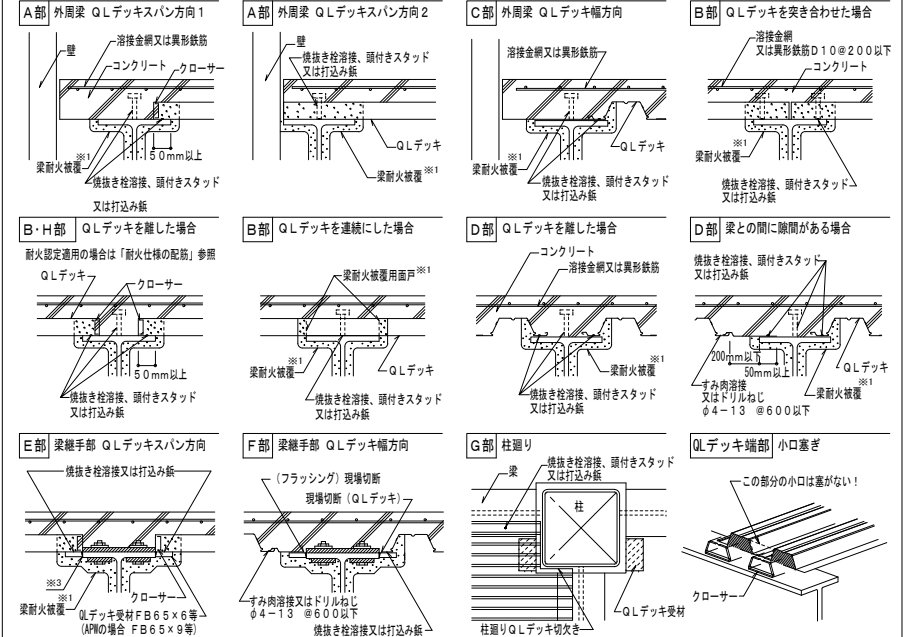
注3: 表を超える場合は、別途支保工が必要。

標 準 納 ま り

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※2はQLデッキ耐火認定を適用する場合に必要な。
※3 溶接方法は別添設計が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)

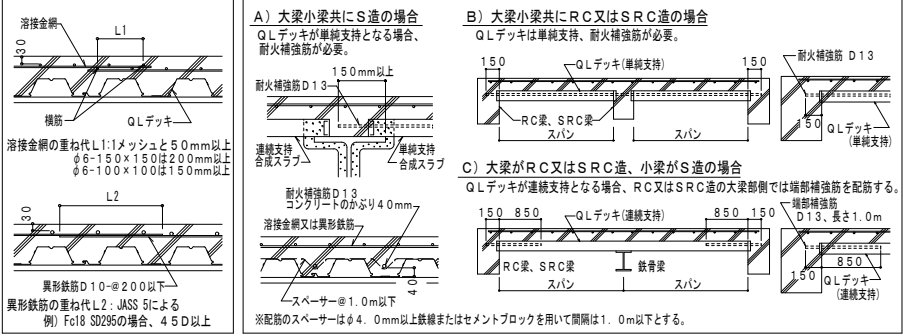


デッキプレートと梁の納まり【S梁】

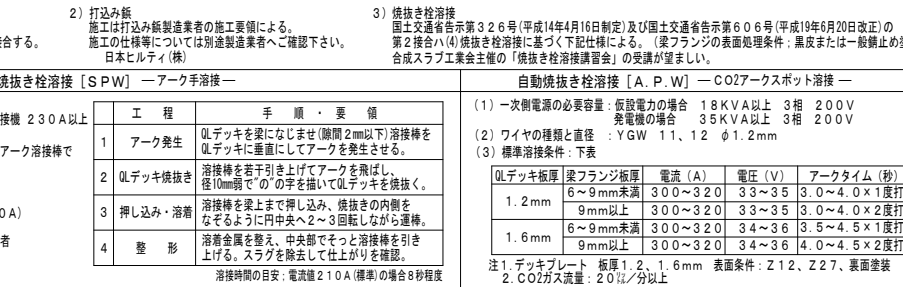


スラブの配筋

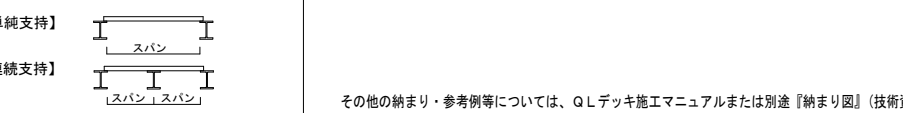
コンクリート表面よりのかぶり厚さが30mm になるようレベル保持し、全面に配筋する。



デッキプレートと梁との接合

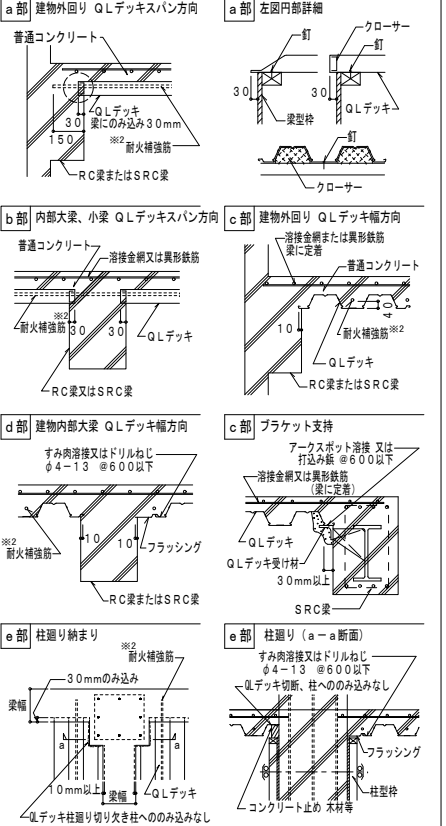


S造・施工時のスパンの取り方

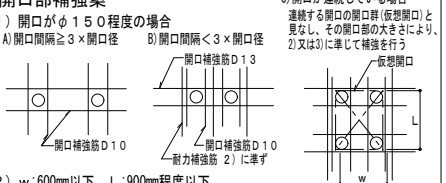


その他の納まり・参考例等については、QLデッキ施工マニュアルまたは別添「納まり図」(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

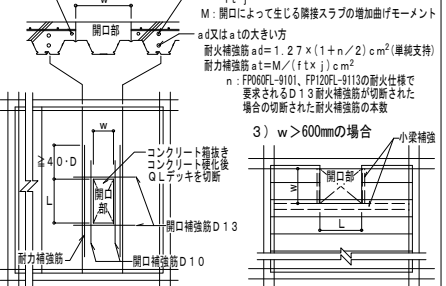
デッキプレートと梁の納まり【RC・SRC梁】



開口部補強案



2) w:600mm以下 L:900mm程度以下

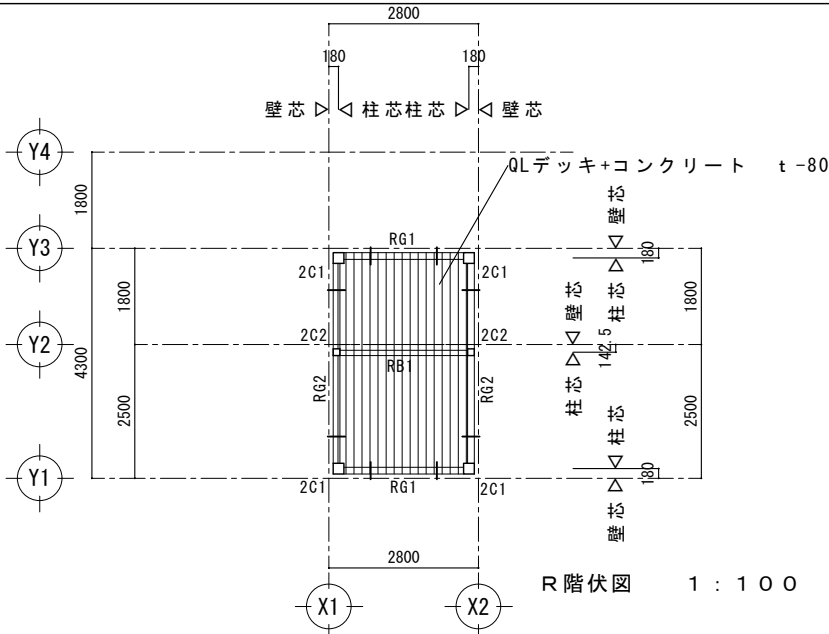


※開口部の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」

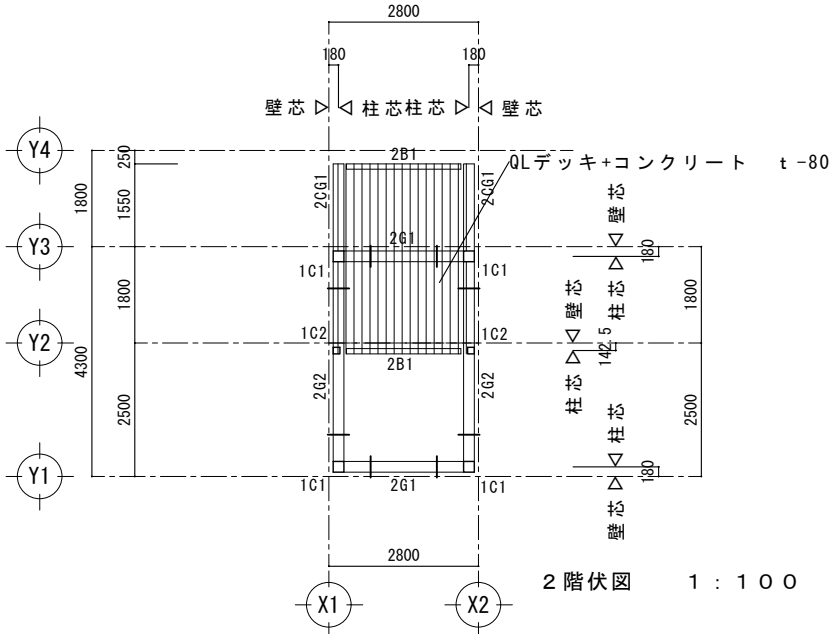
(1) 合成スラブの設計 (2) 合成スラブの開口補強方法を参照する。

検 査

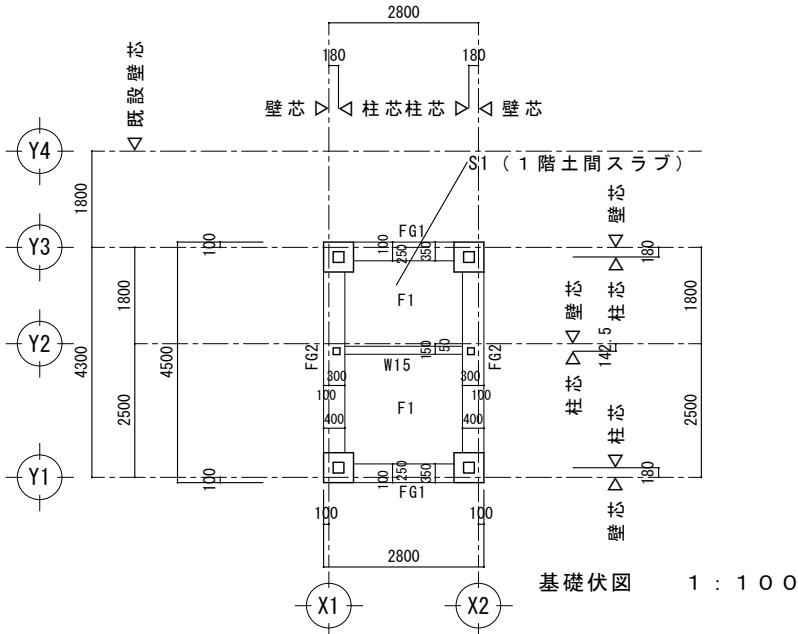
【焼抜き栓溶接 (SPW) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W)】	
□事前検査	
SPW: 適正な溶接を行うため1)または2)の方法で電圧値をチェックする。	
1) 焼流計での計測	
2) 溶接棒の消費長さによる確認 — 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、1.0m程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが4.5~5.3mmであること。	
A.P.W: 試し溶接を行って溶接性を確認する。	
□溶接後の外観検査	
1) 溶接箇所を確認 2) 焼き切れ、余盛り不足の有無	
3) 標準金長り径: SPW: 18mm以上 A.P.W: 25mm±3	
□不良部の修繕	
SPW の場合: スラッグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。不良箇所所に着金長を流し込む要領で修繕。	
A.P.W の場合: 溶接溶接して修繕する。	
【そ の 他】	
(1) QLデッキ相互の嵌合状況 (2) ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況	



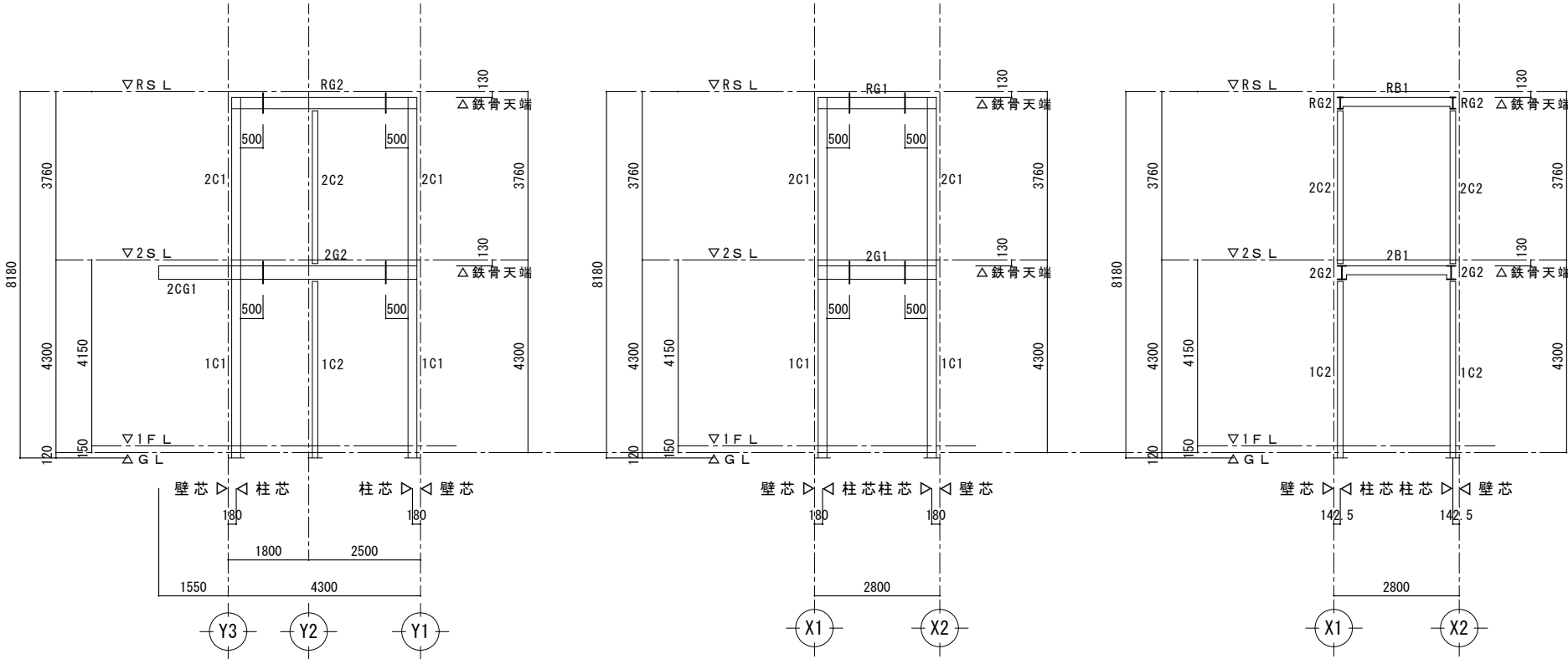
R階伏図 1 : 1 0 0



2階伏図 1 : 1 0 0



基礎伏図 1 : 1 0 0



X1・X2通り 軸組図 1 : 1 0 0

Y1・Y3通り 軸組図 1 : 1 0 0

Y2通り 軸組図 1 : 1 0 0

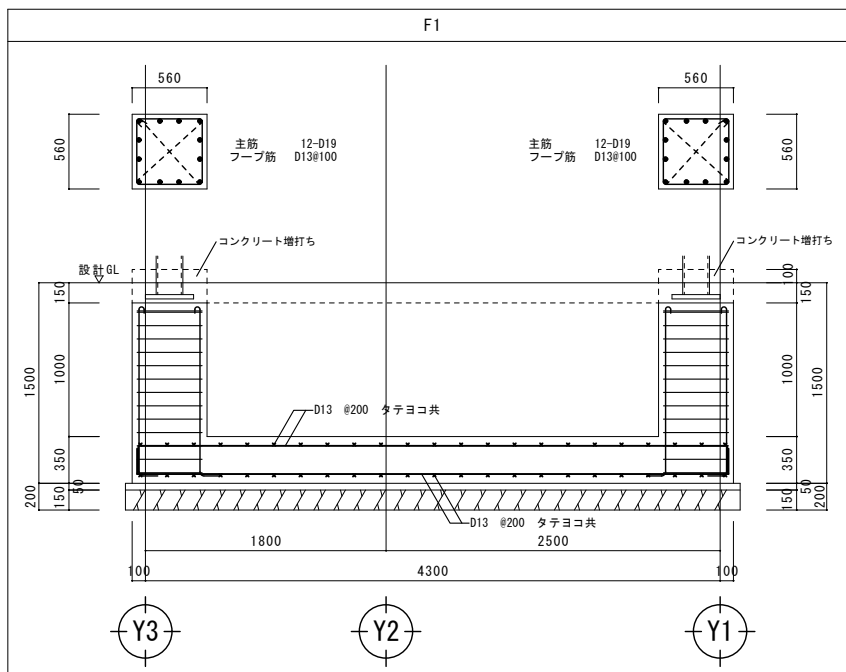
使用材料									
◇ 鋼 材		梁 (H形鋼)		JIS G 3101	◇ コンクリート		耐火被覆		
SS400		柱 (コラム)		BCR 295 大臣認定	躯体		柱:		FPO60CN-9460 JIS A 9504
BCR 295		柱 (コラム)		JIS G 3101	土間スラブ		梁:		FPO60BM-9408 JIS A 9504
STKR400		通しダイヤ		JIS G 3136	捨コンクリート、土間				
SN490C		内ダイヤ		JIS G 3136					
SN490B		QLデッキプレート		JIS G 3352-2014					
SDP1T					◇ 鉄 筋				
◇ 高力ボルト		(トルシア型)		JSS-II-09	D10 ~ D16 : SD295A		JIS G 3112		
S10T					D19 : SD345		JIS G 3112		
◇ 柱脚部		ベースバック		JIS G 3112	(D19以上は圧接継手とする。)				
		SD490 (ABT)		JIS G 3136					
		SN490B (BPL)							
		BT-HT440B-SP (BPL)		【建築基準法第37条第二号に 基づく国土交通大臣認定材料】					

鉄骨リスト														
符 号	部 材	フ ラ ン ジ							ウ ェ ブ					備考
		ボルト径	本数	配列	ゲージ (g1)	ゲージ (g2)	外添板	内添板	ボルト径	本数	配列	ピッチ (p)	添板	
1C1	□-200×200×12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ベースバック 20-12R
2C1	□-200×200×6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
1C2・2C2	□-125×125×6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	BPL-285×285×25 ABTL 4-M20 L-600
2G1・2G2	H-294×200×8×12	M20	3本	2列	120mm	—	PL-410×200×9	PL-410×80×9	M20	3本	1列	90mm	PL-200×170×9	
RG1・RG2	H-250×125×6×9	M16	3本	2列	75mm	—	PL-410×125×12	—	M16	2本	2列	90mm	PL-290×170×6	
2CG1	H-294×200×8×12	ヨウセツ							ヨウセツ					
RB1・2B1	H-200×100×5.5×8								M16	2本	1列	60mm	GPL-6	

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	S-09
			訂正年月日				図面名称 : 各階伏図・軸組図	
							SCALE 1/100	

基礎断面リスト 1/40


1/40



スラブ配筋リスト

[illegible]

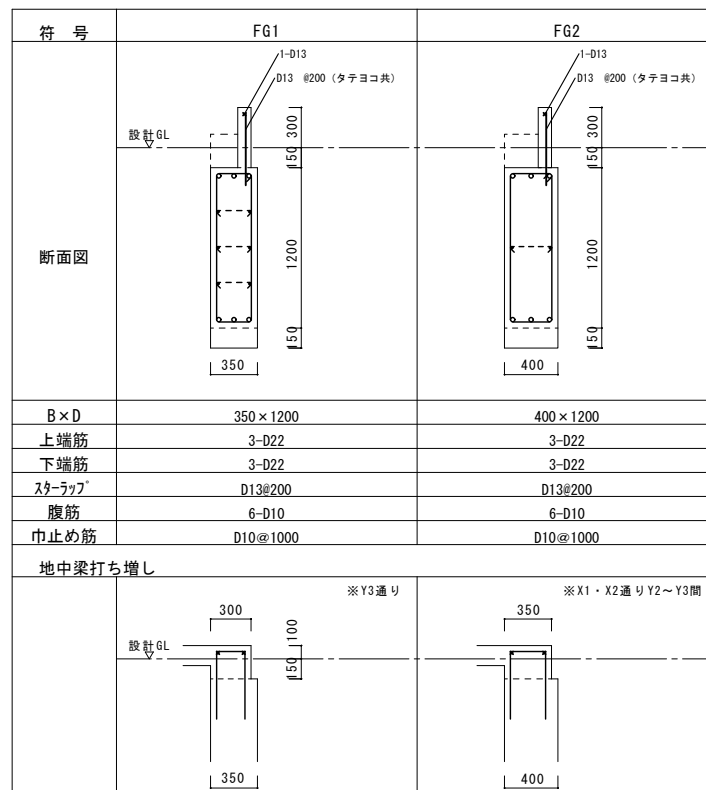
壁配筋リスト

符号	W15			
				
	D13#200 タテヨコ共			

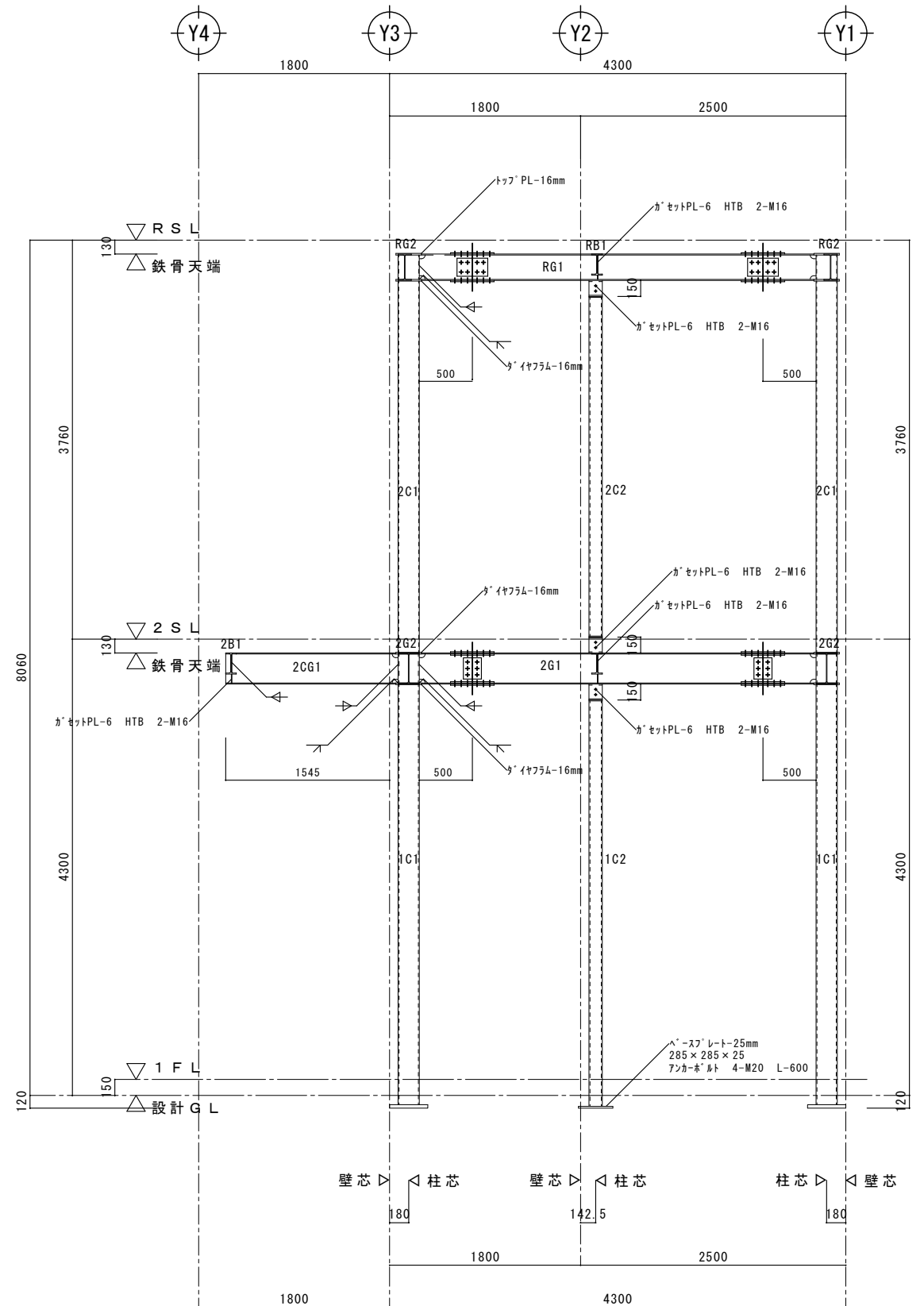
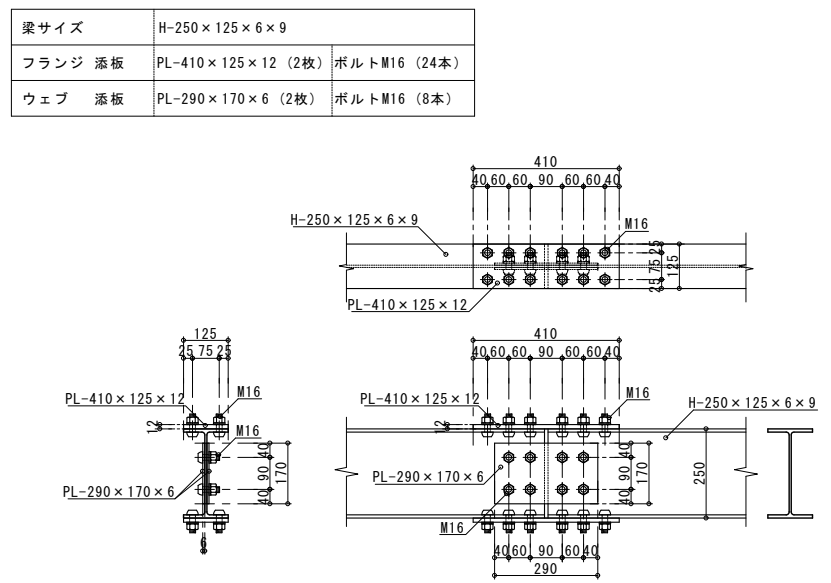
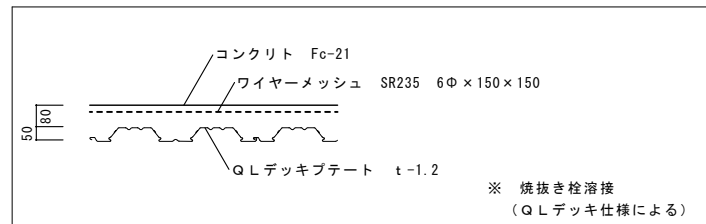
梁サイズ	H-294×200×8×12	
フランジ 外添板	PL-410×200×9 (2枚)	ボルトM20 (24本)
内添板	PL-410×80×9 (4枚)	
ウェブ 添板	PL-200×170×9 (2枚)	ボルトM20 (6本)

基礎大梁断面リスト 1/40

1/40



V型デッキブテート



鉄骨詳細図 1 : 4 0

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	S-10
			訂正年月日					
							図面名称 : 基礎・鉄骨詳細図 SCALE 1/40	

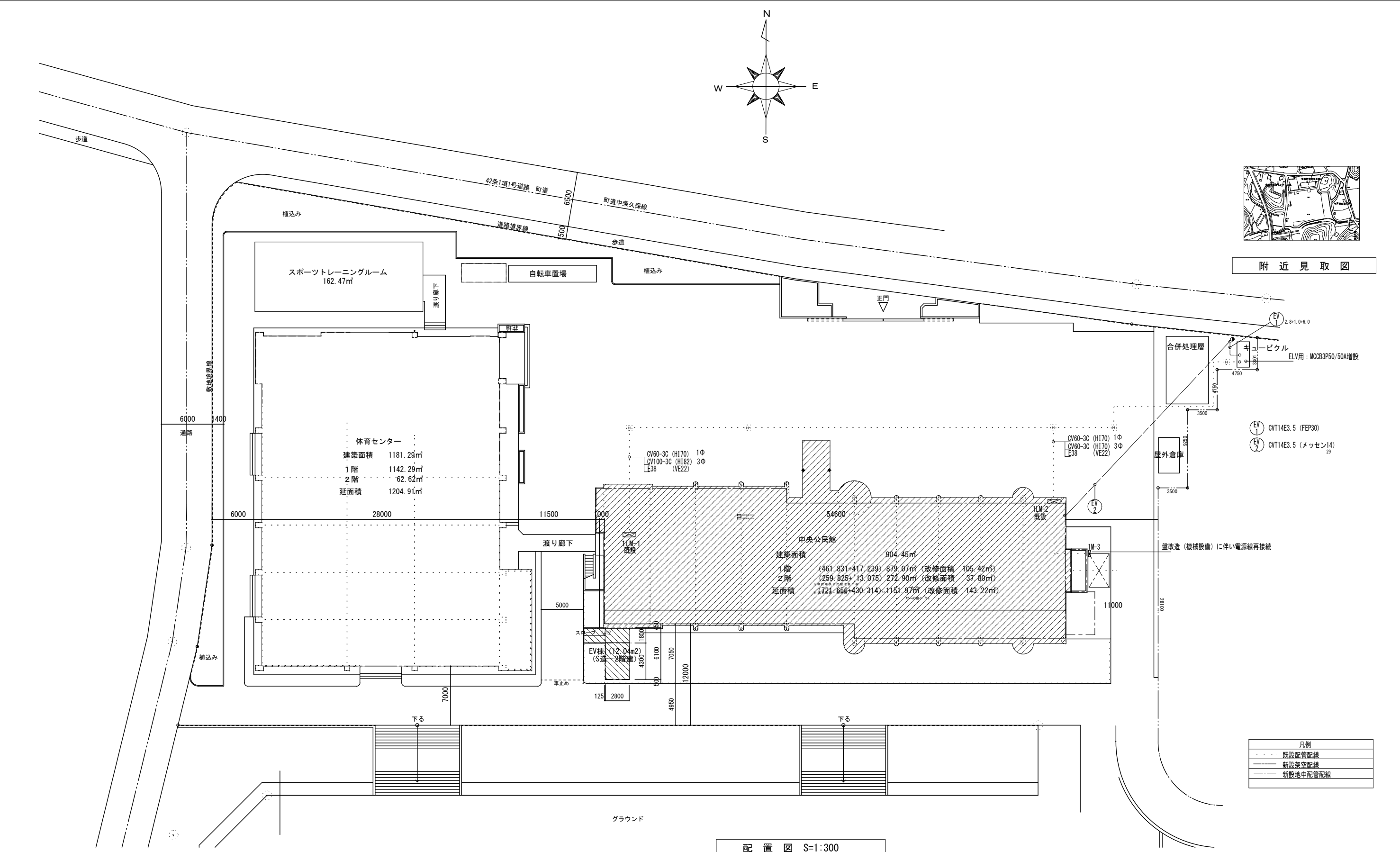
電気設備工事特記仕様書	
I. 工事概要	
1. 工事名称	玉城町中央公民館改修工事
2. 工事場所	三重県会郡玉城町丸田114-2
3. 建物概要	RC造　2階建　　　1151.97㎡
4. 用途区分	1項　口　集会場
4. 工事項目	用途区分は消防法施行令別表第一による表記 下記において●印を付した工事を対象とする。 ●電力設備 ・受変電設備 ・電力貯蔵設備 ・発電設備 ●通信・情報設備 ・中央監視制御設備 ・医療関係設備 ●構内配電線路 ・構内通信線路 ・その他
II. 共通仕様	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。	
・三重県公共工事共通仕様書（令和２年８月制定版） ・三重県建設工事実務必携（令和元年７月１日版） ・国土交通省大臣官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編　各平成31年版） 「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編　各平成31年版） 「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編　各平成31年版） ・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） ・電気工業会の業務の適正化に関する法律 ・電気工事法 ・労働安全衛生法 ・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。） ・電力会社供給約款 ・その他関連法令、関連諸基準	
III. 特記仕様	
1. 一般共通事項	下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。
1. 一般事項	(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 (2) 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合・図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することと将来不具合が発生すると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとりの施工であつても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。
2. 技術検査	中間技術検査　実施回数（＊）回　実施する段階（＊＊＊）
3. 火災保険等	三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加し、その加入証券等を提示しなければならない。 ① 保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む） ② 保険の加入期間　工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間 ③ 保険金額　原則として請負金額に相当する金額
4. 足場	●別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で利用できる。 ・本工事で設置する。 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第2章2.2.2より足場の種別は以下による。 ・内部足場（Ａ種・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種・Ｆ種・Ｇ種） ・外部足場（Ａ種・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種・Ｆ種）
5. 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を送付して、当該工事の発注者に對して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。
6. 電気工作物の種類	・一般電気工作物　●家用電気工作物
7. 電気工事士	電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が５００kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。
8. 電気工業会の業務の適正化に関する法律	電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。
9. 電気保安技術者	電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。 なお、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。
10. 品質計画	品質計画については、監督員の承諾を受けること
11. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は２年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）

等提出する。 また、照度計、騒音計、振動レベル計等の特定計量器を用いて計測する場合は、計量法に基づく検定に合格し、かつ検定有効期限内のものを使用する。	
12. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。
① 総合施工計画書	包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。
② 工種別施工計画書（施工要領書）	各種工種ごとにて作成し、停電及び搬入計画書も作成する。
③ 施工图（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図）	主要機器、重量機器、３kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。
④ 耐震計算書、幹線計算書等	
⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など	
13. 機材等	工事に使用する材料及び機器等については、次の書類を提出する。
① 使用機材届出書	
② 機器明細図	使用機材届出書に記載のものの他、監督員の指示による。
③ 各種計算書	設計図書による他、監督員の指示による。
④ 機材の品質・性能証明	機器及び材料等の選定にあたっては後述の「電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト」、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿」又はこれらと同等級以上のものとする。 なお、設備機材については、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料（「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（一社）公共建築協会）による場合は評価書の写し）を監督員に提出する。また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。 建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員との協議による。 (認定製品の品名：) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 (認定製品の品名：間伐材製工事用バリケード・看板・標示板・)
14. 工事写真	當緒工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁営繕部監修（平成31年版））に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付け国營整第211号）」による。
15. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 (1)施工可能日 ・指定なし ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ●指定あり 指定日（・施設休業日　●打ち合わせ　・その他（ ）） (2)施工可能時間帯 ・指定なし ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ●指定あり 指定時間（・（ ）時～（ ）時　●打ち合わせ　・その他（ ）） (3)概成工期 ・適用する（工事期日より（ ）日前）　・適用しない (4)その他（ ）
16. 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・発掘調査等の実施あり　・発見された場合、発掘調査等の実施あり
17. 部分引渡し等	部分引渡し等がある場合は協力すること。 ・部分引渡しあり　・部分使用あり 該当部分（ ）　時期（ ）
18. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置については監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
19. 建設副産物	請負額１億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の撤出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を撤入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を撤出する場合）を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を撤入した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を撤出した場合）を作成し、監督員に提出する。 なお、計画書及び実施書の提出とともにＪＡＣＩＣが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。
20. 発生材の処理等	・本工事：その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。 分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかにになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法 工種 ・新築 ・増築 ・修繕 ・模様替 ・解体 ・その他（ ） 分別解体の方法 ・手作業 ・手作業・機械作業併用
(1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。（ ）	
(2)特別管理産業廃棄物 ・変圧器 ・コンデンサ ・その他（ ）	現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。

なお、施工に際してＰＣＢ等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合 は、監督員に報告し対応を協議するものとする。 (3)現場内において再利用を図るもの ・発生土 ・その他（ ）	
(4)再資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ・（ ）	
(5)水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの ・蛍光ランプ ・ＨＩドランプ（高輝度放電ランプ） ・その他（ ） 「水銀廃棄物ガイドライン 第2版」（平成31年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課）に基づき適切に 処理すること。	
(6)発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。 また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。	
(7)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。	
21. 電子納品	(1)工事写真は「當緒工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。 (2)工事完成図書は「當緒工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき、電子媒体も提出すること。
22. 官公署への手続き	工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。 ・消防設備関係 ・電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係 ・その他（ ）
23. 消防法関係の手続き	(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ・本工事（ ・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ） ・別途工事 (2)防火対象物使用開始届出書 書類の作成（

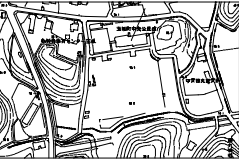
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	E-01
			訂正年月日					
							図面名称 : 電気設備工事 特記仕様書1 SCALE NONE	

<p>12. 予備配管等</p> <p>(1)埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は（P F 2 2）を1本、5回路以上は（P F 2 2）を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下2 0 0 mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。</p> <p>(2)防火主装置、自動火災報知受信機、M D F、警報盤等の間に移報のための空配管を行う。</p> <p>13. 金属製電線管等の塗装</p> <p>(1)露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。</p> <p>1) 屋外、屋内（電気室、機械室、E P S、居室、廊下）、その他建築意匠上必要な箇所。</p> <p>2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。</p> <p>3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。（監督員が指示した場所は除く。）</p> <p>4) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。</p> <p>(2)塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。</p> <p>14. 導入線</p> <p>通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線（φ1. 2 mm以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。ただし、長さ1 m以下の部分は省略することができる。</p> <p>15. 予備スリーブ</p> <p>梁下に配管・配線スペースがない梁には、1 スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。</p> <p>なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。</p> <p>16. ボックス類</p> <p>位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として金属製とする。</p> <p>17. 軽量間仕切のボックス</p> <p>軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。</p> <p>18. プルボックス</p> <p>(1)屋外形、特殊な形状又は一辺が8 0 0 mm以上のものは、製作図を提出すること。</p> <p>(2)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。</p> <p>19. ボルト・ナット類</p> <p>屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの</p> <p>●ステンレス ●溶融亜鉛メッキ仕上げ</p> <p>20. 環境に配慮した電線類の採用</p> <p>電線、ケーブル及び通信線はE M（エコマテリアル）ケーブルを使用すること。</p> <p>21. ケーブル及び配線</p> <p>(1)表示</p> <p>下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。</p> <p>① ケーブルがスラブを貫通する部分</p> <p>② ケーブル分岐部分</p> <p>③ 変電所内のケーブル引出し部分</p> <p>④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分</p> <p>⑤ 屋内の直線部分は、3 0 mごと</p> <p>⑥ プルボックス内</p> <p>⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、5 0 mごと</p> <p>⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分</p> <p>⑨ マンホール及びハンドホールごと</p> <p>(2)ケーブル余長</p> <p>1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数</p> <p>2箇所 () 箇所</p> <p>2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数</p> <p>2箇所 () 箇所</p> <p>22. 配線器具の設置</p> <p>(1)特殊コンセントはプラグ付とする。</p> <p>(2)電源の種類により色を区別する。</p> <p>(3)公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。</p> <p>(4)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁枠を使用する。</p> <p>(5)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。</p> <p>(6)カバープレートは、原則として新金属製とする。</p> <p>なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。</p> <p>(7)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。</p> <p>23. 照明器具の設置</p> <p>(1)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承諾を得ること。</p> <p>(2)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。</p> <p>(3)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。</p> <p>(4)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>24. 照明改修の際の測定</p> <p>対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。</p> <p>測定箇所（各室2か所） 測定回数 前後各（1）回</p> <p>25. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>(1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>26. 変電設備、発電設備の設置場所</p> <p>(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。</p> <p>(2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。</p> <p>(3)屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容地耐力を確認し、結果を監督員に提出する。</p> <p>なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。</p> <p>(4)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。</p> <p>(5)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>27. 発電設備の燃料配管</p> <p>(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。</p> <p>(2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>28. 非常放送設備のスピーカ設置</p> <p>(1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は1 0 m以内とする。</p> <p>(2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1 5 m以内とする。</p>	<p>(3)増幅器からスピーカまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。</p> <p>29. 土工事</p> <p>(1)埋戻しの材料及び工法</p> <p>●B種 (材料：根切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め)</p> <p>●その他 ()</p> <p>ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。</p> <p>(2)特記なき地中埋設配管の深さは、G L—6 0 0 mm以上とする。</p> <p>(3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつば掘りとする。</p> <p>(4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>(5)建設発生土の処理</p> <p>・構内敷ならし ・処分地指定 ()</p> <p>・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 () km</p> <p>30. ハンドホール、マンホール</p> <p>高さ9 0 0 mmを超えるものにあつては、タラップ付とする。</p> <p>なお、タラップの取付は4 5 0 mm間隔以内とする。</p> <p>31. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。</p> <p>① 建物への引込口及び送出口付近</p> <p>② マンホール・ハンドホール付近</p> <p>③ 地中線路の曲折箇所</p> <p>④ 道路横断箇所</p> <p>⑤ 直線部分では3 0 m程度に1個（3 0 mに満たない部分はその間に1個）</p> <p>3. 機器仕様</p> <p>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については図面による。</p> <p>【電力設備】</p> <p>1. 電灯設備</p> <p>(1)既設等との取り合い</p> <p>・無し ●盤改造 ●配線接続 ・電源供給 ・その他 ()</p> <p>(2)機器類</p> <p>●一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯（単独設置） ●コンセント等</p> <p>・分電盤、制御盤等 ・その他 ()</p> <p>1) 形式 ●公共型 ●一般型</p> <p>2) 灯具 ●L E D 灯 ・その他 ()</p> <p>3) 用途 ●屋内用 ・屋外用 ・防炎用</p> <p>4) 環境 ●普通地域 ・塩害地域</p> <p>5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。</p> <p>(4)照明制御器</p> <p>1) センサ類 ・明るさセンサ ●人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ</p> <p>・その他 ()</p> <p>2) 調光方式 ●連続調光 ・段階調光 ・O N / O F F 制御</p> <p>●その他 (機器仕様による)</p> <p>3) 制御方式 ●有線 ●無線通信</p> <p>(5)外灯（単独設置）</p> <p>1) 照明用ポール</p> <p>①材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ</p> <p>・その他 ()</p> <p>②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。</p> <p>2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他 ()</p> <p>3) 灯具 ・L E D 灯 ・その他 ()</p> <p>4) 電源 ・商用電源 (60Hz) (・200V ・100V) ・その他 ()</p> <p>5) 制御 ・E E スイッチ ・タイマ ・その他 ()</p> <p>6) 接地 ・単独接地 (・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ・共用</p> <p>・その他 ()</p> <p>(6)コンセント等</p> <p>●一般型 ●防水型</p> <p>・バネ押しアウトレット (・固定型 ●上下動型(アップ式を含む))</p> <p>(7)分電盤、制御盤等</p> <p>2. 動力設備</p> <p>(1)既設との取り合い</p> <p>(2)機器類</p> <p>●分電盤、制御盤等 ・その他 ()</p> <p>・給水 ・排水 ・消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ●昇降機</p> <p>・その他 ()</p> <p>(4)負荷設備への接続</p> <p>(5)電動機等の接地</p> <p>(6)分電盤、制御盤等</p> <p>●専用接地 ●金属管接地（7. 5 k W以下）</p> <p>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。</p> <p>2) 図面ホルダーは、A 4 サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付できない場合を除く。）とする。</p> <p>3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。</p> <p>4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。</p> <p>5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>【通信・情報設備】</p> <p>3. 構内交換設備</p> <p>(1)機器</p> <p>・交換装置 ・電話機 ・端子盤類 ●アウトレット</p> <p>・その他 (機器は別途)</p> <p>1) 種別 ・構内交換装置 (・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ)</p> <p>・ボタン電話装置</p> <p>・その他 ()</p> <p>(3)電話機</p> <p>・一般電話機 ・多機能電話機 ・I P 電話機</p> <p>・その他 (機器は別途)</p> <p>(5)アウトレット</p> <p>●壁コンセント ・その他 ()</p>	<p>4. 拡声設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)増幅器</p> <p>(5)スピーカ</p> <p>・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ●スピーカ ・その他 ()</p> <p>・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）</p> <p>・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）</p> <p>・専用 結線 ●1W ・3W ・ () W</p> <p>5. 誘導支援設備</p> <p>(1)設備</p> <p>・音声誘導装置 ●インターホン ●トイレ等呼出装置</p> <p>(3)インターホン</p> <p>1) 用途 ●内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用</p> <p>・保守用 ・その他 ()</p> <p>(4)トイレ等呼出装置</p> <p>1) 用途 ●トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報</p> <p>・その他 ()</p> <p>2) 機器 ●親機 ●呼出スイッチ ・警報装置 ・その他 ()</p> <p>3) 親機 ●壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他 ()</p> <p>4) 呼出スイッチ ・押ボタン式 ●引紐式 ・その他 ()</p> <p>6. テレビ共同受信設備</p> <p>(1)受信放送</p> <p>(2)機器</p> <p>(3)アンテナ</p> <p>・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他 ()</p> <p>・増幅器 ・混合器 ・分波器</p>
--	--	--



配置図 S=1:300

三重県度会郡玉城町 下田辺 地内



附近見取図

凡例	
	既設配管配線
	新設架空配線
	新設地中配管配線

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-03
			訂正年月日				図面名称：電気設備配置図	
							SCALE 1/300	

盤 仕 様

名 称

動力盤

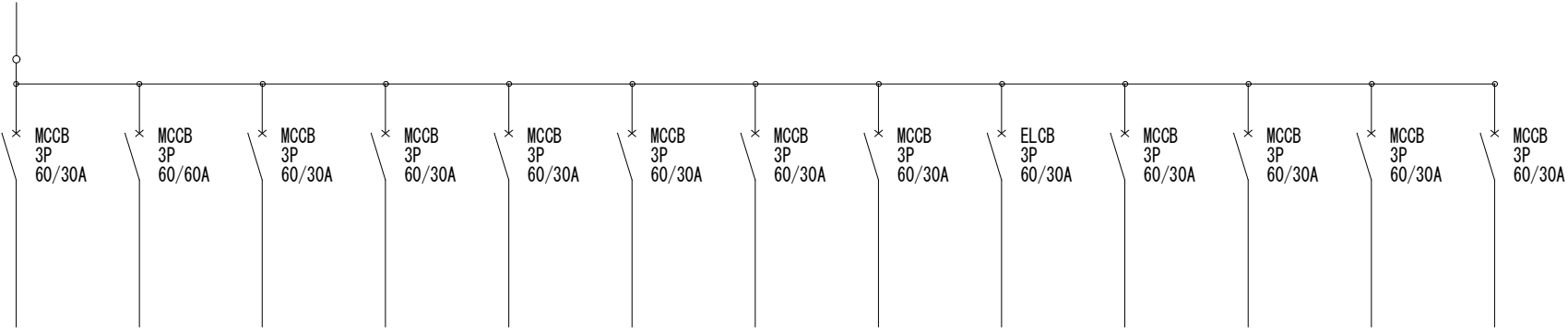
R-P1

型 式

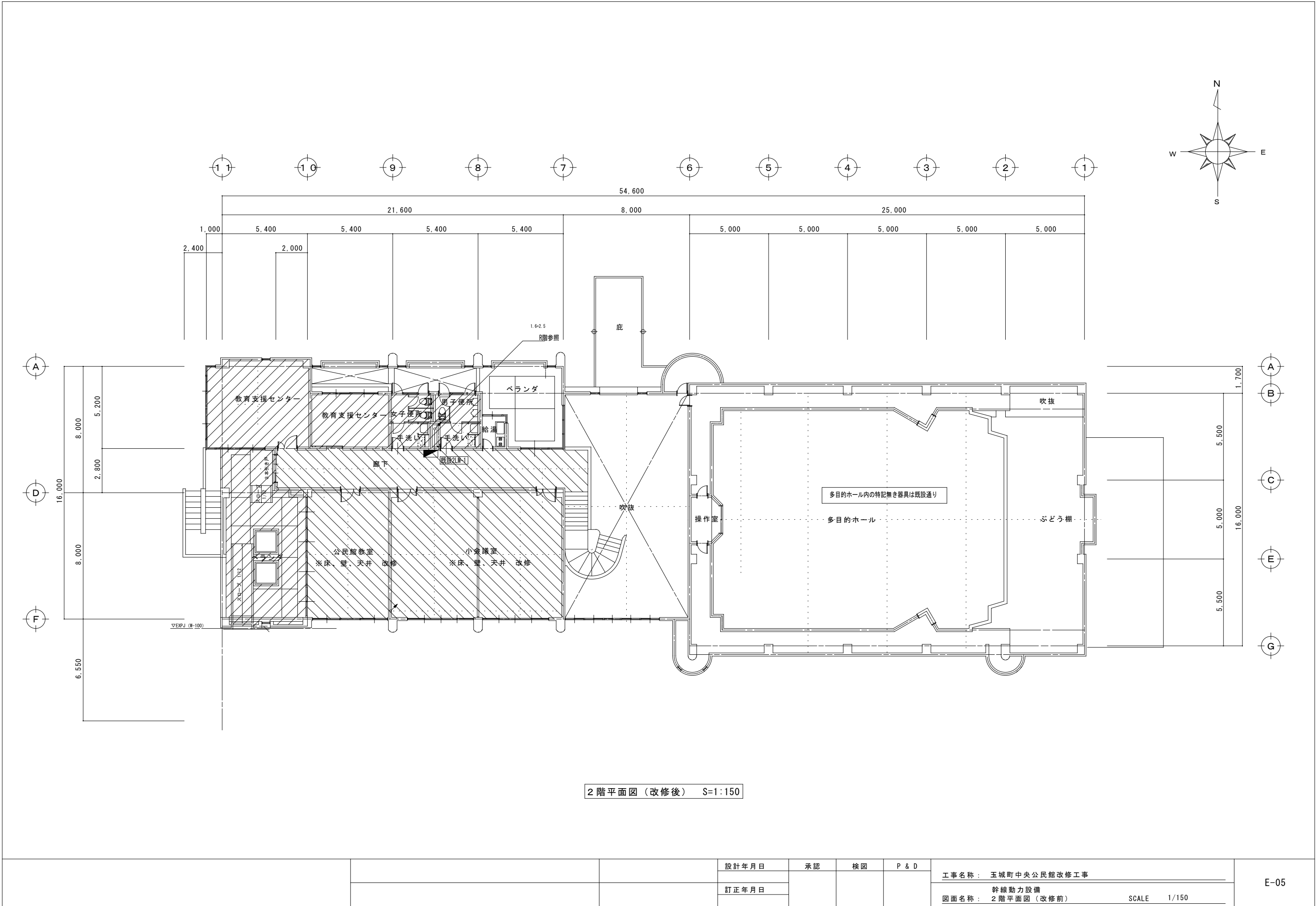
屋外自立型

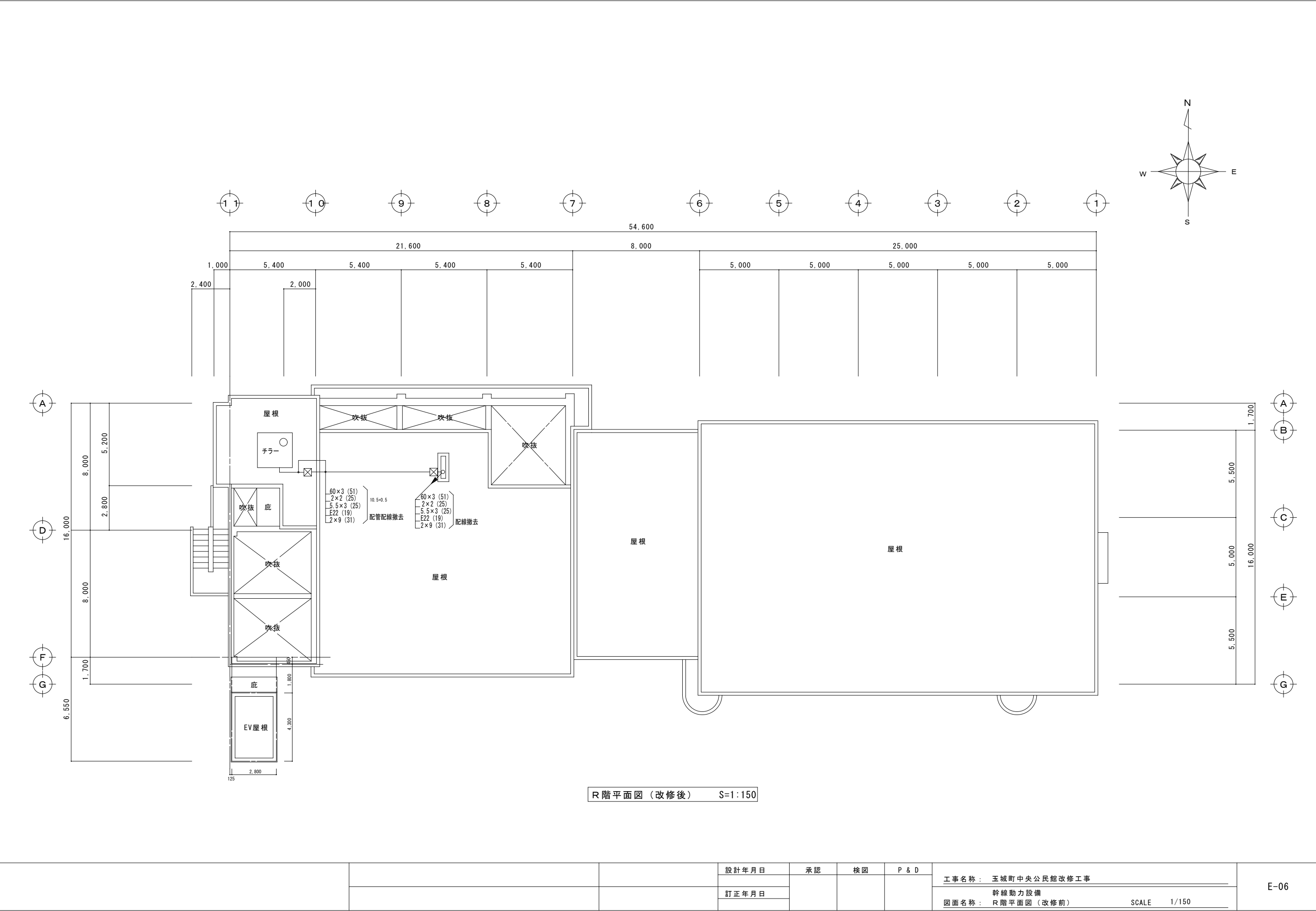
銅板製標準色

分岐ブレーカの容量は空調機定格と調整のこと



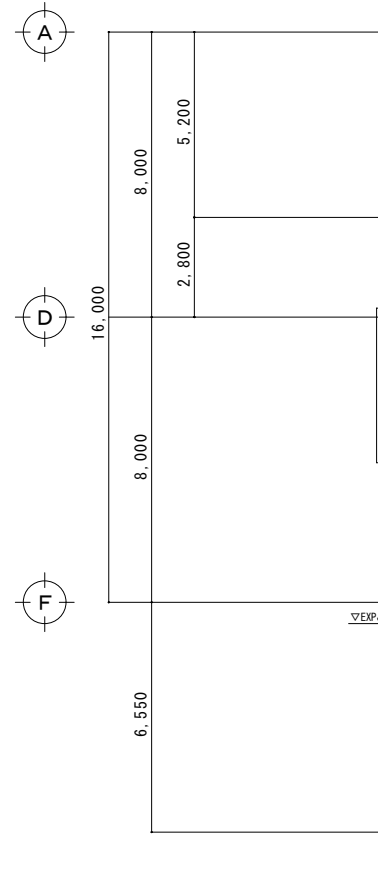
負荷名称	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機	新設空調機
負荷記号	PAC-4	PAC-5	PAC-6	PAC-2	PAC-2	PAC-1	PAC-1	PAC-4	PAC-7	PAC-2	PAC-2	PAC-3	PAC-3
負荷容量 (消費 kW)	0.787	7.01	2.83	2.58	2.58	3.91	3.91	0.787	1.95	2.58	2.58	1.76	1.76



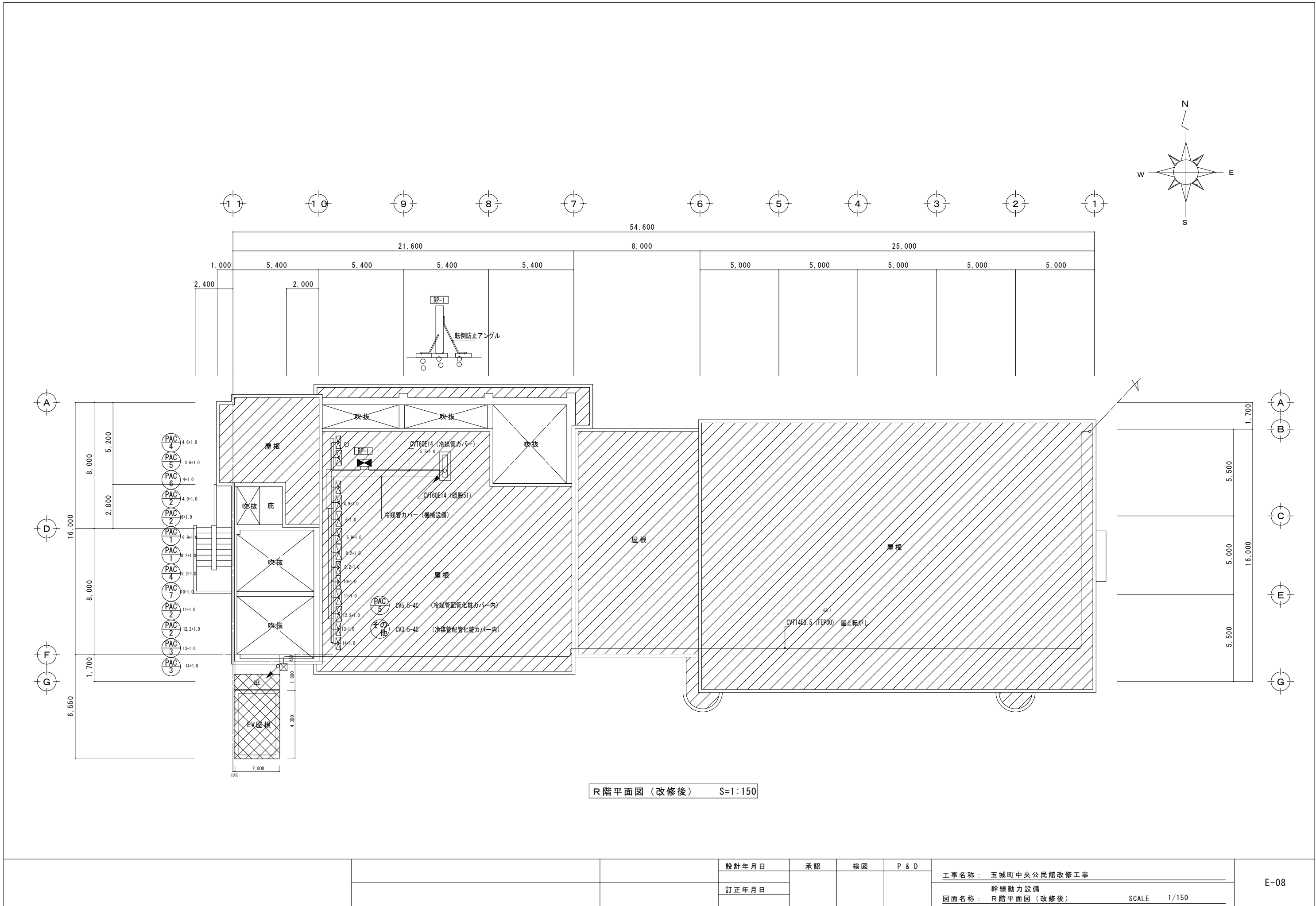


R階平面図 (改修後) S=1:150

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-06
			訂正年月日					
							図面名称：R階平面図 (改修前) SCALE 1/150	


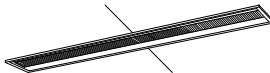

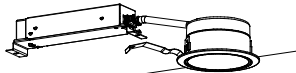
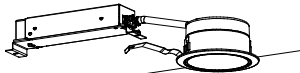
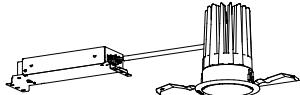

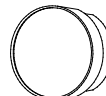
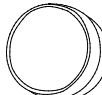
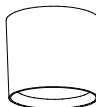
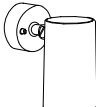

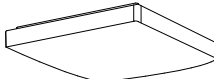
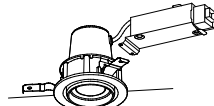
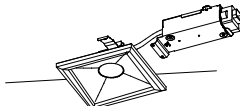
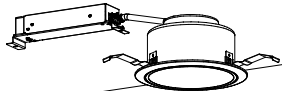


			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称： 玉城町中央公民館改修工事	E-07
			訂正年月日				幹線動力設備 図面名称： 2 階平面図（改修後） <div>SCALE 1/150</div>	

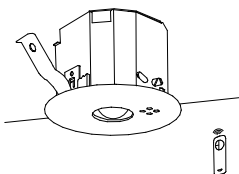
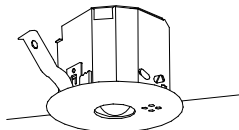
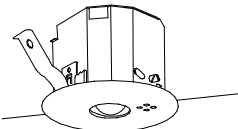
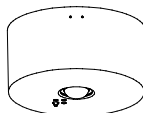





R階平面図 (改修後) S=1:150

設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-08
訂正年月日				幹線動力設備	
				図面名称：R階平面図 (改修後) SCALE 1/150	

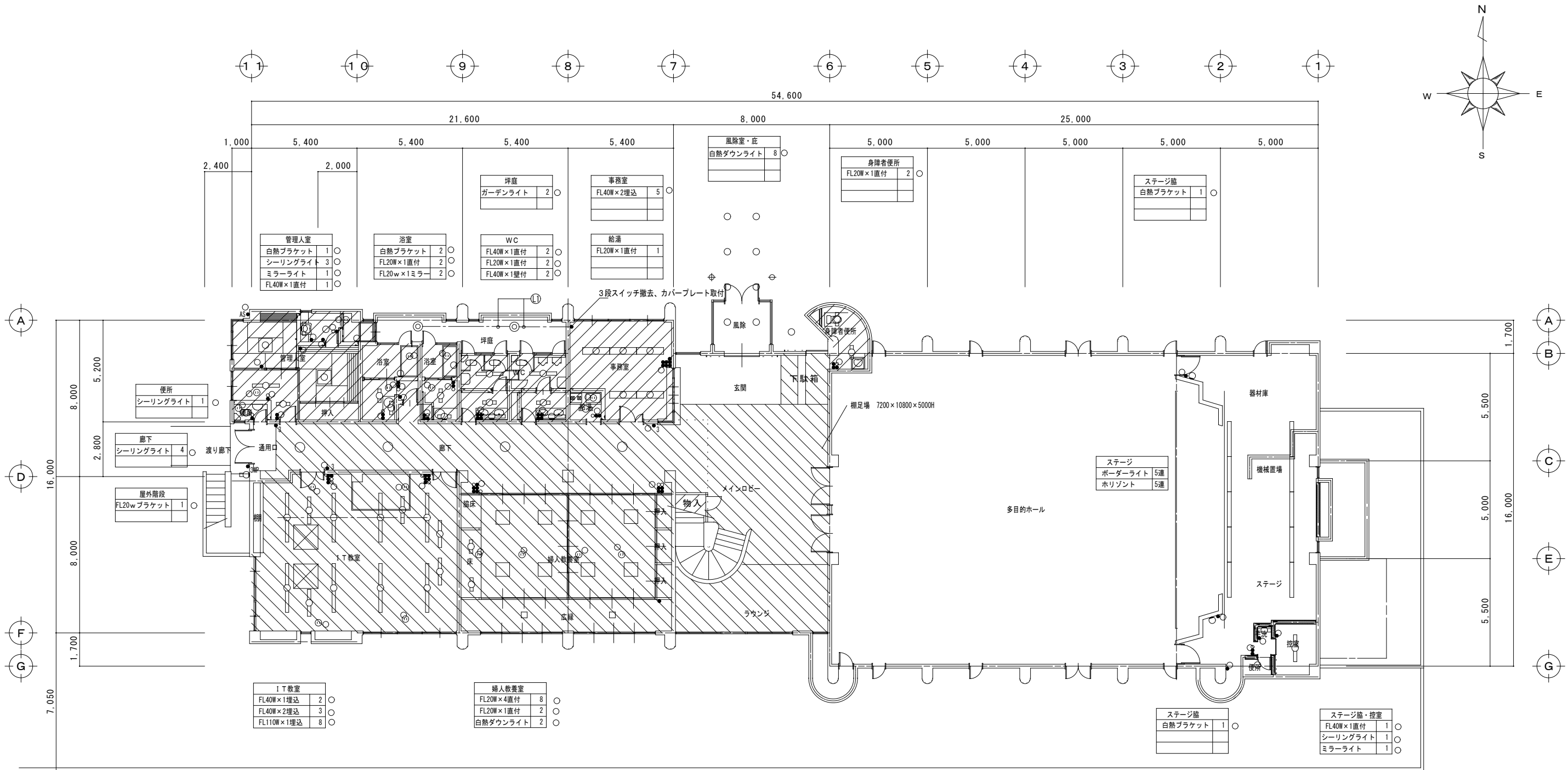
A 2 1	LEDベースライト40型	B 4 3	LEDベースライト埋込40型	C 4 3	LEDベースライト埋込下面開放40型	D 4	LEDダウンライト60型	L R S 1－0 6	E 7	LEDダウンライト100型
<div></div> <div>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</div>		<div></div> <div>マルチコンフォートタイプ、一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</div>		<div></div> <div>赤外線調光（ウイズリモ）、一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.2W、定格出力型、電圧100～242V 約5～100%連続調光型 本体：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</div>		<div></div> <div>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：610lm、消費電力：4.2W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100</div>		<div></div> <div>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1035lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100</div>		
F 3 9	LEDダウンライト550型	G 1 2	LEDミラーライト	H 6	LEDポーチライト40型	I 7	LEDセンサーポーチライト40型	J 6	LEDシーリングライト60型	
<div></div> <div>LEDくワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般タイプ 調光可能範囲（約1%～100%）、光源遮光角15度 光源寿命：60000時間（光束維持率80%）、5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：5505lm、消費電力：39.4W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100</div>		<div></div> <div>標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ クラス2 器具光束1350lm、消費電力11.7W、電圧100V カバー：プラスチック（乳白） サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し） 壁面（横向け）取付専用 幅620・高87・出しろ110</div>		<div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束329lm、消費電力6.1W、電圧100V 天井直付型・壁直付型、拡散タイプ、防雨型、ネジ込み方式 カバー：アクリル（透明・内面白塗装） 本体：プラスチック（ブラチナメタリック）</div>		<div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束329lm、消費電力7.1W、電圧100V 壁直付型、拡散タイプ、NaPiOn・明るさセンサ付 防雨型、ネジ込み方式 カバー：アクリル（透明・内面白塗装） 本体：プラスチック（ブラチナメタリック） 点灯照度調整機能付</div>		<div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束430lm、消費電力5.7W、電圧100V 天井直付型、拡散タイプ プラスチック（オフブラック）（ホワイト） 位相制御式（2線式）</div>		
K 1 0	LEDスポットライト100型	L 1 2	LEDベースライト20型	M 2 8	LEDシーリングライト	N 8	LEDユニバーサルダウンライト 100型	O 8	LEDダウンライト 100形電球 1灯器具相当	
<div></div> <div>昼白色（5000K）、高演色Ra95 器具光束605lm、消費電力9.7W、電圧100V 美ルック、拡散タイプ、壁面・天井面・据置取付専用 セード：アルミダイカスト（ブラック） 可動範囲上下90度、回転方向360度</div>		<div></div> <div>一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</div>		<div></div> <div>昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3550lm、消費電力27.6W、電圧100V 天井直付型、ソフトターン方式、カチットF 竿縁天井取付アダプタ対応 カバー：アクリル（乳白つや消し・模様入り） リモコンでく100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱</div>		<div></div> <div>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束595lm、消費電力8.2W、電圧100V 高気密SB形、拡散タイプ 枠：アルミダイカスト（ブラックつや消し） 位相制御式（2線式） 首振範囲30度、埋込穴φ100</div>		<div></div> <div>温白色（3500K）、Ra83 器具光束735lm、消費電力8.2W、電圧100V 高気密SB形、拡散タイプ 枠：木製（白木） 位相制御式（2線式） 埋込穴□125</div>		
P 7	LEDダウンライト 100形	Q 1 2	既設 禁煙 表示灯							
<div></div> <div>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 4000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束1005lm、消費電力7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミダイキャスト（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150</div>		既設FL20W×1を撤去L12を組み込み								

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-09
			訂正年月日				図面名称：照明器具姿図 1	
							SCALE NONE	

非 A 4	非常用照明器具専用型	K1-LRS11-2	非 A 4. 7	非常用照明器具専用型	K1-LRS11-1	非 B 5. 7	非常用照明器具専用型	高天井型	非 C 6. 4	非常用照明器具専用型	避 B H	SH1-FSF20-BH		
<div>LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</div> <div></div> <div>リモコン×1 (全体)</div> <div>φ100低天井用 (～3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：L A L E－004 レンズ：ガラス、カバー：銅板 (クールホワイトつや消し仕上) 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付</div>			<div>LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</div> <div></div> <div></div> <div>φ100低天井・小空間用 (～3m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：L A L E－004 レンズ：ガラス、カバー：銅板 (クールホワイトつや消し仕上) 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付</div>			<div>LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</div> <div></div> <div></div> <div>φ100中天井用 (～8m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：L A L E－006 レンズ：ガラス、カバー：銅板 (クールホワイトつや消し仕上) 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付</div>			<div>LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付</div> <div></div> <div></div> <div>直付中天井用 (～6m)、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：L A L E－006 レンズ：ガラス、カバー：銅板 (ブラックつや消し仕上) 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付</div>			<div>LED B級・BH形 避難口誘導灯片面型</div> <div></div> <div></div> <div>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BH形 片面型 壁・天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</div>		
避 B L	SH1-FSF20-BL		避 C	SH1-FSF20-C										
<div>LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型</div> <div></div> <div></div> <div>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</div>			<div>LED誘導灯コンパクトスクエア</div> <div></div> <div></div> <div>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付</div>											

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事		E-10
			訂正年月日	図面名称：照明器具姿図 2			SCALE	NONE	

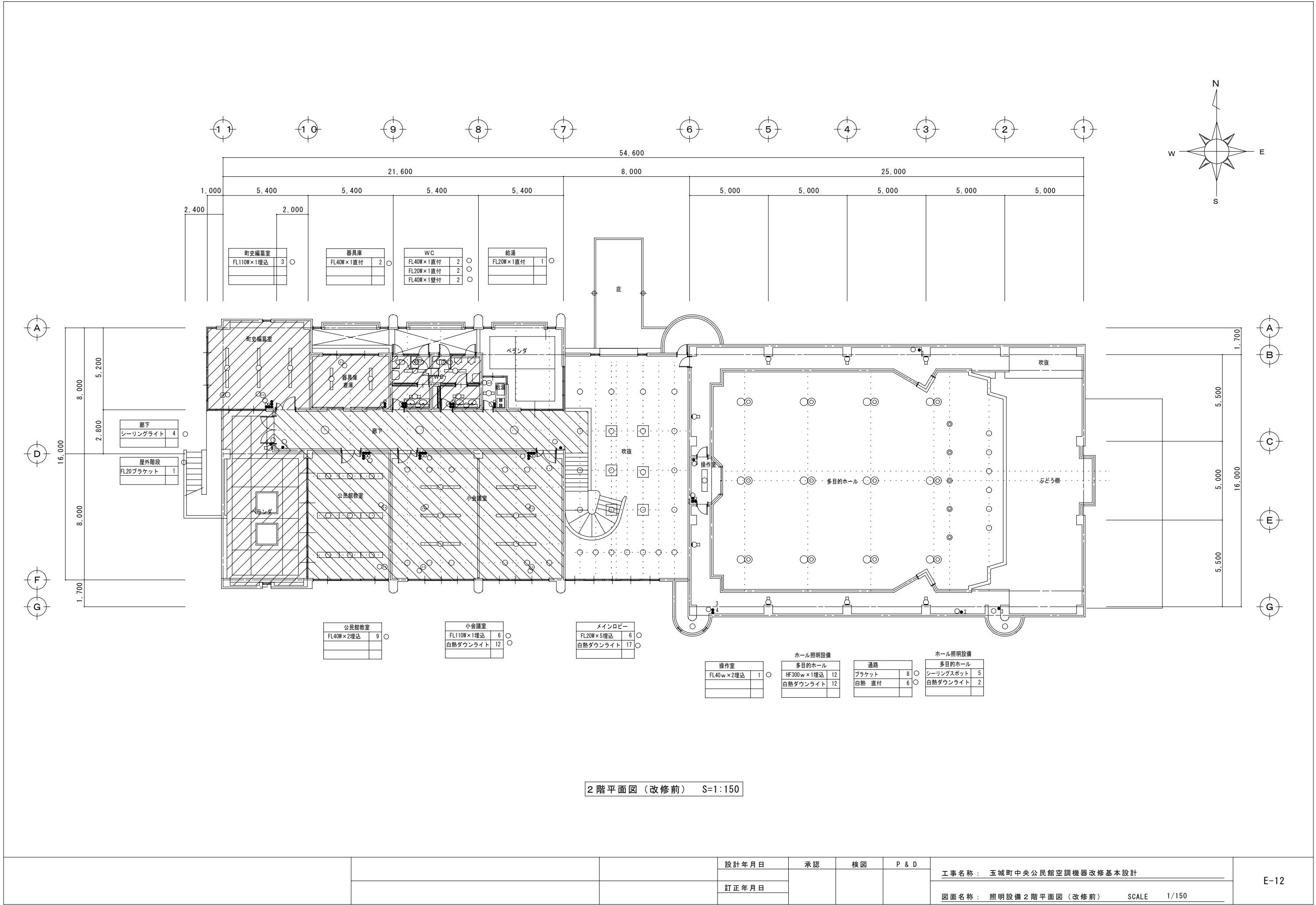
①—既設CV2. 0-2C (VE22) ケーブル撤去

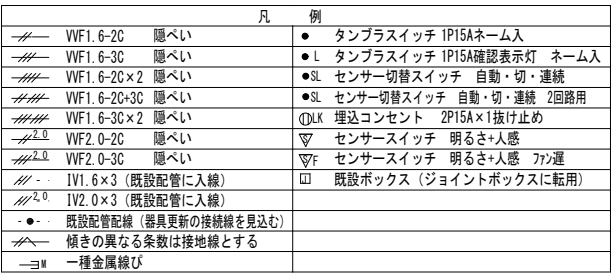


1 階平面図（改修前） S=1:150

撤去工事仕様	
1.	図示の特記無き器具は全て撤去処分する。
2.	不要配線は撤去とする。撤去困難な場合は絶縁端末処理を行う。
① ファン用コンセント。今回撤去	

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館空調機器改修基本設計	E-11
			訂正年月日				図面名称：照明設備 1 階平面図（改修前） SCALE 1/150	



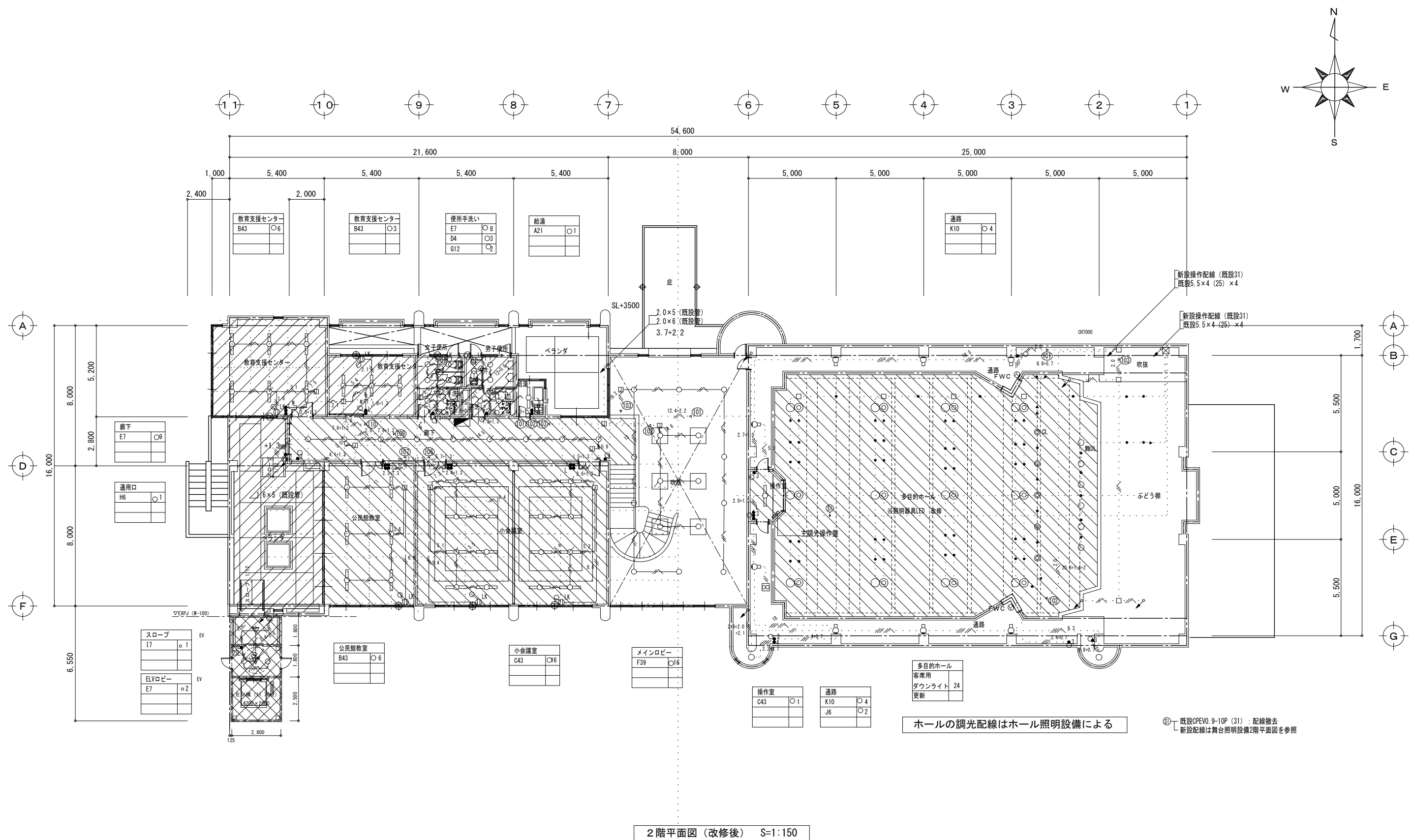


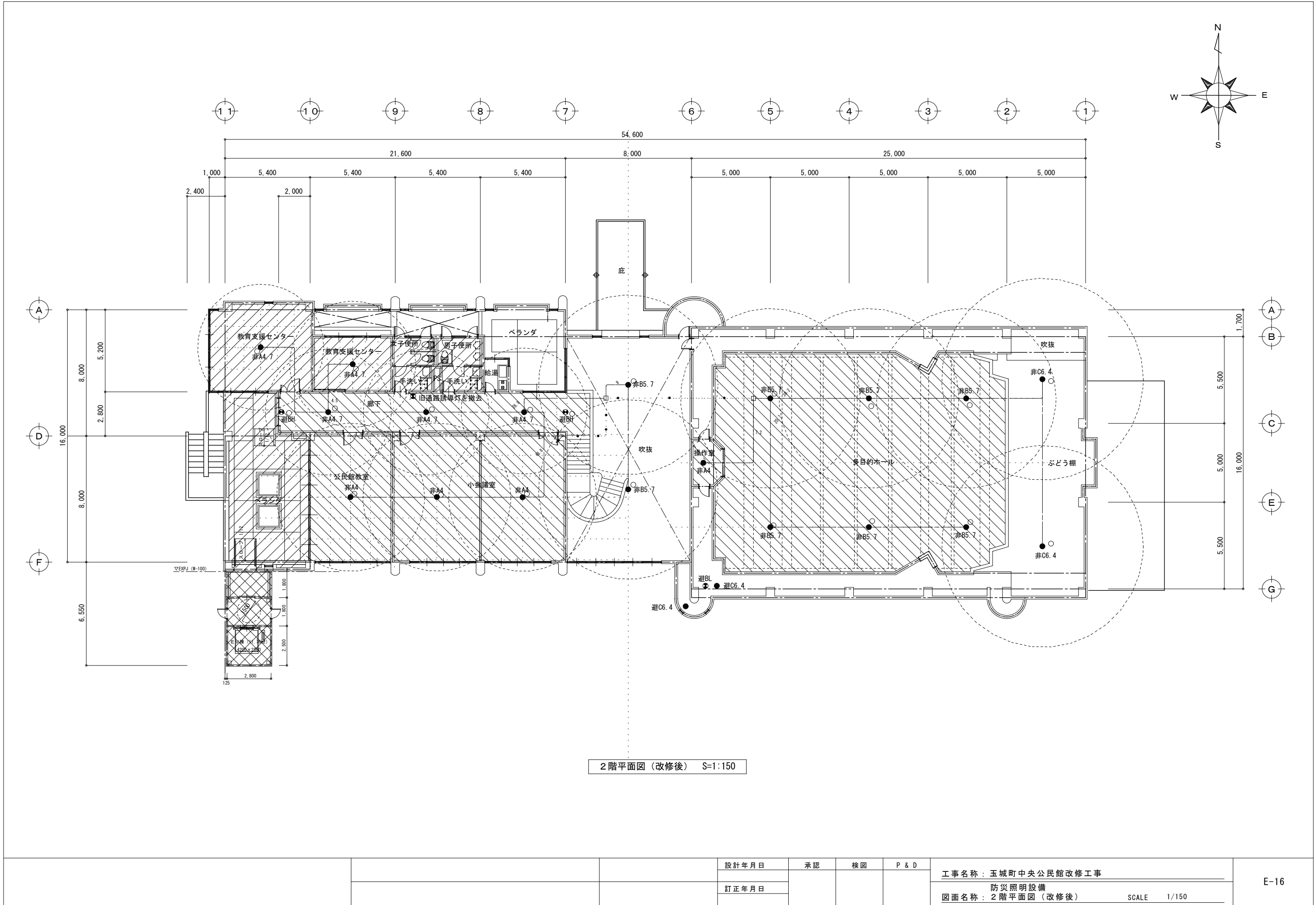
ホールの調光器具はホール照明設備による

設計年月日	承認	検図	P & D
訂正年月日			

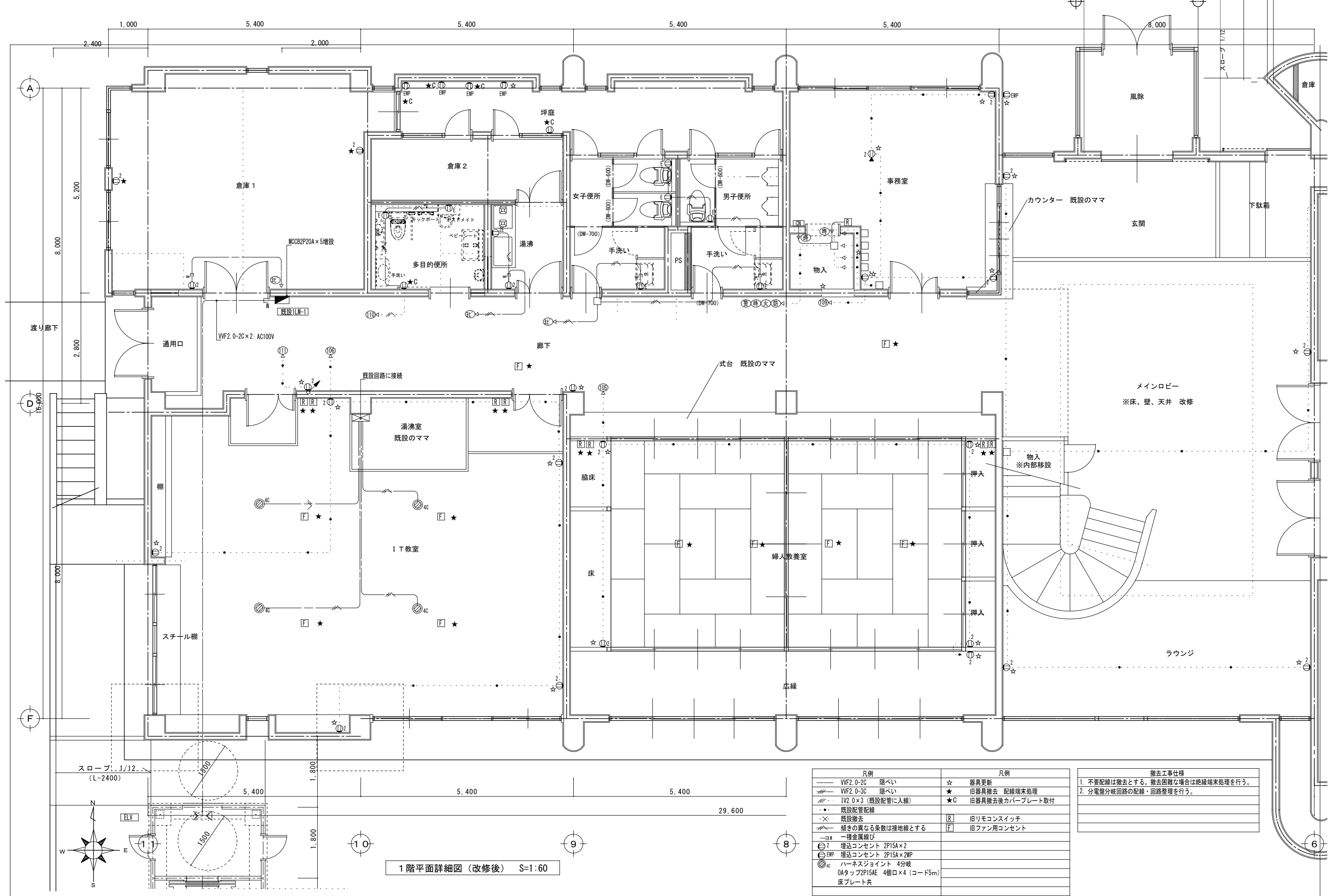
SCALE 1/150

-13





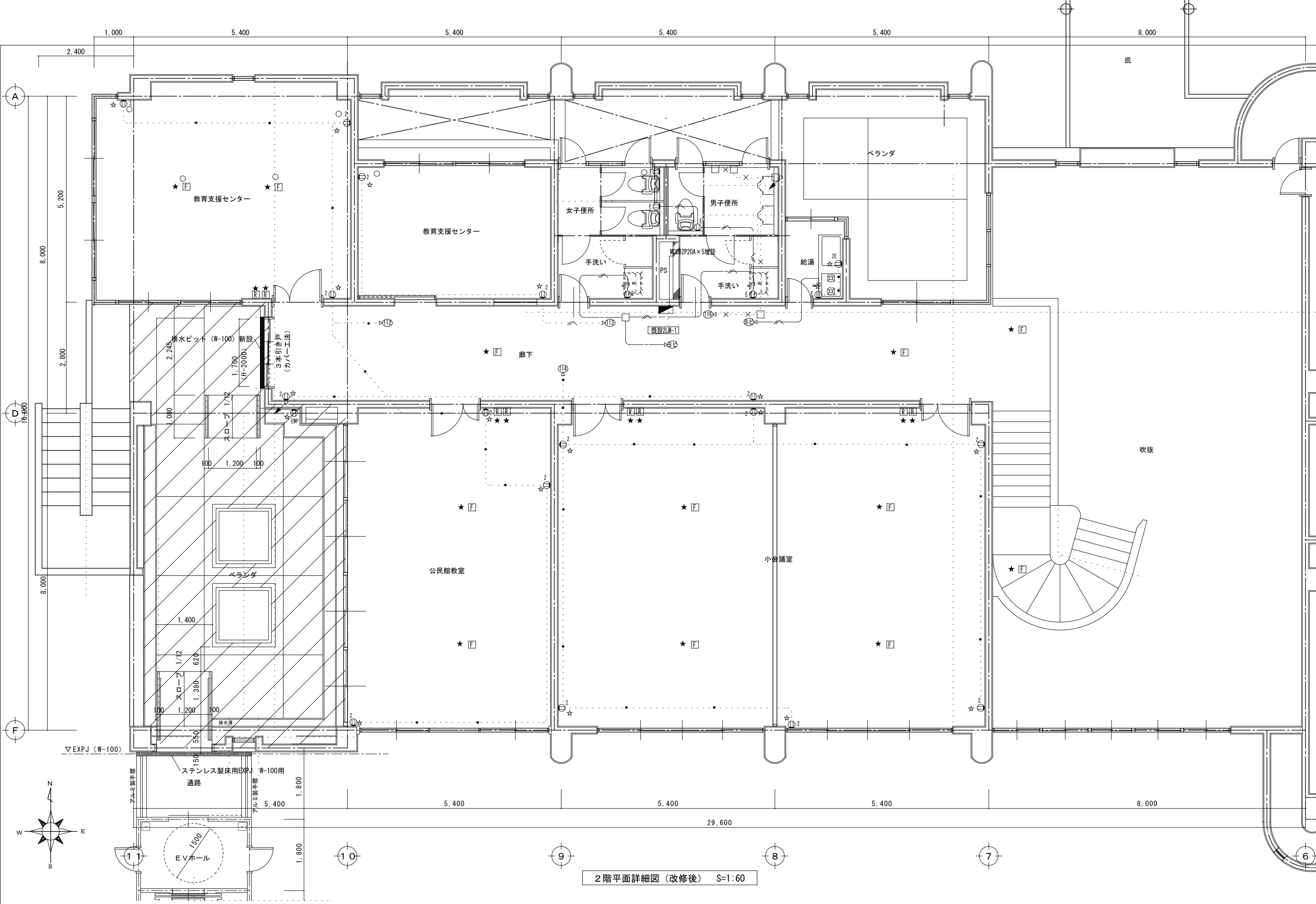
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-16
			訂正年月日				防災照明設備	
							図面名称：2階平面図 (改修後) SCALE 1/150	



凡例		凡例	
—	VF2.0-2C 隠ぺい	☆	器具更新
---	VF2.0-3C 隠ぺい	★	旧器具撤去 配線端末処理
---	IV2.0×3 (既設配管に入線)	★C	旧器具撤去後カバープレート取付
---	既設配管配線		
---	既設撤去	[R]	旧リモコンスイッチ
---	傾きの異なる条数は接地線とする	[F]	旧ファン用コンセント
---	一種金属線び		
⊙2	埋込コンセント 2P15A×2		
⊙ENP	埋込コンセント 2P15A×2NP		
⊙4C	ハーネスジョイント 4分岐		
	OAタップ2P15AE 4個口×4 (コード5m)		
	床プレート共		

撤去工事仕様	
1.	不要配線は撤去とする。撤去困難な場合は絶縁端末処理を行う。
2.	分電盤分岐回路の配線・回路整理を行う。

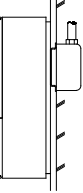
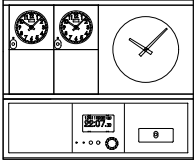
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-17
			訂正年月日				コンセント設備 図面名称：1階平面詳細図 (改修・改修後)SCALE 1/60	



2階平面詳細図 (改修後) S=1:60

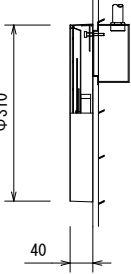
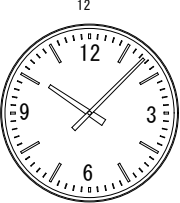
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称: 玉城町中央公民館改修工事	E-18
			訂正年月日				コンセント設備	
							図面名称: 2階平面詳細図 (改修・改修後) SCALE 1/60	

2回線壁掛型水晶式親時計



親時計	
水晶発振周波数	4194.304kHz
精度	過差±0.7秒以内
精度保証温度範囲	0℃～+40℃
子時計回線出力信号	DC24V 無接点30秒有極信号
子時計出力回線数	2回線
子時計駆動数	1回線当り最大30個（1個12mA）
サマータイム機能	キー及びジョグダイヤルにより設定
	ただしサマータイムの修正は自動
うるう秒調整	キー及びジョグダイヤルにより設定
	ただしうるう秒調整は自動
入力電源	AC100V～240V±10%% 50/60Hz 27W（最大）
停電時電源	密閉型ニッケル水素蓄電池（DC24V）内装
停電時動作時間	約30時間
ケース	ABS樹脂及び銅板製 グレー色
電波修正装置	
既設FMアンテナに接続し時刻修正が可能とする CM-1830A+CP-183A	

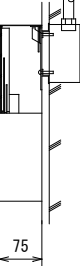
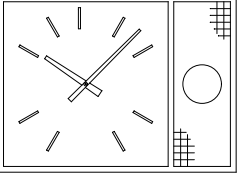
Φ310壁掛子時計



ケース	銅板 クリーム色
文字板	アルミニウム 白色
文 字	黒色
指 針	アルミニウム 黒色
風 防	ガラス 透明 t2
機 体	DC24V 有極30秒運針

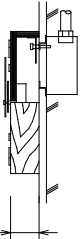
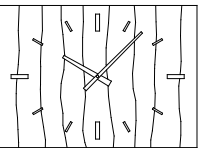
J-3003

310×420屋内スピーカ付壁掛子時計




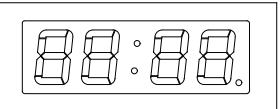
ケース	銅板 クリーム色
文字板	アルミニウム 白色
文 字	黒色
指 針	アルミニウム 黒色
風 防	ガラス 透明 t2
機 体	DC24V 有極30秒運針
スピーカ	コーン型 3.3kΩ（3W） L級

250×350壁掛型子時計



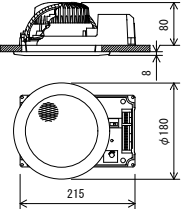
文字板	化粧合板練付（ウォールナット）
文 字	黄銅・ホワイトブロンズメッキ
指 針	黄銅・ホワイトブロンズメッキ
機 体	DC24V 有極30秒運針

L E D式壁掛型デジタル時計



ケース	銅板製 グレー色
前面パネル	ノングレアスモークアクリル
入力電源	AC100V%p10% 50／60Hz
入力信号	DC24V 30秒有極信号／シリアル信号
表 示	LED白色 文字高120mm

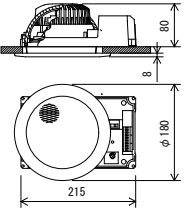
天井埋込型スピーカー



L 級

定格入力	3 W（3.3 k Ω）、1 W（10 k Ω）
出力音圧レベル	93 d B（1 W、1 m）
周波数特性	100 H z ～ 18 k H z
スピーカー	12 c mコーン型
仕上	枠：樹脂 オフホワイト
ネット	アルミエキスパンド オフホワイト
その他	防塵カバー一体型

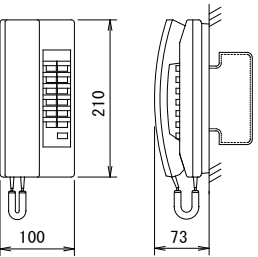
天井埋込型スピーカー A T T付



L 級

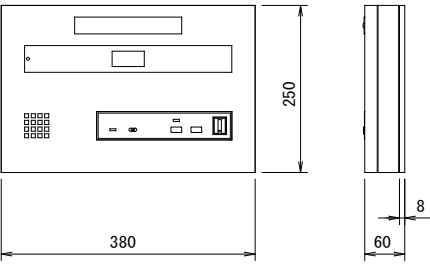
定格入力	3 W（3.3 k Ω）、1 W（10 k Ω）
出力音圧レベル	93 d B（1 W、1 m）
周波数特性	100 H z ～ 18 k H z
スピーカー	12 c mコーン型
仕上	枠：樹脂 オフホワイト
ネット	アルミエキスパンド オフホワイト
その他	防塵カバー一体型、音量調節5段切換

インターホン 親機



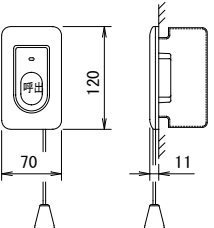
電源電圧	D C 1 2 V（電源アダプターから供給）
通話方式	電話型同時通話
形 状	壁取付・卓上用（J I S 1 個用スイッチボックス）
材 質	樹脂
局 数	1 2 局用
備 考	親子式・相互式親機

1窓用呼出表示器



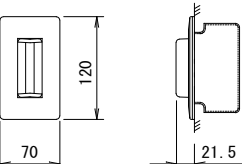
電源電圧	AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）
形 状	壁取付形
材 質	SPCC tl.2
窓 数	1窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

呼出ボタン（引きひも付）



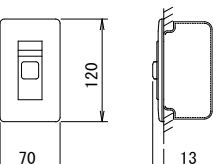
形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材 質	自己消火性樹脂
備 考	引きひも式、押ボタン式両用

廊下灯



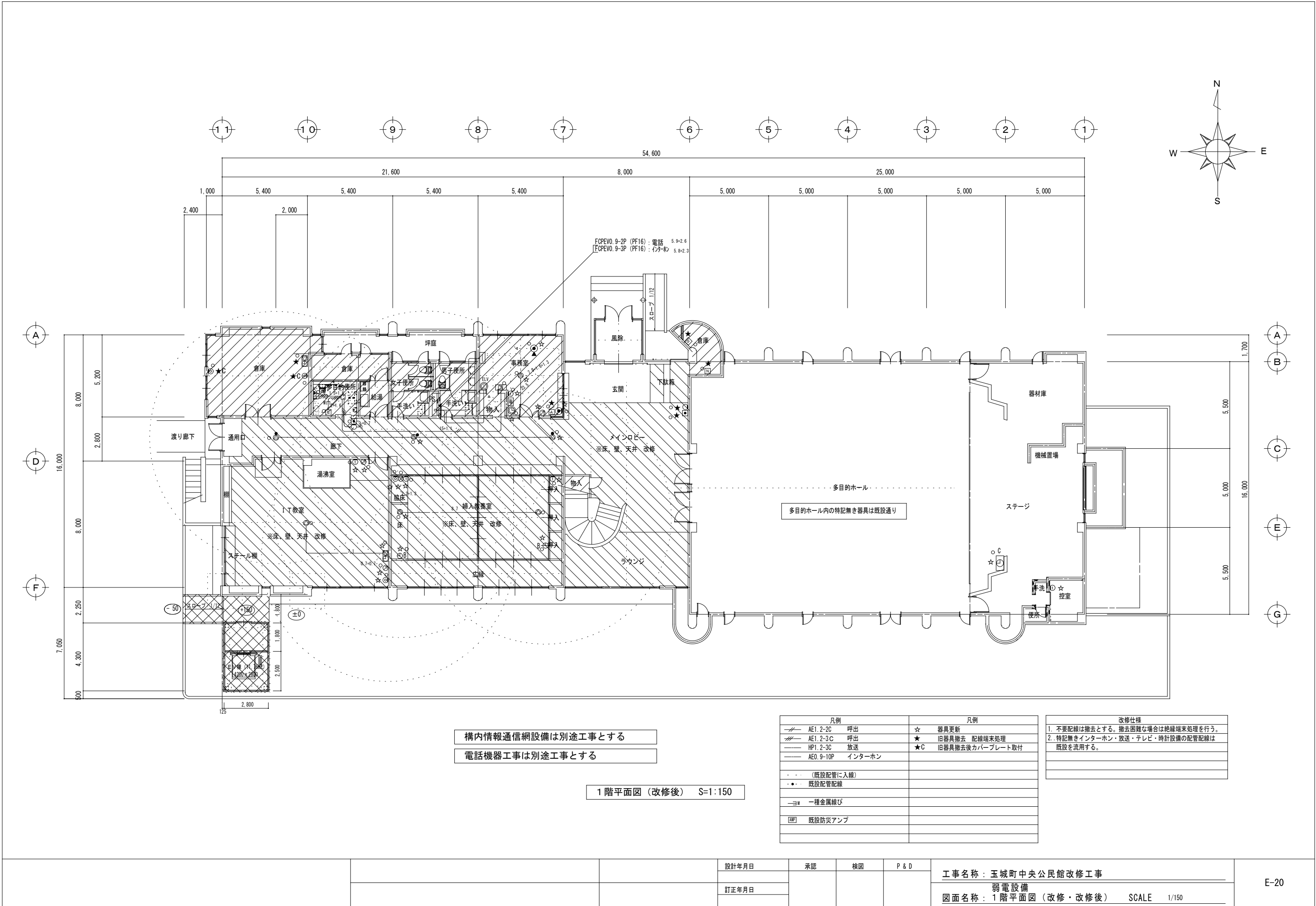
備 考	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材 質	プレート：自己消火性樹脂 表示灯カバー：ポリカーボネート
備 考	LED方式（赤色）

復旧ボタン



形 状	壁埋込型（JIS1個用スイッチボックス）
材 質	樹脂
備 考	非防水形

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-19
			訂正年月日					
							図面名称：弱電機器姿図	SCALE NONE



設計年月日

承認

検図

P & D

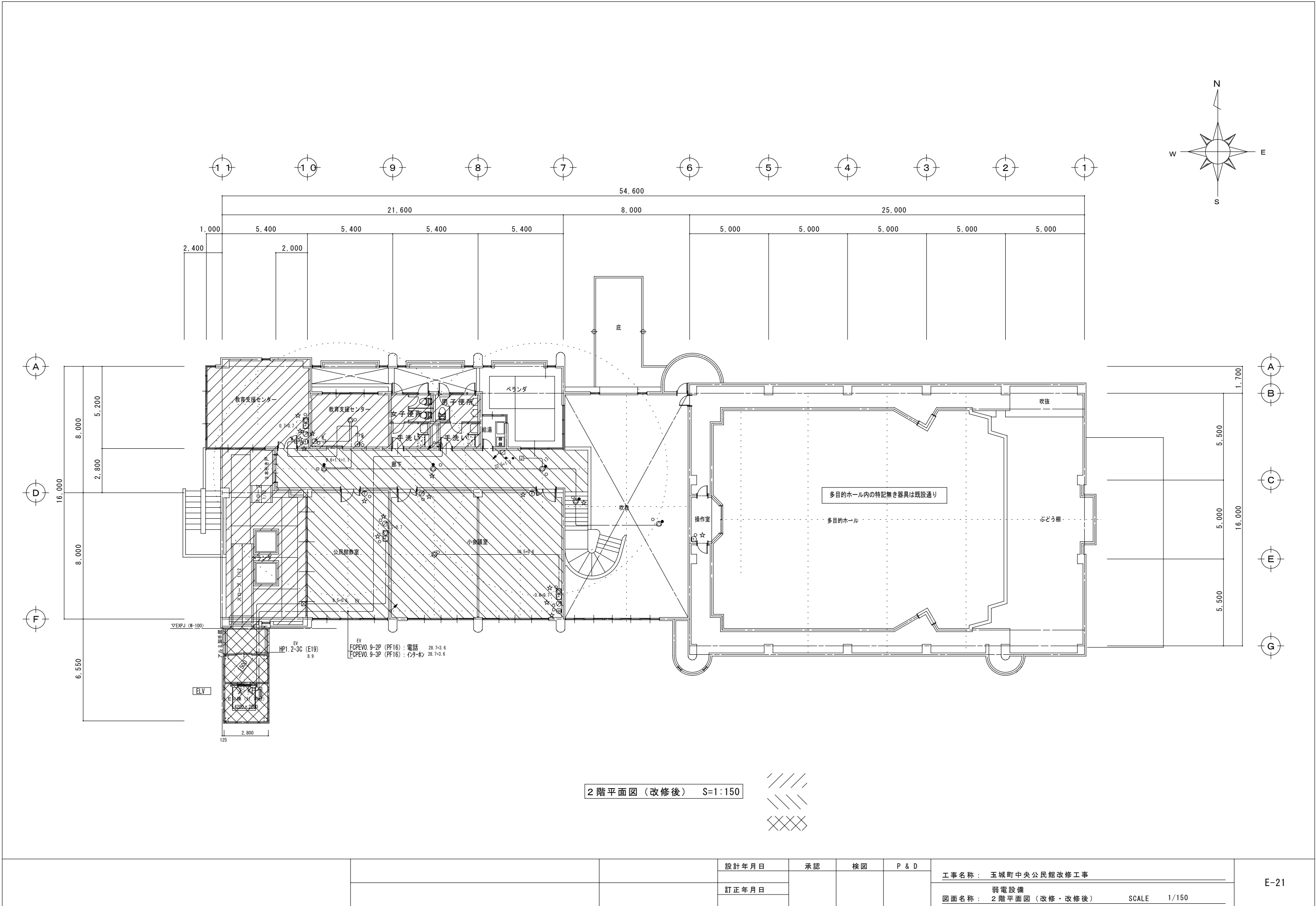
工事名称：玉城町中央公民館改修工事

弱電設備

図面名称：1階平面図 (改修・改修後)

SCALE 1/150

E-20



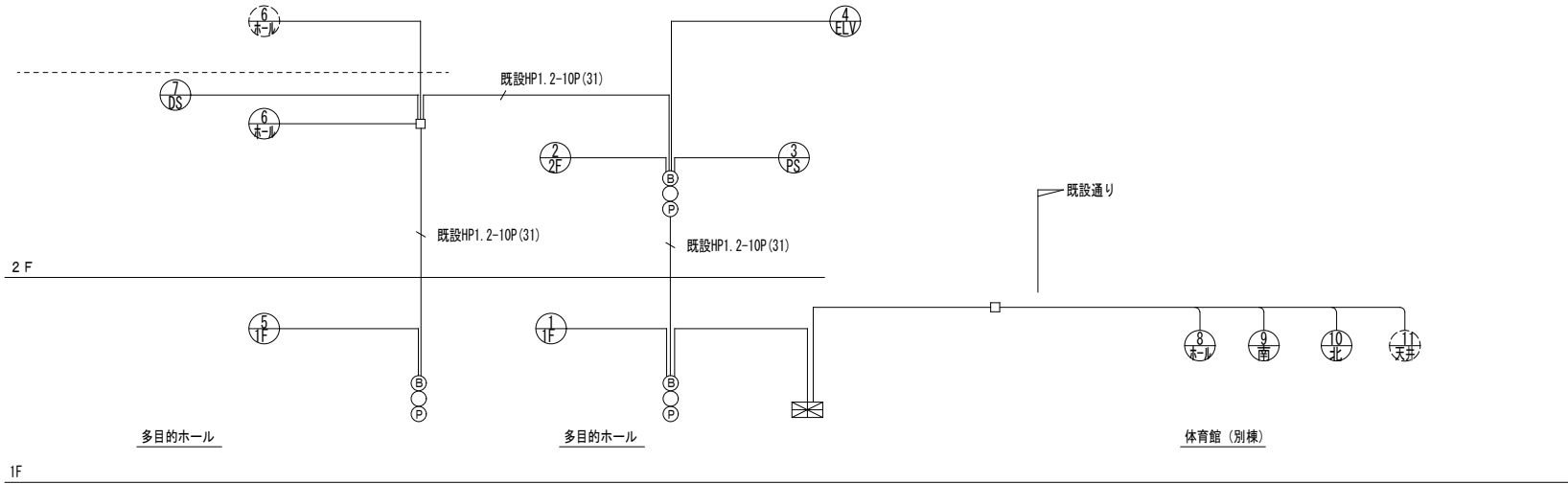
2階平面図（改修後） S=1:150



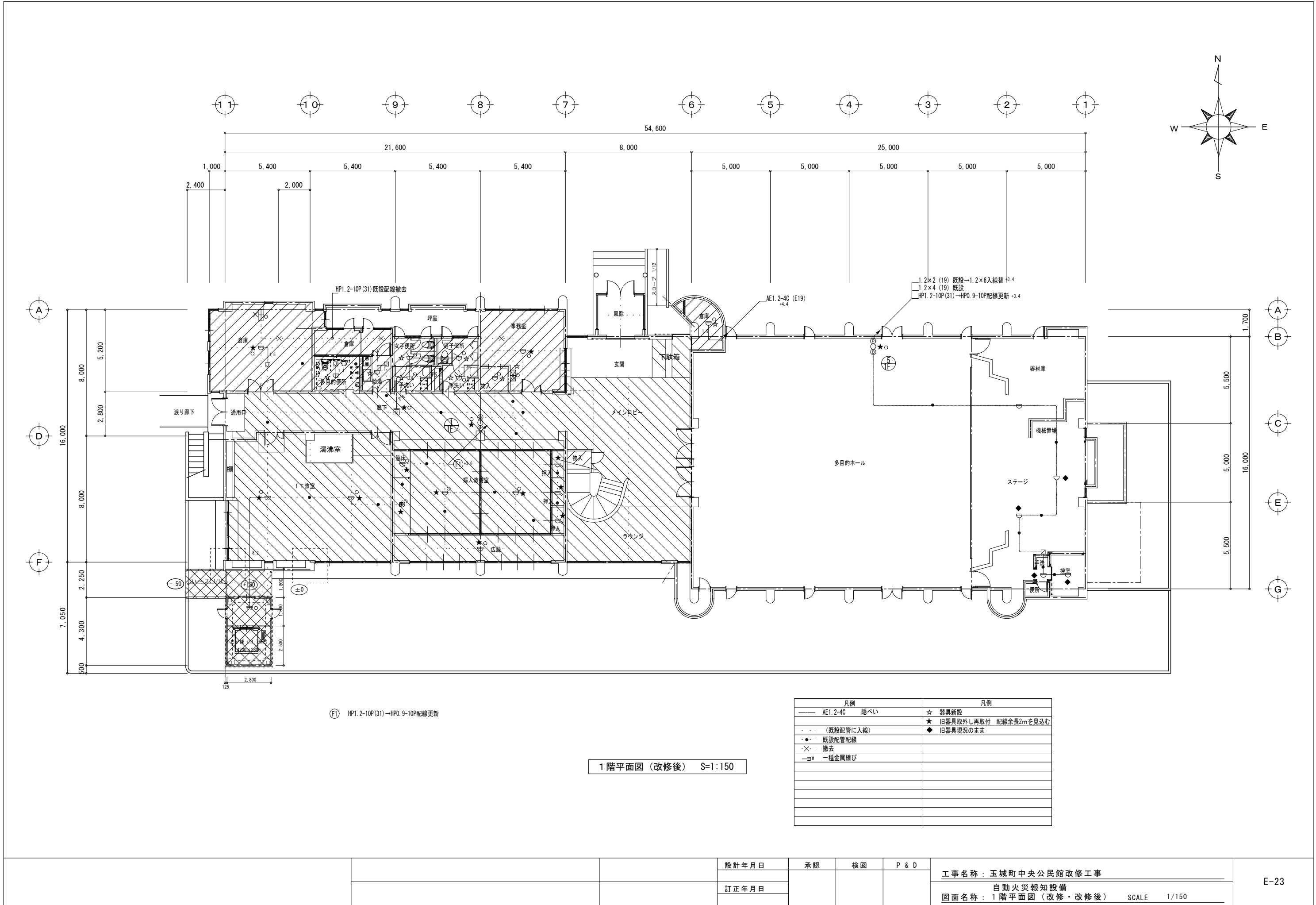
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-21
			訂正年月日				弱電設備	
							図面名称：2階平面図（改修・改修後） SCALE 1/150	

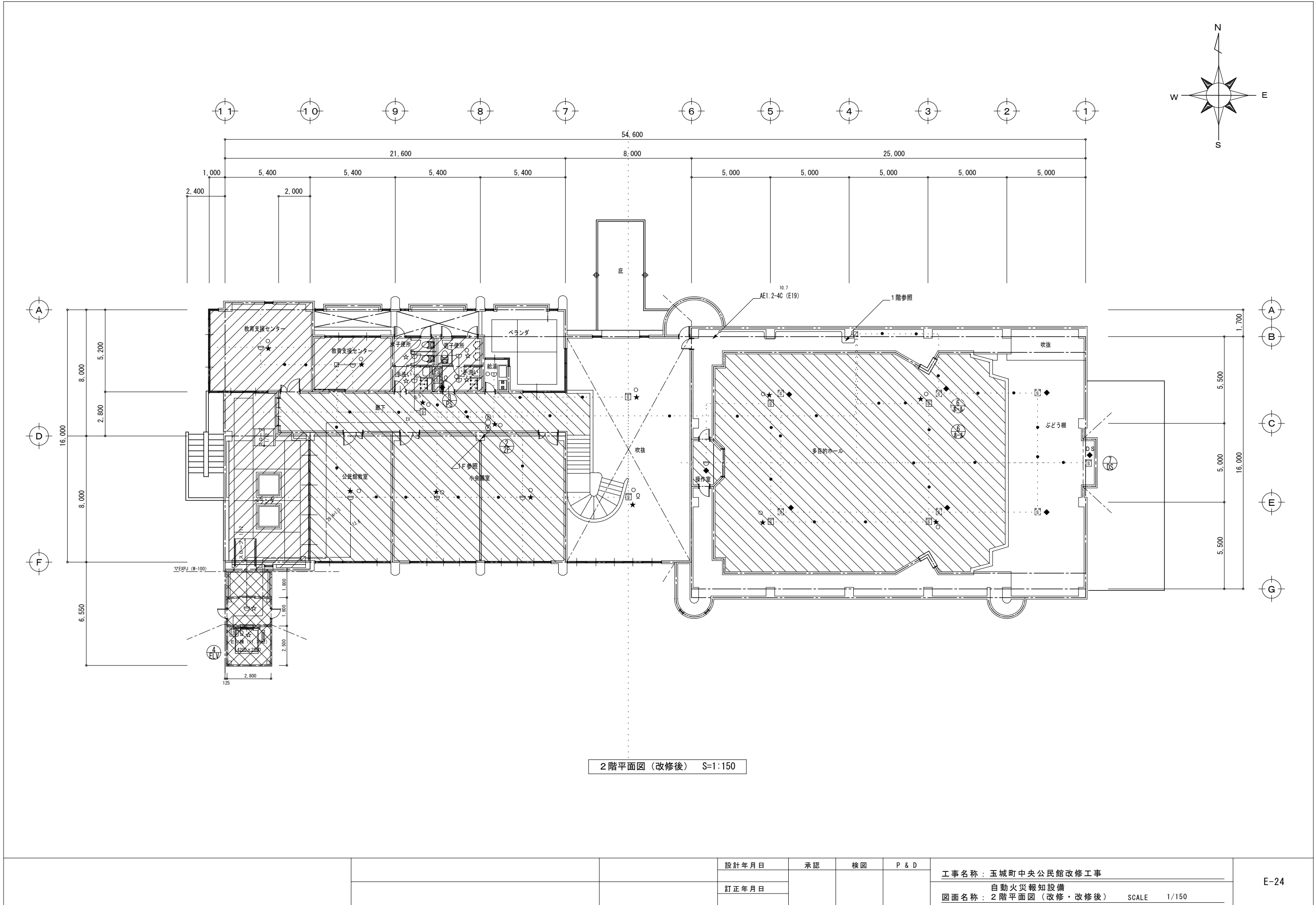
記号	名称・適用		
	火災受信機	P型1級15回線	今回更新
	発信機	P型1級	既設
	表示灯		既設
	ベル	150φ	既設
	差動式スポット形感知器	2種露出型	
	定温式スポット形感知器	1種防水型	
	光電式煙感知器	露出2種非蓄積型	
	光電式煙感知器	点検口付 露出2種非蓄積型	
	警戒区域番号		
	警戒区域番号	天井裏	
.	.		
.	.		
.	.		
.	.		
.	警戒区域番号及び名称は監督員と協議の上整理する		
.	.		
.	.		
.	.		
.	.		

系 統 図



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-22
			訂正年月日				自動火災報知設備	
							図面名称：凡例・系統図 SCALE NONE	





1	調光装置特記仕様																													
<p><1>工事場所 三重県度会郡玉城町下田部800</p> <p><2>工事概要 本工事は、玉城中央公民館備の調光設備の更新を行うものとする。</p> <p><3>施工範囲 本工事の施工範囲は、下記仕様書によるものとし、機器搬入及び取付調整とする。 尚、本仕様書、図面、内訳書等に記載されていない事項でも施工にあたって必要と判断されるものについては、監督員との協議の上実施するものとする。 施工にあたっては会館及び会館内設備に損傷を与えた場合は、監督員の指示により復旧するものとする。 (1) 調光盤更新 (2) 調光操作部更新 (3) 照明器具更新</p> <p><4>適用基準 この特記事項以外は、下記に準拠するものとする。但し、本工事に関係しない事項は適用しないものとする。 ・工事請負契約書 ・国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（最新版） ・国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」（最新版） ・国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」（最新版） ・その他関係法規並びに諸工事基準</p>		<p><5>その他 本図面の仕様に於いて、製造者による軽微な差異は、監督員の承諾を受け、変更することが出来るものとする。 更新後は、調光盤、調光操作部のトータルシステム保証が出来る様考慮するものとする。</p> <table><tr><td>2</td><td>調光装置仕様書</td></tr><tr><td>1</td><td>調光盤（更新）</td></tr><tr><td colspan="2">1. 入力電源を受電し、各直回路ブレーカ等に分岐給電する盤で、入力主幹ブレーカを備えたものとする。 2. 盤は壁付型とし、本体・扉共にt1.6以上の鋼板を使用するものとする。 3. 本仕様に沿った照明操作が行える制御部を備えるものとする。 4. DMX信号分配器より最大8分配のDMX512信号を各所へ出力できるものとする。 5. 電源電圧は定格電圧の90%～110%、周囲温度は0℃～40℃で安定動作するものとする。 6. 各直回路ユニットの回路ブレーカは、電気用品安全法－特定電気用品配線用遮断器の2極切りとする。</td></tr><tr><td>2</td><td>調光操作部（更新）</td></tr><tr><td colspan="2">【仕様】 ・入力電圧 AC100V±10% 50/60Hz ・制御信号 DMX512信号（USITT1990） ・最大制御チャンネル数 調光：24チャンネル LEDカラー：12チャンネル（3ch×4系統） ・記憶シーン数 50シーン ・シーン再生方式 シーンボタン再生 ・使用環境 周囲温度：0℃～40℃ 相対湿度45%～85%（但し結露しないこと）</td></tr></table>		2	調光装置仕様書	1	調光盤（更新）	1. 入力電源を受電し、各直回路ブレーカ等に分岐給電する盤で、入力主幹ブレーカを備えたものとする。 2. 盤は壁付型とし、本体・扉共にt1.6以上の鋼板を使用するものとする。 3. 本仕様に沿った照明操作が行える制御部を備えるものとする。 4. DMX信号分配器より最大8分配のDMX512信号を各所へ出力できるものとする。 5. 電源電圧は定格電圧の90%～110%、周囲温度は0℃～40℃で安定動作するものとする。 6. 各直回路ユニットの回路ブレーカは、電気用品安全法－特定電気用品配線用遮断器の2極切りとする。		2	調光操作部（更新）	【仕様】 ・入力電圧 AC100V±10% 50/60Hz ・制御信号 DMX512信号（USITT1990） ・最大制御チャンネル数 調光：24チャンネル LEDカラー：12チャンネル（3ch×4系統） ・記憶シーン数 50シーン ・シーン再生方式 シーンボタン再生 ・使用環境 周囲温度：0℃～40℃ 相対湿度45%～85%（但し結露しないこと）		<p>【構成】</p> <p>1. 操作部はレベルフェーダ操作部、シーン再生操作部、LEDカラー操作部等の機能別構成とする。 2. 操作面には、電源スイッチ×1ヶ、フリーマスタフェーダ×1本、レベルフェーダ×24本×1段、シーン選択スイッチ×10ヶ、ページ選択スイッチ×5ヶ、LEDカラー操作部（4系統）×1式等を設けるものとする。 3. レベルフェーダやLEDカラー操作部には負荷名・シーン紐にはシーン名が記入できる仕込み記入板を設けるものとする。</p> <p>【手動調光機能】</p> <p>1. レベルフェーダにより明かりの設定が行えるものとする。また、調光出力はレベルフェーダ上部の表示LEDで確認できるものとする。 2. 各レベルフェーダは、シーン/フリーの切替選択を可能とし、スイッチがシーン時は、レベルフェーダのレベルをシーンに記憶したり、シーン再生レベルの修正が行え、フリー時は、フリーマスタフェーダの配下で、シーン再生とは関係なく明かりの調整が行えるものとする。</p> <p>【LEDカラー演出機能】</p> <p>1. 4個の器具選択紐を設け、カラーLED（RGB）照明の調整ができるものとする。 2. この器具選択紐の回路は、レベルフェーダチャンネルとは別のチャンネル操作とする。 3. 色の設定は、予め設けられた6色のカラー選択紐により簡単に設定が行え、更にその色の変更操作はボリューム操作で色合いや彩度の調整が行えるものとする。 4. その他、全体を調整するマスターボリュームや点灯（白色）、消灯操作も行えるものとする。</p> <p>【記憶調光再生機能】</p> <p>1. レベルフェーダでセットした明かりを50シーン（10シーン×5ページ）記憶できるものとする。 2. シーンの記憶・再生・消去の操作は、シーン編集紐により行えるものとし、各シーンの記憶などはシーンページ紐及びシーン紐で行えるものとする。 3. シーン再生のクロスフェード時間は、フェードタイム調整ボリュームにより、0～100秒まで任意に設定できるものとする。</p>	<p>4. シーン全体の明るさ調整は、シーンマスタボリュームで行えるものとする。 5. シーンのページ変更を行っても、再生されている明かりに影響がないものとする。 6. 記憶済・未記憶の確認は、LEDにより確認できるものとする。</p> <p>【その他】</p> <p>1. 不用意な電源遮断などにおいて無停電源装置などの設備を有しなくても、操作卓のデータや機能を損なう事がないものとし、また、電源投入において数秒以内に所定の調光操作が行える機能を備えているものとする。</p> <table><tr><td>3</td><td>舞台袖操作部（新設）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="5">【シーン再生機能】 調光操作部で設定したシーンを再生することができるものとする。</td></tr><tr><td>4</td><td>作業灯スイッチ（新設）</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>1. 調光操作部及び舞台袖操作部の電源がOFF時のみ、一部の回路を作業灯として切換え、強制的に直点灯させることができるものとする。</p>	3	舞台袖操作部（新設）				【シーン再生機能】 調光操作部で設定したシーンを再生することができるものとする。					4	作業灯スイッチ（新設）			
2	調光装置仕様書																													
1	調光盤（更新）																													
1. 入力電源を受電し、各直回路ブレーカ等に分岐給電する盤で、入力主幹ブレーカを備えたものとする。 2. 盤は壁付型とし、本体・扉共にt1.6以上の鋼板を使用するものとする。 3. 本仕様に沿った照明操作が行える制御部を備えるものとする。 4. DMX信号分配器より最大8分配のDMX512信号を各所へ出力できるものとする。 5. 電源電圧は定格電圧の90%～110%、周囲温度は0℃～40℃で安定動作するものとする。 6. 各直回路ユニットの回路ブレーカは、電気用品安全法－特定電気用品配線用遮断器の2極切りとする。																														
2	調光操作部（更新）																													
【仕様】 ・入力電圧 AC100V±10% 50/60Hz ・制御信号 DMX512信号（USITT1990） ・最大制御チャンネル数 調光：24チャンネル LEDカラー：12チャンネル（3ch×4系統） ・記憶シーン数 50シーン ・シーン再生方式 シーンボタン再生 ・使用環境 周囲温度：0℃～40℃ 相対湿度45%～85%（但し結露しないこと）																														
3	舞台袖操作部（新設）																													
【シーン再生機能】 調光操作部で設定したシーンを再生することができるものとする。																														
4	作業灯スイッチ（新設）																													

3		調光装置仕様明細書										
記 号	名 称	既 設 仕 様			改 修 仕 様							
		仕 様	数 量	備 考	工事内容				仕 様	数 量	備 考	
					撤去	既設	更新	新設				
1	調光盤	壁据付型	1式							壁付型	1式	
		入力電源 1φ3W AC210V／105V 60Hz								入力電源 1φ3W AC210V／105V 60Hz		
		入力主幹 MCCB 3P 225AF／225AT								入力主幹 MCCB 3P 100AF／100AT		端子台付（既設幹線接続用）
		調光回路 AC100V 1L20A (MCCB1P50AF／20AT)	× 12台	内3台OFF						直回路 MCCB 2P 50AF／20AT	× 10台	
		直回路 MCCB2P50AF／20AT (リモコンリレー付)	× 8台	内5台OFF						直回路 MCCB 2P 50AF／20AT	× 6台	演出用、内1台予備
		盤面操作部 操作主幹スイッチ	× 1ヶ							制御CPU	× 1台	客席用、内1台予備
		操作切替スイッチ (本体／リモコン)	× 1ヶ							外部連動インターフェース	× 1台	舞台袖シーン用
		自動調光スイッチ (明／止)	× 1組							DMX信号分配器 (8分配)	× 1台	
		マスタフェーダ	× 1本									
		シングルフェーダ	× 12本	AUTO・FULL・シングル・マスタ切替スイッチ付								
		入力主幹 MCCB 3P 100AF／100AT										
		調光回路 AC100V 1L20A (MCCB1P50AF／20AT)	× 9台	F／LH／UH各3回路用								
		盤面操作部 操作押加	× 1ヶ									
		マスタフェーダ	× 1本									
		シングルフェーダ	× 9本	マスタ・フリー・シングル・マスタ切替スイッチ付								
2	主調光操作部	壁埋込型	1面							壁付型	1台	
		操作押加	× 1ヶ							フリーマスタフェーダ	× 1本	
		操作主幹スイッチ	× 1ヶ							レベルフェーダ	× 24本	
		自動調光スイッチ (明／止／暗)	× 1組							記憶再生操作部	× 1式	
		マスタフェーダ	× 1本							最大記憶シーン数：10シーン×5ページ＝50シーン		
		シングルフェーダ	× 12本	OFF・FULL・シングル・マスタ切替スイッチ付						LEDカラー操作部 (4系統)	× 1式	
		リモコンスイッチ (水銀灯用)	× 2ヶ	未使用								
3	舞台袖操作部									壁付型	1台	
										シーンボタン	× 10ヶ	
										ページボタン	× 4ヶ	
4	作業灯スイッチ									新金属プレート露出型	1台	
										ON／OFFスイッチ	× 1組	

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-25
			訂正年月日				ホール照明設備	
							図面名称：特記仕様書・仕様書・仕様明細書 SCALE NONE	

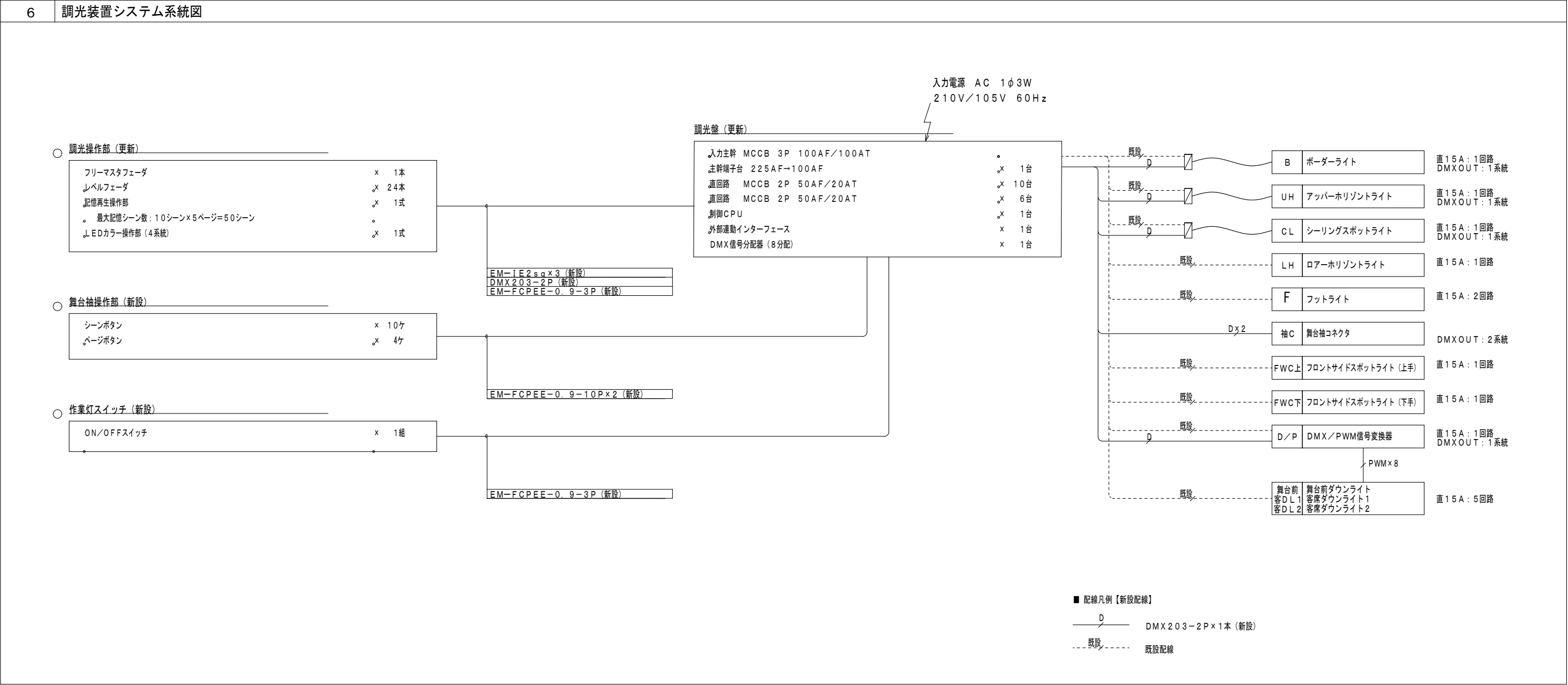
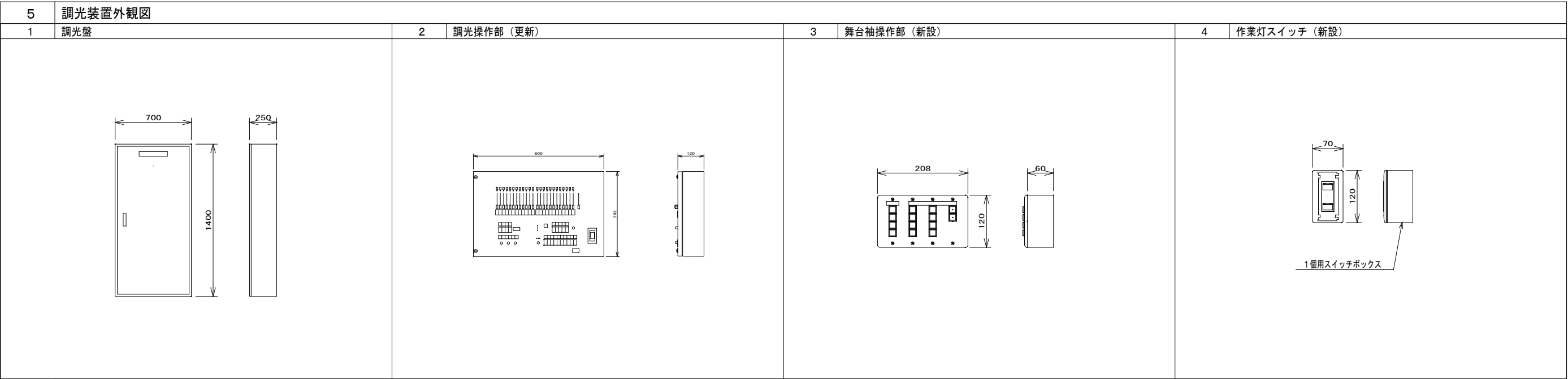
4

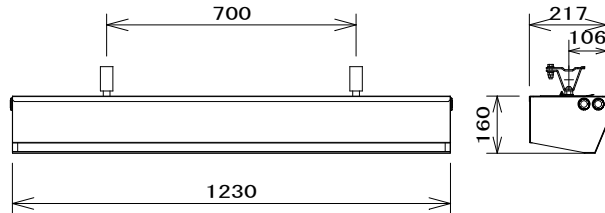
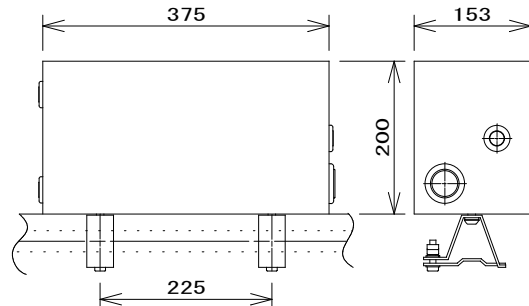
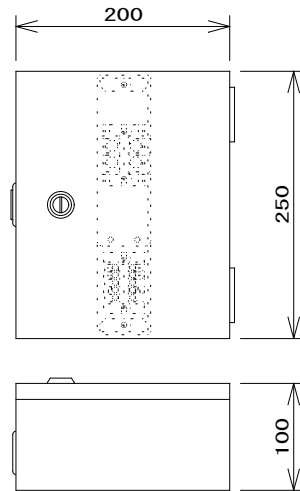
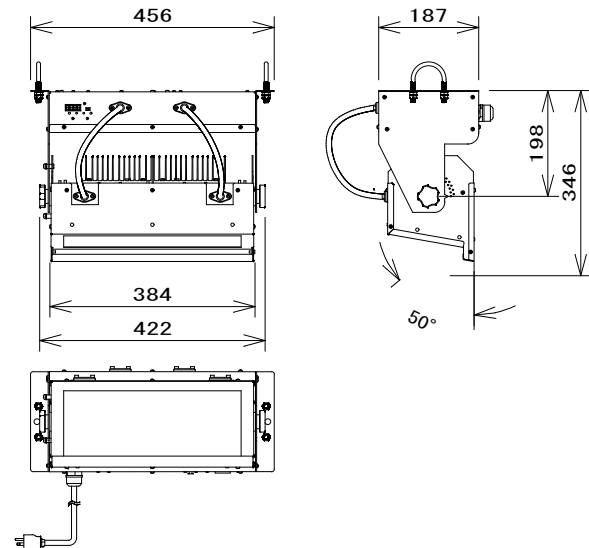
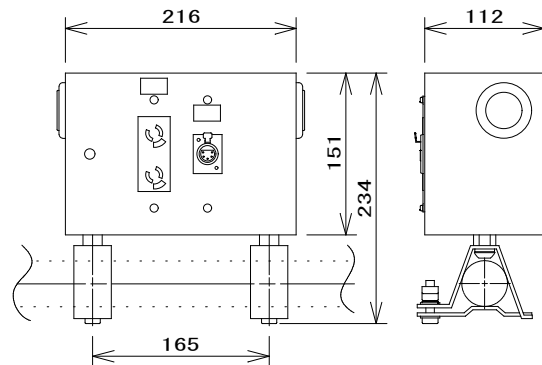
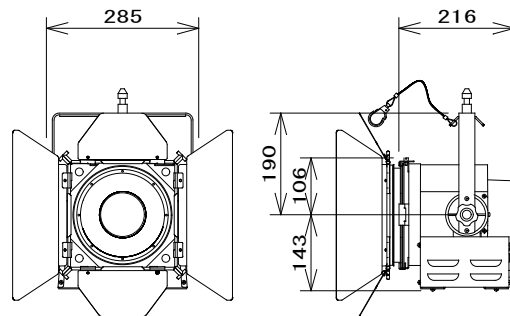
照明器具明細表

記 号	名 称	改修前										工事区分				改修後									
		仕 様	数 量	負荷容量	回路数	調光器		直回路	備 考	仕 様	数 量					負荷容量	回路数	直回路		DMX	備 考				
						IL20A	IL20A	20A				20AT	20AT	出力											
				VA	舞台	客席	100V	更新				新設	既設	撤去	VA	舞台	客席	OUT							
B	ボーダーライト	IL100V 9灯用	5台	6000	3	3				○				LEDラインボーダーライト 約5～100%調光	7台	392	1	1			ハイパワータイプ				
BIF	同上用信号変換制御ボックス										○			DMX/PWM信号変換器	1台						1				
	ボーダーケーブル	5.5sq-7C×10m (たぐり用)								JB～BIF間	○				5.5sq-3C+DMX×12m (複合ケーブル)	1本									
JB	ジョイントボックス	電源用	1台								○				5.5sq-3C+DMX (丸型)	1台									
UH	アッパーホリゾントライト	IL100V 9灯用	5台	6000	3	3					○				LED114W カラーアッパーホリゾントライト (RGBW)	6台	684								
	延長ケーブル											○			DMX512信号ケーブル×2m	6本									
UCB	同上用コンセントボックス											○			接地2P15A抜止コンセント×2ケ	1台	(684)	1	1						
															DMX信号出力コネクタ×1系統						1				
	ボーダーケーブル	5.5sq-7C×10m (たぐり用)								JB～UCB間	○				5.5sq-3C+DMX×12m (複合ケーブル)	1本									
JB	ジョイントボックス	電源用	1台								○				5.5sq-3C+DMX (丸型)	1台									
CL	シーリングスポットライト	1000Wハロゲン平凸スポットライト	5台								○				LEDフィックスライト (DMXタイプ)	9台	423					バンドア・ハンガー・落下防止ワイヤー付 (※)			
CWC	同上用コンセント	T型20Aコンセント×1ケ	5台	6000	3	3				新金属プレート				○											
	延長ケーブル											○			電源用ケーブル×2m	9本									
	〃											○			DMX信号ケーブル×3m	9本									
CCB1	コンセントボックス1											○			接地2P15A抜止コンセント×6ケ	1台	(423)	1	1						
															DMX信号出力コネクタ×1系統						1				
CCB2	コンセントボックス2											○			接地2P15A抜止コンセント×6ケ	1台	(423)	(1)	(1)			バラ取り			
	ボーダーケーブル											○			電源用 5.5sq-3C ×5m	1本		(2)				CB1～CB2間			
LH	ローアホリゾントライト	IL100V 9灯用	4台								○				LED114W カラーローアホリゾントライト (RGBW)	6台	(684)								
	延長ケーブル											○			電源用ケーブル×2m	1本						LHFCへ 【別途工事】			
	〃											○			DMX信号ケーブル×2m	5本									
	〃											○			DMX信号ケーブル×5m	1本									
LFC	同上用フロアコンセント	T型20Aコンセント×3ケロ	1台	6000	3	3					○				接地2P15A抜止コンセント×4ケ (1回路)	1台	1500	1	1			プレート更新			
F	フットライト	IL100V 12灯用	4台								○				フルカラーLED (RGBL) カラーソースリニア：4セル	4台	(1696)					ETC製 (1回路8セル※20A修正)			
	延長ケーブル											○			2.0sq×3C×2m (平行15A～平行15A)	1本						【別途工事】			
	〃											○			2.0sq×3C×5m (平行15A～平行15A)	1本									
	〃											○			DMX信号ケーブル×1m	3本									
	〃											○			DMX信号ケーブル×3m	1本						袖Cへ			
FFC	同上用フロアコンセント	T型20Aコンセント×3ケロ	1台	6000	3	3					○				接地2P15A抜止コンセント×4ケ (2回路)	1台	3000	2	2			プレート更新			
袖C	舞台袖コネクタ											○			DMX信号出力コネクタ×2系統	1台						2 下手前方 (F/LH用)、蓋付露出型			
FRS	フロントサイドスポットライト	1000Wハロゲンスポットライト	2台							スタンド・カラーホイル付	○				LED159Wピンスポットライト	2台	(318)					スタンド・カラーホイル付			
FWC	同上用コンセント	T型20Aコンセント×1ケ	2台							新金属プレート	○				接地2P15A抜止コンセント×2ケ (1回路)	2台	3000	2	2			新金属プレート更新 【別途工事】			
舞DL	舞台前ダウンライト	IL200W	6台								○				LED350形 3000K 調光範囲0～100%	6台	180	1	1			NNQ35435LD9 (※)			
客DL1	客席用ダウンライト1	IL系	12台								○				LED750形 3000K 調光範囲0～100%	12台	744	2		2		NNQ35475LD9 (※)			
客DL2	客席用ダウンライト2	水銀灯	12台								○				LED750形 4000K 調光範囲0～100%	12台	744	2		2		NNQ35479LD9 (※)			
																				</					

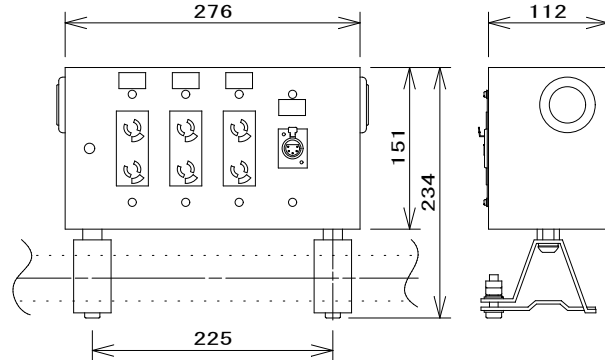
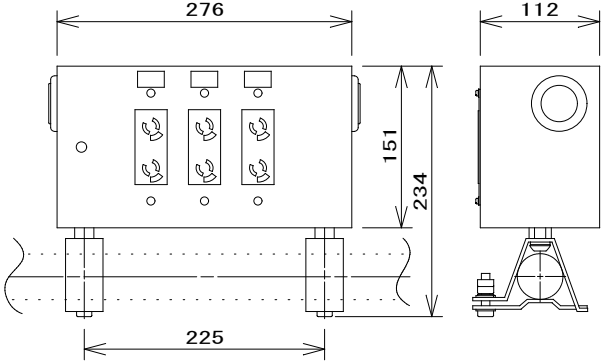
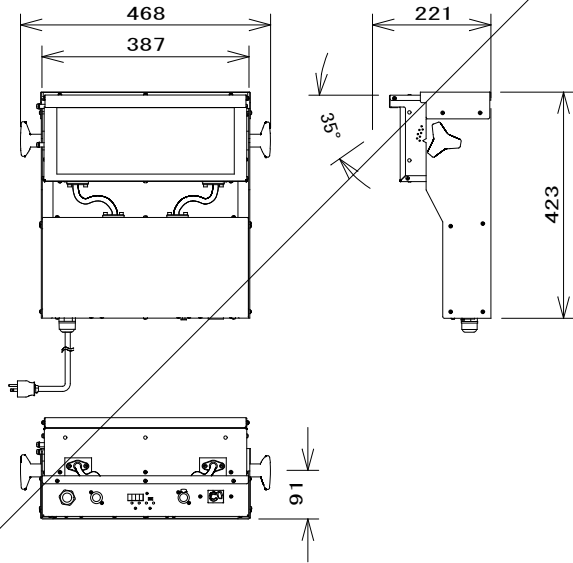
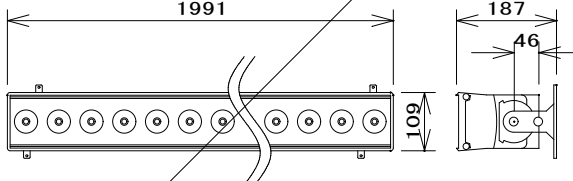
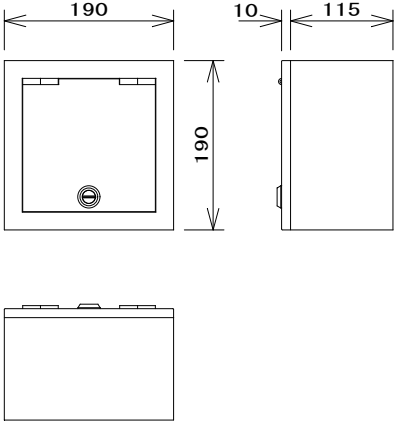
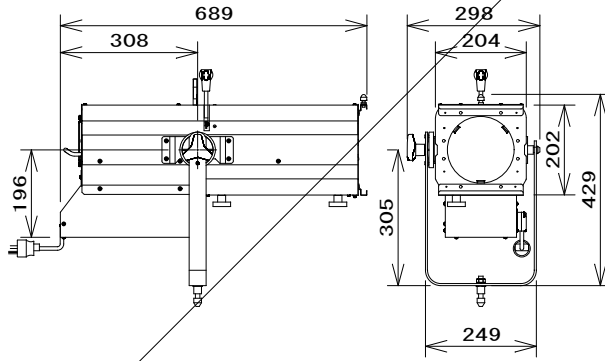
(※) : 取付開口建築工事

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-26
			訂正年月日				ホール照明設備	
							図面名称：調光装置 照明器具明細表	

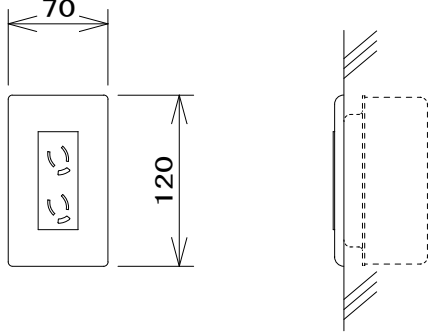
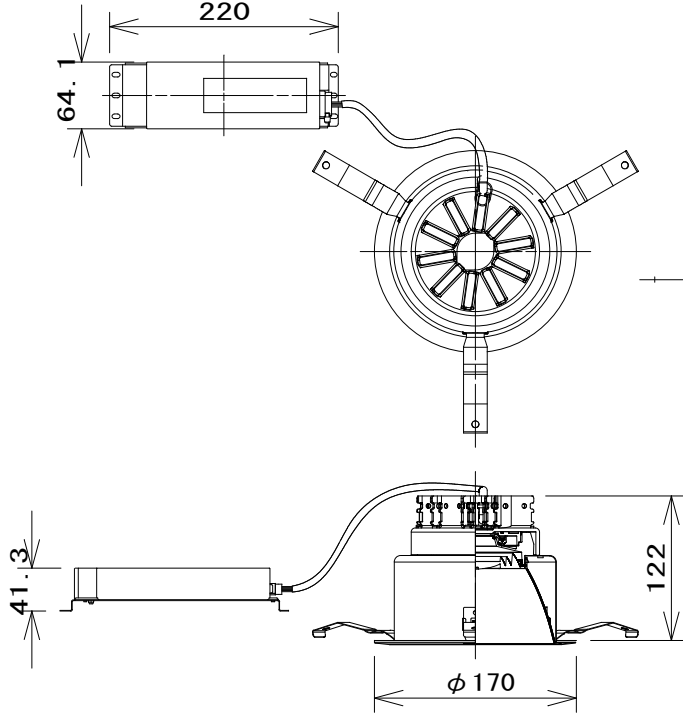
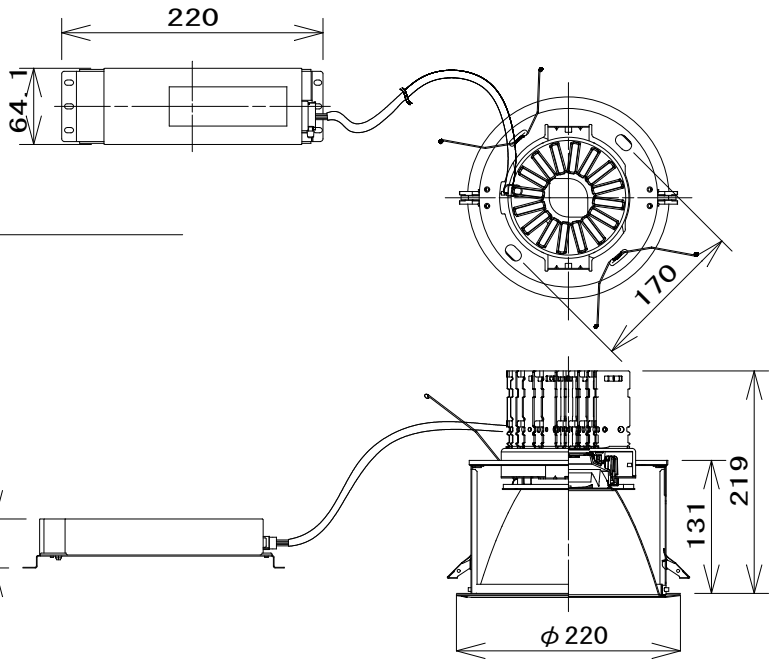
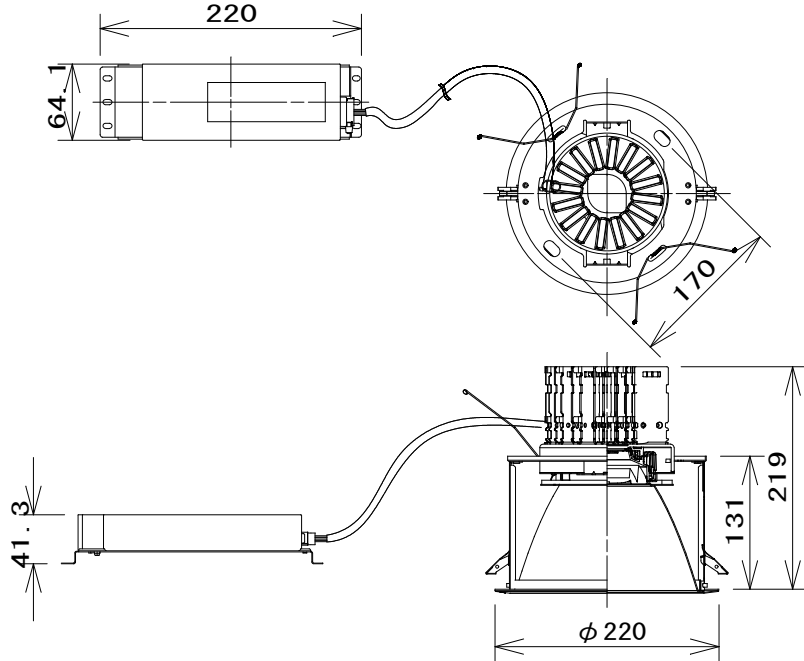
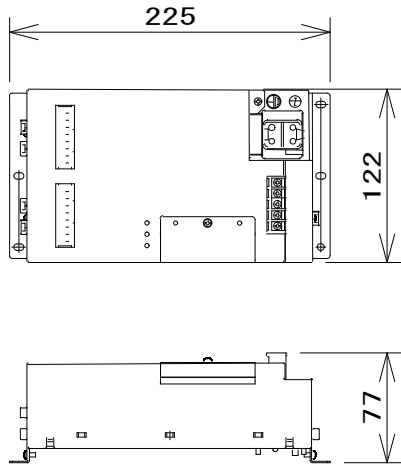


B	ボーダーライト LEDラインボーダーライト	B 1 F	ボーダー用信号変換ボックス DMX／PWM信号変換器	JB	ジョイントボックス 5.5sq-3C+DMX用（丸型）
<div></div> <div>ハイパワータイプ</div>		<div></div>		<div></div>	
UH	アッパーホリゾンライト LED114Wカラーアッパーホリゾンライト（RGBW）	UCB	アッパー用コンセントボックス 接地2P15A抜止コンセント×2ヶ DMX信号出力コネクタ×1系統	CL	シーリングスポットライト LDEフィックスライト（DMXタイプ）
<div></div> <div>信号ケーブル付</div>		<div></div>		<div></div> <div>バンドア・ハンガー・落下防止ワイヤー付</div>	

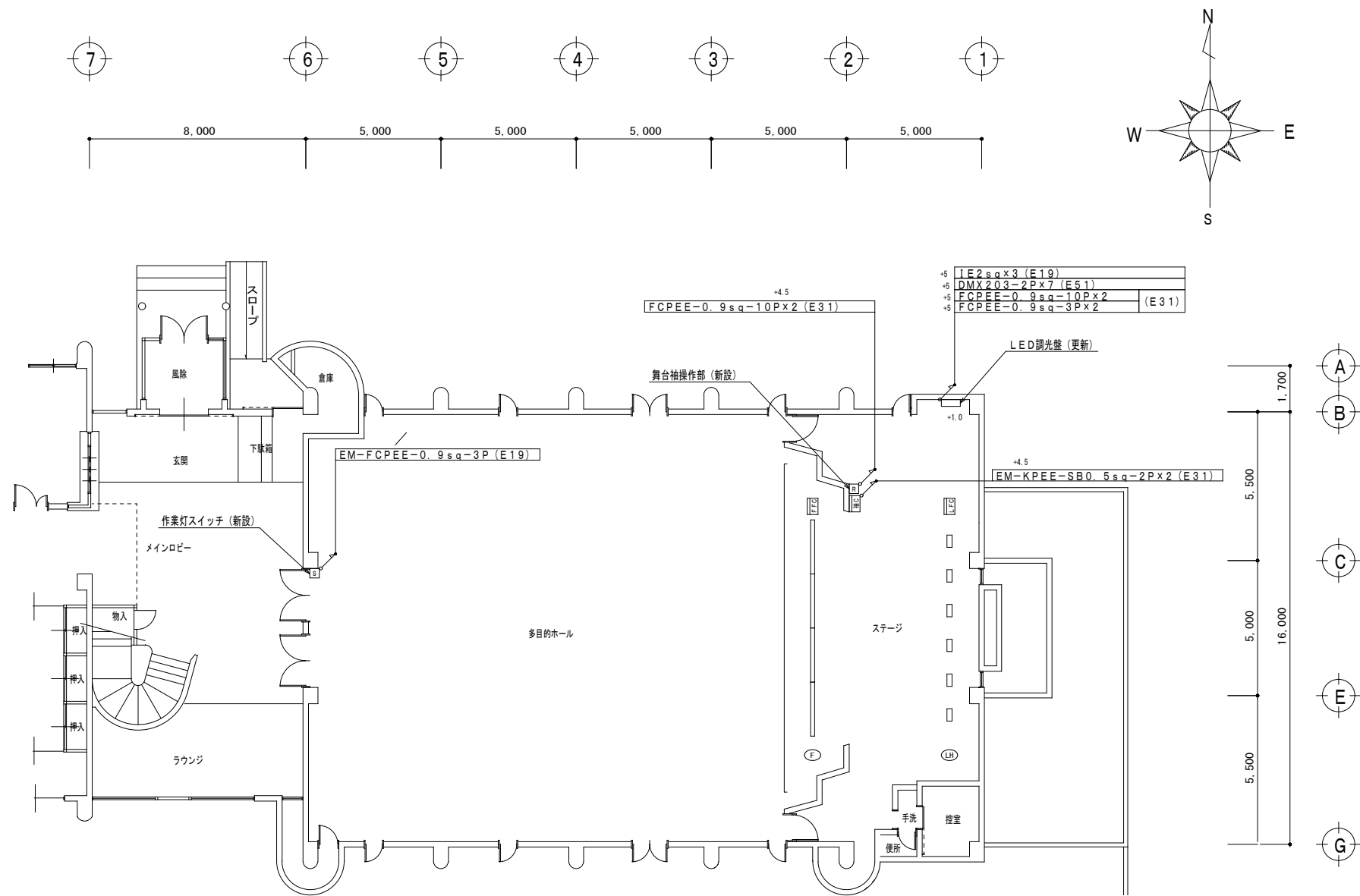
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-28
			訂正年月日				ホール照明設備	
							図面名称：照明器具姿図 1 SCALE NONE	

CCB1	シーリング用コンセントボックス1 接地2P15A抜止コンセント×6ヶ DMX信号出力コネクタ×1系統	CCB2	シーリング用コンセントボックス2 接地2P15A抜止コンセント×6ヶ	LH	ローアーホリゾンライト LED114Wカラーローアーホリゾンライト（RGBW）	【別途工事】
						
F	フットライト フルカラーLED（RGBL）カラーソースリニア：4セル	袖C	舞台袖コネクタ DMX信号出力コネクタ×2系統	FRS	フロントサイドスポットライト LDE159Wピンスポットライト	【別途工事】
						
		露出型		スタンド・カラーホイール付		

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-29
			訂正年月日		ホール照明設備			
					図面名称：照明器具姿図 2	SCALE NONE		

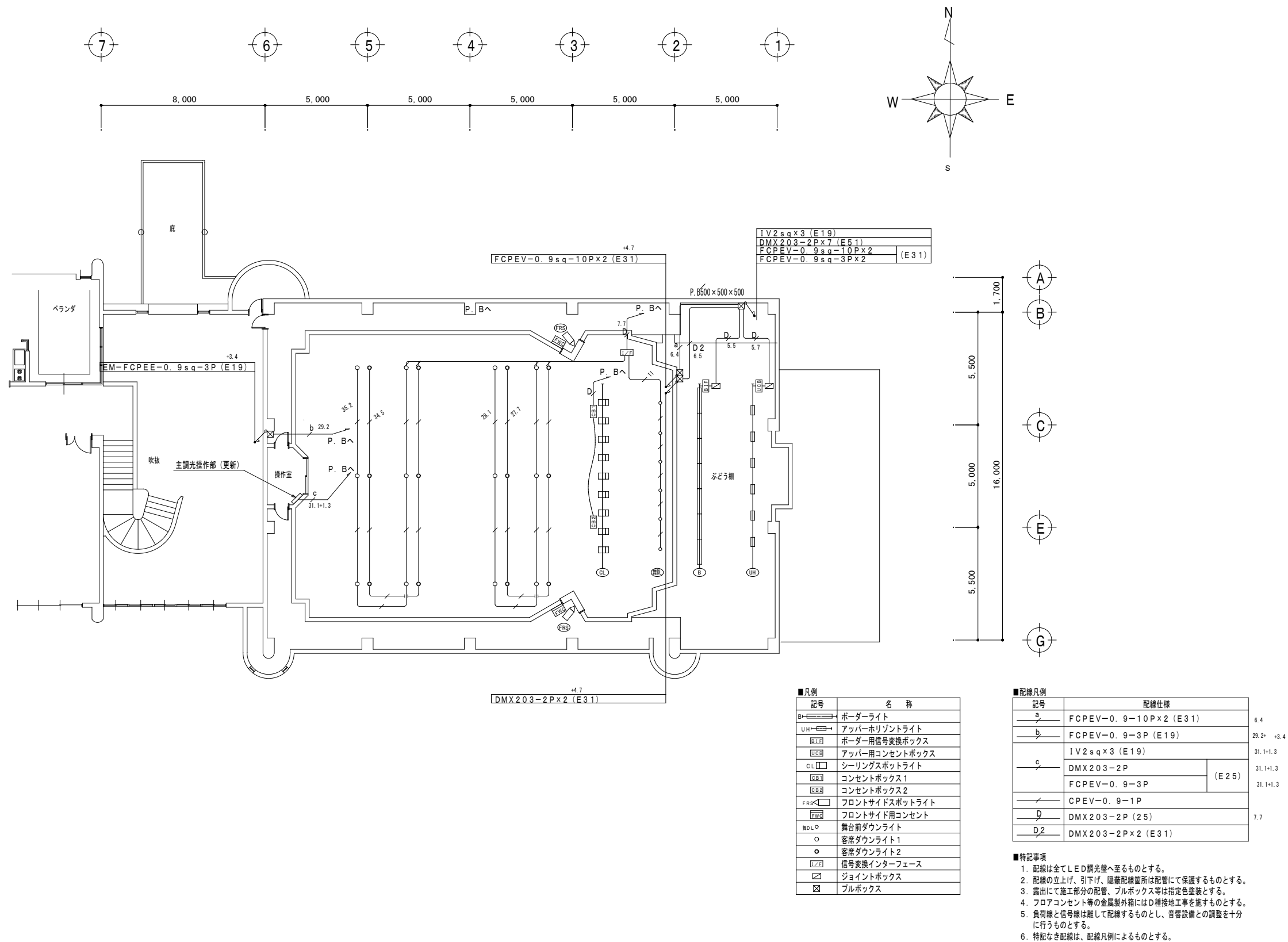
FWC フロントサイド用コンセント 接地2P15A抜止コンセント×2ヶ  新金属プレート更新		舞DL 舞台前ダウンライト 開口径：φ150mm LED350形 3000K 調光範囲0～100% 		客DL1 客席用ダウンライト1 開口径：φ200mm LED750形 3000K 調光範囲0～100% 	
客DL2 客席用ダウンライト2 開口径：φ200mm LED750形 4000K 調光範囲0～100% 		1F 信号変換インターフェース DMX／PWM信号変換器（8出力） 			

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-30
			訂正年月日				ホール照明設備	
							図面名称：照明器具姿図3 SCALE NONE	



■凡例	
記号	名 称
LH	ローホリゾントライト
F	フットライト
LF	フロアコンセント (LH用)
FF	フロアコンセント (F用)
BC	舞台袖コネクタ

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	E-31
			訂正年月日				ホール照明設備	
							図面名称：1階平面図 SCALE 1/150	



■凡例	
記号	名 称
B	ボーダーライト
UH	アッパーホリゾントライト
ELB	ボーダー用信号変換ボックス
UCB	アッパー用コンセントボックス
CL	シーリングスポットライト
GB1	コンセントボックス1
GB2	コンセントボックス2
FRS	フロントサイドスポットライト
FWB	フロントサイド用コンセント
NDLO	舞台前ダウンライト
○	客席ダウンライト1
●	客席ダウンライト2
IFB	信号変換インターフェース
JB	ジョイントボックス
XB	プルボックス

■配線凡例	
記号	配線仕様
a	FCPEV-0.9-10P×2 (E31)
b	FCPEV-0.9-3P (E19)
c	1V2sq×3 (E19)
d	DMX203-2P
e	FCPEV-0.9-3P (E25)
f	CPEV-0.9-1P
g	DMX203-2P (25)
h	DMX203-2P×2 (E31)

- 特記事項
1. 配線は全てLED調光盤へ至るものとする。
 2. 配線の立上げ、引下げ、隠蔽配線箇所は配管にて保護するものとする。
 3. 露出にて施工部分の配管、プルボックス等は指定色塗装とする。
 4. フロアコンセント等の金属製外箱にはD種接地工事を施すものとする。
 5. 負荷線と信号線は離して配線するものとし、音響設備との調整を十分にを行うものとする。
 6. 特記なき配線は、配線凡例によるものとする。

<div><div>機械設備工事特記仕様書</div><div><div>1</div><div>工事名称</div><div>玉城町中央公民館改修工事</div></div><div><div>2</div><div>工事場所</div><div>度会郡玉城町下田部 地内</div></div><div><div>3</div><div>建築概要</div><div><div>・中央公民館 RC造 2階建一部鉄骨造 延べ面積 1151.97㎡</div><div>消防令の適用 (1) 項口</div></div></div><div><div>4</div><div>適用基準</div><div>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 三重県公共工事共通仕様書（令和4年7月） 国土交通省大臣官庁官庁官制部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」 「建築、電気、機械設備工事監理指針 令和4年版」 独立行政法人 建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」 なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。</div></div><div><div>5</div><div>一般事項</div><div>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書とおりに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書と通りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。 なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。 (1) 提出図書 1) 工事書類： ・施工計画書 ・打合記録 ・材料搬入報告書 ・工程表 ・安全・訓練実施記録 ・機器明細図 ・工事日報 ・品質確認書類 ・工事写真（データ）等 2) 工事完成図書： ・完成図（竣工図） ・施工図 ・機器完成図（ファイル等2部） ・保守に関する説明書（取扱説明書・保証書）2部 ・機能的試験成績書 2部 ・総合調整測定表（試験結果・測定結果等） 2部 ・官公署提出書類控、検査済証 2部 ・官公署記録書類 2部 等 ※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。 ※ 工事書類は書籍工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編、工事完成図書編）に基づき電子納品（保存）すること。 ※ 工事写真は書籍工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁官制部監修（令和1年版））に従い撮影すること。 なお、デジタル工事写真の画像情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の画像情報電子化について（平成25年1月1日付け国営第211号）」による。 ※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。</div></div><div><div>(2)</div><div>機器及び材料等</div><div>工事に使用する機器及び材料等については、予め使用器材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。 なお、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているもので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。また、重量機器については、機器据付要領・前倒計算書もあわせて提出すること。</div></div><div><div>(3)</div><div>官公署等への届出手続</div><div>工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の提出 ・本工事（建築工事・電気設備工事・機械設備工事） ・別送工事 2) 防火対象物使用開始届出書の提出 書類の作成（機械設備設置図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。</div></div><div><div>(4)</div><div>品質管理</div><div>工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。 チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。</div></div><div><div>(5)</div><div>出来形管理</div><div>以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。 1) 各種機器据付 ・耐震強度（設計標準震度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ） ・基礎寸法 ・水平、垂直等 2) 配管・ダクト工事 ・振れ止め支持間隔 3) 屋外排水工事 ・排水勾配 ・樹の深さ 4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ</div></div><div><div>(6)</div><div>製品確認</div><div>発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。 □ 適用する □ 適用しない</div></div><div><div>(7)</div><div>耐震安全性の分類</div><div>構造体（Ⅱ）類 建築非構造部材（A）類 建築設備（乙）類</div></div><div><div>(8)</div><div>機器の地震力（主要機器）</div><div>機器名 設置箇 () 設計標準震度k () 地域係数 (1.0) 水栓類 設置箇 () 設計標準震度k () 地域係数 (1.0) その他監督員が指示するもの</div></div><div><div>(9)</div><div>冷媒（フロン類）の回収</div><div>■ 適用する □ 適用しない 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。 ・フロン回収行程管理票 ・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券） 撤去する前にフロンを屋外換気ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。 パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。</div></div><div><div>(10)</div><div>中間技術検査</div><div>実施回数 () 回 実施する段階 ()</div></div></div>	<div><div>(11)</div><div>特定建設資材の再資源化等</div><div>□ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。</div><div><div>1)</div><div>分別解体等の方法</div><div><table><tr><th>工 程</th><th>作業内容</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 新 築</td><td>建築設備工事</td><td><input type="checkbox"/> 手作業</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 増 築</td><td><input type="checkbox"/> 有</td><td><input type="checkbox"/> 手作業、機械作業併用</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 修 繕</td><td><input type="checkbox"/> 無</td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 模様替え</td><td></td><td></td></tr></table></div></div><div><div>2)</div><div>再資源化を図る特定建設資材</div><div>(<input type="checkbox"/> コンクリート塊 <input type="checkbox"/> アスファルトコンクリート塊 <input type="checkbox"/> 建設発生木材)</div></div><div><div>(12)</div><div>発生材の処理等</div><div>1) 引渡しを要するもの () 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 2) 特別管理産業廃棄物 処理方法 () なお施工に際して、廃石綿等特別管理産業廃棄物及び疑わしい機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。 3) 建設発生土 (<input type="checkbox"/> 境内敷きならし <input type="checkbox"/> 処分地指定 処分地 () 4) 現場内において再利用を図るもの () 5) 再資源化を図るもの (<input type="checkbox"/> コンクリート塊 <input type="checkbox"/> アスファルトコンクリート塊 <input type="checkbox"/> 建設発生木材) () 6) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。 7) 引渡しを要しないものは、全て構内へ搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。 (13) 電気保安技術者 □ 配置する □ 配置しない (14) 施工条件 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 <input type="checkbox"/> 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり <input type="checkbox"/> 指定なし 2) 施工可能時間帯 <input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり (協議による) (15) 構成工期 建築物等の使用を想定して総合調整調整を行ううえで、契約書に基き「附属工事及び設計図書に明示された他の発注者の発注に係る工事を含めた各工事が支障のない状態で完了すること。 □ 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり (令和 年 月 日) (16) 仮設工事 構内既存の施設 1) トイレ <input type="checkbox"/> 利用できない <input type="checkbox"/> 利用できる (有償) <input type="checkbox"/> 利用できる (無償) <input type="checkbox"/> 利用できない 2) 工事用水 <input type="checkbox"/> 利用できる (有償) <input type="checkbox"/> 利用できる (無償) <input type="checkbox"/> 利用できない 3) 工事用電力 <input type="checkbox"/> 利用できる (有償) <input type="checkbox"/> 利用できる (無償) <input type="checkbox"/> 利用できない ※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。 (17) 足場等 □ 別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が設置したものは無償で使用できる。 □ 本工事で設置する。 足場を設置する場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における次の「手すり据置方式又は」の「手すり先行工事専用足場方式により行うこと。 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）第1編 2. 1より足場の種類は以下による。 □ 内部足場 (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 <input type="checkbox"/> D種 <input type="checkbox"/> E種 <input type="checkbox"/> F種 <input type="checkbox"/> G種) □ 外部足場 (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 <input type="checkbox"/> D種 <input type="checkbox"/> E種 <input type="checkbox"/> F種) □ 防護シート 設置範囲 <input type="checkbox"/> 工事に必要な範囲 <input type="checkbox"/> () 令和4年1月2日以内に高さが5m以上の箇所の作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能基準等停止用器具は「フルハーネス型とし」、「坠落防止用品の規格」（平成11年1月25日厚生労働省告示第11号）によるものとする。</div></div><div><div>(18)</div><div>建築材料等</div><div>1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（最新版）及び別記記載の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。 品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名：) 4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努めること。 (認定製品の品名： ・間伐材製工事用バリエード ・間伐材工事看板 ・間伐材表示板) ()</div></div><div><div>(19)</div><div>建設副産物</div><div>積負金額100万円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の撤出がある場合、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を撤出する場合）を施工計画書に添じ込んで監督員に提出すること。 また、工事完了後には「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を撤出した場合）を作成し、監督員に提出すること。 なお、計画書（実施書）の提出とともにJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行うこと。</div></div><div><div>(20)</div><div>三重県産業廃棄物税</div><div>本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には平成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計）を超えて請求することはできない。 (21) 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。 なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況確認、調査、検証等も協力すること。 (22) 既設との取合い・養生 本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。 また</div></div></div>	工 程	作業内容	分別解体等の方法	<input type="checkbox"/> 新 築	建築設備工事	<input type="checkbox"/> 手作業	<input type="checkbox"/> 増 築	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 手作業、機械作業併用	<input type="checkbox"/> 修 繕	<input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 模様替え		
工 程	作業内容	分別解体等の方法														
<input type="checkbox"/> 新 築	建築設備工事	<input type="checkbox"/> 手作業														
<input type="checkbox"/> 増 築	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 手作業、機械作業併用														
<input type="checkbox"/> 修 繕	<input type="checkbox"/> 無															
<input type="checkbox"/> 模様替え																

<input type="checkbox"/> 屋外埋設排水	<input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (P・VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RP・VP) <input type="checkbox"/> 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 KS-58 (RP・VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 (RS・VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 <input type="checkbox"/> コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (「排水路用速心力鉄筋コンクリート管」)
<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管 (白) JIS G 3452 (SSP・白) <input type="checkbox"/> 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (白) KSP041 (SSP・VS) ※ 地中埋設管VSは、取出し位置のR面又はR、L面より+100立ち上げた所までとする。
<input checked="" type="checkbox"/> 冷水配管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管 (白) JIS G 3452 (SSP・白) <input checked="" type="checkbox"/> 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JNMA K 140 (一般：SSP・HVA)
<input type="checkbox"/> 冷却水管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管 (白) JIS G 3452 (SSP・白) <input type="checkbox"/> 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JNMA K116 (一般：SSP・VA、VB) <input type="checkbox"/> フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 KSP 0111 (一般：SSP・FVA、FVB)
<input checked="" type="checkbox"/> ドレン管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管 (白) JIS G 3452 (SSP・白) <input checked="" type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (P・VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RP・VP) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RP・VPは屋外露出不可。 <input checked="" type="checkbox"/> 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RP・VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
<input checked="" type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 銅及び銅合金細目無管、硬質、軟質または半硬質 JIS K3000 <input checked="" type="checkbox"/> 断熱材被覆鋼管 原管はJIS K3000による。製造者標準品ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。 ※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。
<input type="checkbox"/> 油管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管 (黒) JIS G 3452 溶接接合
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管 (黒) JIS G 3452 < (往) 溶接 (還) 65A以上：溶接、50A以下：ねじン
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼鋼管 (黒) JIS G 3452

※ 弁類 揚水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は5Kとする。
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コア付き、又はライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔			
鋼管	100A以下 125A以上	— —	2m以下 3m以下
ビニル管	80A以下 100A以上	— —	1m以下 2m以下
耐火二層管			
鋼管			
鉄鉄管			標準図による

※ 横走り管形鋼板止め支持間隔			
支持間隔	9m以下	8m以下	12m以下
鋼管		50A～100 A	125A～
鉄鉄管			
ビニル管			
耐火二層管	25A～40A	50A～100A	125A～
鋼管			

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔
基準外径 4.5mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.7mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼板止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

- 2) ダクト工事
- 矩形ダクト
- ☐ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (S60C、S65CA) 鍍金付Z18以上
 - ☒ ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- ☒ アングルフランジ工法
 - ☐ 共板フランジ工法
 - ☐ スライドオンフランジ工法
 - ☐ 山形鋼 JIS G 3101
 - ☒ SUS鋼材 JIS G 4317
 - ☒ スパイラルダクト
 - ☐ 硬質ポリ塩化ビニル管 (多湿箇所) JIS K 6741
- 形鋼補強
- スダクト

- 3) 保温塗装工事
- 1) 材料
- | | | | |
|----------------------------------|--|----------------------------------|------------------------------------|
| ■ グラスウール保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9504 2号 40X
保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40X | | |
| ■ 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | ■ 給湯管 | <input type="checkbox"/> 消火管 (露出部) |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 (往) | <input type="checkbox"/> 蒸気管 (還) | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 |
| (屋外等) | | | |
| ■ 給湯管 (70℃以上) | <input type="checkbox"/> 温水管 | <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

- | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ■ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等) | 保温板、保温帯、ブラケット 1号JIS A 9504 | | |
| ■ 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | ■ 給湯管 | <input type="checkbox"/> 温水管 |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷媒管 | <input type="checkbox"/> 消火管 |

- | | | | |
|--------------------------------|--|-----------------------------------|-------------------------------------|
| ■ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等) | 保温筒 JIS A 9511 3号
保温板 JIS A 9511 3号 | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 冷冷水・冷温水管 | <input type="checkbox"/> 冷水管 (2～4℃) |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (屋外等) | | | |
| ■ 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | ■ 給湯管 (70℃以下) | <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 |
| <input type="checkbox"/> プライン管 | <input type="checkbox"/> 消火管 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

- | | | | |
|--|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| ■ 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出) | JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 | | |
| <input type="checkbox"/> 給水管 | <input type="checkbox"/> 排水管 | <input type="checkbox"/> 通気管 | <input type="checkbox"/> ドレン管 |
| <input type="checkbox"/> ガス管 | ■ 消火管 | <input type="checkbox"/> 油管 | <input type="checkbox"/> 冷却水管 |
| ■ ダクト (亜鉛鉄板製) | ■ ダクト (銅板製) | ■ スパイラルダクト | |

- | | | | |
|---|----------------------------|--|--|
| ■ さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種 | JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種 | | |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 (往) | ■ ダクト (銅板製) | | |

- | | | | |
|---|-----------------------------------|--|--|
| <input type="checkbox"/> アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント) 下塗り止めペイント | JIS K 5492 (アルミニウムペイント) 下塗り止めペイント | | |
| <input type="checkbox"/> 蒸気管 (還) | | | |

- 2) 保温厚
- ・ グラスウール、ロックウール
- | | | | | | |
|--------------|------|----------|--------|---------|-------|
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 |
| 給水・排水・ドレン・給湯 | ～80A | 100～150A | - | 200A～ | - |
| 膨張・温水・消火管 | - | - | 32～50A | 65A～ | - |
| 蒸気管 | ～25A | - | ～25A | 32～200A | 250A～ |
| 冷水・冷温水・冷媒管 | - | - | - | - | - |
- ・ ポリスチレンフォーム
- | | | | | | | |
|----------------|------|-------|------|----------|--------|-------|
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | 65 |
| 給水・消火・排水管 | ～80A | 100A～ | - | - | - | - |
| 冷水・冷温水管 | - | - | ～25A | 32～200A | 250A～ | - |
| 冷水管 (冷水温度2～4℃) | - | - | ～20A | 25A～100A | 125A～ | - |
| プライン管 | - | - | - | ～25A | 32～80A | 100A～ |

- ・ 機器ダクト保温厚
- | | |
|-----|---|
| 保温厚 | |
| 2m | ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、暖蔵部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、銅板製タンク、排煙ダクト隠蔽部 (ロックウール) |
| 5m | ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー、排気簡隠蔽部 (ロックウール) |
| 7m | 煙導 (ロックウール) |

- 3) 種別
- 給排水衛生設備配管の保温仕様 (R、6保温材の仕様のみ)
- | | | | | |
|------------|----------------|----------------|------------|--------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 屋内露出 | 保温筒 | 鉄線 | 合成樹脂製カバー | |
| 機械室・書庫・倉庫 | 保温筒 | 鉄線 | 原紙 | 7h31 31h31仕上 |
| 天井内・P・S内 | アルミガラスクロス化粧保温筒 | アルミガラスクロス粘着テープ | | |
| 暗渠内 (ピット内) | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 着色7h31 31h31 |
| 屋外露出 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | SUS鋼板仕上 |
- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の保温は消防法に合わせにより決定すること。

- 空調設備配管の保温仕様 (R、6保温材の仕様のみ)
- | | | | | | |
|---------------------|-----|----|------------|---------------|-------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 屋内露出 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 合成樹脂製カバー | |
| 機械室・書庫・倉庫 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 原紙 | アルミガラスクロス仕上 |
| 天井内・P・S内 (温水・蒸気管以外) | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | アルミガラスクロス仕上 | |
| 暗渠内 (ピット内) | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | 着色アルミガラスクロス仕上 | |
| 屋外露出 | 保温筒 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | SUS鋼板仕上 | |
- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
☐ 保温化粧ケース仕上 ☒ SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

- 機器保温仕様
- | | | | | | |
|-----------|---|-----|------------|----|--------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 冷水・冷温水タンク | 鉄 | 保温板 | ポリエチレンフィルム | 鉄線 | SUS鋼板仕上 |
| 銅板製タンク | | | | | カラー亜鉛鉄板 (屋内) |
| 冷水・冷温水ヘッダ | | | | | |
| 温水・膨張・温水 | 鉄 | 保温板 | 鉄線 | | |
| 貯湯タンク | | | | | SUS鋼板仕上 |
| 温水・蒸気ヘッダ | | | | | カラー亜鉛鉄板 (屋内) |
| 熱交換器 | | | | | |
- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

- ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様
- | | | | | | |
|-------------|-----------|----------------|----------------|----------------|--------------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 長方形ダクト | 屋内露出 | 一般・廊下 | 保温板 | カラー亜鉛鉄板 | |
| | 機械室 | 鉄 | アルミガラスクロス化粧保温板 | アルミガラスクロス粘着テープ | |
| | 屋内隠蔽、D・S内 | 鉄 | アルミガラスクロス化粧保温板 | アルミガラスクロス粘着テープ | |
| | 屋外露出、多湿箇所 | 鉄 | 保温板 | ポリエチレンフィルム | 鉄線 SUS鋼板 |
| スパイラルダクト | 屋内露出 | 一般・廊下 | 保温帯 | 鉄線 | カラー亜鉛鉄板 |
| | 機械室 | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ | | |
| | 屋内隠蔽、多湿箇所 | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ | | |
| | 屋外露出、多湿箇所 | 保温帯 | 鉄線 | ポリエチレンフィルム | SUS鋼板 |
| サブライチャンバー | | 鉄 | 保温板 | ガラスクロス | 銅電着亜鉛又はアルミパッキン付タタリ |
| 消音チャンバー・エルボ | | 鉄 | 保温板 | ガラスクロス | |
| 排煙ダクト長方形 | 屋内隠蔽 | 鉄 | アルミガラスクロス化粧保温板 | アルミガラスクロス粘着テープ | |
| 排煙ダクト 円形 | 屋内隠蔽 | アルミガラスクロス化粧保温帯 | アルミガラスクロス粘着テープ | | |
| 煙道 | フランケット | 鉄線 | カラー亜鉛鉄板 | | |
- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称 16線径 0.55 の金網又はJNMA3011による防錆処理を施した平ラシイ号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅電甲金網は、JIS K 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

- 配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様
- | | | | | | | |
|----|----|------------|------|-----|-----|--------------|
| 機材 | 状態 | 塗料の種類 | 塗り回数 | 備考 | | |
| | | | 下塗り | 中塗り | 上塗り | |
| 白管 | 露出 | 合成樹脂調合ペイント | 1 | 1 | 1 | 下塗りはさび止めペイント |
| 黒管 | 露出 | 合成樹脂調合ペイント | 2 | 1 | 1 | 下塗りはさび止めペイント |
- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント 2回塗りを行う。

- 4) 施工
- ダクト保温施工範囲
1. SA
- 保温あり
- 保温なし
- 図面による
- その他 ()
2. E・A
- 保温あり
- 保温なし
- 図面による
- その他 ()
3. R・A
- 保温あり
- 保温なし
- 図面による
- その他 ()
4. O・A
- 保温あり
- 保温なし
- 図面による
- その他 () (例) 外壁面から1 m程度)
- チャンバー内隠蔽工
- 内貼あり (mm)
- 内貼なし
- 図面による
- その他 ()
- 4) スリーブ工事
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されたものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (≧サイズ) となる。箱抜きスリーブは、木枠又は銅板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水管を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. 地中梁以外の架抜き管スリーブは、亜鉛鉄板製を原則とする。
4. 柱及び梁以外の箇所です、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。
- 紙製仮枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じ、かつ、配管施工前に仮枠を必ず取除くものとする。

- 10 共通事項
- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P・S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと、手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造鉄筋より取り出す、もしくは施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンバーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
- ・ 管は継ぎ手部の組み合わせにより可とう性をとせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間部に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はN10、125A～250AはN12、250A以上はN16のステンレス棒線を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトガードには裏カバー及び換気口を設けること。

- 11 指定資材及び参考見積りメーカー

分類	資材名	規格・メーカー等 (アイエオ順)
管	塩ビライニング鋼管	「水」マーク表示品 KSP規格品
	配管用炭素鋼鋼管	JISマーク表示品
	塩化ビニル管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	リサイクル塩化ビニル管	JISマーク表示品 塩化ビニル管・継手協会規格品
	鉛管	SNSE-S表示品
	銅管	冷媒用 鋼イノアック住環境 鋼コペルコマテリアル銅管 鋼UACJ鋼管 因幡電機産業 (株) または同等品以上
	ダクタイル鉄鉄管	水道用 「水」マーク表示品
	ステンレス鋼管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	耐火二層管	国土交通大臣認定品
	ポリエチレン管	JISマーク表示品 日本ポリエチレンパイプシステム協会規格品 「水」マーク表示品 建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格品
継手	ライニング鋼管継手	管端防食 KSP規格品 「水」マーク表示品
	フランジ	KSP規格品
	鋼管継手	JISマーク表示品 KSP規格品 KSP規格品
	ビニル管継手	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	鋼管継手	冷媒用 鋼イノアック住環境 東洋フイツチング鋼 因幡電機産業 鋼 または同等品以上
	ステンレス鋼管継手	JISマーク表示品 SAS規格品 「水」マーク表示品
	耐火二層管継手	国土交通大臣認定品
	伸縮管継手 (ベローズ形、スリプ形)	JISマーク表示品 (ベローズ型) SNSE-S表示品 (スリプ型)
	可とう継手	トープレ鋼 日立金属鋼 鋼ベン 鋼ヨシタケ または同等品以上
	その他	JISマーク表示品
弁	青銅弁・鉄鉄弁	JISマーク表示品
	その他弁類	鋼キッツ 東洋バルブ鋼 日立金属鋼 鋼ベン 鋼ヨシタケ または同等品以上
	保温材	グラスウール保温材 ロックウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材
	ポンプ類	構形連心ポンプ (空調用、ボイラー給水用、揚水用) 水中モーターポンプ (汚水用、給排水用、汚物用) 立形連心ポンプ (ボイラー給水用、揚水用)
	電動機	電動機 シンフォニアテクノロジー 鋼東芝 日立製作所 富士電機鋼 バナソニック鋼 三菱電機鋼 鋼明電舎 または同等品以上
	衛生器具	衛生陶器・水栓 JISマーク表示品
	器具	衛生器具ユニット 設備機材等評価名簿による。
	タンク	FR製バネルタンク 密閉形鋼製式膨張タンク (空調用・給湯用) 27h31鋼板製 27h31 (溶接組立形) 27h31鋼板製 27h31 (F・F組立形)
	鋼	例類 公園型 協和コンクリート工業鋼 インフラテック鋼 桑名工業鋼 鋼丸八産業 または同等品以上 (公社) 日本下水道協会、73h31A-1協会 規格対象品又は準拠品
	鉄鉄製品	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
量水器	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	鉄鉄製品	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
	排水金物	排水金物 カネソウ鋼 ダイドレ鋼 鋼中部コーポレーション 福西鋼物鋼 または同等品以上
ガス器具	ガス配管器具	I・T・O鋼 鋼桂精機製作所 鋼藤井合金製作所 富士工器鋼 または同等品以上
	ガス給湯器	ガス供給者の承認する製造者の製品 「ガス事業法」 「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき省令による証票を付したものの
	ガス警報システム	ガス警報システム アズビル金門鋼 富士工器鋼 富士電機鋼 バナソニック鋼 矢崎総業鋼 または同等品以上
	厨房機器	厨房システム 設備機材等評価名簿による。

通過装置		オルガノ鋼 栗田工業鋼 サンエイ工業鋼 鋼三協 鋼三進ろ過工業 鋼タクマ 理水化学鋼 または同等品以上
減菌機		鋼磯村 鋼オーヤラックス 水還機工機 日本曹達鋼 または同等品以上
消火装置	消火栓種類 消火栓ホース スプリングラウ消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム	鋼立売組製作所 鋼北浦製作所 鋼村上製作所 鋼横井製作所 または同等品以上 日本消防検定協会の合格表示品 設備機材等評価名簿による。
浄化槽	合併浄化槽	製造 鋼ダイキアックス 鋼西原ネオ フジグリーン工業鋼 鋼吉工業鋼 または同等品以上 国土交通大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ	鋼LIXIL 積水化学工業鋼 鋼ネポン鋼 バナソニック鋼 ロンシール機器鋼 または同等品以上
フロア		朝日機工機 鋼アンレット 鋼明和工業鋼 安永エアポンプ鋼 または同等品以上
組集器	グリス・ガスリントラップ	カネソウ鋼 下田エコテック鋼 ホーコス鋼 または同等品以上
特殊ガス	特殊ガス設備	エー・ウォーター鋼 鋼セントラルユニ 日酸TANAKA鋼 日本エー・リキード鋼 または同等品以上
計測機器		鋼島津製作所 東亜DKK鋼 鋼日立製作所 富士精密電機鋼 横河電機鋼 または同等品以上
化学実験装置		鋼島津理化学 鋼ダルトン 鋼ヤガミ ヤマト科学鋼 または同等品以上
製缶類	製缶類・熱交換	鋼島倉鉄工所 鋼広島鉄工 鋼ベルテクノ 鋼前田鉄工所 鋼松工業鋼 または同等品以上
温水発生機	真空式温水発生機 (鋼製・鉄鉄製) 無圧式温水発生機 (鋼製・鉄鉄製) 電気温水器	設備機材等評価名簿による。 愛知金属工業鋼 鋼東芝 鋼日本イモミック バナソニック鋼 三菱電機鋼 または同等品以上
ボイラー	鋼製簡易ボイラー及び簡易貫流ボイラー 鉄鉄製ボイラー及び鉄鉄製簡易ボイラー 鋼製小型ボイラー及び小型貫流ボイラー 鋼製ボイラー	設備機材等評価名簿による。
冷凍機	チリングユニット及び 空気熱源ヒートポンプユニット 吸収冷水機 吸収冷水機ユニット 連心冷凍機	設備機材等評価名簿による。
空気調和機	ユニット形空気調和機 ファンコイルユニット及び カセット形ファンコイルユニット コンパクト形空気調和機 パッケージ形空気調和機 マルチパッケージ形空気調和機 JMSJ-1000 式空気調和機	設備機材等評価名簿による。
冷却塔	冷却塔	設備機材等評価名簿による。
防振装置	防振材・防振装置	鋼数化工機 特許機器鋼 鋼ブリヂストン 鋼明治ゴム化成 または同等品以上
加湿器	加湿器	ウェットマスター鋼 ビーエス工業鋼 または同等品以上
送風機類	連心送風機 (多翼形送風機) 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機	設備機材等評価名簿による。
換気扇	換気扇類	テラルクリタ鋼 鋼東芝 日立アプライアンス鋼 バナソニック鋼 三菱電機鋼 または同等品以上
全熱交換器	全熱交換器 (回転形、静止形) 全熱交換ユニット	設備機材等評価名簿による。
空気清浄装置	27h31 (A・B形、折込形) 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器 (自動巻取形、A・B形)	設備機材等評価名簿による。
ダクト付属品	吹出口・吸込口 風量ユニット (定風量、変風量)	設備機材等評価名簿による。
ダクト	亜鉛鉄板 ステンレス鋼板 スパイラルダクト	JIS規格品 JIS規格品 鋼栗本鐵工所 鋼新富士空調 フジモリ産業鋼 または同等品以上
	フレキシダクト	アライ実業鋼 鋼オーツカ 鋼栗本鐵工所 または同等品以上
自動制御	自動制御システム	設備機材等評価名簿による。

【注記】 ① JISマーク、水マーク (JNMA 日本水道協会規格)、KSP (日本水道鋼管協会規格)、SNSE-S (空気調和・衛生工学会規格)、JPF (日本金属継手協会規格)、SAS (ステンレス協会規格) の番号については、「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)」「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)」による。

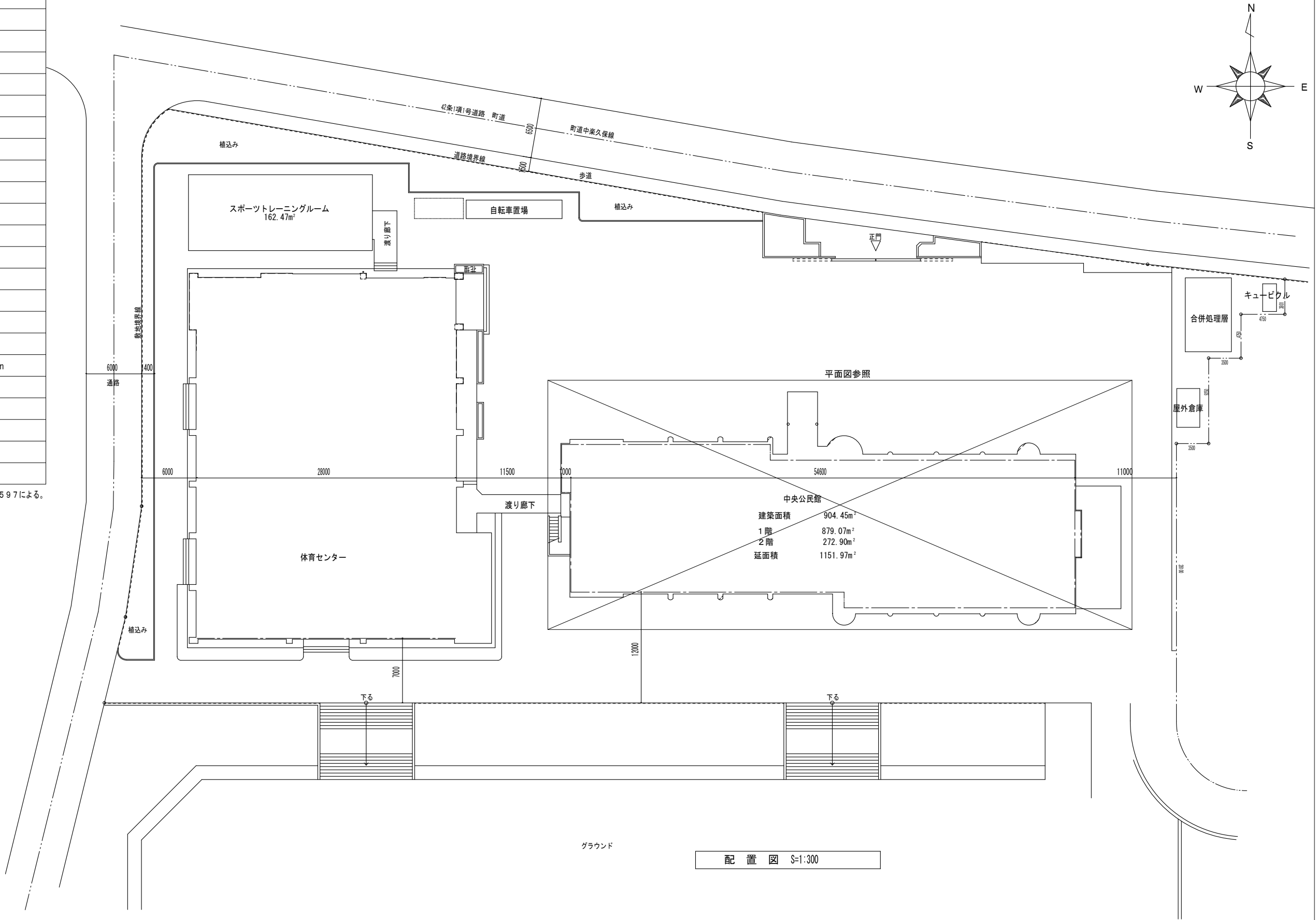
② JISマーク表示品と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外観、容器の外観、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるものとする。

③ 設備機材等評価名簿とは、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿 (最新版) をいう。但し、評価名簿による場合、「納入地区及びアフターサービス地区」に中部地区が含まれていて、評価の有効期限内にある場合に有効とする。

--

図示記号	
記 号	
—— — — —	給 水 管
—————	排 水 管
-----	通 気 管
—— ——	給 湯 配 管
—— G ——	ガ ス 配 管
—— R ——	冷 媒 配 管
—— D ——	ド レ ン 配 管
—————	ダ ク ト
□	給 水 栓
■	給 湯 栓
⌘	混 合 水 栓
⊙	フラッシュバルブ
≡ ∅	弁 類 10K
⊖	床 上 掃 除 口
Ⓡ	リモコン
Ⓢ	集中リモコン
⊠ nnn	ブルボックス W：n H：n D：n
Ⓢ	満水試験継手
Ⓢ	目 皿 付 掃 除 口
	温度計
	湿度計
▽	ストレーナー

・飲料水配管設備の構造は告示－12－1390及び告示50－1597による。
・ガス事業法に基づく施工。



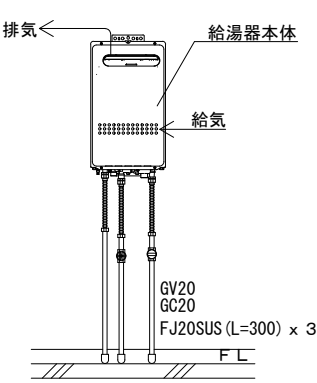
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	M- 03
			訂正年月日				図面名称：配置図	
							SCALE 1/300	

衛生器具表											
品 名	品 番				付 属 品				単 位		備 考
	LIXIL		TOTO		附属品 一式		1	2	1	2	
大便器	BC-P110SM DQ-PA150CH CW-PA11FLQE-NE		FS498B TCF5524AU		附属品 一式		1	2	1	2	6
紙巻器	CF-63HST		YH701		附属品 一式		1	2	1	2	7
I型手すり	KFS-910AEW60D10		T112C6		附属品 一式		1	2	1	2	6
センサー体形小便器	U-A51MP		UFS900WR		附属品 一式		2		2		4
小便器用手すり	KF-701AEJ AM-300V1		T112CU22		附属品 一式		1		1		2
はめ込み洗面器	L-2150FC AM-300		L350C TLE28SA1W		附属品 一式		1	1	1	1	4
同上カウンター（建築工事）	MB-450MS (850)		ML45C0850BNX11W		附属品 一式		1	1	1	1	4
化粧鏡	KF-3545		YM3545A		附属品 一式		1	1	1	1	4
小形多目的流し	S-17 LF-7KRZ-13		SK500 T200ESNR13C		附属品 一式		1	1	1	1	4
洋風大便器	BC-P110SM DQ-PA150CH CW-PA11FLQE-NEC		CFS498B TCF5554AUPR		附属品 一式			1			1
背もたれタンクレス用	KFC-275T1U		EWC383CR		附属品 一式			1			1
手洗器	AWL-71U3AM (P)		LSW570APR		附属品 一式			1			1
多用途用手すり	KF-926AE80D25J		T112CL11		附属品 一式			1			1
はね上げ式手すり	KF-471EH70J		T112HK7R		附属品 一式			1			1
カウンター体形洗面器	L-275FCR AM-300		L270C TLE28SA1W		附属品 一式			1			1
化粧鏡	KF-6090		YM6090A		附属品 一式			1			1
オストメイトバック	PTOM-B210S PTOM-ESCR×2		UAS81RSB2NW UTR141×2		附属品 一式			1			1
横型おむつ交換台	AC-OK-21F		YKA25S		附属品 一式			1			1
ベビーキープ	AC-BK-F62		YKA15S		附属品 一式			1			1
チェンジングボード	AC-CB-01		YKA41R		附属品 一式			1			1
フック	KF-28		YKH21WR		附属品 一式			1			1

給 湯 機 器 表			
記 号 名 称	形 式 、 仕 様	台数	備 考
GWH-1 ガス給湯器	型 式 : 屋外壁掛型 能 力 : 16号 ガス消費量 : 29.4 Kw ガス種 : LPG 付属品 : 標準リモコン 配管カバー リモコンコード 他一式 電源種別 : 1φ 100V 30W 133W (ヒーターON)	2	設置場所 : 屋外

ガス給湯器詳細図
GQ-C1634WS (参考)

NOSCALE

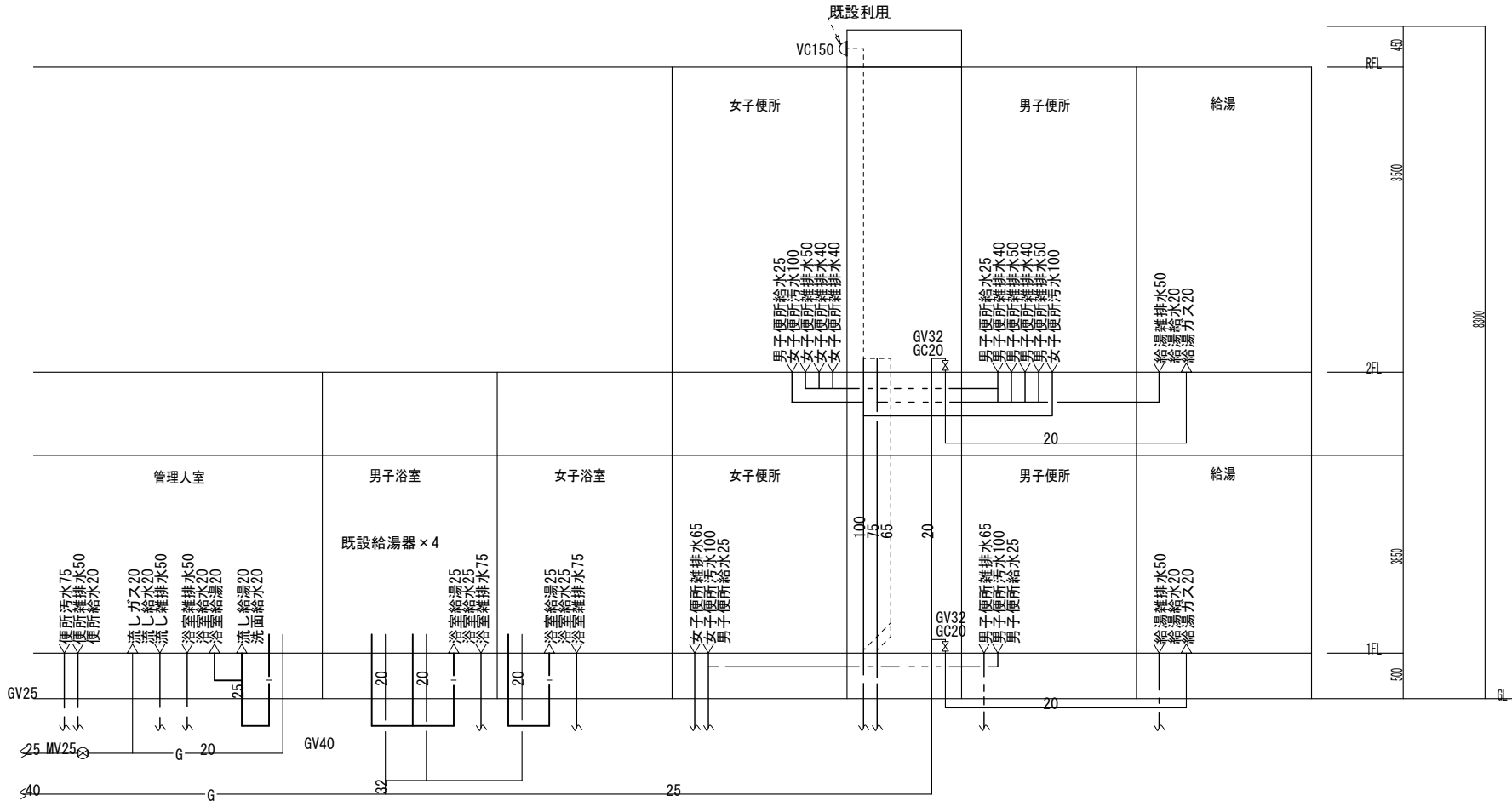


固定場所	部材仕様 (付属部品)	設置種別	固定本数	引張り耐力	備考
木壁固定	木ねじ (JIS) φ4.8×38	壁掛け 据置 (上部固定あり)	4 2	0.3kN/本以上 (木下地15mm)	
R C壁固定 A L C壁固定	木ねじ (JIS) φ4.8×38 フィッシャープラグS X 6×30	壁掛け 据置 (上部固定あり)	4 2	0.3kN/本以上 (左記の木ねじと プラグ組合せ時)	
P S固定		P S標準 P S扉内			

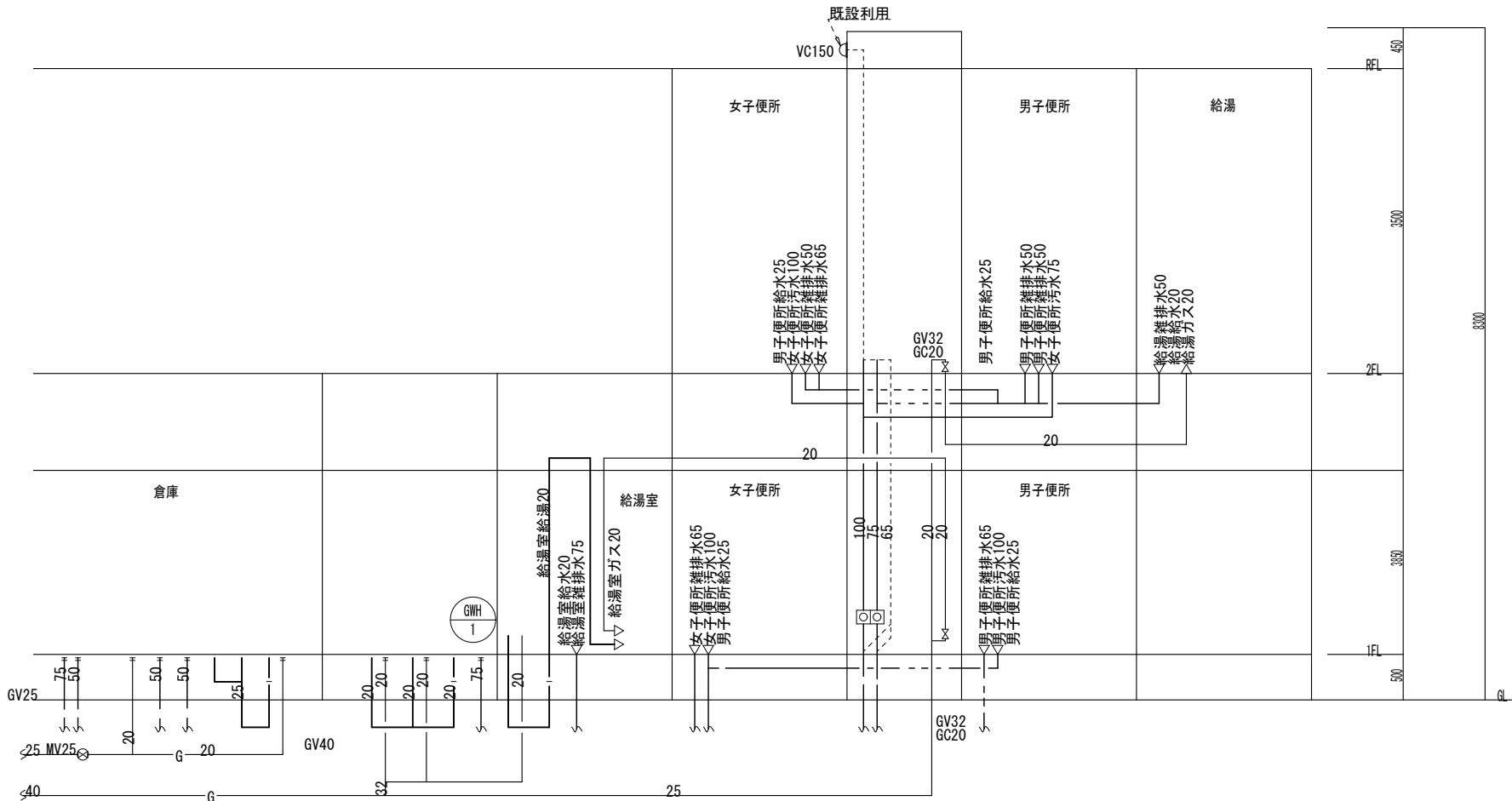
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称 : 玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ-04
			訂正年月日					
							図面名称 : 衛生設備器具表	

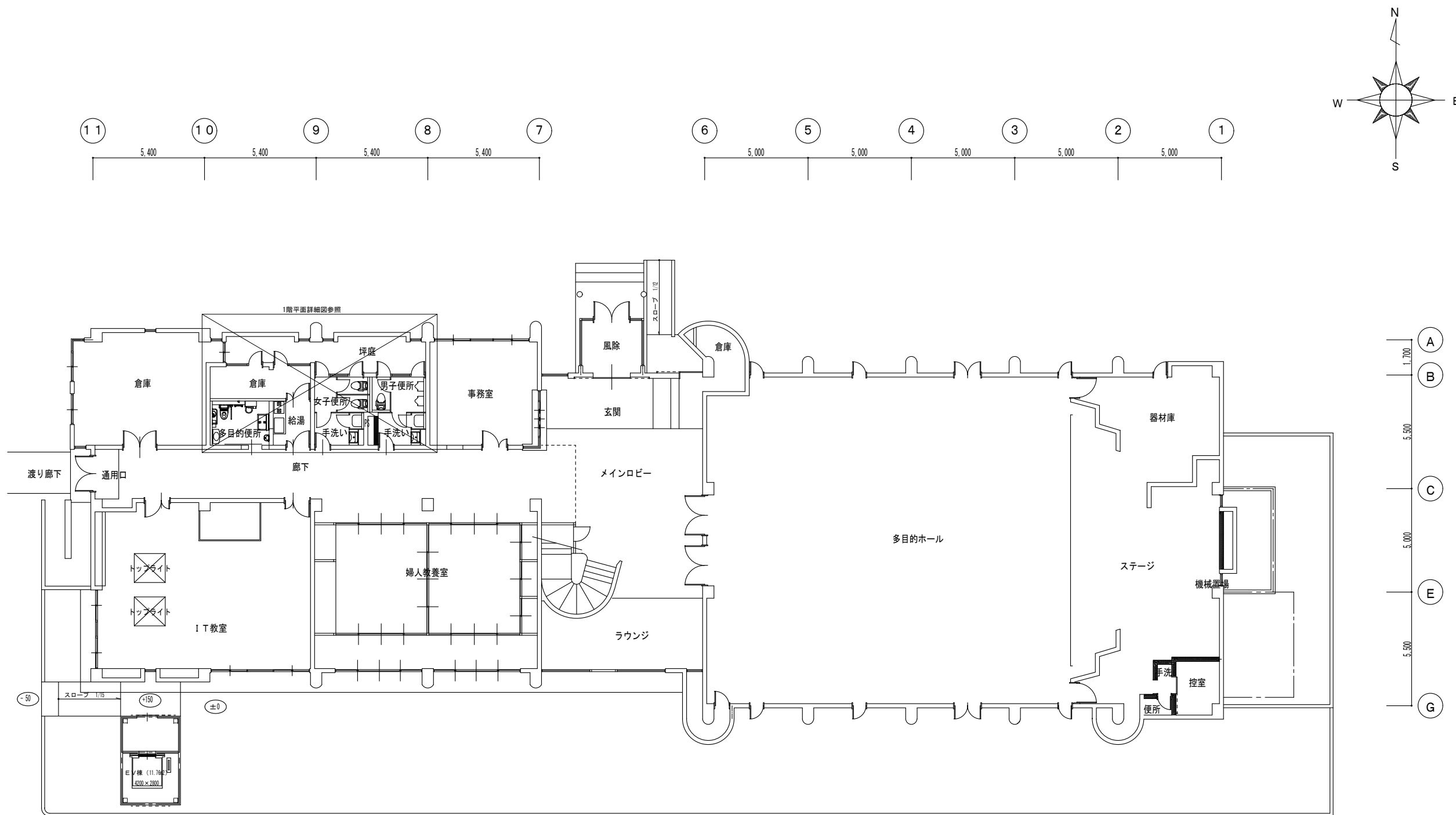
SCALE	
-------	--

改修前系統図

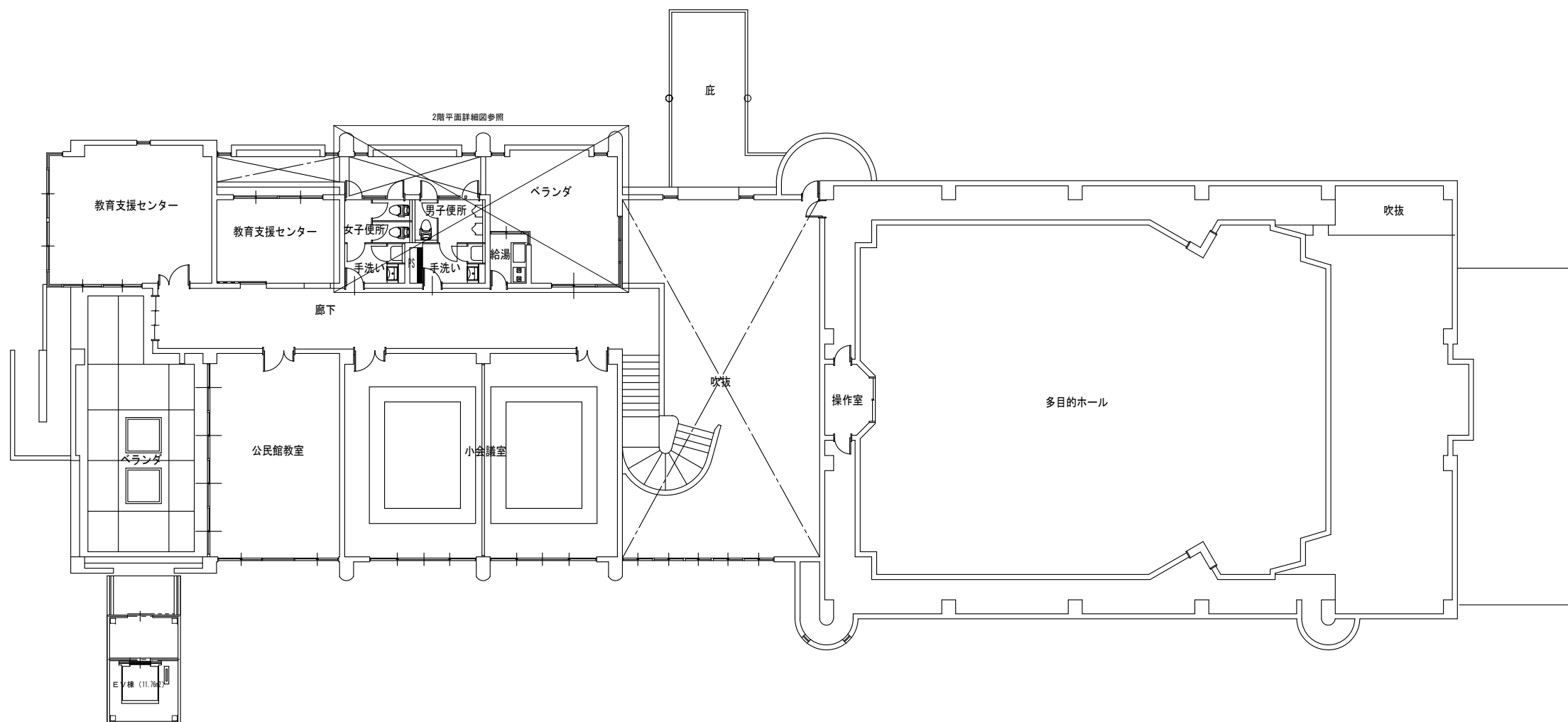
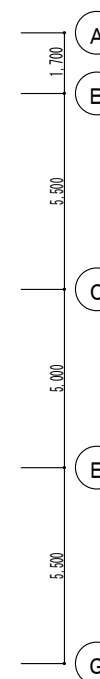
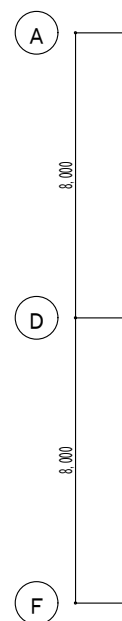
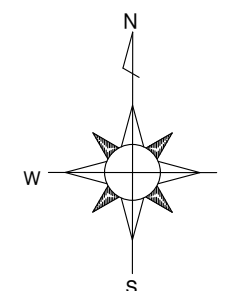
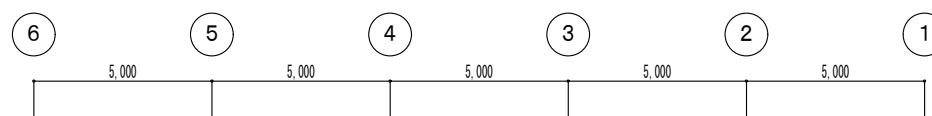
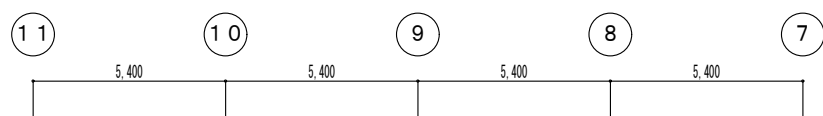


改修後系統図

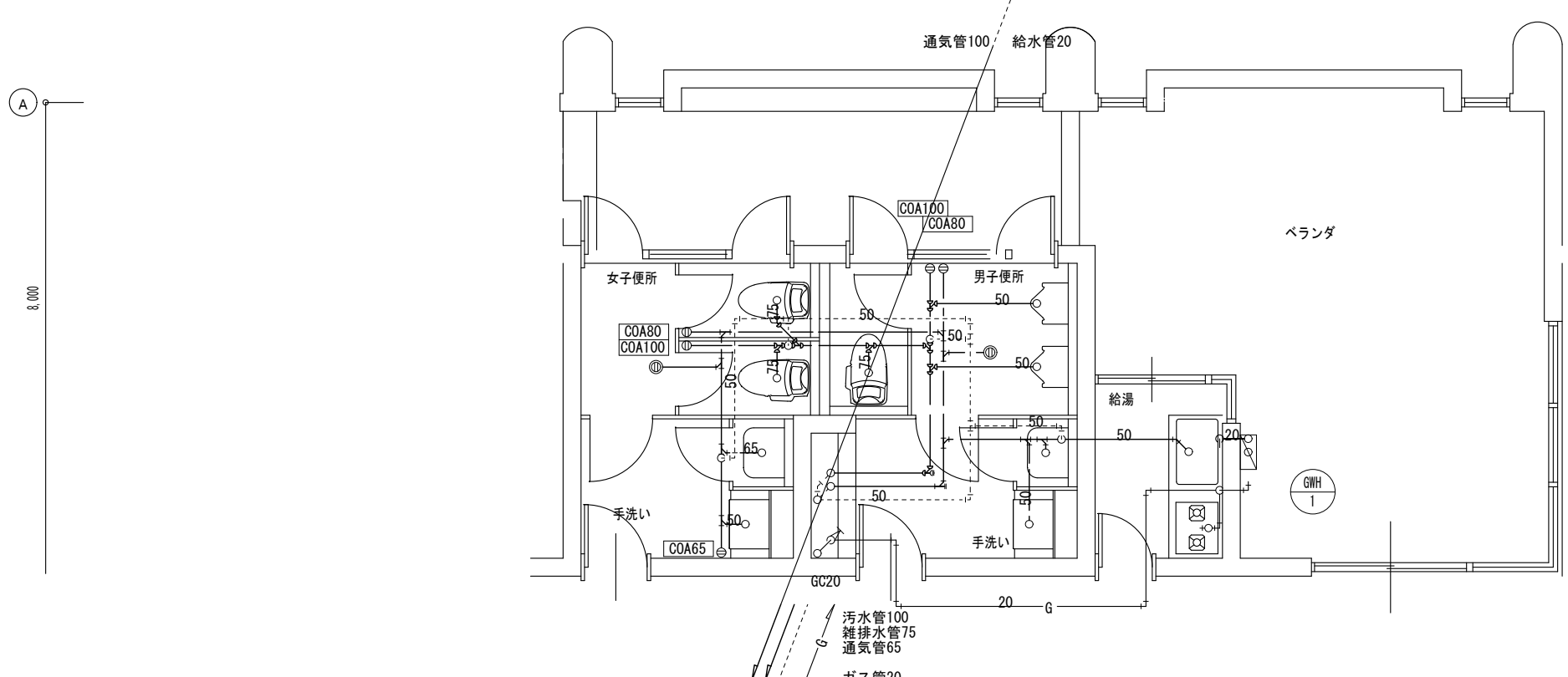
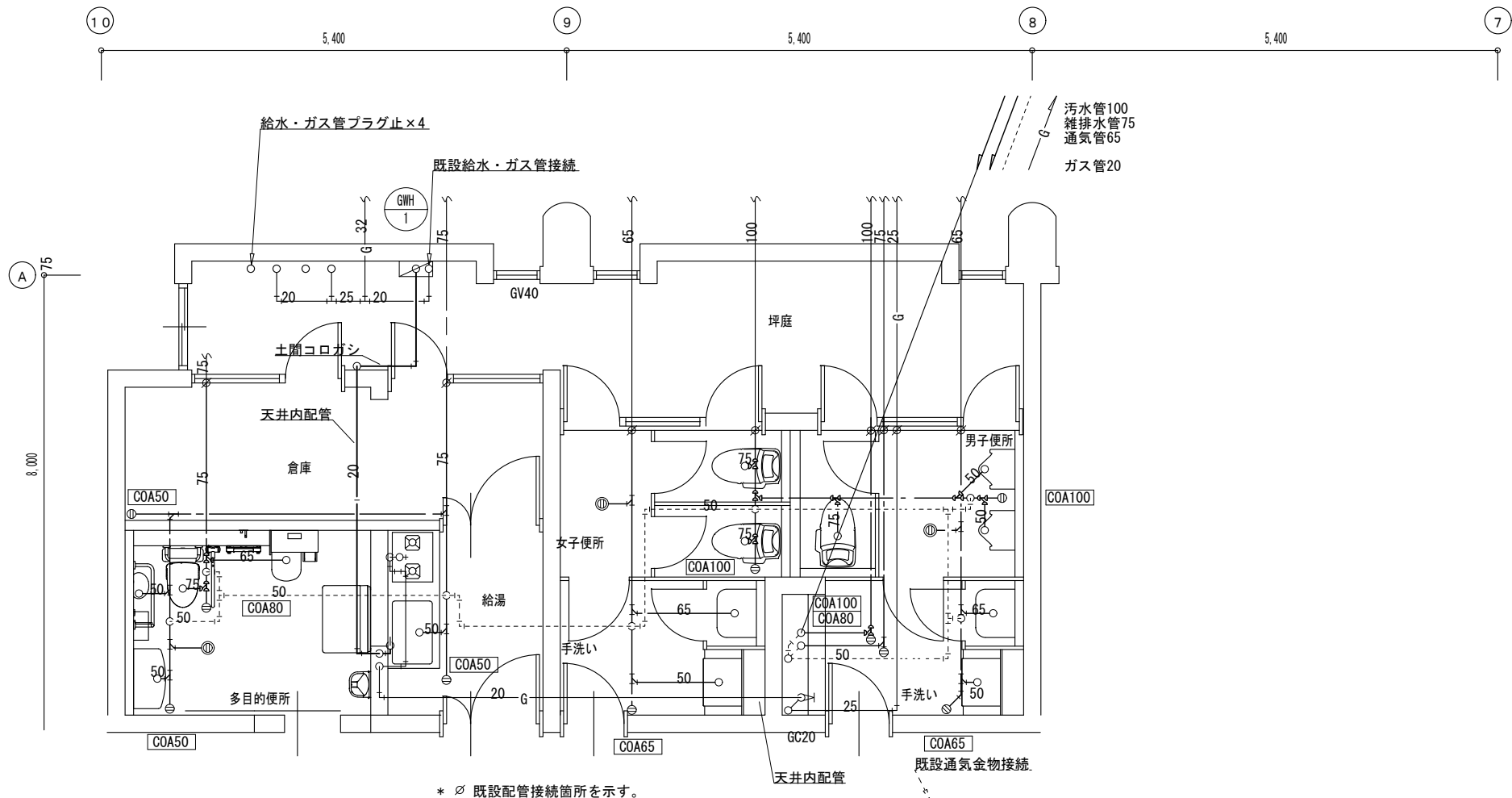




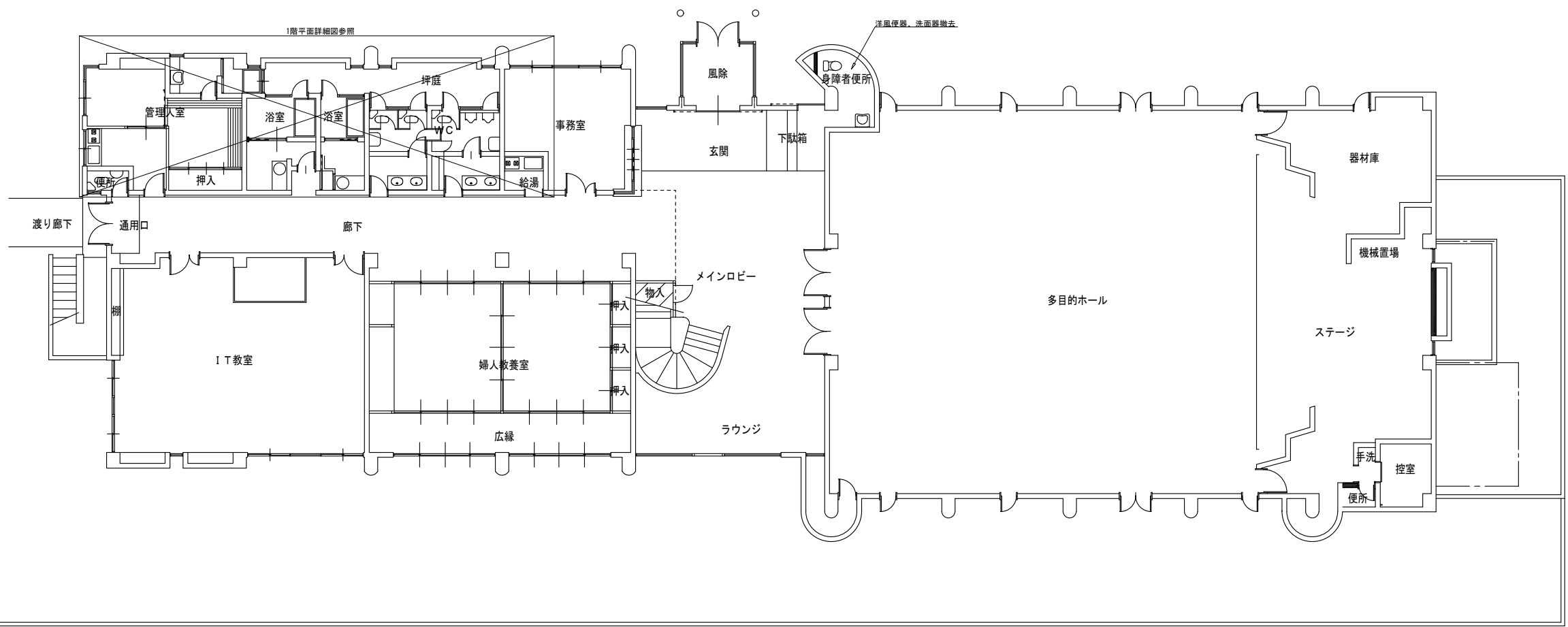
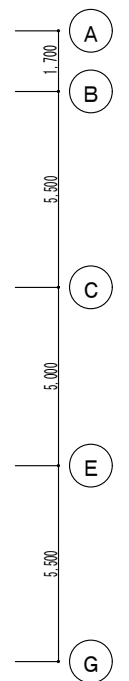
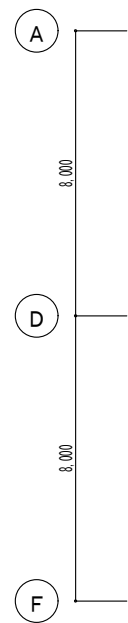
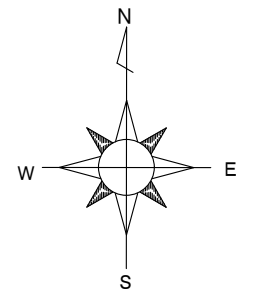
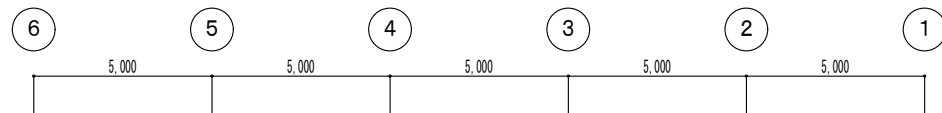
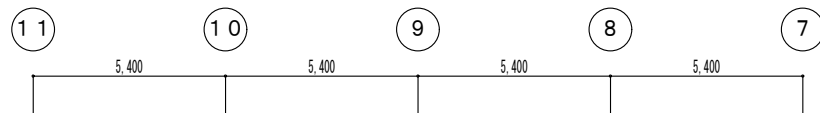
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	M-06
			訂正年月日				図面名称：衛生設備 1 階平面図 (改修)	
							SCALE 1/150	



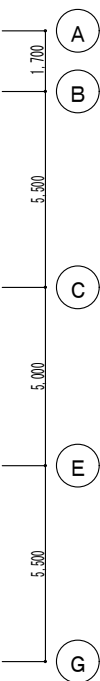
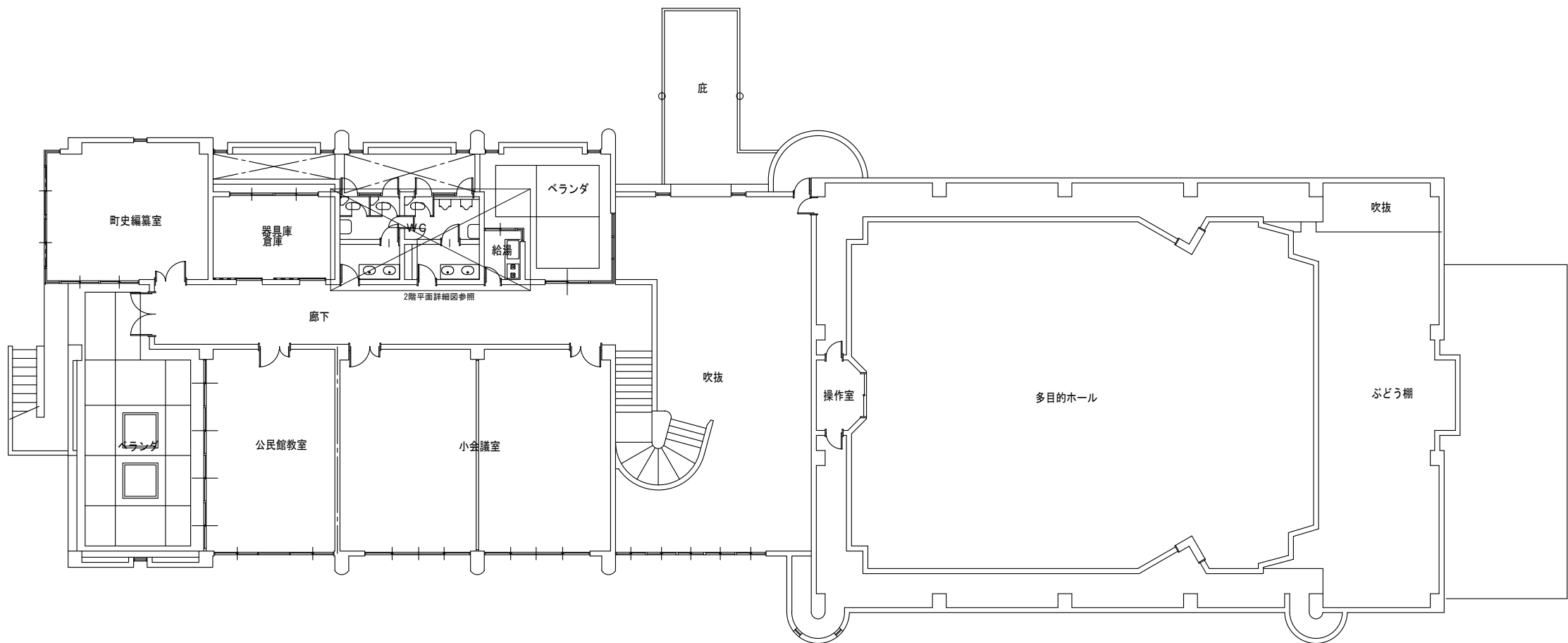
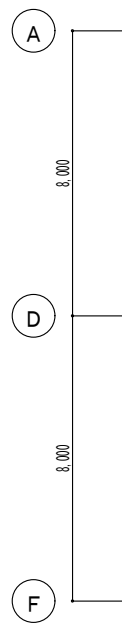
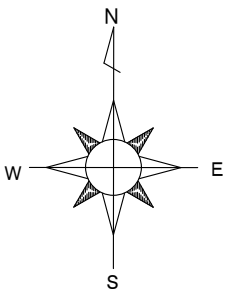
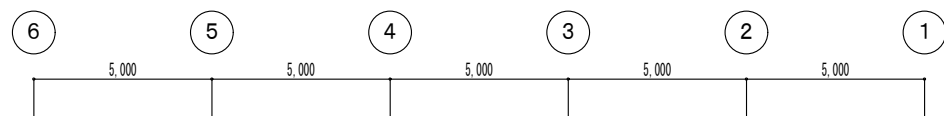
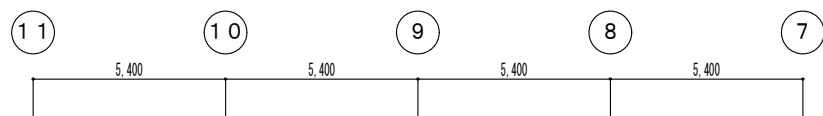
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 07
			訂正年月日				図面名称：衛生設備 2 階平面図 (改修)	
							SCALE 1/150	



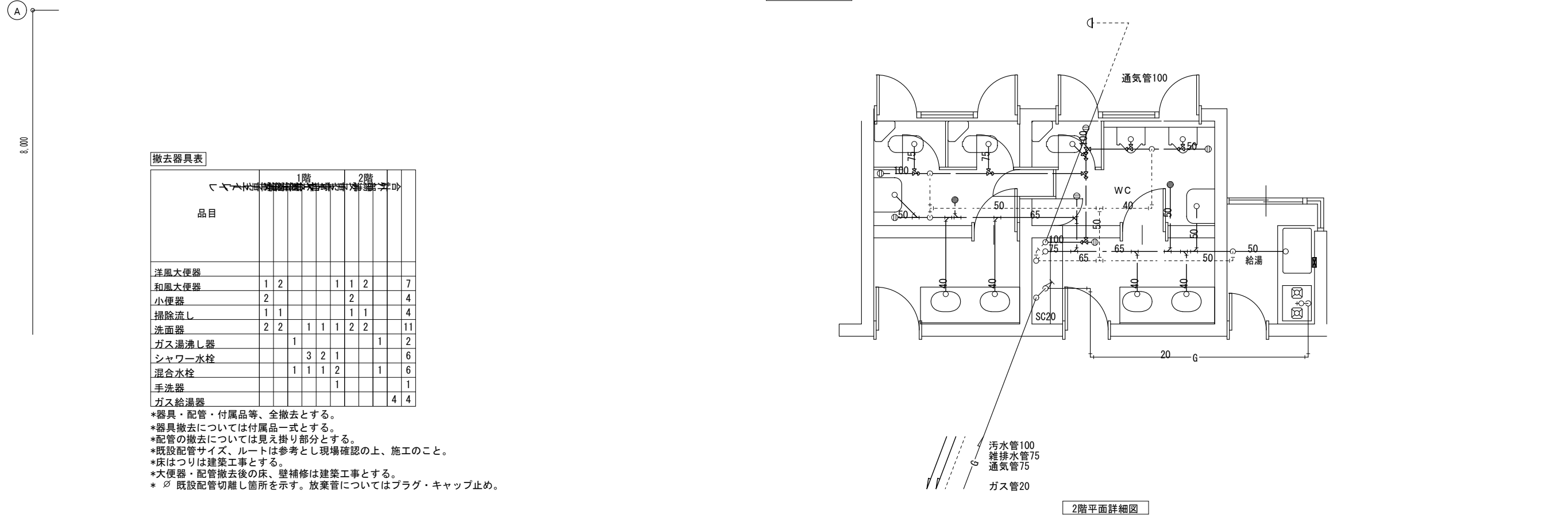
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 08
			訂正年月日				図面名称：衛生設備平面詳細図(改修) SCALE 1/50	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ-09
			訂正年月日				図面名称：衛生設備 1 階平面図 (撤去) SCALE 1/150	



			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 10
			訂正年月日				図面名称：衛生設備 1 階平面図(撤去) SCALE 1/150	

[illegible]

- *器具・配管・付属品等、全撤去とする。
- *器具撤去については付属品一式とする。
- *配管の撤去については見え掛り部分とする。
- *既設配管サイズ、ルートを参考とし現場確認の上、施工のこと。
- *床については建築工事とする。
- *大便器・配管撤去後の床、壁補修は建築工事とする。
- * 〆 既設配管切離し箇所を示す。放棄管についてはプラグ・キャップ止め。

空 調 機 器 表	機器名称	形式・仕様	冷房能力	暖房能力	電気容量								台数	参考品番	備考
			k w	k w	相	電圧	送風機出力		圧縮機	消費電力					
記号					(φ)	(V)	(KW)		(KW)	冷房 (KW)	暖房 (KW)	低温暖房 (KW)			
							室内機	室外機							
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット4方向	12.5	14.0	3	200	0.094	0.17	3.30	3.91	3.29	5.26	2	RC1-GP140RSH7	教育支援センターA
		転倒防止金具 既製コンクリート基礎共													公民館教室
PAC-2	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット4方向	10.0	11.2	3	200	0.094	0.17	2.10	2.58	2.40	4.01	4	RC1-GP112RSH7	I T 教室
		転倒防止金具 既製コンクリート基礎共													小会議室
PAC-3	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット4方向	7.1	8.0	3	200	0.057	0.05	1.55	1.76	1.87	2.45	2	RC1-GP80RSH7	婦人教養室
		転倒防止金具 既製コンクリート基礎共													
PAC-4	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット4方向	4.0	4.5	3	200	0.057	0.05	0.65	0.787	0.833	1.73	2	RC1-GP45RSH7	事務室
		転倒防止金具 既製コンクリート基礎共													教育支援センターB
PAC-5	空冷ヒートポンプエアコン	天埋 高静圧型 ロングライフフィルター(ボックス共)	20.0	22.4	3	200	0.840	0.17+0.17	5.10	7.01	6.33	8.10	1	RPI-GP224RSH1	メインロビー
		転倒防止金具 既製コンクリート基礎共													
PAC-6	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット2方向 ツイン	10.0	11.2	3	200	0.57×2	0.17	2.10	2.83	2.66	4.11	1	RC1D-GP112RSHp6	2階廊下
		転倒防止金具 既製コンクリート基礎共													
PAC-7	空冷ヒートポンプエアコン	天井カセット2方向 ツイン	7.1	8.0	3	200	0.57×2	0.17	1.55	1.95	2.13	2.13	1	RC1D-GP80RSHp6	1階廊下
		転倒防止金具 既製コンクリート基礎共													
CR	集中リモコン	液晶カラータッチパネル	-	-	1	100	-	-	-	-	-	-	1	PSC-A32MN1	事務室

*消費電力は参考とする。屋外機は転倒防止金物取付のこと。
*グリーン購入法適合品とする。
*冷媒の追加充填が必要な場合は実施のこと。
*室外機は金具にてバラベットへ連結し転倒防止処置を施すこと。

換気機器表	機器名称	形式・仕様	電気容量					台数	備考
			相	電圧	消費電力	接続口径	騒音値		
			(φ)	(V)	(W)	(φ)	(dB)		
F-1	天井扇	型式 低騒音型 風量 350m3/h 45Pa	単	100	49	150	35.5	9	婦人教養室 I T 教室 倉庫A 小会議室 公民館教室 教育支援センターA
		付属品 バイブフード 他一式							
F-2	天井扇	型式 低騒音型 風量 220m3/h 40Pa	単	100	32.5	150	31.0	5	1F女子便所 1F女子便所 2F男子便所 2F男子便所 事務室
		付属品 バイブフード 他一式							
F-3	天井扇	型式 低騒音型 風量 150m3/h 47Pa	単	100	18.5	100	32.0	3	多目的便所 教育支援センターB 倉庫B
		付属品 バイブフード 他一式							
F-4	天井扇	型式 低騒音型 風量 75m3/h 25Pa	単	100	11.6	100	26.5	2	倉庫C ホール便所
		付属品 バイブフード 他一式							
F-6	レンジフード	型式 低騒音型 風量 300m3/h 20Pa	単	150	35.0	150	35.5	2	1F給湯 2F給湯
	ミニキッチン付属品	付属品 バイブフード 他一式							
OA-1	給気グリル	型式 消音型	-	-	-	150	-	11	各居室
		付属品 バイブフード 他一式							

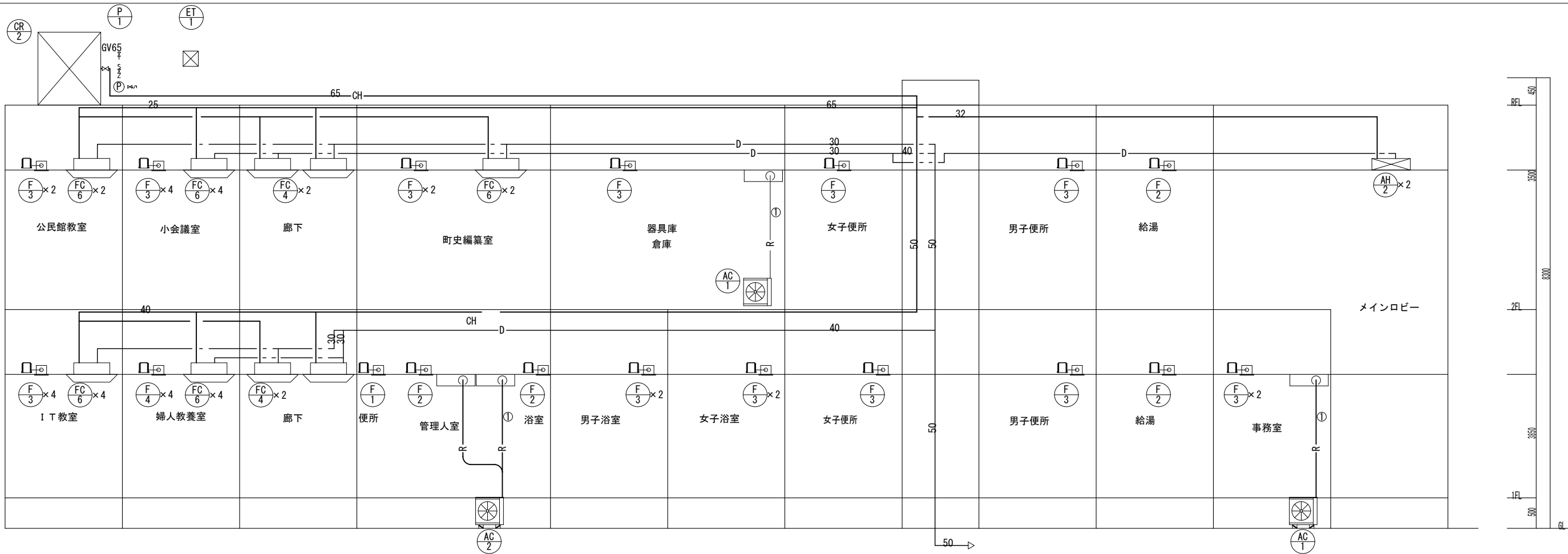
*ベンドキャップ、バイブフード、ウエザーカバー等についてはステンレス製とし指定色焼付塗装とする。

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 12
			訂正年月日				図面名称：空調機器表(改修・諸室系統) SCALE 1/150	

空 調 機 器 表 記号	機器名称	形式・仕様	冷房能力	暖房能力	電気容量								台数	参考品番	備考
			k w	k w	相	電圧	送風機出力		圧縮機	消費電力					
					(φ)	(V)	(KW)		(KW)	冷房 (KW)	暖房 (KW)	低温暖房 (KW)			
							室内機	室外機							
CR-1	空冷ヒートポンプチラーユニット	冷水量 377ℓ/min 12° C～7° C 温水量 437ℓ/min 40° C～45° C	150	150	3	200		0.61×4	9.2×4	48.8	45.8	－	1	RHGP1500AV	機械置場
		グループコントローラー													
P-1	冷温水ポンプ	65φ×50φ×370ℓ/min×20m×2.2kW	－	－	3	200	－	－	－	－	－	－	1		機械置場
		全閉屋外型電動機													
EXT-1	加圧シスターン	25ℓ/min×8m 受水槽10ℓ	－	－	1	100	－	－	－	0.3	－	－	1		機械置場
AH-1	屋外型空調機 冷温水コイル6列	冷水量 330ℓ/min 7° C～12° C 吸込空気27.0℃ DB 19.5℃ WB	115.10	137.20	3	200	5.5	－	－	－	－	－	1	KH-20	機械置場
	風量16,260m3/h 機外静圧373Pa	温水量 394ℓ/min 45° C～40° C 吸込空気15.0℃ DB 9.7℃ WB													
	防振装置:スプリング	水気化式加湿器57.0kg/h フィルター:不織布(質量法74%/ASHRAE質量法81%以上)													
		0Aフードダンパ組込 メインフレームSUS													

換気機器表	機器名称	形式・仕様	電気容量					台数	備考
記号			相	電圧	消費電力	接続口径	騒音値		
			(φ)	(V)	(W)	(φ)	(dB)		
			F-5	型式 低騒音型 風量 100m3/h 100Pa	単	100	23.0	100	28.5
		付属品 バイブフード 他一式							

改修前系統図



改修後系統図

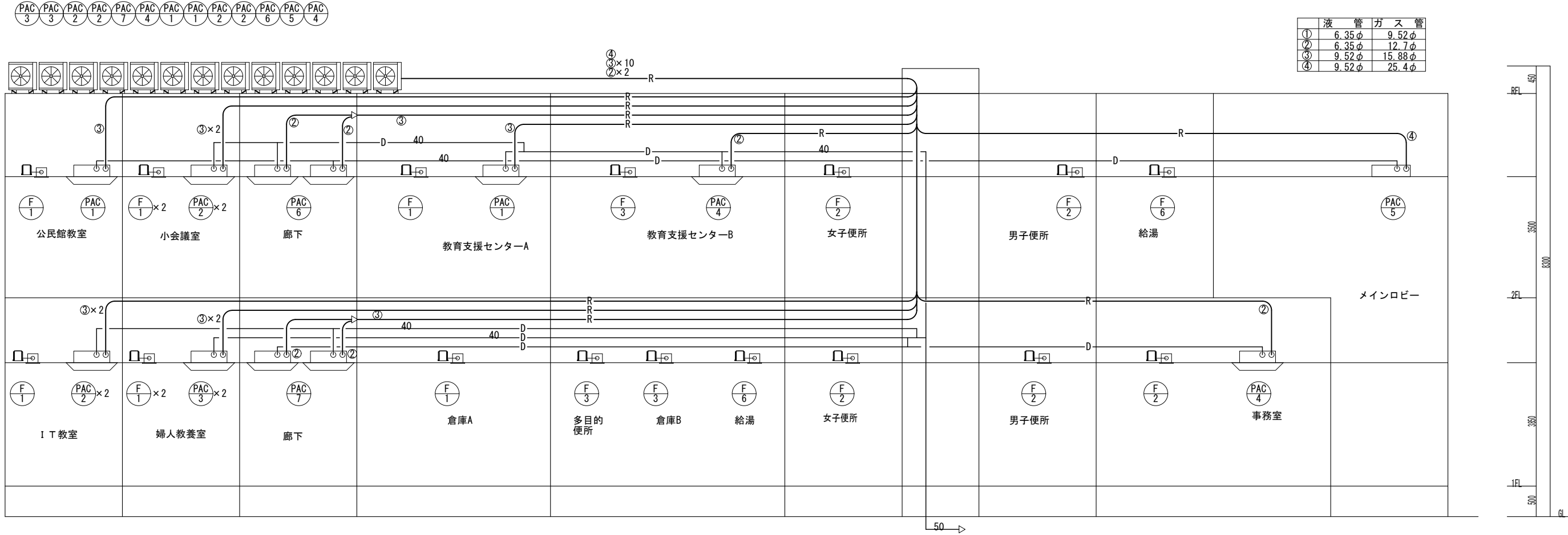
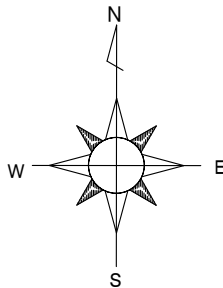
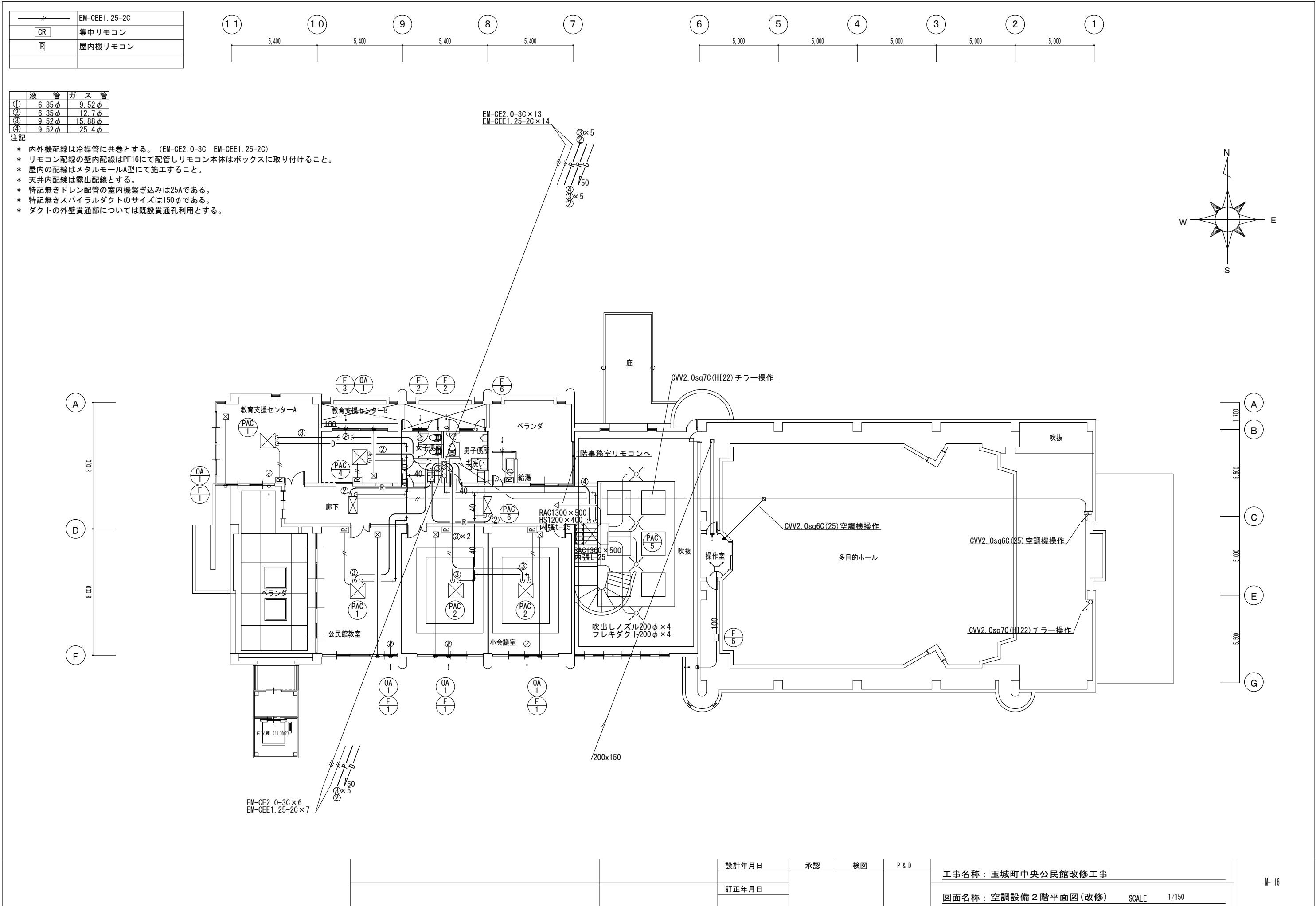


Diagram illustrating the bus structure for the 11-bit bus. The bus is divided into four segments, each labeled with its width (5,400).

注記

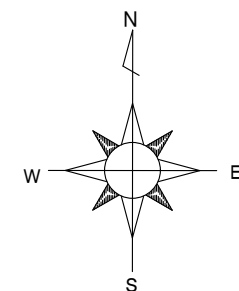
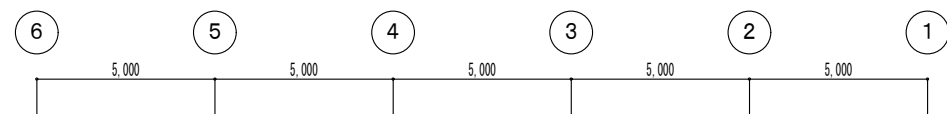
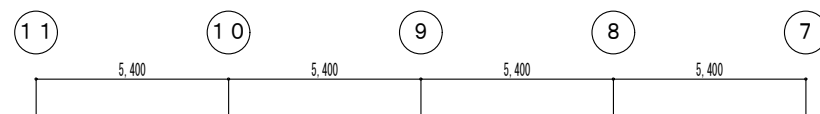
- * 内外機配線は冷媒管に共巻とする。(EM-CE2.0-3C EM-CEE1.25-2C)
- * リモコン配線の壁内配線はPF16にて配管リモコン本体はボックスに取り付けること。
- * 屋内の配線はメタルモール型にて施工すること。
- * 天井内配線は露出配線とする。
- * 特記無きドレン配管の室内機繋ぎ込みは25Aである。
- * 特記無きスパイラルダクトのサイズは150φである。
- * ダクトの外壁貫通部については既設貫通孔利用とする。



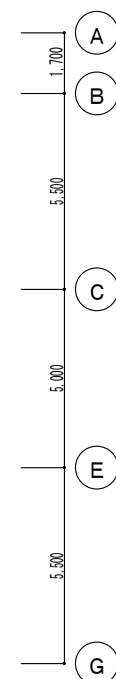
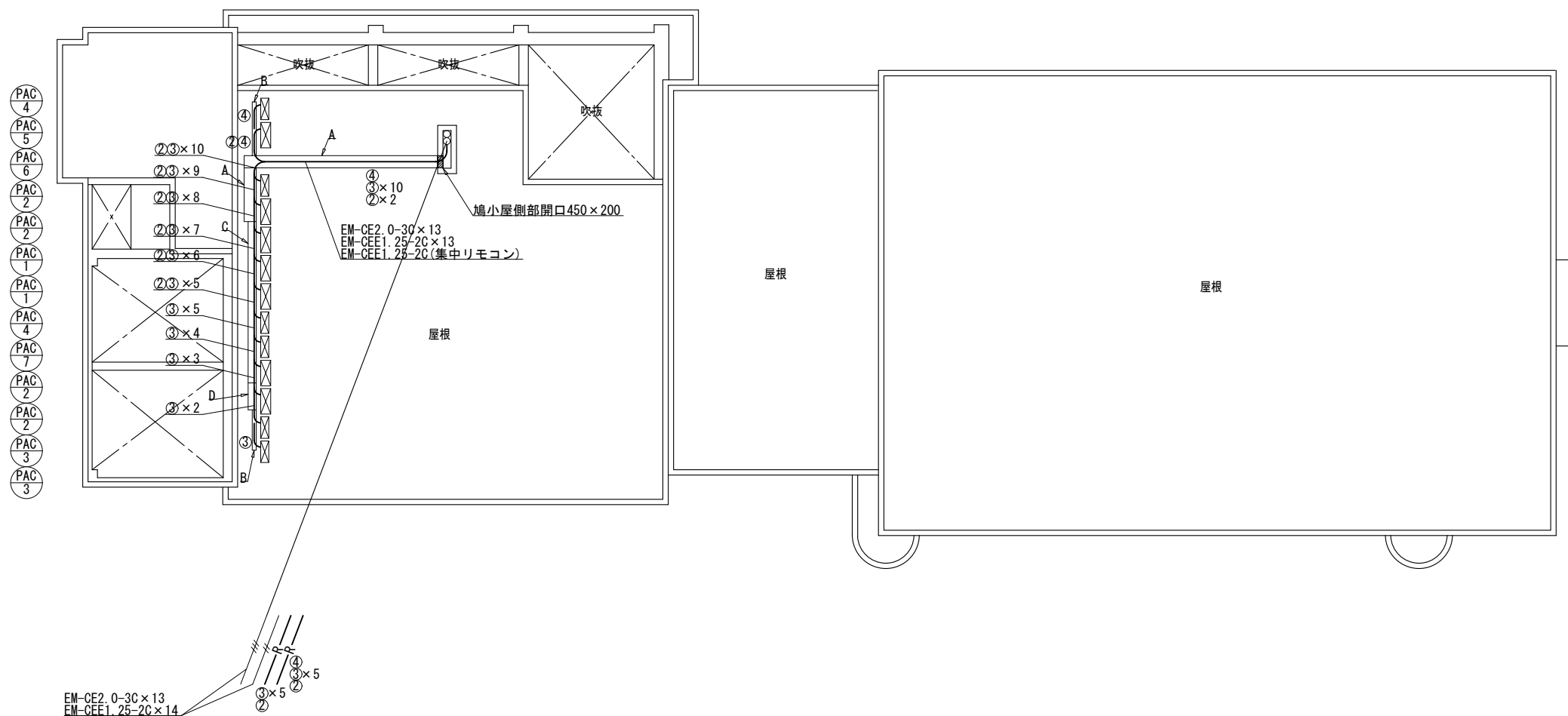
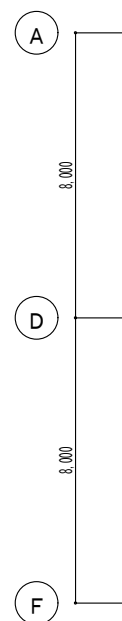


	液 管	ガ ス 管
①	6.35φ	9.52φ
②	6.35φ	12.7φ
③	9.52φ	15.88φ
④	9.52φ	25.4φ

- * 内外機配線は冷媒管に共巻とする。(EM-CE2.0-3C EM-CEE1.25-2C)
- * リモコン配線の壁内配線はPF16にて配管しリモコン本体はボックスに取り付けること。
- * 屋内の配線はメタルモール型にて施工すること。
- * 天井内配線は露出配線とする。
- * 特記無きドレン配管の室内機繋ぎ込みは25Aである。
- * 特記無きスパイラルダクトのサイズは150である。



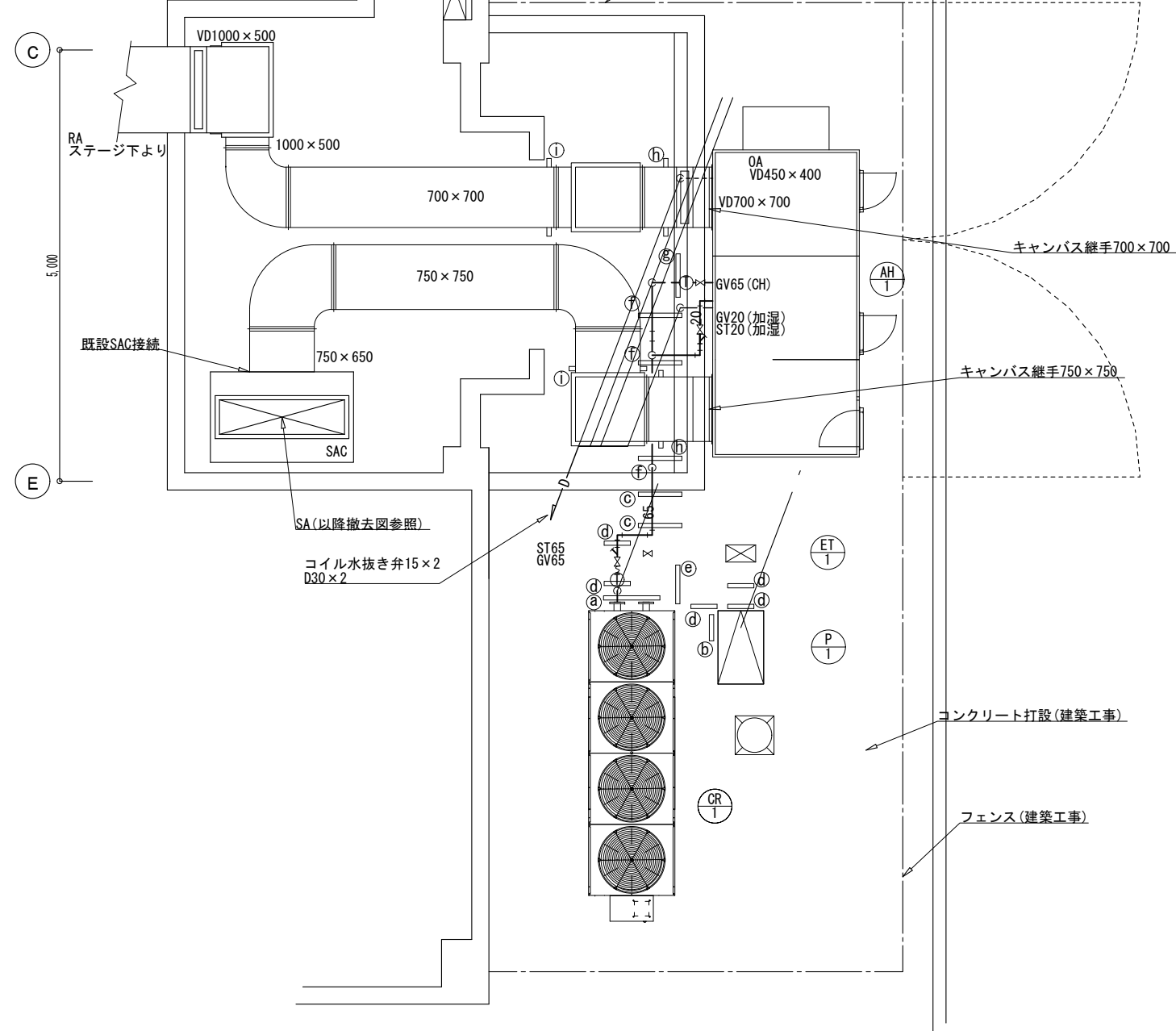
配管化力バー (SUS)			
記号	有効寸法	参考品番	備考
A	W450H213	RD-450H	架台・止水プレート他
B	W150H97	RD-150	架台・異径ジョイント他
C	W300H213	RD-300H	架台・異径ジョイント他
D	W300H93	RD-300	架台・異径ジョイント他



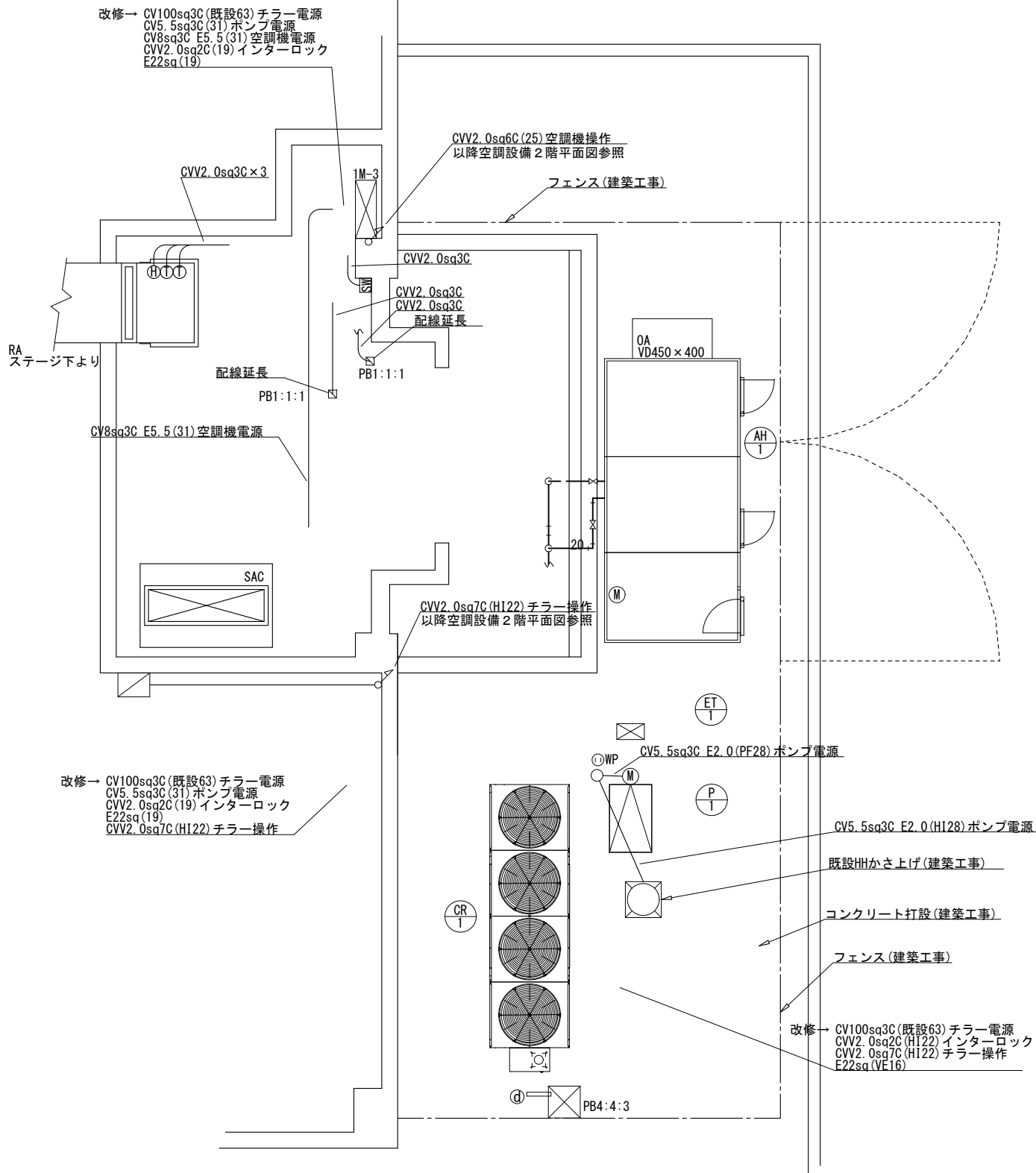
配管架台		
◎ 50x50 W650H300H400	1組	
◎ 50x50 W300H800	1組	
◎ 50x50 W500H100	2組	
◎ 50x50 W300H100	5組	
◎ 50x50 W450H100	1組	
◎ 50x50 W500H500	3組	
◎ 50x50 W500H2300H3600	1組	

ダクト架台		
◎ 50x50 W900H2500	2組	
◎ 50x50 W900H200	2組	

*架台寸法は参考とし、採用機器の仕様にする。

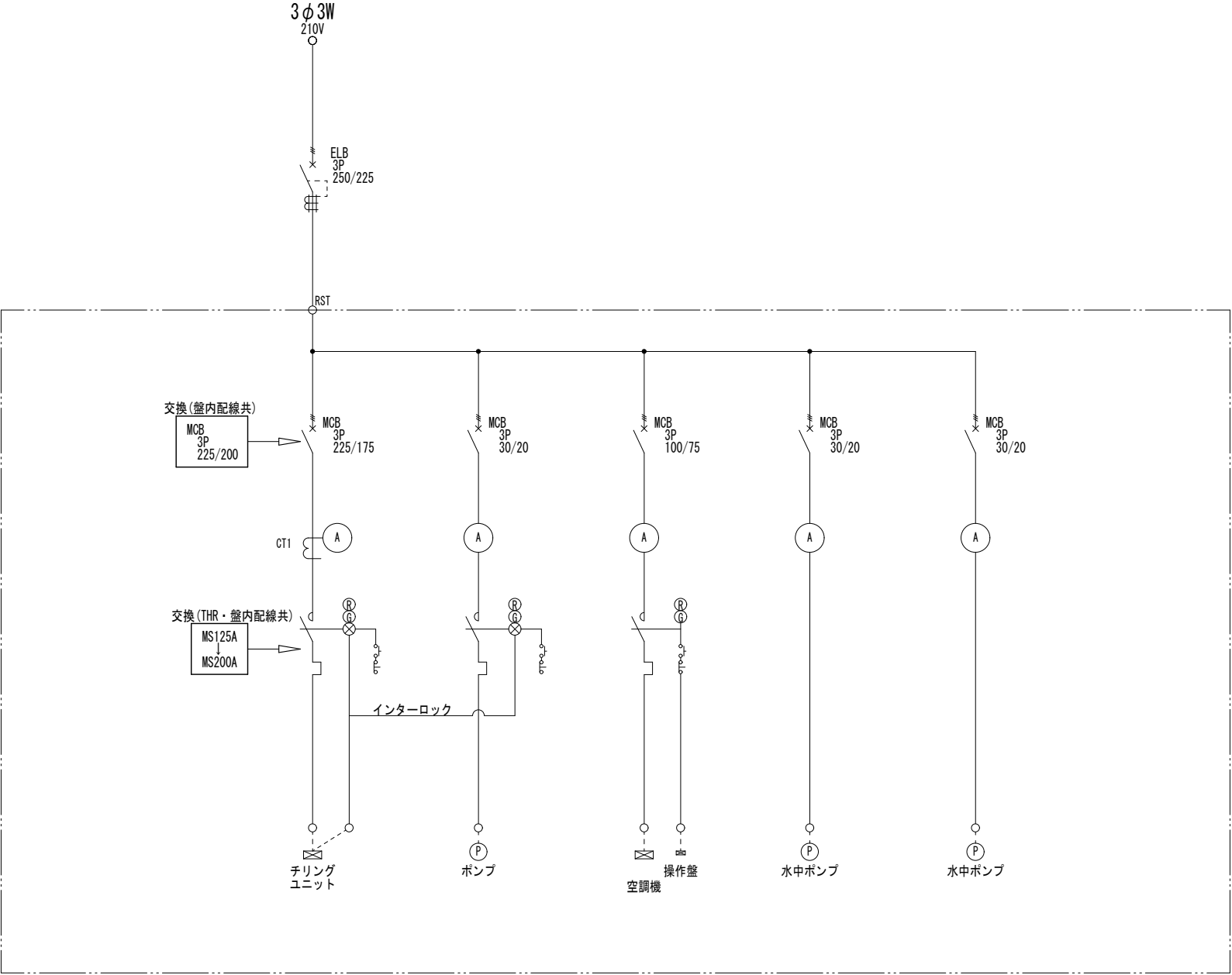


配管・ダクト設備詳細図



配線・計装設備詳細図

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 18
			訂正年月日				空調設備機械置場	
							図面名称：平面詳細図(改修) SCALE 1/50	



空調制御盤 1M-3

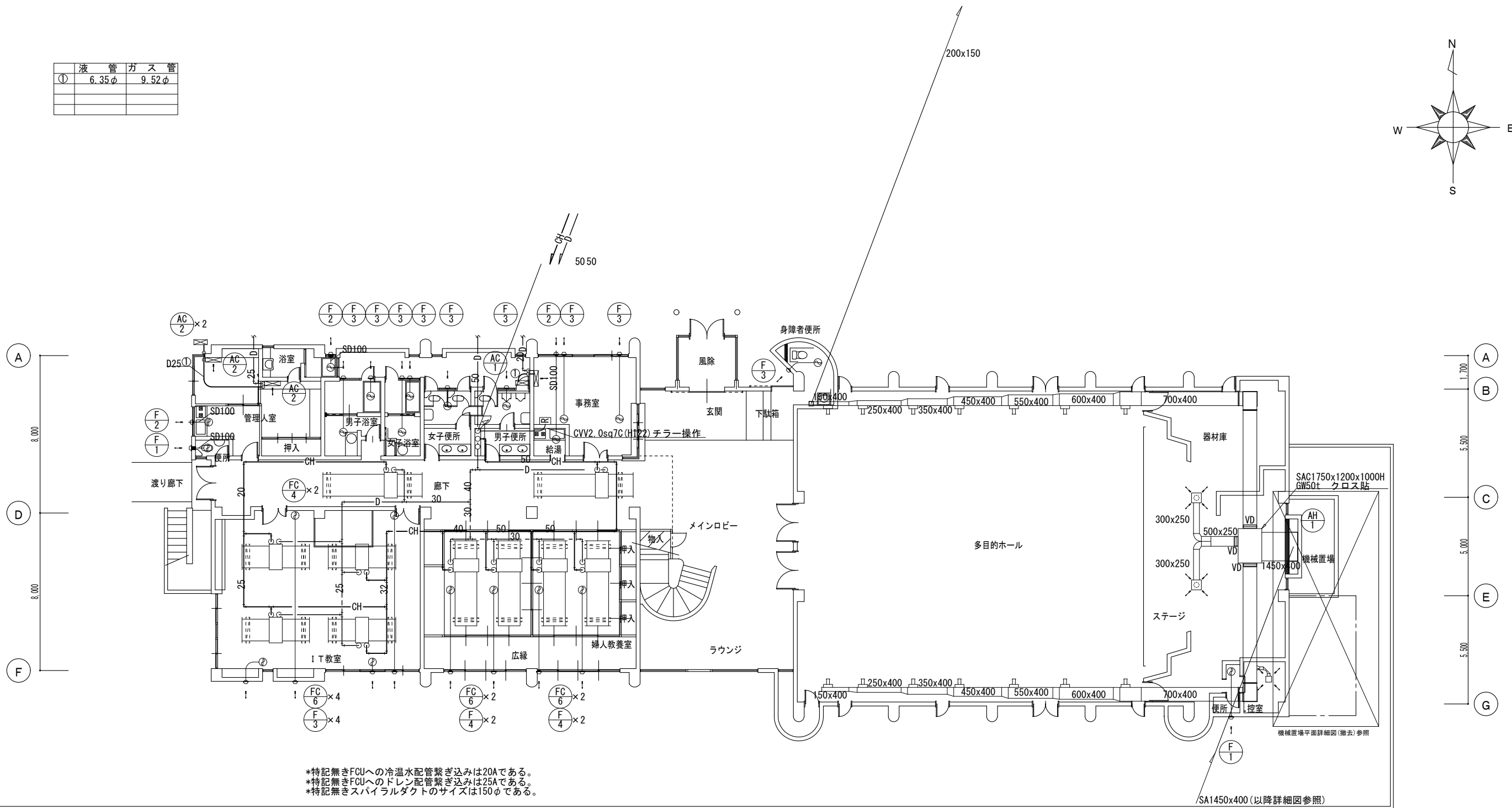
			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	19
			訂正年月日				図面名称：空調制御盤単線結線図	
							SCALE	

空 調 機 器 表	機器名称	形式・仕様	冷房能力	暖房能力	電気容量								台数	備考
			Kcal/h	Kcal/h	相	電圧	送風機出力		圧縮機	消費電力				
記号					(φ)	(V)	(KW)		(KW)	冷房 (KW)	暖房 (KW)	低温暖房 (KW)		
							室内機	室外機						
CR-1	空冷ヒートポンプチラーユニット	冷水量 377ℓ/min 12° C～7° C	113,000	131,000	3	200		1.5×2	30.0	-	-	-	1	機械置場
	重量2950kg	温水量 437ℓ/min 40° C～45° C												
CR-2	空冷ヒートポンプチラーユニット	冷水量 245ℓ/min 12° C～7° C	73,700	89,100	3	200		0.4×4	22.5	-	-	-	1	屋階
	重量2050kg	温水量 297ℓ/min 40° C～45° C												
P-1	冷温水ポンプ	65φ×50φ×370ℓ/min×20m×2.2kW	-	-	3	200	-	-	-	-	-	-	1	機械置場
		全閉外扇屋外型モーター												
P-2	冷温水ポンプ	65φ×50φ×330ℓ/min×25m×3.7kW	-	-	3	200	-	-	-	-	-	-	1	屋階
		全閉外扇屋外型モーター												
EXT-1	膨張タンク	加圧シスタンク	-	-	1	100	-	-	-	-	-	-	2	機械置場 屋階
		200W												
AH-1	空調機 冷温水コイル6列	冷水量 330ℓ/min 7° C～12° C 吸込空気27℃ DB 19.5℃ WB	99,000	118,000	3	200	7.5		-	-	-	-	1	機械置場
	風量16,260m3/h 機外静圧373Pa	温水量 437ℓ/min 40° C～45° C 吸込空気15℃ DB												
	重量1190kg	水スプレー加湿57Kg/H 平形フィルター フィレドレンPS/600 8枚												
AH-2	小型空調機	冷水量 30ℓ/min 7° C～12° C 吸込空気27℃ DB	9,640	9,680	1	100	0.36		-	-	-	-	1	メインロビー
	風量1,680m3/h 機外静圧147Pa	温水量 30ℓ/min 40° C～45° C 吸込空気15℃ DB												
FC-4	ファンコイルユニット	水量 14ℓ/min ダクトサイズ 吹出700×100 吸込700×175	3,600	3,770	1	100	-		-	-	-	-	4	1・2階廊下
FC-6	ファンコイルユニット	水量 17ℓ/min ダクトサイズ 吹出1000×100 吸込1060×175	4,830	4,900	1	100	-		-	-	-	-	16	生活実習室 婦人教養室
														農業研究室 図書室 小会議室
AC-1	空冷ヒートポンブルームエアコン	壁掛型	5,000	5,500	1	100	0.04	0.06	1.5	-	-	-	2	事務室 器具庫
AC-2	空冷ヒートポンブルームエアコン	壁掛型 ツイン	2,200	3,000	1	100	0.012	0.35	1.1	-	-	-	2	居間 寝室

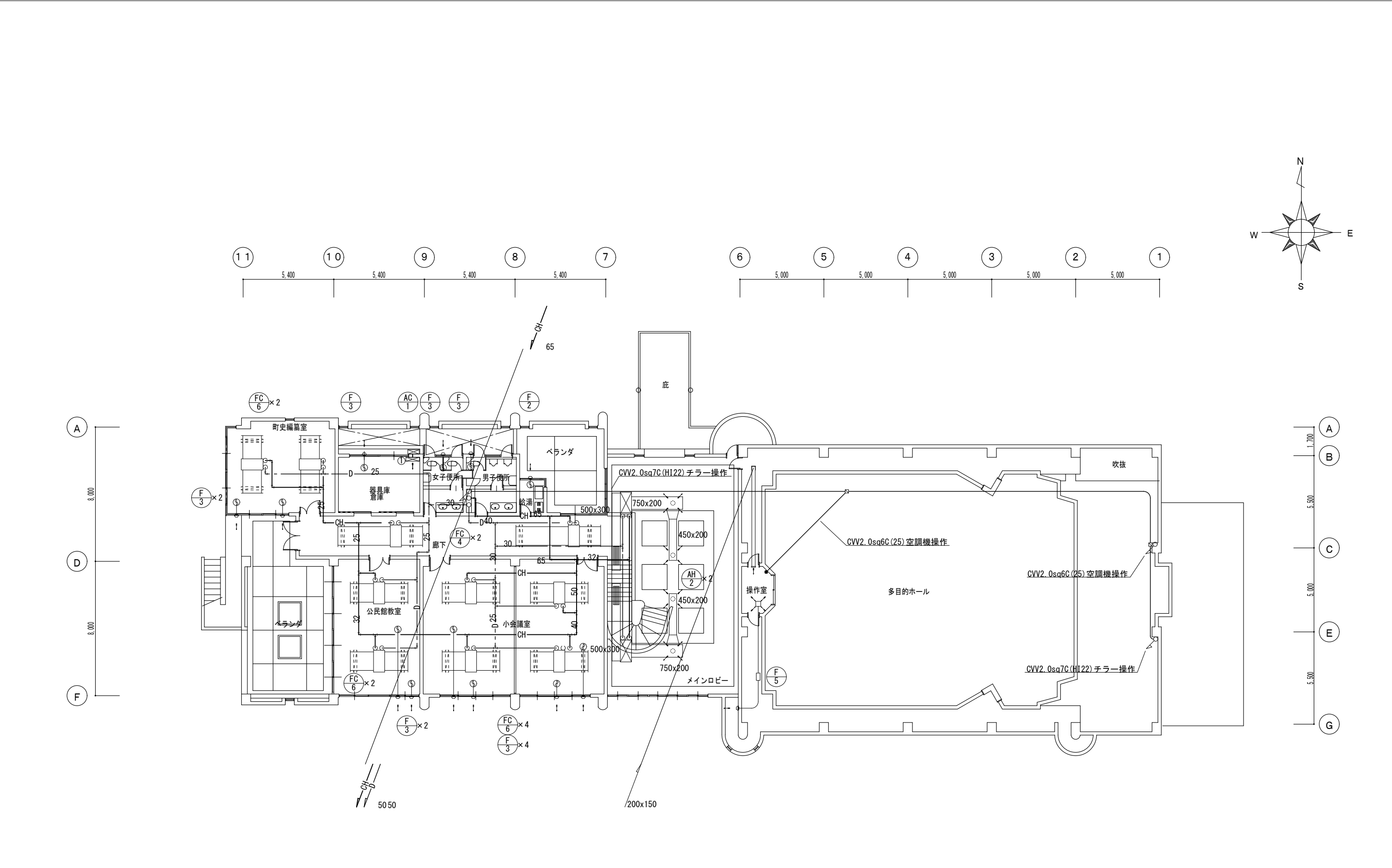
換気機器表	機器名称	形式・仕様	電気容量				台数	備考
			相	電圧	消費電力	接続口径		
			(φ)	(V)	(W)	(φ)		
F-1	天井扇	型式 低騒音型 風量 60m3/ h	単	100	21	100	2	便所
F-2	天井扇	型式 低騒音型 風量 120m3/ h	単	100	16	100	4	1階浴室 厨房 湯沸 2階湯沸
F-3	天井扇	型式 低騒音型 風量 240m3/ h	単	100	30	100	24	1階男子脱衣室 女子脱衣室 男子浴室 女子浴室 男子便所 女子便所 身障者便所
								生活実習室 婦人教養室 事務室
								2階男子脱衣室 男子便所 女子便所 農業研究室 小会議室 図書室 器具庫
F-4	天井扇	型式 低騒音型 風量 234m3/ h	単	100	30	100	4	1・2階廊下
F-5	中間ファン	型式 低騒音型 風量 170m3/ h 機外静圧40Pa	単	100	51	100	1	多目的ホール

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 20
			訂正年月日				図面名称：空調機器表(撤去) SCALE	

	液 管	ガ ス 管
①	6.35φ	9.52φ

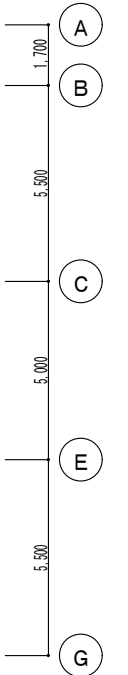


*特記無きFCUへの冷温水配管繋ぎ込みは20Aである。
*特記無きFCUへのドレン配管繋ぎ込みは25Aである。
*特記無きスパイラルダクトのサイズは150φである。



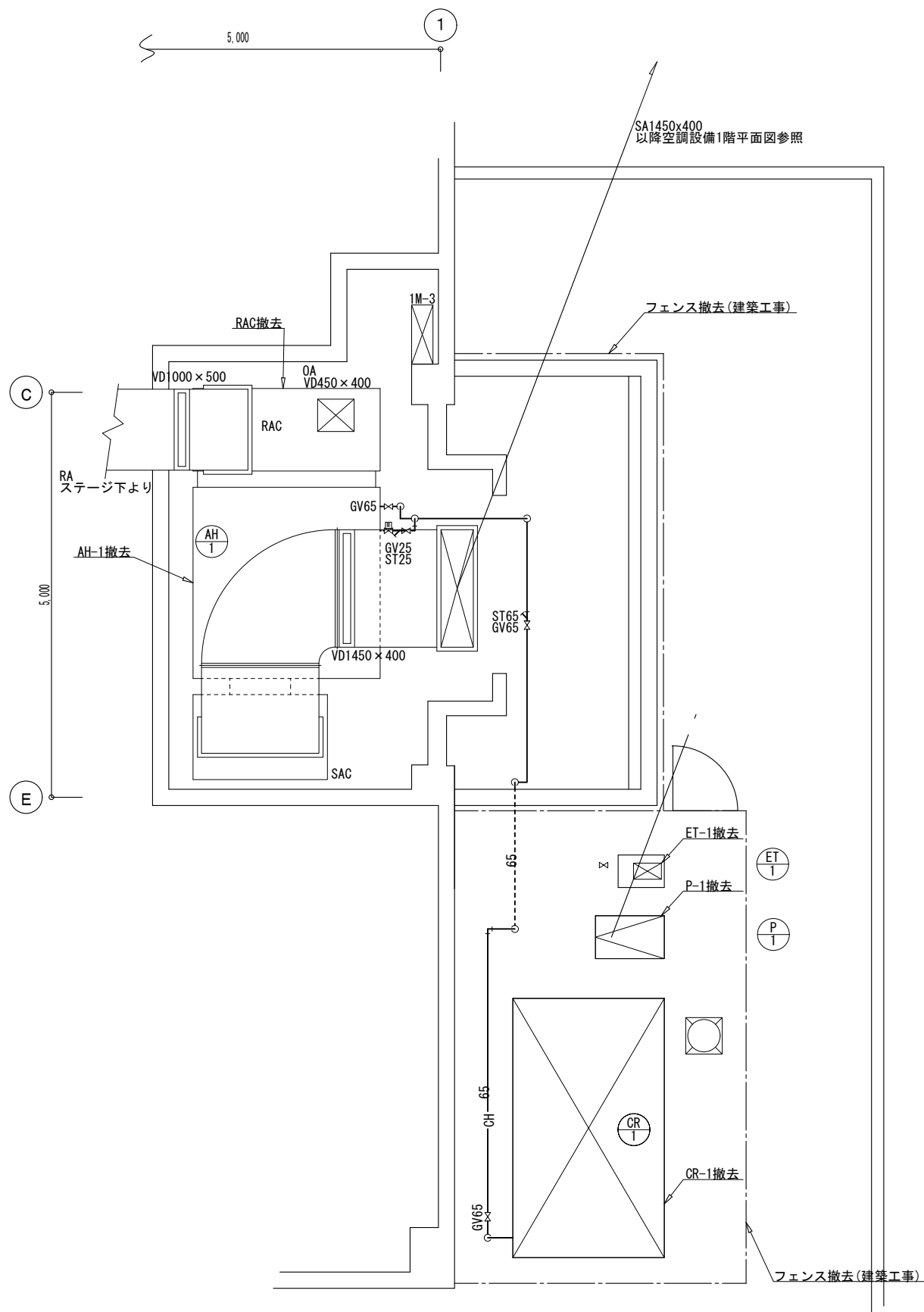
*特記無きFCUへの冷温水配管繋ぎ込みは20Aである。
*特記無きFCUへのドレン配管繋ぎ込みは25Aである。
*特記無きスパイラルダクトのサイズは150φである。

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 22
			訂正年月日				図面名称：空調設備 2 階平面図 (撤去)	
							SCALE 1/150	



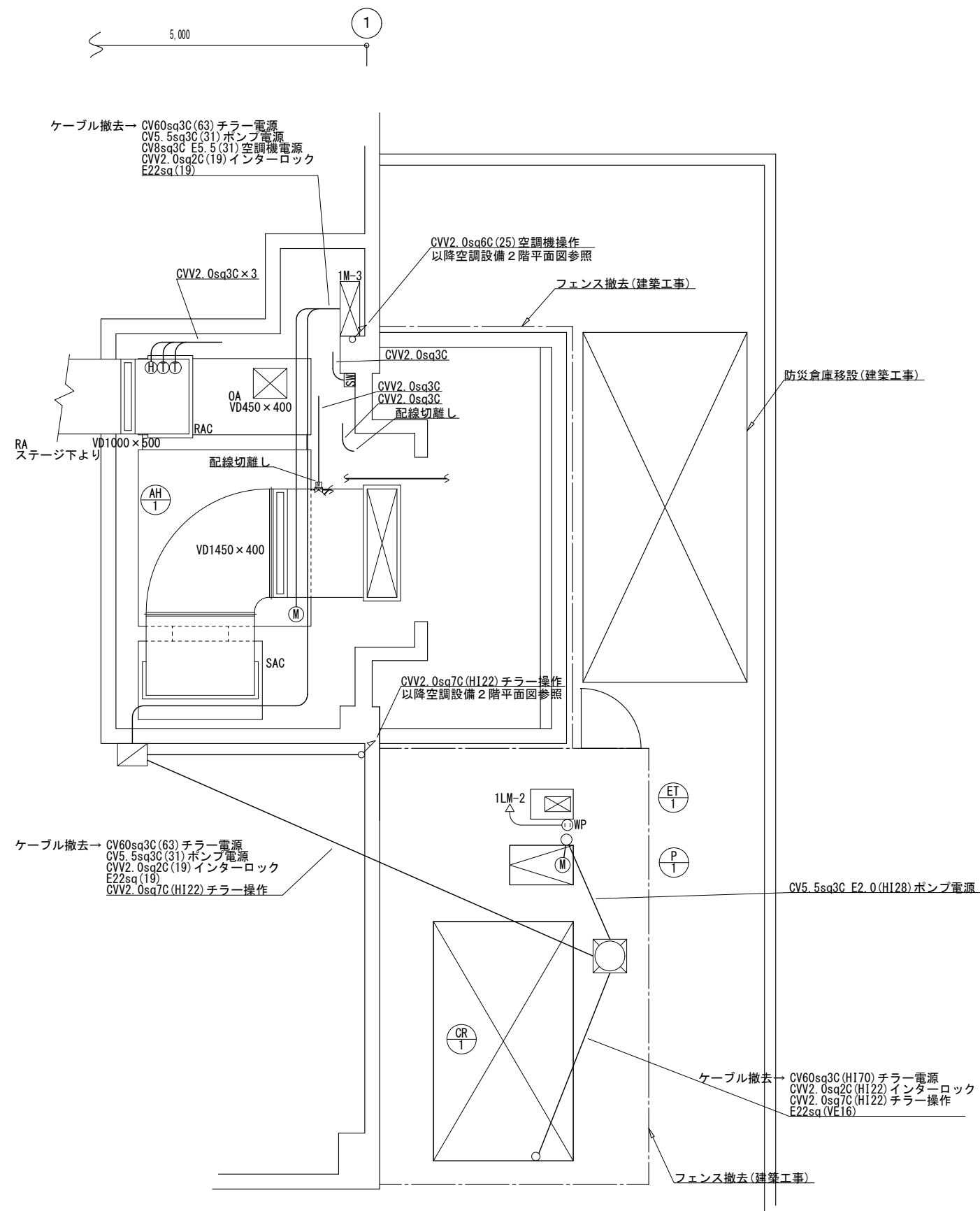
R 階 平 面 図 S=1:150

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	H- 23
			訂正年月日				図面名称：空調設備 R 階平面図(撤去) SCALE 1/150	



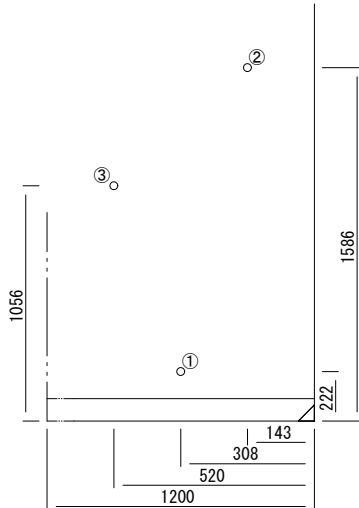
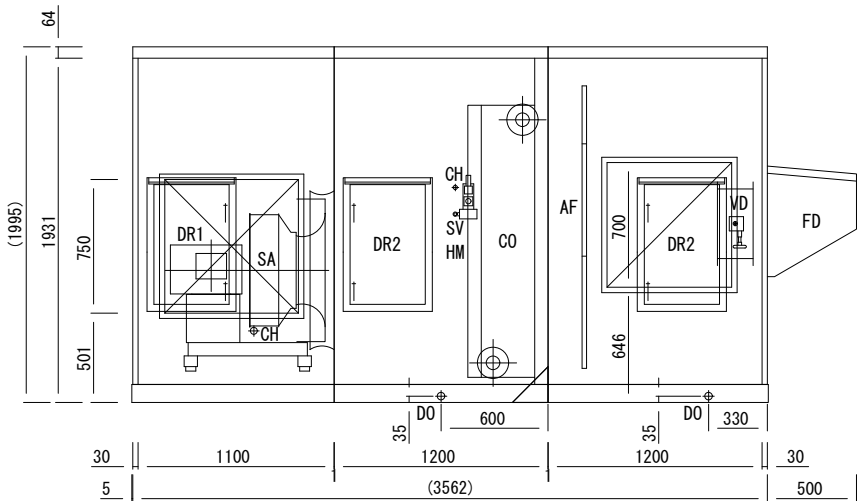
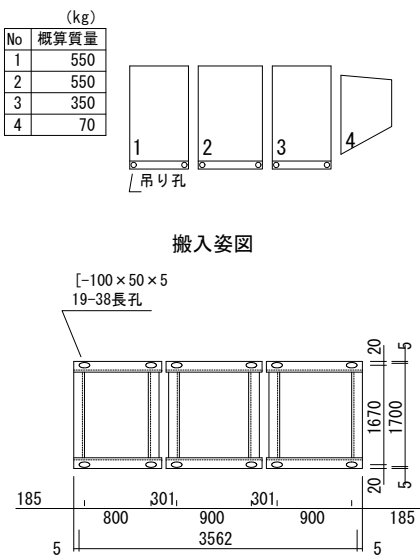
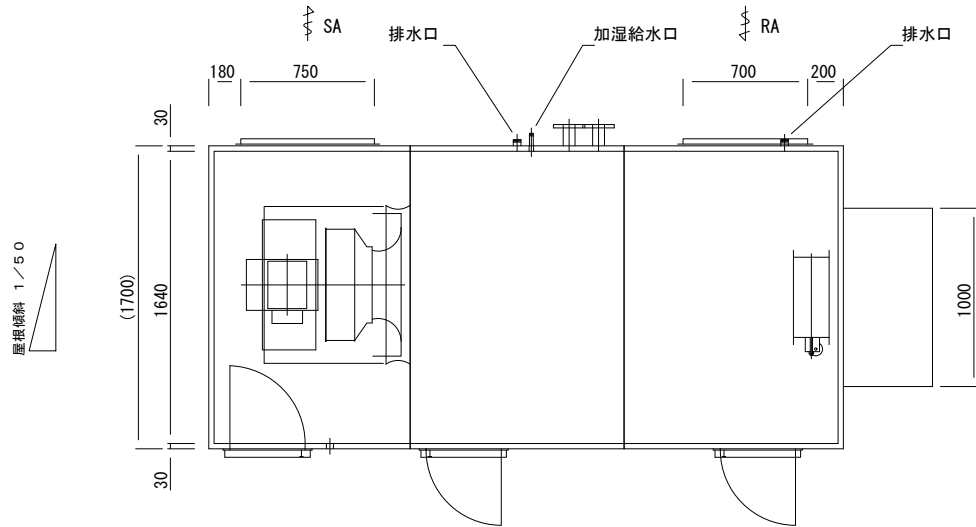
配管・ダクト設備詳細図

*図中配管は見え掛かりにて全撤去とする。
*図中配管付属品全撤去とする。



配線・計装設備詳細図

			設計年月日	承認	検図	P & D	工事名称：玉城町中央公民館改修工事	Ⅱ- 24
			訂正年月日				空調設備機械置場	
							図面名称：平面詳細図(撤去) SCALE 1/50	



No	名称	管径	出代	No	名称	管径	出代
①	冷温水入口	65A	120	②	冷温水出口	65A	120
③	加湿給水口	15A					

品番	機器仕様	
SA	給気風量	16260 m3/h
	全静圧 / 機外静圧	874 / 373 Pa
	ﾌﾞﾗｸﾞﾌｧﾝ	PF-24D-90F×1
	電動機	吐出風速 = 8.0 m/s
CO	全閉外扇型(ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰﾓｰﾀ)	3相 200V 60Hz
	冷却加熱兼用ｺｲﾙ	7.5 kW / 4P×1
	全熱量	W57 6 T2×1300-HF×1
	空気温度 DB/WB	冷却条件 加熱条件
HM	水気化式加湿器	WM-VHF50×1
	有効加湿量	57.0 kg/h
	給水量	2.3 L/min
	不織布(JIS質量法74%/ASHRAE質量法81%以上)	W610×H610×T20×4
VD	外気ダンパ	W610×H305×T20×2
	防振装置	W450×H390×1

品番	部品名	仕様	数量
SV	加湿器用電磁弁		1
FD	フード	防鳥金網付	1
DR2	点検扉	400×650 外開式	2
DR1	点検扉	400×650 内開式	1
DO	排水口	32A(SUS) 出代35 一庄	2
CH	配線孔		2